



# NTTFAX L-80

## **基本編** 取扱説明書 IDナンバー・ディスプレイ対応

このたびはNTTFAX L-80をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お使いになったあとも、本装置のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認定品

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、NTT窓口等でお求めください。

## 本書中のマーク説明

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

### 注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

外付け電話機用端子（TEL）は、一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては正常に動作しないことがあります。

一般電話回線と本装置の間に、アダプタなどが接続された場合、アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、本装置が正常に動作しないことがあります。

本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本装置の設置や配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本装置は、お買い求めのときには国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本装置の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、NTT窓口等へご相談ください。

NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。

操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。

 **警告**

万一、煙が出ている、変なおいがるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を倒したり、ネジで固定されているパネルやカバーなどを破損した場合、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一、内部に水などが入った場合は、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本装置を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。

本装置のネジで固定されているパネルやカバーなどは外さないでください。感電や故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。

本装置は、レーザーの国際規格IEC825 (Class1) に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは本装置内部で放射されますが、本装置内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様が使用される場合はレーザー被爆はしません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザー被爆の原因となることがあります。

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 警告

電源プラグは、定格電圧100 Vで、定格電流15 A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。発熱による火災・感電の原因となります。なお、本装置の定格電源は、100 V、15 Aとなっています。

電源コードは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本装置を操作しないでください。故障や感電の原因となることがあります。

電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。たびたび漏電が起こる場合は、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

- アース線が取り付けられるところは以下の部分です。
  - 電源コンセントのアース端子
  - 銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
  - 接地工事（第3種）が行われている接地端子
- 以下のようなところには、絶対にアース線を取り付けしないでください。
  - ガス管
  - 電話専用アース線
  - 避雷針
  - 水道管や蛇口

本装置を構内交換機（PBX）等に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

## 警告

本装置は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

トナーが目に入らないように注意してください。トナーが目に入ったときは、すぐに水で洗眼し、医師の診察を受けてください。

ドラム/トナーカートリッジは火の中に絶対に投げないでください。破裂したり、激しく燃えて、火災・やけどの原因となります。使用後のトナーカートリッジはビニール袋などに入れて燃えないゴミとして処理してください。

## 注意

お使いになる前に

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本装置は、重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本装置の転倒などによりけがの原因となることがあります。

本装置を設置および移動した場合は、滑動防止用としてストッパを必ずロックしてください。本装置が移動して思わぬけがの原因となることがあります。

お使いになる電話回線に、すでに何台かの電話機等が接続されている場合は、本装置または外付け電話機がご使用になれない場合があります。この場合は、他の電話機等を外してください。

## 注意

お使いのとき

近くに雷が発生したときは、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから、電話機コードを回線端子から抜いて、ご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源を切り、電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

本装置の電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

本装置の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 注意

お使いのとき

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ネジで固定されているパネルやカバーおよび電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

本装置の背面部には通風孔がありますので、必ず壁から10 cm以上離してください。通風孔をふさぐと本装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドラム/トナーカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に引っかけたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがありますのでご注意ください。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。けがの原因となります。すぐに電源を切り、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

つまった用紙を取り除くときは、本装置内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。特に折紙などの導電率の高い紙は、確実に取り除いてください。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻きついているときや、見えない部分や見にくい部分につまんだ用紙を取り除くときは、無理に取らないでください。けがの原因となります。すぐに電源を切り、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本装置を移動するときは、まず電源コードや電話機コードなどを外したことを確認してから行ってください。電源コードが電源コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

操作パネルのタッチパネルディスプレイの上に重いものを載せたり、ひじをついたりしないでください。ガラスが破損して、けがの原因となることがあります。

本装置の上に重いものを乗せないでください。本装置のバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してけがの原因となることがあります。

本装置の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。引火の原因となることがあります。

カートリッジ内のドラムを、絶対に加熱したり、表面を剥離したりしないでください。健康を害する原因となることがあります。

## ⚠ 注意

お使いのとき

原稿カバーを開けたままコピーをとるとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となることがあります。

⚠ 注意 ランプの光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となることがあります。



厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえしないでください。コピーガラスが割れてけがをすることがあります。

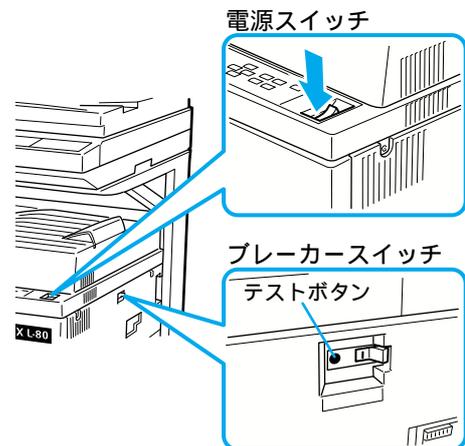
狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となることがあります。

1カ月に一度は本装置の電源を切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は当社のサービス取扱所までご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいほこりがついていませんか。
- 電源コードに、きれつや擦り傷などはありませんか。

本装置には漏電保護回路がついています。1カ月に一度は本装置の電源を切り、漏電保護回路が正常にはたらくか確認してください。正常に動作しない場合にアースが接続されていないと、感電の原因となることがあります。なお、漏電保護回路の確認手順は以下のとおりです。異常などがある場合は当社のサービス取扱所までご連絡ください。

電源スイッチを  $\odot$ (切)にします。  
ボールペンなどの先で、ブレーカースイッチの左にあるテストボタンを押します。  
ブレーカースイッチが  $|$ (入)から  $\odot$ (切)に倒れれば、正常に動作しています。  
確認後、ブレーカースイッチ、電源スイッチの順に  $|$ (入)にします。



# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP

お願い

## 設置場所について

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本装置が正常に動作しないことがあります。

温度が急激に変化する場所には置かないでください。冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本装置の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

高温、多湿、低温の場所には置かないでください。  
いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は以下のとおりです。

温度 10～35

湿度 15～85%

- 温度が35 のときは湿度47.5%以下、湿度85%のときは温度27.8 以下で使用してください。

以下のようなところには置かないでください。

- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- 床が丈夫でない場所

本装置の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。

このような現象が本装置の影響によると思われる場合は、本装置の電源をいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以下のような方法を試みてください。

- 本装置をテレビなどから遠ざける。
- 本装置またはテレビなどの向きを変える。

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコンなど）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

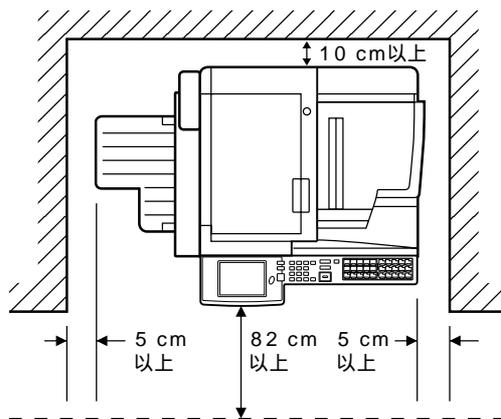
硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本装置の寿命が短くなる場合があります。

STOP

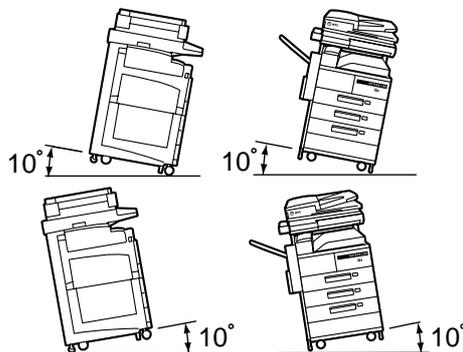
お願い

設置場所について

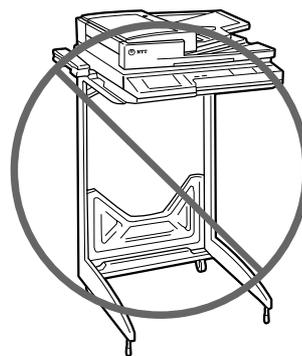
本装置の操作、消耗品類の交換、日常点検など、本装置を正しく使用し性能を維持する作業を行うために、図のような設置スペースを確保してください。



本装置を移動する場合は、機械を右図に示す角度以上に傾けないでください。転倒などによるけがの原因となることがあります。



ラック単独で使用しないでください。転倒などによるけがの原因となることがあります。



本装置を移転、移動するときは、NTT窓口等にご相談ください。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP

お願い

取り扱いについて

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませて、かたく絞ってからふいてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

通信やコピーなどの動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、本装置の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。

電源スイッチをOFFにしてから、再度ONにする場合は、3秒以上の間隔をおいてください。

記録紙はNTT推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。推奨品につきましては、NTT窓口等へお問い合わせください。

自動的に冷却ファンが回ることがありますが異常ではありません。

感光体に手を触れないでください。感光体の表面に手の油や汚れが付着すると、きれいなプリントができなくなります。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。

紙づまりのとき、記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さずすべて取り除いてください。



お願い

その他

停電がおきた場合や電源を切った場合は、ファクシミリの機能・動作が停止すると同時に、メモリに蓄積されている原稿（同報送信、メモリ送信、メモリ代行受信など）が消えてしまう場合があります（内蔵のバッテリーにより、72時間以上充電していた場合で約3時間はバックアップ機能が働きます）。

キャッチホンサービスをご契約になる場合には、以下の点にご注意ください。

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承願います。
- なお、キャッチホン サービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

## コピー禁止事項

自分で利用するものでも何をコピーしてもよいとは限りません。法律によって、単にコピーを所有するだけでも罰せられるものもありますので注意してください。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピーすることは禁止されています（見本であってもコピーすることは禁止されています）。
- 政府の模造許可をとらない限り、未使用の郵便切手や、官製ハガキなどをコピーすることは禁止されています。
- 外国で流通している紙幣、貨幣、証券類をコピーすることは禁止されています。
- 政府発行の印紙、法令で規定されている証券類をコピーすることは禁止されています。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に使用するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類もコピーしない方がよいと思われます。

著作権の対象となっている書籍、楽譜、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内、その他これに準じる限られた範囲内で使用する場合を除き、作者に無断でコピーすることは法律で禁止されています。

# 目次

## 基本編

安全にお使いいただくために必ずお読みください… 2  
特長… 16

### 1 お使いになる前に



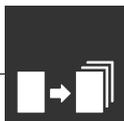
商品の構成… 20  
各部の名前とはたらき… 21  
タッチパネルディスプレイの使い方… 26  
    タッチパネルディスプレイの各部の名前と  
    はたらき… 26  
    タッチパネルディスプレイの画面表示のしかた… 28  
日付 / 時刻を合わせるには… 31  
会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを  
登録するには… 34  
    自局名を登録する… 34  
    発信元名を登録する… 36  
    G3 IDとダイヤル種別 / 回線種別を登録する… 38  
    G4 IDを登録する… 42  
    ISDN IDを登録する… 44  
文字を入力するには… 48  
    英数字 / 記号を入力する… 48  
    ひらがな / カタカナ / 漢字を入力する… 49  
並行して行える動作 (デュアルアクセス)  
    について… 50

### 2 原稿をセットする



原稿について… 52  
原稿をセットするには… 54  
    原稿をDADF (自動両面原稿送り装置)  
    にセットする… 54  
    原稿をコピーガラスにセットする… 54  
    次の原稿をセットする… 56

### 3 コピーする



部数を指定してコピーするには… 57  
用紙を指定してコピーするには… 59  
    セットされている用紙から選んでコピーする… 59  
    定型外や厚手の用紙をセットしてコピーする… 61  
倍率を指定してコピーするには… 64  
    固定倍率から選んでコピーする… 64

    任意の倍率でコピーする… 67  
コピー濃度を調整するには… 69  
    任意の濃度でコピーする… 69  
原稿の種類に合わせてコピーするには… 71  
原稿の途中で読み取りの設定を変えるには… 73  
コピーの状態を確認するには… 76  
    コピー中の状態を確認する… 76  
    コピーを中止する… 77  
割り込んでコピーするには… 78

### 4 コピーの便利な機能を使う



こんな使い方ができます… 80  
とじしろをつけるには (とじしろ)… 83  
縦長 / 横長に変形するには (たてよこ独立変倍)… 86  
    たて倍率とよこ倍率を別々に設定する… 87  
    原稿の長さとおコピーの長さを設定する… 89  
    たて倍率とよこ倍率を本装置に自動設定させる… 92  
原稿の影を消すには (わく消し)… 95  
画像を中央に移動するには (センター移動)… 97  
見開き原稿を左右に分割するには (ページ連写)… 99  
2枚 / 4枚の原稿を1枚の用紙にコピーするには  
    (2イン1 / 4イン1)… 101  
両面コピーするには… 105  
    片面原稿を両面コピーする (片面 両面)… 106  
    両面原稿を両面コピーする (両面 両面)… 109  
    両面原稿を片面コピーする (両面 片面)… 112  
はがきにコピーするには… 114  
1部ごとにページ順に並べて排出させるには  
    (ソート)… 116  
異なるサイズの原稿を一度に読み取らせるには  
    (ミックスサイズ原稿)… 118  
小冊子となるようにコピーするには  
    (小冊子作成)… 120  
OHPフィルムにコピーするには  
    (OHPコピー)… 124  
    OHPフィルムにコピーしたり、OHPフィルム  
    の間に白紙やコピーを差し込む… 125  
    OHPフィルムの間に白紙を差し込み、  
    コピーもする (会議コピー)… 127  
ページごとに位置をずらして排出させるには  
    (オフセット排出)… 129  
コピーのおもて面を上にして排出させるには  
    (サイドトレイ排出)… 130

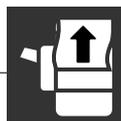
定型操作をボタンに登録してコピーを 簡単にするには(ジョブメモリ).....	132
定型操作をジョブメモリに登録する.....	133
ジョブメモリの登録を変更/削除する.....	136
ジョブメモリを使ってコピーする.....	139
機能の組み合わせ一覧表.....	140

## 5 ファクスを送る



ファクスを送るには(メモリ送信).....	142
ファクスを送る(基本操作).....	142
送信画質/原稿の種類/送信濃度を 選択するには.....	144
送信画質を選択する.....	144
原稿の種類を選択する.....	145
送信濃度を選択する.....	146
通信モードを選択するには.....	147
相手先を指定するには.....	148
ダイヤル入力で指定する.....	148
短縮番号で指定する.....	150
ワンタッチボタンで指定する.....	150
宛先表を使って指定する.....	151
グループ番号で指定する.....	153
サブダイヤルを使って指定する.....	153
相手先を登録するには.....	154
短縮ダイヤルの基本項目を登録する.....	154
宛先グループを登録する.....	158
サブダイヤルを登録する.....	160
原稿の途中で読み取りの設定を変えるには.....	162
相手先の応答を確認してからファクスを送るには (手動送信).....	164
通信を中止するには.....	166
通信状態を確認するには.....	169
通信中文書を確認する.....	169
通信/プリント待ち文書を、確認/プリント/ 優先する.....	170
通信結果を確認する.....	173

## 6 ファクスを受ける



受信モードを選ぶには.....	174
受信モードを切り替える.....	175
ファクス/電話自動切り替え動作について.....	176
特定の相手の方以外からの受信を防ぐには (セレクト受信).....	177

電話でお話ししてから受信するには (手動受信).....	178
---------------------------------	-----

## 7 電話をかける/受ける



電話をかけるには(発信).....	179
受話器を取りあげてかける (オフフックダイヤル).....	179
受話器を置いたままかける (オンフックダイヤル).....	180
電話がかかってきたときは(着信).....	181
プッシュホンサービスを利用するには.....	182

## 8 留守番電話機を接続して使う



留守番電話機を接続してファクスを受けるには (留守番電話モード).....	183
留守番電話接続の設定をする.....	184
留守番電話モードを設定する.....	186

## 9 こんなときには



お手入れするには.....	187
用紙を補給するには.....	189
用紙サイズを変更するには.....	192
ドラム/トナーカートリッジを交換するには.....	194
消耗品について.....	197
保守サービスのご案内.....	198
リモートメンテナンスについて.....	199
表示できる漢字一覧.....	200
原稿が詰まったら.....	205
用紙が詰まったら.....	207
停電になったときは.....	211
故障かな?と思ったら.....	212
状態表示コード/エラーメッセージ一覧.....	216
自動診断を行う.....	224
索引.....	226

# 目次

**G4** : G4通信ユニット (オプション) を増設しているときのみ使用できる機能です。

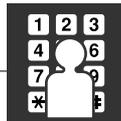
**G3** : G3モードでのみ使用できる機能です (G4モードでは使用できません)。

応用編は別冊になっています。

## 応用編

こんな使い方ができます ..... 8

### 1 通信相手を登録する



- サブダイヤルを登録するには ..... 14
- 短縮ダイヤルを登録するには ..... 16
  - 短縮ダイヤルの各項目を登録する ..... 17
  - 短縮ダイヤルの登録内容を変更 / 削除する ..... 32
- 宛先グループを登録するには ..... 35

### 2 便利な機能を使って通信する



- 同じ原稿を複数の相手先に送信するには
  - (順次同報送信) ..... 37
  - 複数の相手先を指定する ..... 38
- 急ぎの通信を割り込ませるには (優先送信) ..... 39
- 時刻を指定して通信するには (時刻指定) ..... 40
- 中継機を経由して送信するには
  - (中継同報送信) **G3** ..... 42
  - 中継同報送信をする ..... 44
  - 中継機として使用できる / できないようにする ..... 45
- 範囲や倍率を指定して送信するには
  - (読み取り指定) ..... 47
- 複数の原稿を1枚にして送信するには
  - (合成送信) ..... 50
- 表紙を付けて送信するには (送信シート) ..... 52
  - コメントを登録する ..... 53
  - 送信シートを設定して送信する ..... 55
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で送信するには (ミックスサイズ原稿) ..... 57
- 両面原稿を送信するには (両面原稿) ..... 58
- 見開き原稿を左右に分割して送信するには
  - (ページ連写) ..... 61
- 部数を指定して送信 / 受信するには
  - (送信先部数) **G3** ..... 63
  - 送信先部数を指定して送信する ..... 63
  - 送信先部数受信を設定する ..... 65
- 受信側の操作で通信を行うには
  - (ポーリング通信) **G3** ..... 67

- 暗証番号を登録 / 変更する ..... 68
- 掲示板 / ポーリング予約をセットする ..... 70
- ポーリング受信をする ..... 72
- 親展で送信 / 受信するには (親展通信) **G3** ..... 74
  - 親展ボックスを開設する ..... 75
  - 親展で送信する ..... 78
  - 親展受信文書をプリントする ..... 80
- 原稿を暗号化してファクスを送受信するには
  - (サイファ通信) **G3** ..... 82
  - サイファキー登録の暗証番号を登録する ..... 84
  - サイファキーを登録 / 変更する ..... 86
  - サイファ送信をする ..... 89
- 外線と内線を切り替えて送信するには
  - (外線 / 内線切り替え) ..... 91
- 定型操作をボタンに登録して送受信を簡単にするには (ジョブメモリ) ..... 92
  - ジョブメモリを登録する ..... 93
  - ジョブメモリを削除する ..... 96
  - ジョブメモリを実行する ..... 96
- FAX情報サービスを利用するには ..... 97
- 海外通信を行うには ..... 98
- ファクス番号と電話番号を使い分けるには
  - (ダイヤルイン) ..... 100
  - ダイヤルイン接続を設定する ..... 102
- ナンバー・ディスプレイを利用するには ..... 105
  - ナンバー・ディスプレイ対応機能を設定する ..... 110
  - 相手の電話番号で応答のしかたを変える
    - (発信番号識別着信) ..... 117
  - ファクス番号と電話番号を使い分ける
    - (モデムダイヤルイン) ..... 119
  - かけてきた方の電話番号を表示させる
    - (着信記録) ..... 122
- Fネット (ファクシミリ通信網) を利用するには
  - (Fネットアクセス) ..... 125
  - Fネットサービスの主な内容 ..... 125
  - ファクシミリ案内サービスを利用する ..... 126
  - Fネットを利用して送信する ..... 127

## 3 ビジネスホンに通知する



通信結果を内線電話機に通知するには

(送受信通知).....	128
送信結果を通知させるには.....	129
受信結果を通知させるには.....	130
送信結果通知を設定する.....	131
通知先を指定して送信する.....	133
通知先を指定して掲示板/ ポーリング予約をセットする.....	135
受信結果通知を設定する.....	136
通知先を指定してポーリング受信する.....	138
ファクスの異常を内線電話機に通知するには (異常通知).....	140
異常通知を設定する.....	141

## 4 各種レポート/リストを出力する



レポート/リストを出力するには.....	143
レポート/リストの種類.....	143
レポート/リストを手動で出力する.....	144
モニターレポートの出力を設定する.....	147
レポートの自動出力を設定する.....	148
各種レポート/リストの見かた.....	152
通信管理レポートの見かた.....	152
モニターレポート/未送信レポートの見かた.....	154
親展受信レポートの見かた.....	157
同報/集信レポートの見かた.....	158
中継結果レポートの見かた.....	160
機能設定リストの見かた.....	162
蓄積文書リストの見かた.....	166
登録ダイヤルリストの見かた.....	168
サイファキーリストの見かた.....	171
パワーオフレポートの見かた.....	172

## 5 いろいろな機能を設定する



コピー機能の設定を変えてより使いやすく

するには(仕様設定).....	174
コピー機能を設定する.....	175

コピー画面の設定を変えてより使いやすく

するには(仕様設定).....	201
ディスプレイの初期画面を変更する.....	201
コピーの初期画面を変更する.....	202
お好みコピー画面を変更する.....	204
その他のコピー画面設定を変更する.....	206
ファクス機能の設定を変えてより使いやすく	
するには(仕様設定).....	212
ファクス機能を設定する.....	214
ファクス画面の設定を変えてより使いやすく	
するには(仕様設定).....	260
ファクスの初期画面を変更する.....	260
お好みファクス画面を変更する.....	262
その他のファクス画面設定を変更する.....	265
音の仕様設定を変えるには(仕様設定).....	268
その他の仕様設定を変えるには(仕様設定).....	282
登録/設定操作一覧.....	294
仕様設定.....	294
登録/変更.....	322

## 6 ご参考に

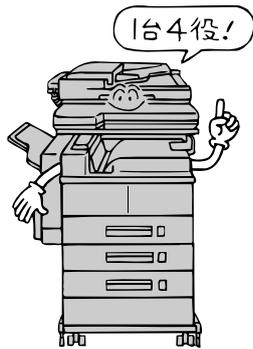


各種オプションについて.....	334
済スタンプを利用する.....	334
G4通信ユニットを利用する.....	337
機器を設置、接続するには.....	338
電源、電話回線を接続する.....	338
電源を入れる/切る.....	339
主な仕様.....	342
索引.....	343

# 特 長

## コンパクトな複合機としてビジネスをサポートします

必要に合わせてユニットを組み合わせることで、ファクス、コピー、プリンタ、さらにLAN共有プリンタとして使うことができます。また、側面にトレイをつけないウイングレスタイプなので、場所をとりません。



## 本などの厚みのある原稿や、破れた原稿もセットできます

DADF(自動両面原稿送り装置)にセットできない本、金属板、布などや、変わった形の原稿でも、コピーガラスにセットできるサイズであれば、そのまま原稿として送信やコピーが行えます。



## タッチパネルディスプレイを使って簡単に操作できます

表示の見やすい大型液晶ディスプレイを使って、さまざまな登録/設定操作が簡単かつスピーディーに行えます。



## 普通紙記録だから、受信原稿に直接書き込み、捺印ができます

受信した原稿は、そのまま文書として保管したり、書き込みをすることができます。使用できる用紙は、A5からA3までとサイズも豊富です。



## 原稿に合わせた高画質の送受信、コピーが行えます

鮮明画像処理技術の搭載により、原稿に忠実に鮮明な画像が再現できます。



## 各種のコピー機能を備えています

拡大/縮小コピーをはじめ、見開き原稿のページ連写や自動両面コピー、はがき/OHPフィルムへのコピーなど、充実した機能でコピー機としても活躍します。



## セットされている用紙の向きに合わせて自動的に画像を回転させます

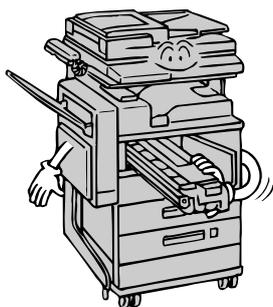
A4以下の場合、向きが違っていても同サイズ用の紙にコピーあるいは受信される、自動画像回転機能を備えています。(●応用P197、302)



### 交換が簡単なドラム/トナー一体型カートリッジ方式です

カートリッジ方式ですから、スピーディーにトナー交換ができます。(●P194)また、A4標準原稿\*で約25200枚まで高画質のコピー/受信が可能なロングライフ設計です。

\*A4原稿で黒率6%の場合



### さまざまなメモリ機能で、送受信を効率的にします

原稿を読み込みながらすばやく送るメモリ送信や、受信中に記録紙がなくなっても自動的に受信内容がメモリに蓄えられるメモリ代行受信機能を備えています。(●応用P277、320)



### 豊富で多彩な送受信機能を備えています

同報送信、時刻指定通信、ポーリング通信、親展通信など、操作を簡単にしたり通信コストを削減するのに有効なさまざまな機能が搭載されています。



### 通信状態が簡単に確認できます

[通信/ジョブ状態確認(通信中止)]ボタンを押すと、通信待ち文書や通信中文書、通信結果などの情報が大型液晶ディスプレイに表示されます。通信の中止や優先順位の入替えなどの操作も簡単に行えます。(●P169)



### ファクス通信による情報漏れを防ぎます サイファ通信

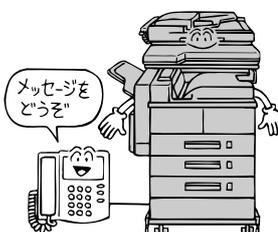
サイファ通信は、NTT独自の暗号化方式で原稿を暗号化して通信する機能です。万一盗聴されても、解読される心配はありません。

(●応用P82)



### 留守番電話機を接続して使用できます

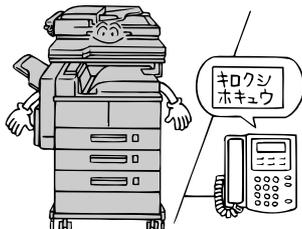
留守番電話機を接続して、電話機の留守番機能を利用することができます。留守中、相手が電話なら留守番電話で伝言を録音し、ファクスなら自動的に受信します。(●P183、応用P238、310)



# 特 長

## ビジネスホンなどの内線電話機に接続して使用できます

ファクスの送受信結果や消耗品切れなどの情報を、内線電話機のディスプレイに表示させることができます。  
(●応用P128)



## 1本の電話回線で電話専用番号とファクス専用番号を登録できます ダイヤルイン

NTTのダイヤルインサービスをご契約になると、1本の電話回線に2つの番号を登録して、電話とファクスをスムーズに使い分けることができます。  
(●応用P100)



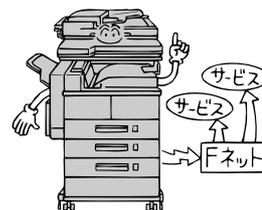
## 送受信中でも次の送信予約ができます デュアルアクセス

メモリ送信中に次の送信を予約したりコピーをするなど、通信/記録の動作を同時に処理することが可能です。時間のロスが軽減できます。(●P50)



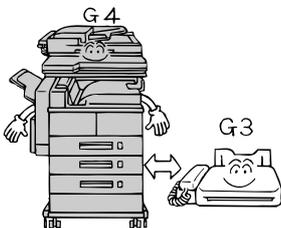
## Fネット(ファクシミリ通信網)サービスをご利用になれます Fネットアクセス

NTTのFネットサービスをご契約になると、通信の手間やコストを削減するさまざまなサービスがご利用になれます。(●応用P125)



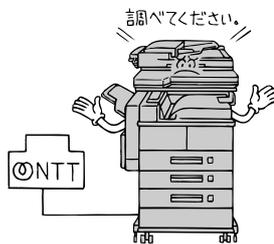
## G4機として利用する場合もG3機と相互に通信できます

G4通信ユニット(オプション)を増設すると、ISDN回線を利用した高速のG4通信が行えます。この場合も、G3モードとG4モードとを切り替えて、一般の電話回線(アナログ網)に接続されているG3機と通信することができます。(●応用P337)



## NTTのサービス取扱所から、遠隔操作でメンテナンスができます リモートメンテナンス

故障などでお客様の装置を保守する際に、通信状況の確認や、登録/設定内容の確認/変更を行うことができます。(●P199)



## 基本編

本装置の取扱説明書は、基本編と応用編から構成されています。基本編は、基本的な使用方法やコピーの応用機能などについて、応用編ではより便利なファックスの機能や、本装置の仕様設定の方法などについて説明しています。

### 1 お使いになる前に

本装置をお使いになる前に知っておいていただきたいことや、お使いになるための準備、設置時に必要な登録などについてまとめています。

### 2 原稿をセットする

コピーする原稿、送信する原稿についての知識と、そのセット方法について説明しています。

### 3 コピーする

コピーのいろいろな機能の紹介と、コピーの基本操作についてまとめています。

### 4 コピーの便利な機能を使う

コピーの応用操作について説明しています。

### 5 ファックスを送る

ファックス送信の基本操作について説明しています。

### 6 ファックスを受ける

各受信モードについて説明し、ファックス受信の基本操作についてまとめています。

### 7 電話をかける / 受ける

受話器を使用した発信と着信の操作について説明しています。

### 8 留守番電話機を接続して使う

留守中にファックスを受けるときの便利な機能について説明しています。

### 9 こんなときには

日常のお手入れ、トラブルの際の対処方法、保守サービスのご案内などについて説明しています。

## 操作説明のページの構成

### 章タイトル

この章のタイトルです。

### タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

### 操作パネル図

操作で使うボタンなどの位置を示します。

### ワンポイント

本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

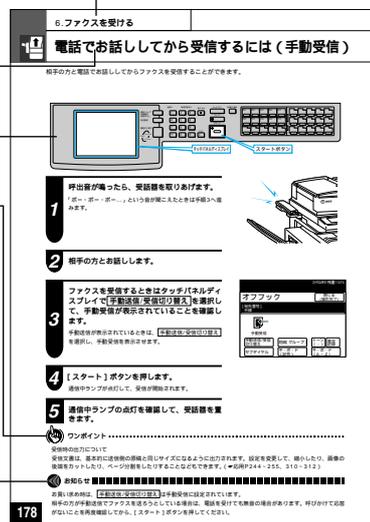
### お願いまたはお知らせ お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

### お知らせ

この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示します。

文中で操作パネルのボタンを表記する場合、ボタンイラストまたは [ ] で囲んで表記します。  
タッチパネルディスプレイの機能ボタンを表記する場合、 [ ] で囲んで表記します。



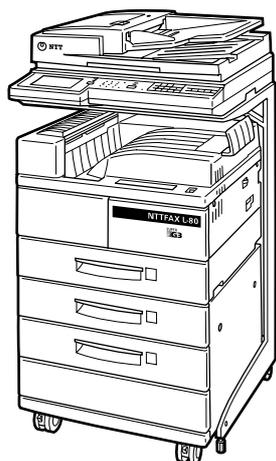
操作手順説明  
順番に操作を説明して  
います。



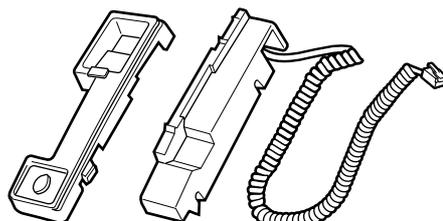
# 商品の構成

以下のものがそろっているか確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、NTT窓口等へご連絡ください。

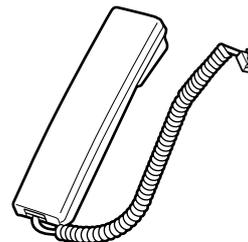
## 本体（一式）



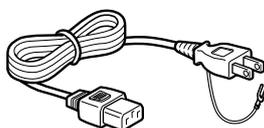
本装置 1台



(上部) (下部)  
受話器置き台 1組



受話器 1個



電源コード 1本

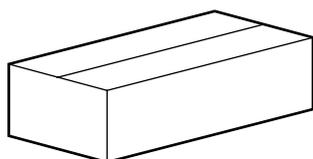


電話機コード 1本

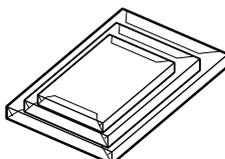


分岐コネクタ 1個

## 付属品



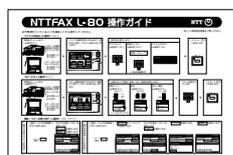
ドラム/トナー  
カートリッジ 1個



用紙 (A3、B4、A4各250枚)



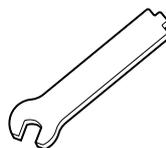
取扱説明書  
基本編 / 応用編 2冊



操作ガイド 1枚



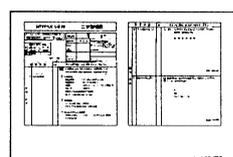
NVM表 2枚



スパナ 1本



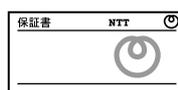
ピン 2本



工事説明書 1枚



商品アンケート  
はがき 1枚



保証書 1枚



「NTT通信機器お取扱相談  
センタ」シール 1枚

# 各部の名前とはたらき



## 【装置全体】

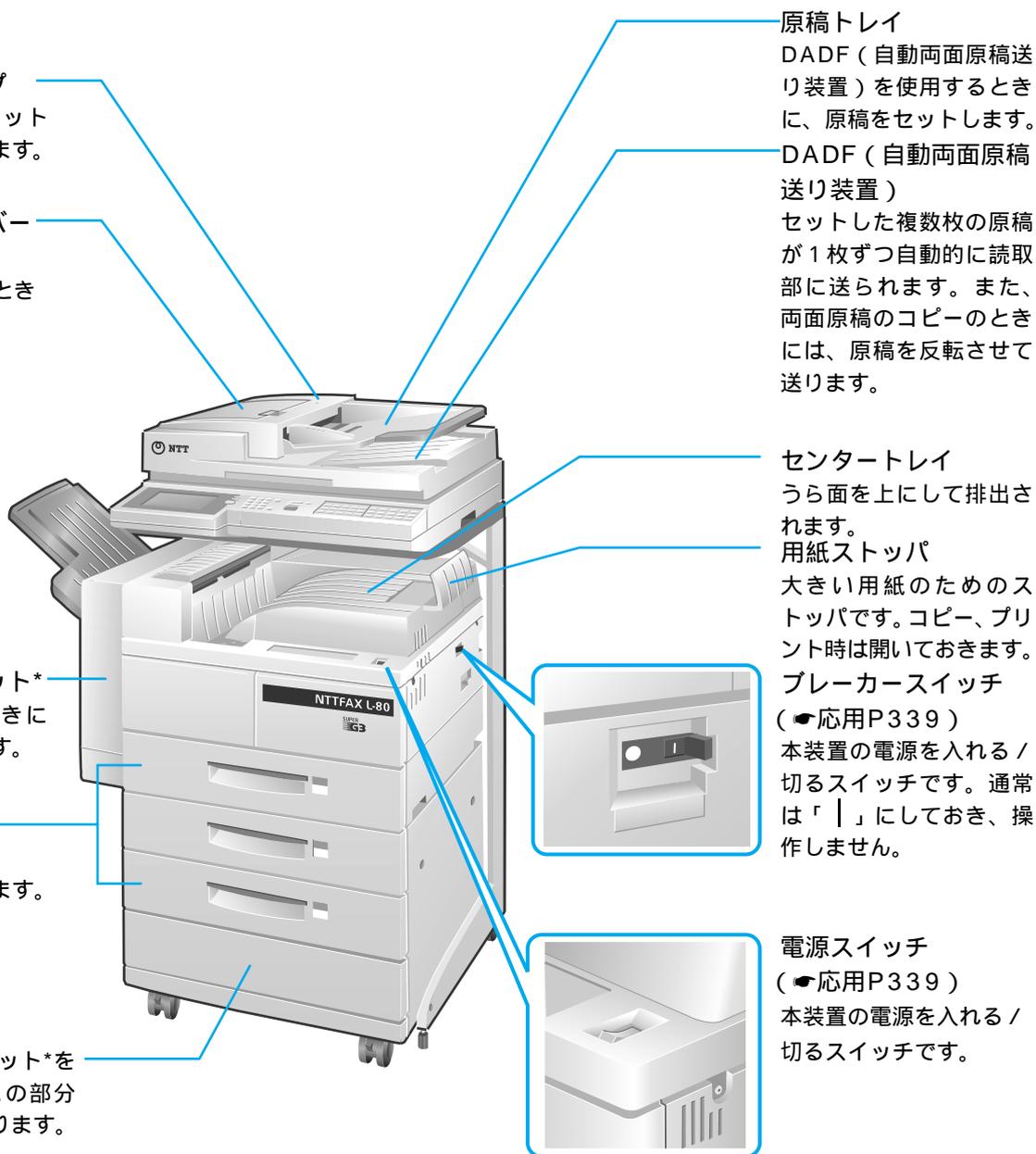
**原稿検知ランプ**  
原稿が正しくセットされると点灯します。

**原稿読取部カバー**  
(●P205)  
原稿がつまったときなどに開けます。

**自動両面ユニット\***  
両面コピーのときに用紙を反転します。

**用紙トレイ**  
(●P189)  
用紙をセットします。

**増設記録紙カセット\***を装着すると、この部分がトレイ4となります。



**原稿トレイ**  
DADF (自動両面原稿送り装置) を使用するとき、原稿をセットします。

**DADF (自動両面原稿送り装置)**  
セットした複数枚の原稿が1枚ずつ自動的に読取部に送られます。また、両面原稿のコピーのときには、原稿を反転させて送ります。

**センタートレイ**  
うら面を上にして排出されます。

**用紙ストッパ**  
大きい用紙のためのストッパです。コピー、プリント時は開いておきます。

**ブレーカースイッチ**  
(●応用P339)  
本装置の電源を入れる / 切るスイッチです。通常は「|」にしておき、操作しません。

**電源スイッチ**  
(●応用P339)  
本装置の電源を入れる / 切るスイッチです。

\*印の装置や部品はオプションです。

次ページに続きます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

5  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を  
送  
る

6  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を  
受  
け  
る

7  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
/  
受  
け  
る

8  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を  
接  
続  
し  
て  
使  
う

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は



# 各部の名前とはたらき

## 簡易サイドトレイ\*

おもて面を上にして排出されます。(自動両面ユニットを装着していない場合のサイドトレイ)

## 受話器

電話を使ってお話しするときに使います。

## サイドトレイ\*

おもて面を上にして排出されます。(自動両面ユニットを装着している場合のサイドトレイ)

## 自動両面ユニット開レバー\*

自動両面ユニットを開くときに使います。

## 多重手差しトレイ\*

はがきや、トレイにセットされていない用紙にコピーするときに、用紙をセットします。

## 左側下部カバー

用紙づまりの処置のときに開きます。

## ラック

原稿読取部を載せます。

## ラック接続ピン

ラックと本体(出力部)を接続します。

## 原稿カバー

原稿を押さえます。

## コピーガラス

原稿をセットします。

## 操作パネル(●P24)

操作に必要なボタン、表示ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。

## プリンタ用操作パネル\*

プリンタ機能を使うとき操作します。

## フロントカバー

ドラム/トナーカートリッジを交換するときに開きます。

## 用紙トレイ

(●P189)

用紙をセットします。

## ストッパ

機械の位置を固定します。

\*印の装置や部品はオプションです。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

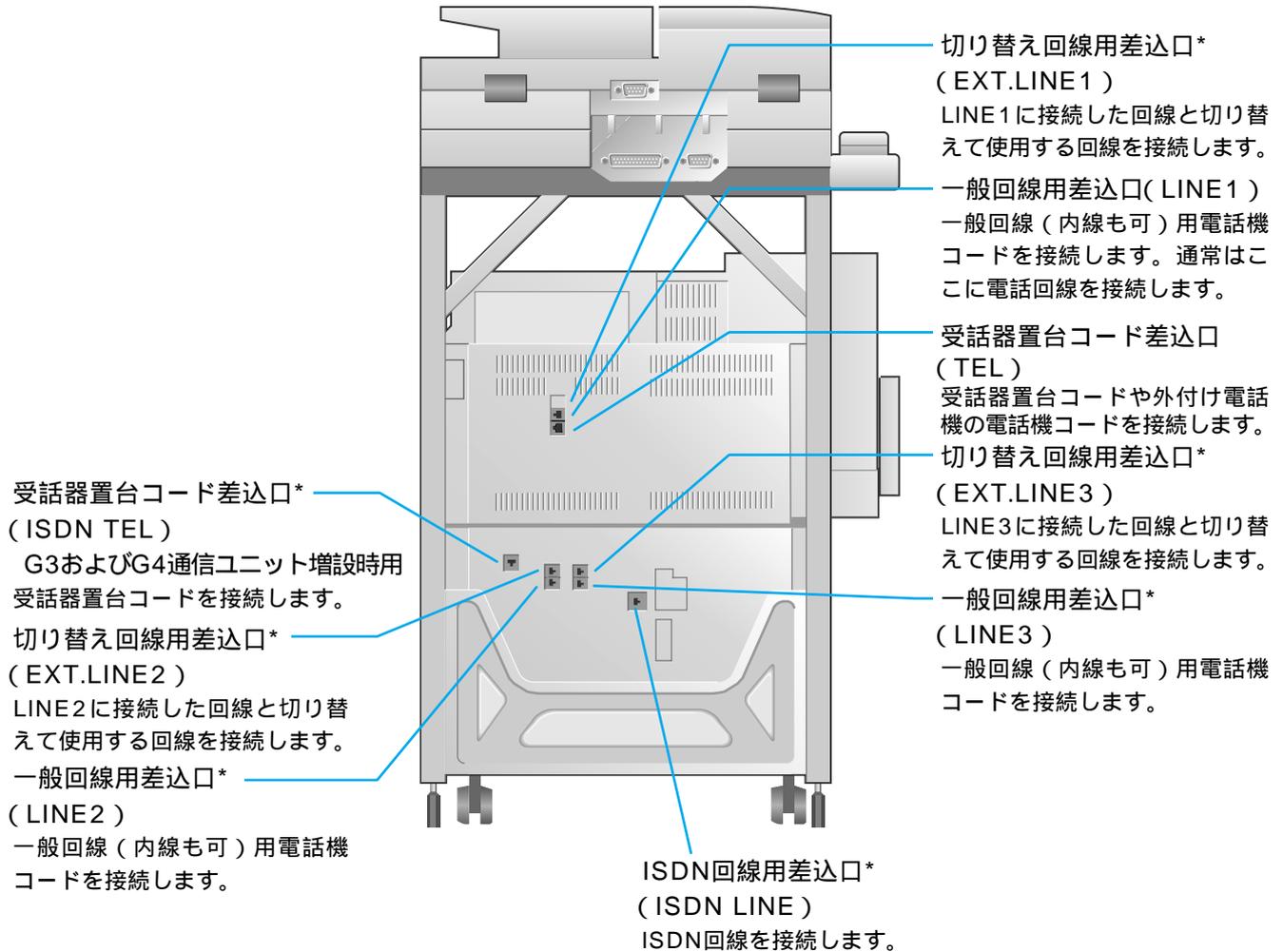
6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

## 【装置背面図】



\*印の装置や部品はオプションです。



### お知らせ

電話回線の接続については、「電源、電話回線を接続する」(●応用P338)を参照してください。



# 各部の名前とはたらき

## 【操作パネル】

### [ 割り込み ] ボタン

連続コピー中や受信原稿のプリント中に、他のコピーを優先させたいときに押します。

### 「割り込み」ランプ

割り込みボタンを押すと点灯します。

### 「蓄積文書あり」ランプ

メモリに文書を蓄積しているときに点灯します。

### 「通信中」ランプ

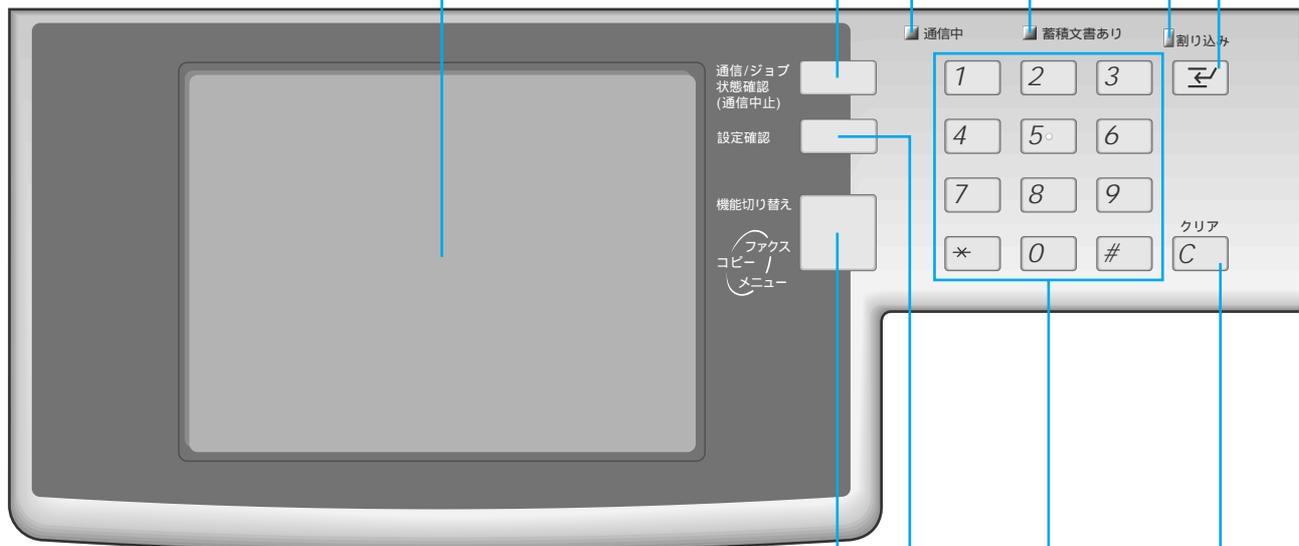
通信中に点灯します。

### [ 通信/ジョブ状態確認 (通信中止) ] ボタン

通信状態を確認するときや、通信を中止するときに押します。

### タッチパネルディスプレイ

表示される機能ボタンに直接指で触れて操作します。



### [ 機能切り替え ] ボタン

メニュー画面、コピー画面、ファクス画面に切り替えるときに押します。

### [ 設定確認 ] ボタン

設定されている機能を確認するときに押します。

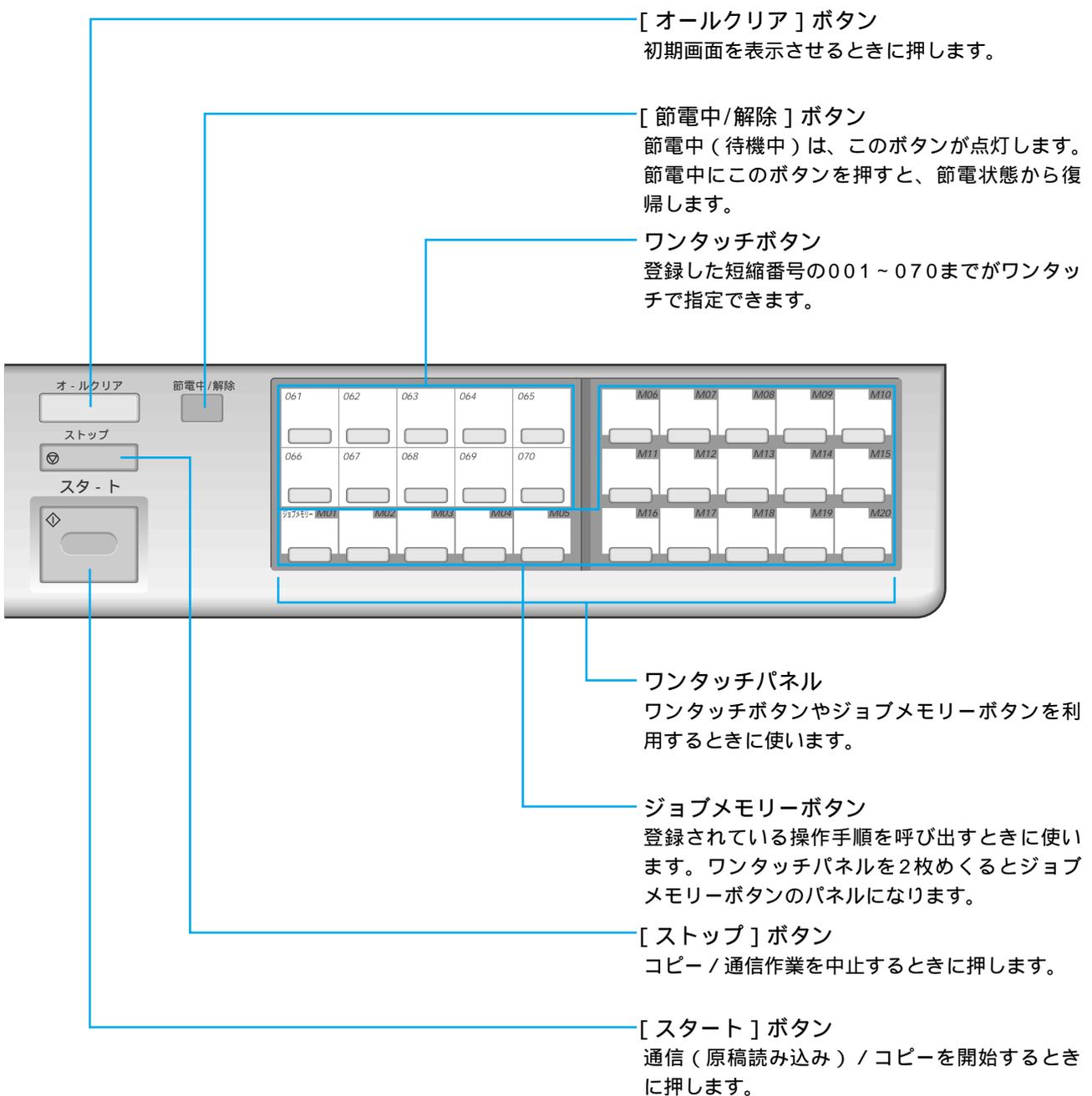
### ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、コピー部数を入力するとき、各種機能設定時に数値を入力するときなどに押します。

**\*** ボタン、**#** ボタンは、通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

### [ クリア ] ボタン

入力した文字や数字を消去するときなどに押します。

1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
な機能を使う  
コピーの便利5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかけるノ8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときには

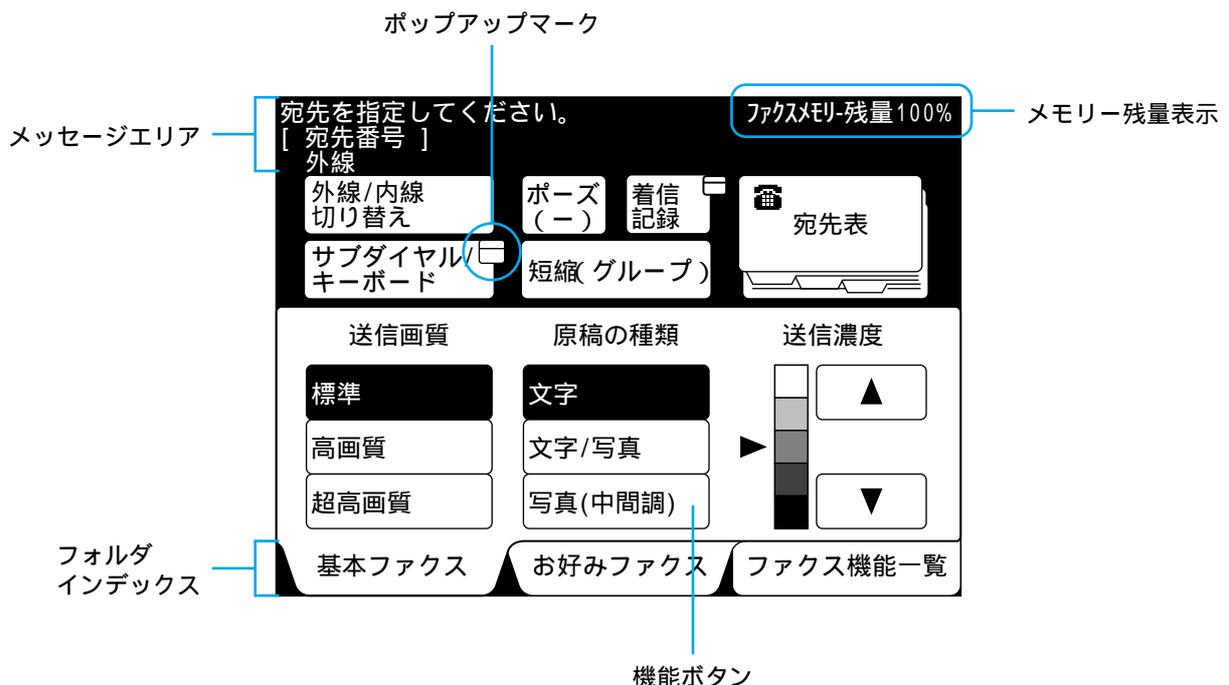
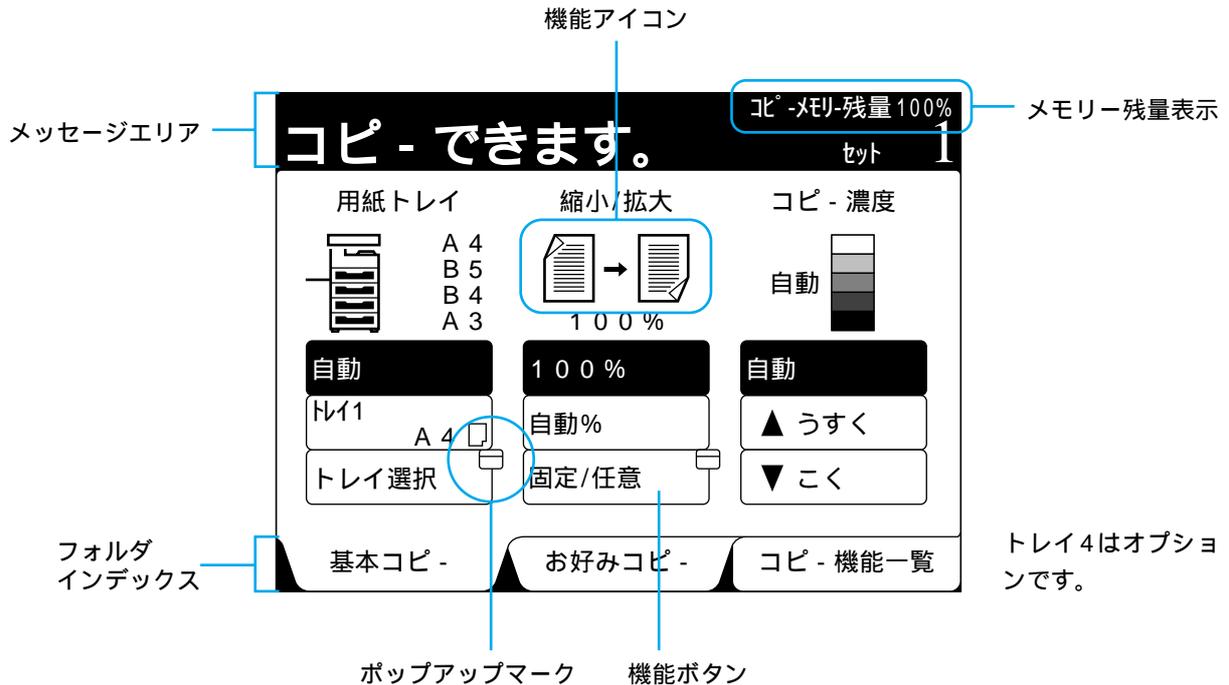


# タッチパネルディスプレイの使い方

## タッチパネルディスプレイの各部の名前とはたらき

タッチパネルディスプレイに表示される各部の名前とそのはたらきを説明します。

ここでは、コピー画面の基本コピーフォルダとファクス画面の基本ファクスフォルダを例に説明します。



用紙トレイの「トレイ4」の表示は、増設記録紙カセット（オプション）装着時のみ表示されます。  
 外線/内線切り替え表示は、外線/内線切替キット（オプション）装着時のみ表示されます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

名称	機能
メッセージエリア	機械の状態や操作ガイドなどのメッセージが表示されます。
機能ボタン	機能の設定や指示をするときに選択します。黒く反転表示しているボタンが選択されています。
ポップアップマーク	ポップアップ画面(●下欄)が用意されていることを示します。このマークのついて いる機能ボタンを選択すると、ポップアップ画面が表示されます。
フォルダインデックス	他の画面に切り替えるときに選択します。選択したフォルダインデックスの画面が、 いちばん上に表示されます。
機能アイコン	機能の設定状態が絵で表示されます。
メモリー残量表示	コピー画面ではコピーで、ファクス画面ではファクスで使用するメモリの残量が表示されます。



**お知らせ**

枠が点線で表示されているボタンを選択することはできません。

コピー画面の用紙トレイの機能アイコンは、装着しているオプションによって異なる場合があります。

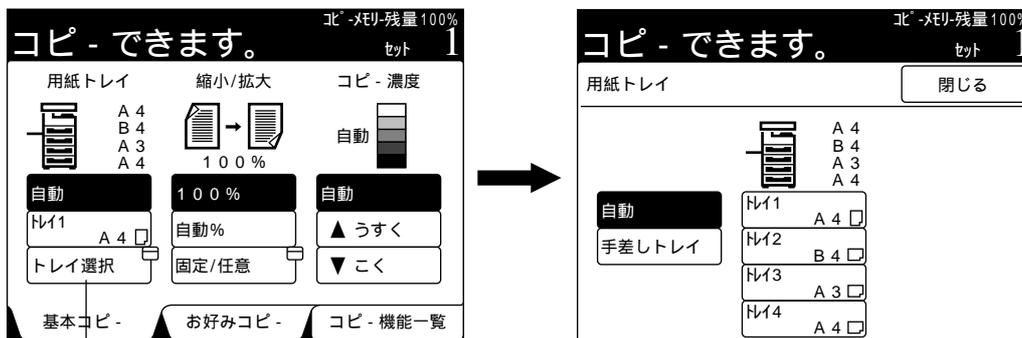
画面上の用紙トレイ欄に表示されている用紙サイズが、現在用紙トレイにセットされている用紙です。表示されてい  
ない場合は、用紙がないか、用紙トレイがセットされていない状態です。

メモリー残量が少ない状態で送信が開始された場合は、以下のようになります。

- DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿を複数枚セットし送信すると、相手の受信画像の発信元記録部の枚数表示  
に分母の総枚数が表示されません。
- 原稿をセットし送信する場合、**次の原稿あり** が選択できません。
- 送信シートを付けて送信しても、送信シートに送信枚数が表示されません。

**ポップアップ画面を表示する**

ポップアップマークのついてる機能ボタンを選択すると、設定を行うための画面(ポップアップ画面)が表示されます。



ここを押すと右の画面が表示されます

**画面の見かた**

操作手順中の画面では、選択できる範囲はすべて水色で表わしていますので、実際の画面とは異なる場合があります。実際の画面では前に選択された機能ボタンが反転表示となっている場合でも、本書ではすべて水色として表示しています。



# タッチパネルディスプレイの使い方

タッチパネルディスプレイでは、ディスプレイ上のボタンに直接指で触れることによって、各種機能の選択や、文字の入力が行えます。

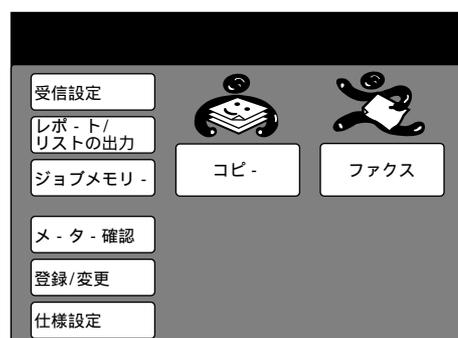
## タッチパネルディスプレイの画面表示のしかた

### メニュー/コピー/ファクス画面を表示させる

[機能切り替え] ボタンを押すごとに、メニュー画面、コピー画面、ファクス画面と切り替わります。お買い求め時には、電源を入れるとメニュー画面が最初に表示されるように設定されています。コピー画面かファクス画面が最初に表示されるように、設定を変更することもできます。(●応用P201、294)

#### メニュー画面

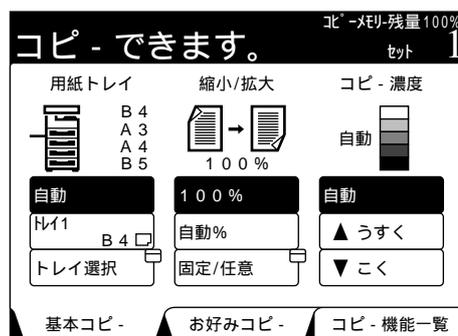
メニュー画面では、画面上にあるボタンを選択して、それぞれの設定画面を表示することができます。



#### コピー画面

コピー画面では、コピーの各種機能を選択することができます。コピー画面には、基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の3つの画面があります。(●P29)

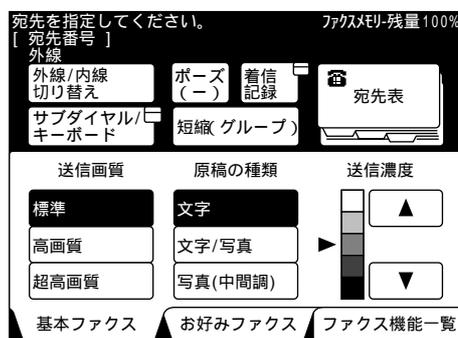
用紙トレイの「トレイ4」の表示は、増設記録紙カセット(オプション)装着時のみ表示されます。



#### ファクス画面

ファクス画面では、ファクスの各種機能を選択することができます。ファクス画面には、基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧の3つの画面があります。(●P30)

「外線/内線切り替え」表示は、外線/内線切替キット(オプション)装着時のみ表示されます。



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける／

8  
接続して使う  
留守番電話機を

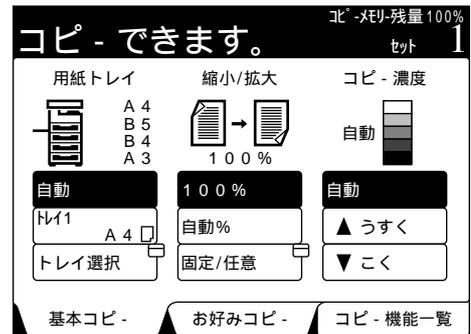
9  
こんなときには

## 基本コピー / お好みコピー / コピー機能一覧画面を表示させる

「コピーできます。」と表示されるコピー画面には、基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の3種類の画面があります。お買い求め時には、コピー画面を表示すると基本コピー画面がいちばん上に表示されるように設定されています。お好みコピー画面かコピー機能一覧画面がいちばん上に表示されるように、設定を変更することもできます。(●応用P202、294)

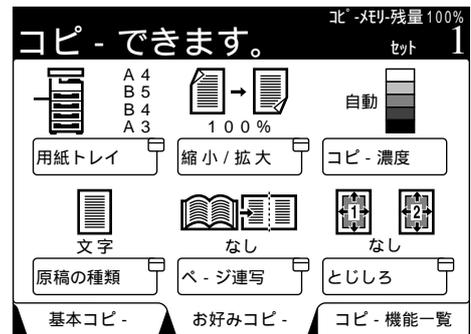
### 基本コピー画面

**基本コピー** を選択すると、右図のような画面が表示されます。



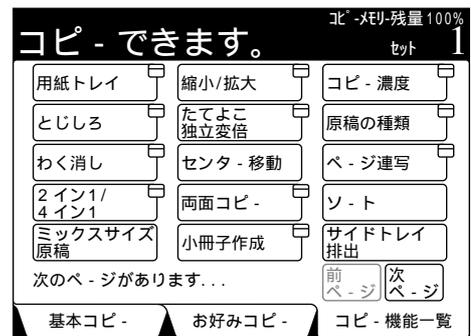
### お好みコピー画面

**お好みコピー** を選択すると、右図のような画面が表示されます。お好みコピー画面に表示される6つの機能は、変更することができます。(●応用P204、294)

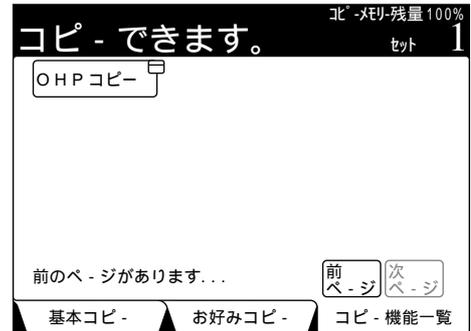


### コピー機能一覧画面

**コピー機能一覧** を選択すると、右図のような画面が表示されます。  
**小冊子作成** は、自動両面ユニット(オプション)装着時に表示されます。  
**サイドトレイ排出** は、サイドトレイキット(オプション)装着時に表示されます。



**次ページ** を選択すると、コピー機能一覧画面の次のページが表示されます。  
**前ページ** を選択すると、前のページに戻ります。





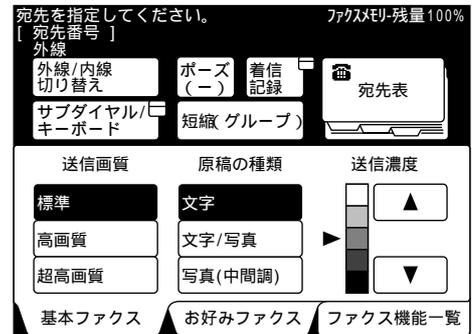
# タッチパネルディスプレイの使い方

## 基本ファクス / お好みファクス / ファクス機能一覧画面を表示させる

「宛先を指定してください」と表示されるファクス画面には、基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧の3種類の画面があります。お買い求め時には、ファクス画面を表示すると基本ファクス画面がいちばん上に表示されるように設定されています。お好みファクス画面かファクス機能一覧画面がいちばん上に表示されるように、設定を変更することもできます。(●応用P260、296)

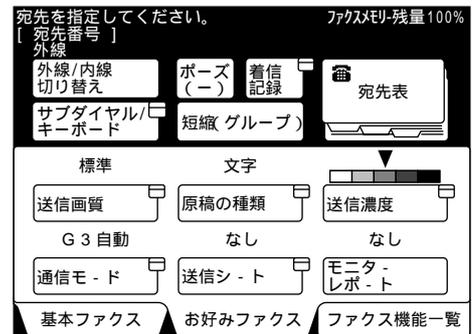
### 基本ファクス画面

**基本ファクス** を選択すると、右図のような画面が表示されます。  
**外線 / 内線切り替え** 表示は、外線 / 内線切替キット (オプション) 装着時のみ表示されます。



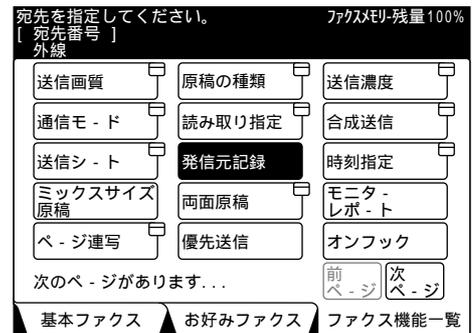
### お好みファクス画面

**お好みファクス** を選択すると、右図のような画面が表示されます。お好みファクス画面に表示される6つの機能は、変更することができます。(●応用P262、296)

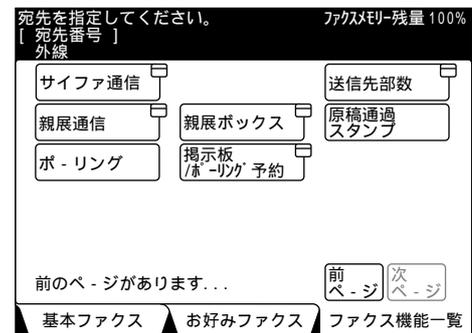


### ファクス機能一覧画面

**ファクス機能一覧** を選択すると、右図のような画面が表示されます。

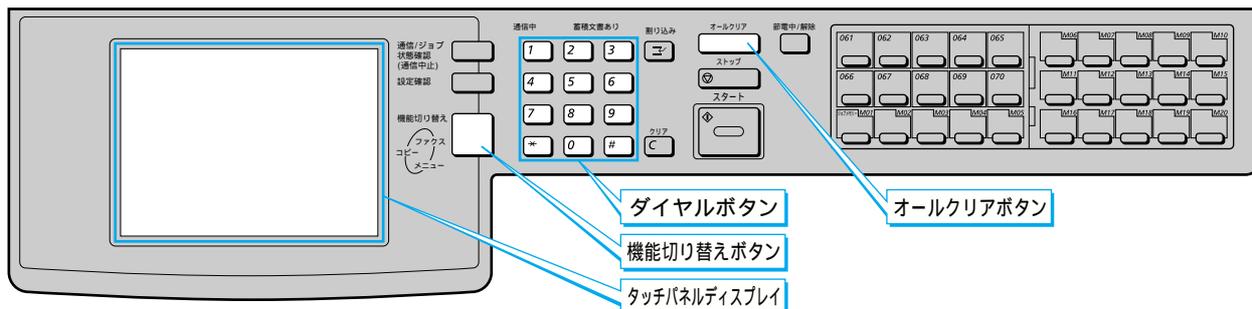


**次ページ** を選択すると、ファクス機能一覧画面の次のページが表示されます。**前ページ** を選択すると、前のページに戻ります。  
**原稿通過スタンプ** は、済スタンプキット (オプション) 装着時に表示されます。



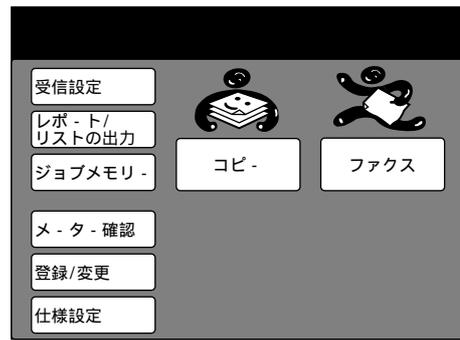
# 日付 / 時刻を合わせるには

本装置をお使いになる前に、現在の日付と時刻を設定してください。  
時刻を指定して送信するときや、レポートなどに正確な通信時刻を記録するために必要です。

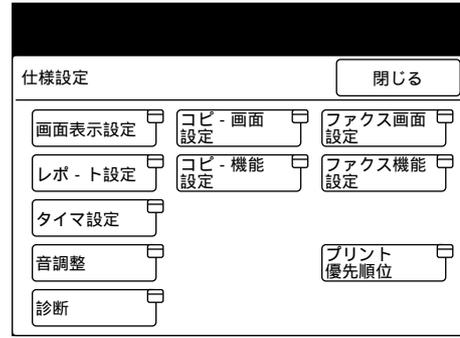


**1** タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **仕様設定** を選択します。

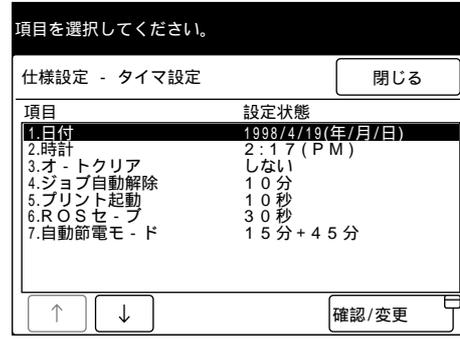
メニュー画面が表示されていないときは、[ 機能切り替え ] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



**2** **タイム設定** を選択します。



**3** **1.日付** が選択されていることを確認し、**確認/変更** を選択します。



次ページに続きます。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファクスを

6 受ける  
ファクスを

7 受ける  
電話をかける /

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 こんなときには



# 日付 / 時刻を合わせるには

4

**年/月/日選択** を選択し、変更したい項目に **▶** を表示させます。

**年/月/日選択** に繰り返し指で触れるごとに、**▶** の表示される項目が変わります。

テンキ - で入力してください。

1.日付

年 (1997~2096) 月 (1~12) 日 (1~31)

▶ 1998 / 4 / 21

5

ダイヤルボタンで数字を入力します。

ここでは例として「1998」年「4」月「21」日を入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

6

手順4~5を繰り返して年/月/日を正確に入力し、**決定** を選択します。

7

**2.時計** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

項目を選択してください。

仕様設定 - タイマ設定

項目	設定状態
1.日付	1998/4/21(年/月/日)
2.時計	2:17(P.M)
3.オ-トクリア	しない
4.ジョブ自動解除	1.0分
5.プリント起動	1.0秒
6.ROSセ-ブ	3.0秒
7.自動節電モ-ド	1.5分+4.5分

8

**確認/変更** を選択します。

9

**12時間制表示** か **24時間制表示** のどちらかを選択します。

**24時間制表示** を選択した場合は手順11に進みます。

テンキ - で入力してください。

2.時計

表示切り替え 時 分

PM (1~12) (00~59)

▶ 2 時 17 分

10

**午前(A.M)** か **午後(P.M)** のどちらかを選択します。

画面は、手順9で **12時間制表示** を選択した場合の例です。

テンキ - で入力してください。

2.時計

表示切り替え 時 分

PM (1~12) (00~59)

▶ 2 時 17 分

1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする  
コピーする4  
コピーの便利な機能を使う  
コピーの便利な機能を使う5  
送る  
ファックスを送る6  
受ける  
ファックスを受ける7  
受ける  
電話をかける／受ける8  
接続して使う  
留守番電話機を接続して使う9  
こんなときには

**11** **時/分選択** を選択し、変更したい項目に ▶ を表示させます。

画面は、手順10で **午後 (PM)** を選択した場合の例です。  
**時/分選択** に繰り返し指で触れるごとに、▶ の表示される項目が変わります。

**12** **ダイヤルボタン** で数字を入力します。

ここでは例として「9」時「25」分を指定します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

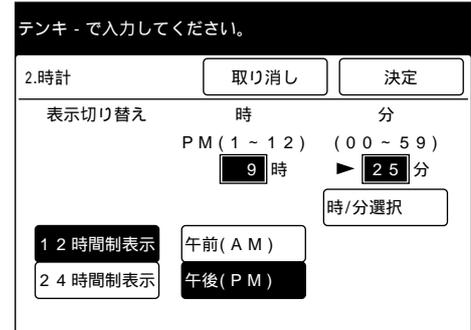
**13** 手順11～12を繰り返して時/分を正確に入力し、**決定** を選択します。

**決定** を選択した時点で、秒は「00」秒から始まります。

**14** **閉じる** を選択します

**15** **[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

**STOP** **お願い**

時刻表示はあくまでも目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は、登録をやり直してください。(時間精度：平均月差 ± 30秒以内)



# 会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを登録するには

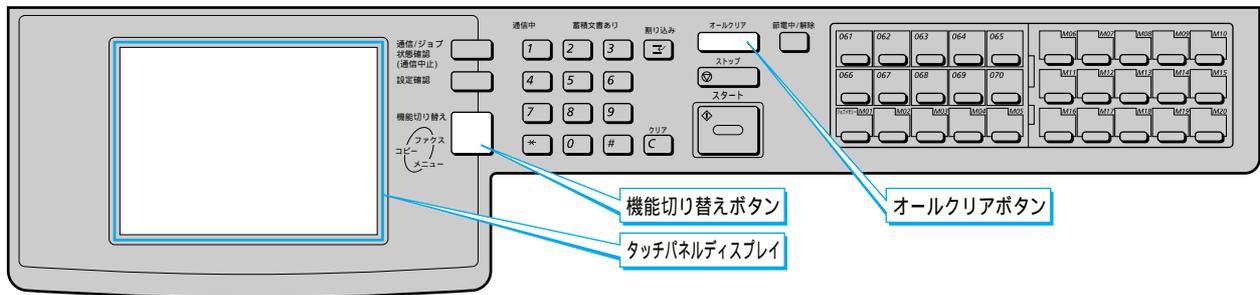
本装置をお使いになる前に、自局名（会社の名前など）や発信元名（発信元記録などにプリントされる自局の名称）などを登録します。また、使用する通信モードごとに、必ず以下のダイヤル種別、回線種別などの登録/設定を行ってください。

## G3通信を行う場合

G3で利用できる回線は、最大3回線（オプション装着時）です。G3 IDは回線ごとに登録できます。G3 IDの登録、ダイヤル種別/回線種別の設定（●P38）

## G4通信を行う場合 G4通信ユニット（オプション）装着時

G4で利用できる回線は、最大2回線（オプション装着時）です。G4 IDは回線ごとに登録できます。G4 IDの登録（●P42）、ISDN IDの登録（●P44）



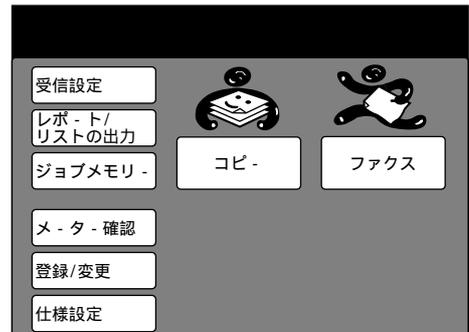
## 自局名を登録する

自局の名前を登録します。自局名は、相手先のディスプレイや通信管理レポートに表示されます。

タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

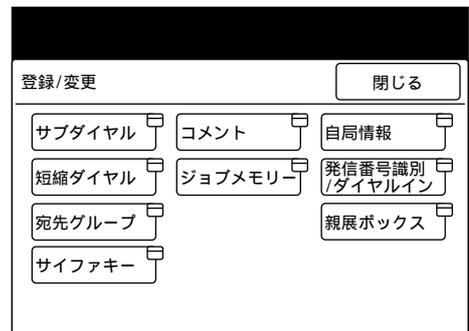
1

メニュー画面が表示されていないときは、[ 機能切り替え ] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



**自局情報** を選択します。

2



1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファックスを

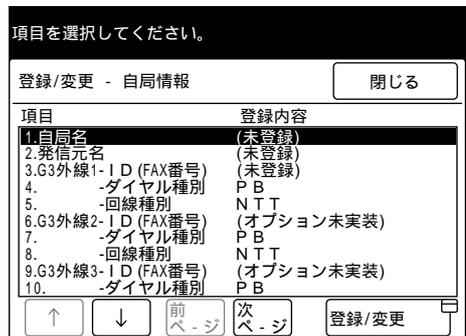
6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかけるノ

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 9  
こんなときには

**3** 1.自局名 が選択されていることを確認し、**登録/変更** を選択します。



**4** 自局名 (カタカナ / 英数字 / 記号で最大20文字) を入力します。  
文字を入力するには (P48)  
ここでは例として「NTTトウキョウ」と入力します。



**5** **決定** を選択します。  
登録を取り消したい場合には、**取り消し** を選択します。

**6** **閉じる** を選択します。  
続けて発信元名を登録するときは、[ 閉じる ] を選択せずに、P36の手順3に進みます。

**7** **[オールクリア]** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。

**ワンポイント** .....  
登録操作を中止するには  
[ オールクリア ] ボタンを押します。

**お知らせ** .....

自局名は、通信時に相手のディスプレイに表示されますが、相手機種によっては表示されません。



# 会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを登録するには

## 発信元名を登録する

発信元の名前（会社名など）を登録します。発信元名は、発信元記録や送信シート（●P143、応用P52）などに出力される自局の名前です。

1

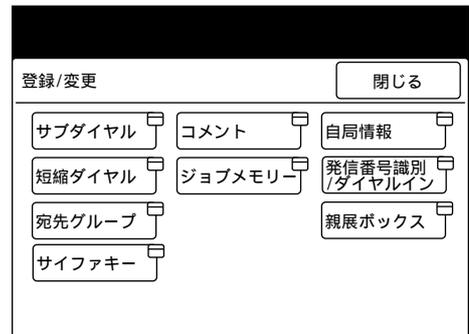
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



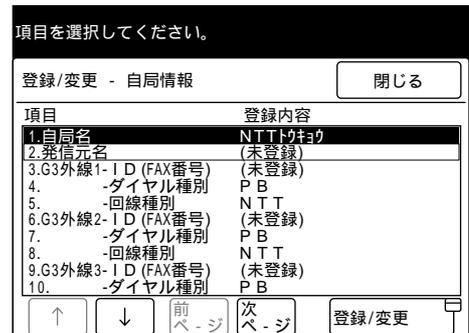
2

**自局情報** を選択します。



3

**2.発信元名** を、直接指で触れるか   を使って選択します。



4

**登録/変更** を選択します。



5

発信元名（最大30文字）を入力します。

文字を入力するには（●P48）  
ここでは例として「NTT東京」と入力します。

6

**決定** を選択します。

登録を取り消したい場合には、 **取り消し** を選択します。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファクスを

6  
受ける  
ファクスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

**7** **閉じる**を選択します。  
続けてG3 IDとダイヤル種別/回線種別を登録するときは、  
[閉じる]を選択せずに、P38の手順3へ進みます。

**8** **[オールクリア]ボタン**を押します。  
初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

登録操作を中止するには

[オールクリア]ボタンを押します。

発信元記録とは

ファクスを送信したときに、相手先の記録紙の先端にプリントされる送信日時や発信元名などを発信元記録といいます。いつどこから送信されたものなのかが、相手先で確認しやすくなります。

お買い求め時は、発信元記録をプリントするように設定されています。プリントされないように設定を変更することもできます。(●応用P304)



# 会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを登録するには

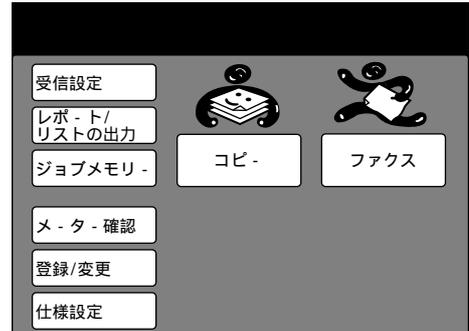
## G3 IDとダイヤル種別 / 回線種別を登録する

G3 IDには、通常、ファクスの電話番号を登録します。お買い求め時はダイヤル種別は「PB（ブッシュ回線）」に、回線種別は、外線が「NTT（一般電話回線）」、内線が「PBX（構内交換機）」に設定されています。

1

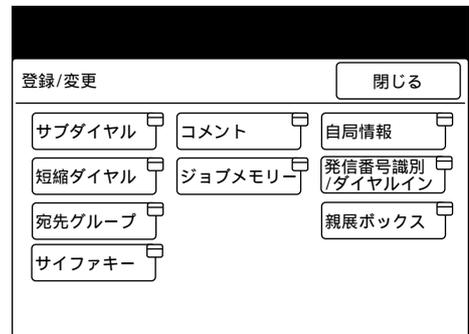
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



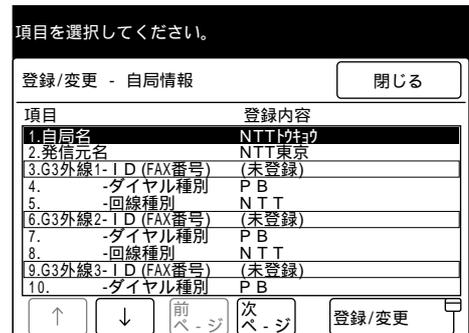
2

**自局情報** を選択します。



3

登録する **G3外線-ID (FAX番号)** を、直接指で触れるか   を使って選択します。



4

**登録/変更** を選択します。



5

ファクス番号 (最大20桁) を入力します。

文字を入力するには (●P48)

6

**決定** を選択します。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

7 **-ダイヤル種別** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

8 **登録/変更** を選択します。

9 **PB**、**10pps**、**20pps** の中からダイヤル種別を選択します。

10 **決定** を選択します。

11 **-回線種別** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

画面は、手順9で **PB** を選択した場合の例です。

12 **登録/変更** を選択します。

項目を選択してください。

登録/変更 - 自局情報 閉じる

項目	登録内容
1. 自局名	NTTufufufu
2. 発信元名	NTT東京
3. G3外線1-ID (FAX番号)	0337407951
4. -ダイヤル種別	P B
5. -回線種別	N T T
6. G3外線2-ID (FAX番号)	(未登録)
7. -ダイヤル種別	P B
8. -回線種別	N T T
9. G3外線3-ID (FAX番号)	(未登録)
10. -ダイヤル種別	P B

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

4. G3外線1 - ダイヤル種別 取り消し 決定

P B

10 pps

20 pps

項目を選択してください。

登録/変更 - 自局情報 閉じる

項目	登録内容
1. 自局名	NTTufufufu
2. 発信元名	NTT東京
3. G3外線1-ID (FAX番号)	0337407951
4. -ダイヤル種別	P B
5. -回線種別	N T T
6. G3外線2-ID (FAX番号)	(未登録)
7. -ダイヤル種別	P B
8. -回線種別	N T T
9. G3外線3-ID (FAX番号)	(未登録)
10. -ダイヤル種別	P B

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

次ページに続きます。



1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

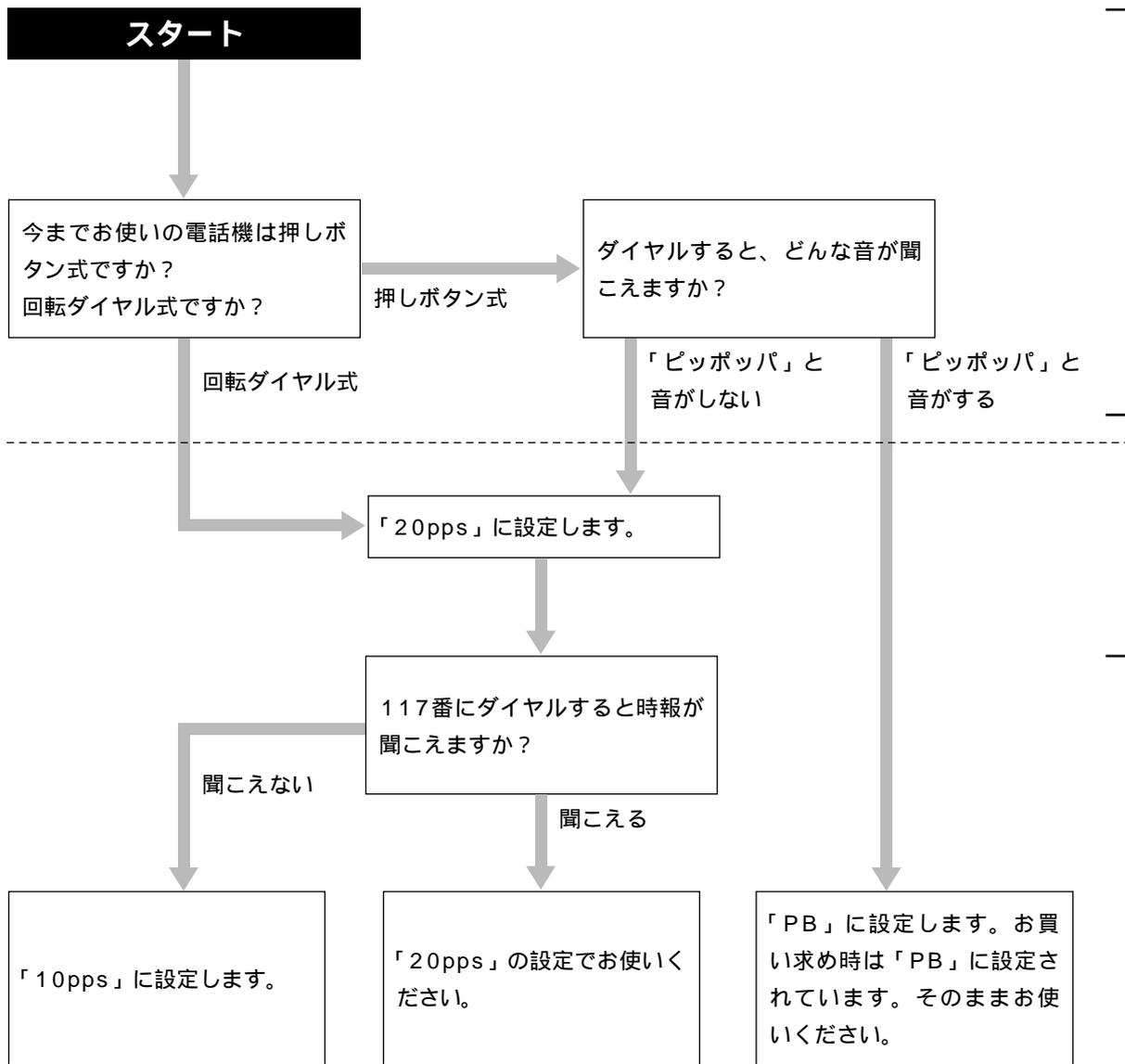
6 ファックスを受ける

7 電話をかける/受ける

8 留守番電話機を接続して使う

9 こんなときには

### ダイヤル種別を見分けるには



今までもお使いの電話機で確認します

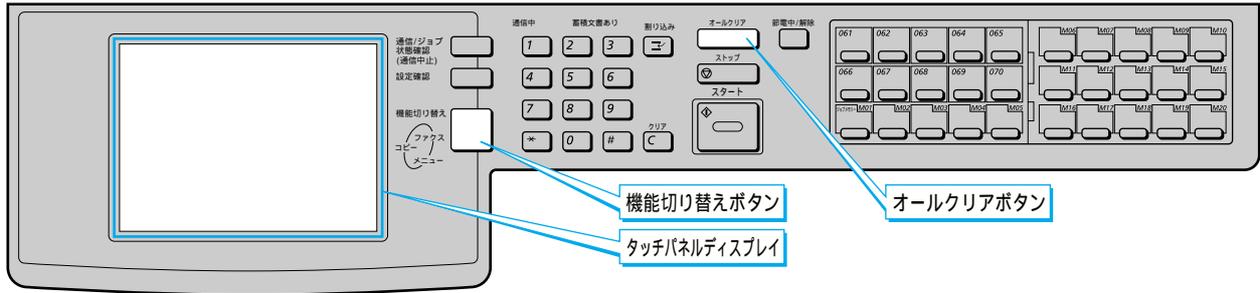
本装置で確認します

117番（時報） 177番（天気予報）にダイヤルすると、通話料金がかかります。

### STOP お願い

ダイヤル種別は正しく設定してください。正しく設定していないと、電話がかからなかったり、違う相手先にかかったりします。

# 会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを登録するには

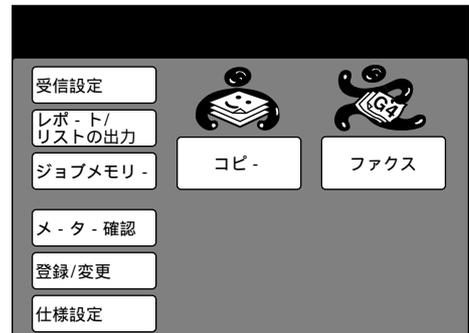


## G4 IDを登録する

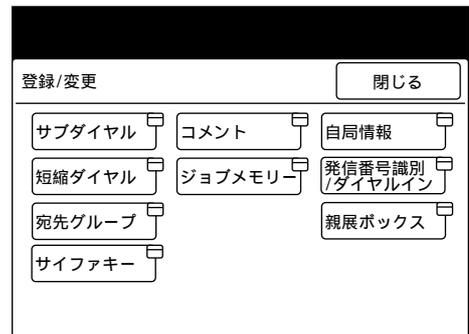
G4通信ユニット（オプション）を増設しているときは、G4 IDを登録します。  
G4 IDには、網/国別コード（日本は「81」）、加入者番号、加入者略号を登録します。

タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

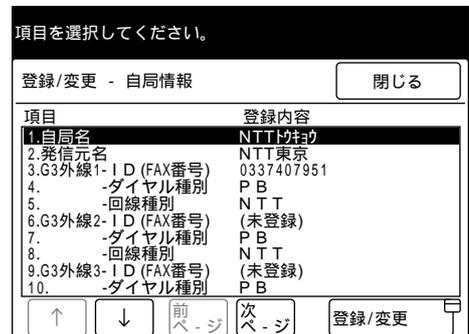
1 メニュー画面が表示されていないときは、[ 機能切り替え ] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2 **自局情報** を選択します。



3 **次ページ** を2回選択します。



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける／

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

**4** 登録する **G4回線-ID** を、直接指で触れるか□□を使って選択します。

**5** **登録/変更** を選択します。

**6** **G4 ID**を入力します。

画面は、手順4で **21.G4回線1-ID** を選択した場合の例です。  
文字を入力するには (●P48)  
< G4 IDのしくみ >

網 / 国別コード	-	加入者番号	=	加入者略号
最大15文字			最大24文字	

網 / 国別コード : 1文字以上4文字以下の数字  
日本の国別コードは81です。

加入者番号 : 12文字以内の英数 / 記号  
通常市外局番の0をとった番号を登録します。

加入者略号 : 3文字以上の英字

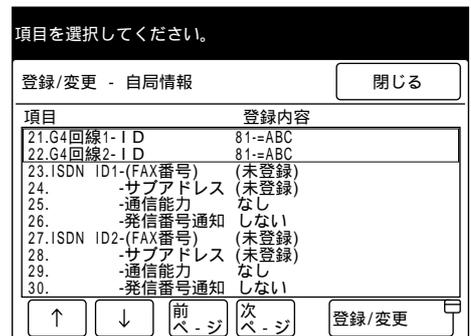
**7** **決定** を選択します。

**8** **閉じる** を選択します。

**9** **[オールクリア]** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。

 **ワンポイント** .....

登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。





# 会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを登録するには

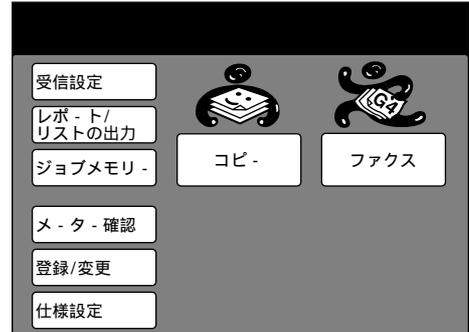
## ISDN IDを登録する

本装置をISDN回線に接続してご利用になるときは、ISDN IDを登録します。登録する各項目については、「ISDN IDの各項目について」(P47)を参照してください。

1

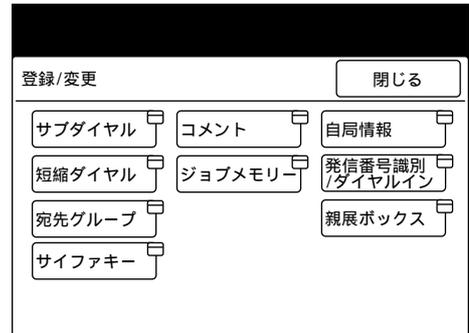
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**自局情報** を選択します。



3

**次ページ** を2回選択します。



4

登録する **ISDN ID-(FAX番号)** を、直接指で触れるか   を使って選択します。



5

**登録/変更** を選択します。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

45

**6** **ファクス番号を入力します。**  
文字を入力するには (●P48)

**7** **決定** を選択します。  
サブアドレスを登録しない場合は手順12に進みます。

**8** **-サブアドレス** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

**9** **登録/変更** を選択します。

**10** **サブアドレスを入力します。**  
文字を入力するには (●P48)

**11** **決定** を選択します。

**12** **-通信能力** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

**13** **登録/変更** を選択します。

次ページに続きます。

23. ISDN ID 1 - (FAX番号)    取り消し    決定

▶ 0335094202

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	後退
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	空白
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	
u	v	w	x	y	z					シフト

記号    英/数

項目を選択してください。

登録/変更 - 自局情報    閉じる

項目	登録内容
21.G4回線1-ID	81-335094202=NTT
22.G4回線2-ID	(未登録)
23.ISDN ID1-(FAX番号)	0335094202
24. -サブアドレス	(未登録)
25. -通信能力	なし
26. -発信番号通知	しない
27.ISDN ID2-(FAX番号)	(未登録)
28. -サブアドレス	(未登録)
29. -通信能力	なし
30. -発信番号通知	しない

↑   ↓   前ページ   次ページ   登録/変更

24. ISDN ID 1 - サブアドレス    取り消し    決定

▶ 0001

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	後退
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	空白
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	
u	v	w	x	y	z					シフト

記号    英/数

項目を選択してください。

登録/変更 - 自局情報    閉じる

項目	登録内容
21.G4回線1-ID	81-335094202=NTT
22.G4回線2-ID	(未登録)
23.ISDN ID1-(FAX番号)	0335094202
24. -サブアドレス	0001
25. -通信能力	なし
26. -発信番号通知	しない
27.ISDN ID2-(FAX番号)	(未登録)
28. -サブアドレス	(未登録)
29. -通信能力	なし
30. -発信番号通知	しない

↑   ↓   前ページ   次ページ   登録/変更



# 会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを登録するには

14

通信能力を選択します。

設定方法はP47を参照してください。

25. ISDN ID 1 - 通信能力

電話	G 3	G 4
<input type="button" value="なし"/>	<input type="button" value="なし"/>	<input type="button" value="なし"/>
<input type="button" value="あり"/>	<input type="button" value="あり"/>	<input type="button" value="あり"/>

15

を選択します。

16

を、直接指で触れるか   を使って選択します。

画面は、手順14でG4のみ「あり」を選択した場合の例です。

項目を選択してください。

登録/変更 - 自局情報

項目	登録内容
21.G4回線1-ID	81-335094202=NTT
22.G4回線2-ID	81=ABC
23.ISDN ID1-(FAX番号)	0335094202
24. -サブアドレス	0001
25. -通信能力	G4
26. -発信番号通知	しない
27.ISDN ID2-(FAX番号)	(未登録)
28. -サブアドレス	(未登録)
29. -通信能力	なし
30. -発信番号通知	しない

17

を選択します。

18

または  を選択して、発信番号通知を行うかどうかを指定します。

26. ISDN ID 1 - 発信番号通知

19

を選択します。

20

を選択します。

21

を押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

### ISDN IDの各項目について

項目	内容
FAX番号	契約したISDN番号の市内局番と加入者番号を続けて登録します（最大32桁）。NTTのINSネットのダイヤルイン番号を取得している場合は、ID1～ID4にダイヤルイン番号を登録します。
サブアドレス	INSネットのサブアドレス通知サービスを利用する場合に、サブアドレス（最大19桁）を登録します。 サブアドレスとは、1本のISDN回線に接続された複数の通信機器を識別するための番号です。相手側もINSネットに加入していれば、「電話番号+サブアドレス」をダイヤルしてもらうことによって、本装置を特定して応答させることができます。 • サブアドレス通知サービスを利用しないときは、登録の必要はありません。
通信能力	ID1～ID4それぞれに通信能力（電話/G3/G4）を設定します。 • ファクス番号やサブアドレスを登録したときは、必ず設定してください。 電話：ISDN回線にかかってきた電話を受けたいとき <input type="checkbox"/> あり に設定します。 G3：ISDN回線にG3FAXから送られてくることがある場合に <input type="checkbox"/> あり に設定します。 G4：ISDN回線にG4FAXから送られてくることがある場合に <input type="checkbox"/> あり に設定します。
発信番号通知	発信者番号通知サービスは、自局の電話番号を相手機に知らせるサービスです。 • 登録したファクス番号やサブアドレスを相手先に通知するときは、必ず <input type="checkbox"/> する に設定してください。

### 発信者番号通知について

発信者番号（契約者回線番号またはダイヤルイン番号）を相手の方に通知する機能です。相手の方に通知する/しないを選択することができます。

「INSネット契約」	INSネットのご加入時に選択いただいた発信者番号通知サービスの契約種別には、通常通知（通話ごと非通知）、通常非通知（回線ごと非通知）があります。
「本装置の設定」	発信者番号を通知する/通知しないを指定する本装置の設定には、 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない があります。
「184、186」	電話番号の前に付加して発信者番号を通知する/通知しないを指定するダイヤル操作には「184（通知しない）」、「186（通知する）」があります。

#### あなたの電話番号の通知のされ方

- 「184」を相手の電話番号の前に付加してダイヤルすると、「INSネット契約」や「本装置の設定」にかかわらず、あなたの電話番号を相手の方に通知しません。
- 「186」を相手の電話番号の前に付加してダイヤルすると、「INSネット契約」や「本装置の設定」にかかわらず、あなたの電話番号を相手の方に通知します。
- 相手の電話番号だけをダイヤルすると、以下のとおり「INSネット契約」や「本装置の設定」の組み合わせによって、あなたの電話番号を通知する/しないが決まります。

「INSネット契約」、「本装置の設定」の組み合わせによる通知する/通知しない

		本装置の設定	
		しない	する
INS ネ ッ ト 契 約	通常通知（通話ごと非通知）	通知しません	通知します
	通常非通知（回線ごと非通知）	通知しません	通知します

すでに「常時通知拒否」ご契約の場合は、いかなる設定でも通知しません。（「184、186」は利用できません。）



# 文字を入力するには

文字の入力には、タッチパネルディスプレイに表示されるキーボードを使います。本装置では、数字、英字、記号、カタカナ、ひらがな、漢字が入力できますが、項目によって入力できる文字に制限があります。

## 英数字 / 記号を入力する

英数字や記号を入力するときには、以下のようなキーボードを使います。

### 英 / 数キーボード

このスクリーンショットは、タッチパネルに表示される「英 / 数」キーボードを示しています。キーボードには数字、英字、およびいくつかの機能キーが配置されています。以下の説明が各キーの役割を詳しく説明しています。

- 取り消し**: 入力を途中でやめるときに選択します。
- 決定**: 文字の入力を終了するときを選択します。
- 後退**: 1文字ずつ訂正したいときに選択します。
- シフト**: 1文字分のスペースを入力するときを選択します。また、シフトで大文字 / 小文字入力を切り替えます。
- 記号**: 下の記号キーボードを表示させたいときに選択します。
- 英 / 数**: 現在のキーボードモードを示しています。

### 記号キーボード

このスクリーンショットは、「記号」キーボードを示しています。このモードでは、数字、記号、および特殊文字が利用可能です。

- 記号**: 上の英 / 数キーボードを表示させたいときに選択します。



ワンポイント .....

数字や「#」「\*」を入力するには  
英 / 数キーボード、記号キーボードを使わずに、ダイヤルボタンで入力することもできます。

## ひらがな / カタカナ / 漢字を入力する

ひらがな / カタカナ / 漢字が入力できる項目では、以下のようなカタカナキーボード / ひらがなキーボードが表示されます。漢字を入力するときは、ひらがなから漢字変換して入力します。(「表示できる漢字一覧」●P200)

### カタカナキーボード

Callouts for the Katakana keyboard:

- 入力を途中でやめるときに選択します。
- 文字の入力を終了するときを選択します。
- 1文字ずつ訂正したいときを選択します。
- 1文字分のスペースを入力するときを選択します。
- シフトで大文字 / 小文字を切り替えます。
- ひらがなキーボードを表示させたいときを選択します。

### ひらがなキーボード

Callouts for the Hiragana keyboard:

- 漢字変換せずにそのまま入力するときを選択します。
- カタカナキーボードを表示させたいときを選択します。
- 漢字変換するときを選択します。漢字は1文字ずつ変換します。「単漢字変換」を選択すると下のキーボードのように下段に漢字が表示されます。

### 単漢字変換を選択したときのひらがなキーボード

Callouts for the '単漢字変換' mode:

- 漢字変換せずにひらがなのまま入力するときを選択します。
- 漢字変換の次候補を表示させるときを選択します。



### ワンポイント.....

カタカナキーボード / ひらがなキーボードが表示される項目は

短縮番号 (●P154、応用P17) の宛先名を登録するときや、発信元名 (●P36、応用P328) コメント (●応用P53、326) を登録するときに表示されます。短縮番号の索引文字 (●P154、応用P20) を登録するときにはひらがなキーボードは表示されますが、カタカナキーボードは表示されません。また、自局名 (●P34、応用P328) の登録のときにはカタカナキーボードは表示されますが、ひらがなキーボードは表示されません。

# 並行して行える動作（デュアルアクセス）について

本装置はデュアルアクセス動作ができます。原稿の読み込みや通信、記録の動作を同時に処理することが可能です。たとえば、メモリに蓄積した文章の送信中に次の送信予約をしたり、コピーを取ったりすることもできます。

印...動作可能    印...条件付きで動作可能    ×印...動作不可

現在の状態 次ジョブ	蓄積コピー中			文書蓄積中	ポーリング送信中	自動送信中			手動送信中		ビジネスホン通知中	同報中		自動受信		手動受信			
	ダイレクトコピー中	蓄積中	蓄積&プリント中			蓄積中	送信中	蓄積&送信中	蓄積&送信中	送信中		蓄積中	送信中	受信	プリント中	受信	プリント中	受信	プリント中
ダイレクトコピー	×	×	×	5	×	×	×	×	×			×			5	5		5	5
蓄積コピー	×	×	×	5	×	×	×	×	×			×			5	5		5	5
文書蓄積	×	×	×	4	×	×	×	×	×			×			4	4		4	4
文書送信					2	2	2	2	2	2	2		2	2		2	2		2
ポーリング送信					×	1	1	1	1	1	1		1	1		1	1		1
自動送信（蓄積）	×	×	×	4	×	×	×	×	×			×			4	4		4	4
手動送信（蓄積&送信）	×	×	×	3	×	8	8	8	8	8	1	×	8	8	3	3	8	3	3
同報（蓄積）	×	×	×	4	×	×	×	×	×			×			4	4		4	4
ビジネスホン通知					2	2	2	2	2	2	2		2	2		2	2		2
自動受信（受信）					1	1	1	1	1	1	1		1	1		1	1		1
手動受信/手動ポーリング（受信）					8	8	8	8	8	8	8		8	8		8	8		8
自動ポーリング（受信）					2	2	2	2	2	2	2		2	2		2	2		2
集信（受信）					2	2	2	2	2	2	2		2	2		2	2		2
中継同報（受信）					1	1	1	1	1	1	1		1	1		1	1		1
文書受信					1	1	1	1	1	1	1		1	1		1	1		1
文書プリント	×	×	×	×	4	4	4	4	4			4			×	×		×	×
手動レポートプリント	5	5	5	5	4	4	4	4	4			4			5	5		5	5
自動レポートプリント	7	7	7	7	6	6	4	4	4			6			7	7		7	7
受信プリント（分割ジョブ）	7	7	7	7	6	6	6	6	6			6			7	7		7	7
レポートプリント（分割ジョブ）	7	7	7	7	6	6	6	6	6			6			7	7		7	7
レポート送信（分割ジョブ）					2	2	2	2	2	2	2		2	2		2	2		2
リモートメンテナンス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
通話					1	1	1	1	1	1	1		1	1		1	1		1

- 1：空き回線があれば起動を受けつけます
- 2：空き回線なしならば通信は待たされます
- 3：空き回線あり、または空き資源（デュアルアクセス拡張キット（オプション））あり（ただし読み取り倍率を自動%以外に設定した場合）ならば起動を受けつけます
- 4：空き資源（デュアルアクセス拡張キット（オプション））あり（ただし読み取り倍率を自動%以外に設定した場合）ならば起動を受けつけ、なければジョブ予約となります
- 5：ジョブ予約になります  
分割ジョブとは、複数の異なるジョブが動作することです。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセッ  
ト

3  
コピーする

4  
な機能を使  
う  
コピーの便  
利

5  
送る  
ファクスを

6  
受ける  
ファクスを

7  
受ける  
電話をかける  
ノ

8  
接続して使  
う  
留守番電話機

9  
こんなとき  
には

現在の状態 次ジョブ	自動ポーリング中		集信中		中継同報中			文書受信 文書プリント中	文書プリント中	作成中	自動レポート		レポート送信中		リモートメンテナンス中	通話中	
	受信 中	プ リ ン ト 中	受 信 & プ リ ン ト 中	受 信 中	プ リ ン ト 中	受 信 & プ リ ン ト 中	受 信 中				プ リ ン ト 中	同 報 中	手 動 レ ポ ー ト 作 成 中	プ リ ン ト 中			作 成 中
ダイレクトコピー		5	5		5	5		5		5	5	5		5		×	
蓄積コピー		5	5		5	5		5		5	5	5		5		×	
文書蓄積		4	4		4	4		4		5	4	5		5		×	
文書送信	2		2	2		2	2	2	2						2	×	2
ポーリング送信	1		1	1		1	1	1	1						1	×	1
自動送信（蓄積）		4	4		4	4		4		4	4	4		4		×	
手動送信（蓄積&送信）	8	3	3	8	3	3	8	3	8	8	3	4	3	3	8	×	×
同報（蓄積）		4	4		4	4		4		4	4	4		4		×	
ビジネスホン通知	2		2	2		2	2	2	2						2	×	2
自動受信（受信）	1		1	1		1	1	1	1						1	×	1
手動受信/手動ポーリング（受信）	8		8	8		8	8	8	8						8	×	×
自動ポーリング（受信）	2		2	2		2	2	2	2						2	×	2
集信（受信）	2		2	2		2	2	2	2						2	×	2
中継同報（受信）	1		1	1		1	1	1	1						1	×	1
文書受信	1		1	1		1	1	1	1						1	×	1
文書プリント		×	×		×	×		×		×	×	×		×		×	
手動レポートプリント		5	5		5	5		5		5	5	5	5	5	5	×	
自動レポートプリント		7	7		7	7		7		7	7	7	5	7	5	×	
受信プリント（分割ジョブ）		7	7		7	7		7		7	7	7		7		×	
レポートプリント（分割ジョブ）		7	7		7	7		7		7	7	7		7		×	
レポート送信（分割ジョブ）	2		2	2		2	2	2	2						2	×	2
リモートメンテナンス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
通話	1		1	1		1	1	1	1						1	×	×

- 6： 空き資源（デュアルアクセス拡張キット（オプション）あり（ただし読み取り倍率を自動%以外に設定した場合）ならばプリントを受け付けます
- 7： プリントは待たされます
- 8： 通信ボード（増設G3ポート（オプション）、増設G4ポート（オプション））があれば起動を受け付けます

# 原稿について

コピー / 送信する原稿は、DADF（自動両面原稿送り装置）またはコピーガラスにセットします。原稿の状態や紙質、セットのしかたなどによっては、原稿づまりや原稿破損の原因になることがあります。セットするときは、以下の点に注意してください。

## DADF（自動両面原稿送り装置）にセットできない原稿

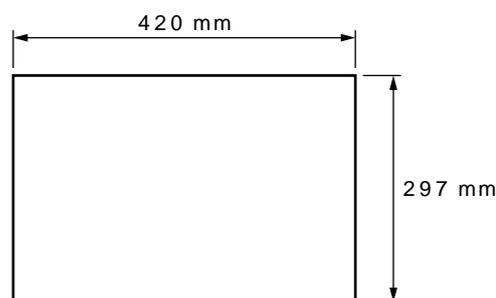
次のような原稿は、コピーガラスにセットしてください。

- 厚みのある原稿（パンフレット、小冊子）
- 破れ、のり貼り、つなぎ合わせ、穴あきのある原稿
- しわ、折れ、カールのはげしい原稿
- 感圧紙や裏カーボンなどの化学処理をした原稿
- 透過度の高い原稿（OHPフィルム、トレーシングペーパーなど）
- 鉛筆の粉が落ちやすい用紙（トレーシングペーパーなど）に鉛筆書きをした原稿
- 感熱紙
- 小さすぎる原稿（148 mm × 100 mm未満）
- A/B系列以外の原稿

A/B系列以外の原稿をDADF（自動両面原稿送り装置）にセットすると、読み取られない部分が発生する場合があります。A/B系列の定型サイズ以外の原稿は、コピーガラスにセットしてください。

## コピーガラスにセットする原稿について

コピーガラスにセットできる原稿の最小サイズの制限はありません。セットできる最大サイズは次のとおりです。



本装置が自動的にサイズを検知できるのはA5 □、A5 ㊦、B5 □、B5 ㊦、A4 □、A4 ㊦、B4 □、A3 □の定型サイズの原稿です。定型外の原稿や、透過度の高い原稿をセットするときは、用紙のサイズを指定してください。（●P59）



### お知らせ

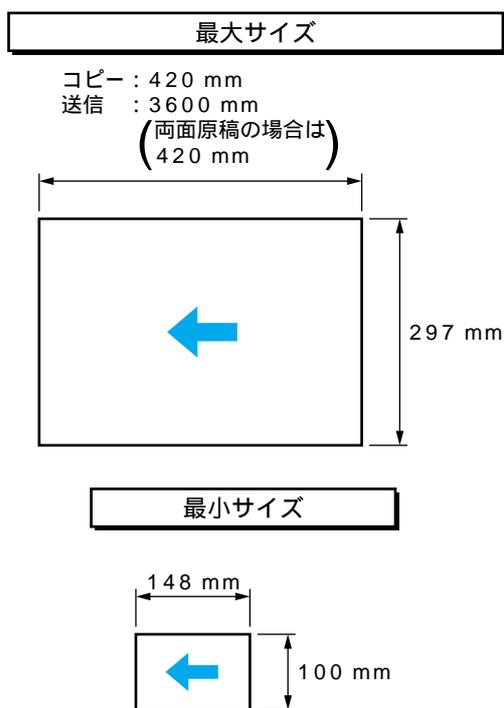
DADF（自動両面原稿送り装置）に原稿をセットする場合、読み取り可能な原稿の厚さは以下のとおりです。

原稿の種類	読み取り可能な厚さ
新聞紙	0.05 mm ~ 0.06 mm
上質紙	0.10 mm
官製はがき	0.23 mm

1  
前に  
お使用になる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
な機能を使う  
コピーの便利5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかける／8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときには

## DADF（自動両面原稿送り装置） にセットする原稿について

DADF（自動両面原稿送り装置）には、同サイズ  
の原稿が一度に複数枚セットできます。セットできる  
原稿のサイズと枚数は以下のとおりです。最大サイ  
ズは、コピーと送信とで異なります。



←：原稿送り方向

- メートル坪量\*  
片面原稿：35～110 g/m<sup>2</sup>  
両面原稿：50～110 g/m<sup>2</sup>  
\*メートル坪量とは、1m<sup>2</sup>の用紙1枚の質量をい  
います。
- 一度にセットできる枚数  
A3：35枚、B4：50枚、A4以下：50枚  
(64 g/m<sup>2</sup>)

### お知らせ

長さ432 mm以上の原稿をDADF（自動両面原稿送り装置）から送信する場合は、手で支えながら送信してください。

異なった紙質の原稿は、いっしょにDADF（自動両面原稿送り装置）にセットしないでください。

DADF（自動両面原稿送り装置）から長さ600 mm以上の原稿を送信したいときは、仕様設定の長尺原稿で3600 mmに切り替えます。（●応用P216、306）  
相手機により、上下左右が欠ける場合があります。原稿搬送中は原稿を押さえないでください。原稿づまりの原因になります。

排出された原稿を原稿排出口にためたり（A3：35枚、B4：50枚、A4以下：50枚まで）、原稿排出口に物をおかないでください。原稿づまりの原因になります。OHPフィルム、トレーシングペーパーの原稿サイズを自動的に検知することはできません。

DADF（自動両面原稿送り装置）を使用する場合に本装置が自動的に原稿サイズを検知できるのはA5□、B5□、B5△、A4□、A4△、B4△、A3△の定型サイズの原稿です。

A/B系列以外の原稿を自動両面原稿送り装置にセットすると、読み取らない部分が発生することがありますので、定型サイズの原稿をセットしてください。

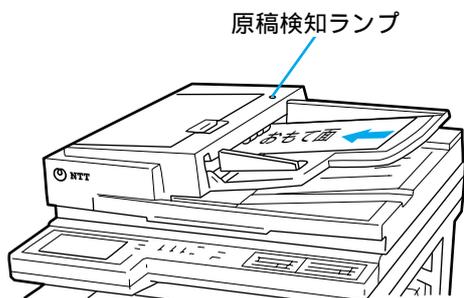
# 原稿をセットするには

コピー / 送信する原稿をセットする方法には、DADF（自動両面原稿送り装置）を利用する方法と、コピーガラスにセットする方法の2通りがあります。セット方法は、原稿のサイズや厚さ、枚数などによって使い分けます。（「原稿について」●P52）

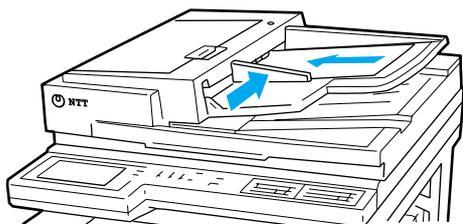
## 原稿をDADF（自動両面原稿送り装置）にセットする

DADF（自動両面原稿送り装置）は、複数枚の原稿を読み取り部に1枚ずつ送り込み、排出する装置です。一度にまとめてセットできるので、原稿を手でセットし直す手間が省けます。

- ① 原稿の先端をそろえて送信 / コピーする面（両面の場合は先に読み取る面）を上に向け、奥のガイドに沿わせます。原稿検知ランプが点灯します。



- ② 原稿ガイドを原稿の端に軽く当てます。

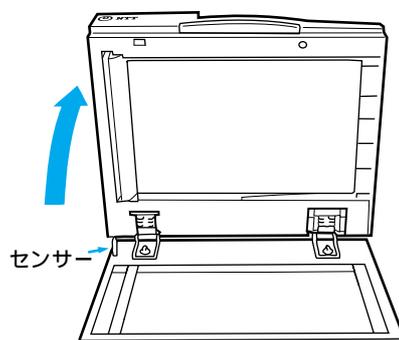


- ③ 排出された原稿を取り除きます。

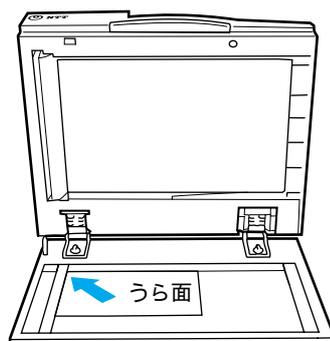
## 原稿をコピーガラスにセットする

原稿を1枚ずつセットします。

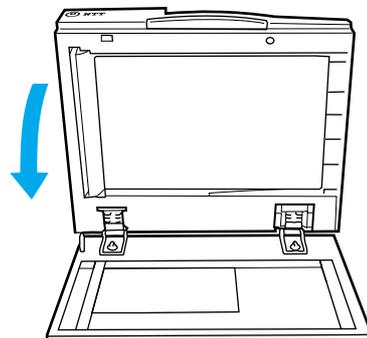
- ① 原稿カバーを持ち上げて開けます。棒状のセンサーが離れる位置まで開けてください。



- ② 送信 / コピーする面を下に向け、コピーガラス左奥の角に合わせて置きます。



- ③ 原稿カバーを静かに閉じます。



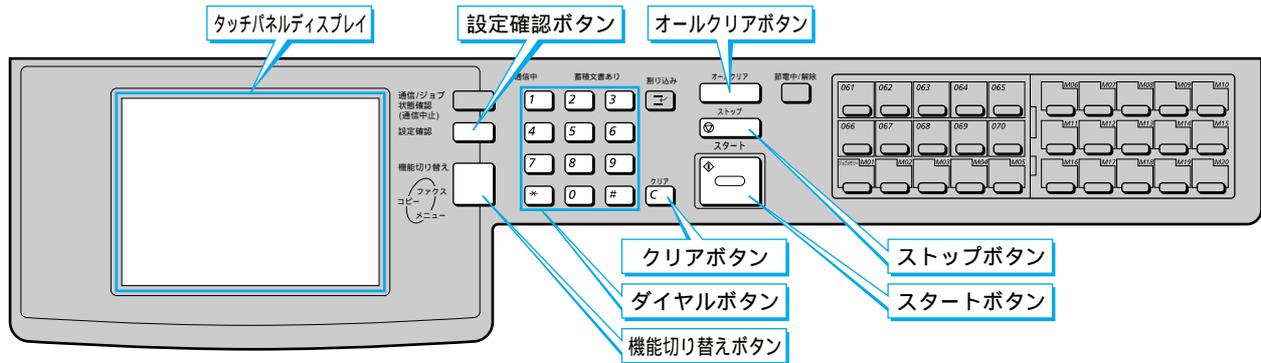
- ④ 読み取り終了後に原稿を取り除きます。





## 部数を指定してコピーするには

部数を指定して、原稿のコピーをとることができます（最大99部）。



## 1 原稿をセットします。（☛P54）

## 2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押し続けます。

用紙を指定してコピーするには（☛P59）  
 倍率を指定してコピーするには（☛P64）  
 コピー濃度を調整するには（☛P69）

## 3 コピーする部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

## 4 [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

次ページに続きます。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける／

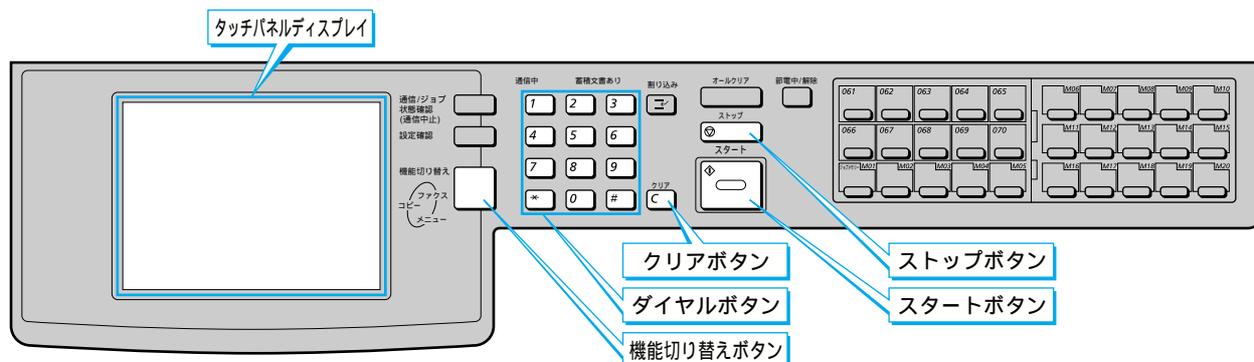
8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには



# 用紙を指定してコピーするには

用紙トレイにセットされている用紙から選んでコピーしたり、多重手差しトレイ（オプション）に用紙をセットしてコピーしたりすることができます。用紙を指定しないでコピーすると、原稿サイズと倍率に合った用紙が自動的に選択されます。



## セットされている用紙から選んでコピーする

用紙トレイにセットされている用紙から選んでコピーします。

### 1 原稿をセットします。(●P54)

### 2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押します。

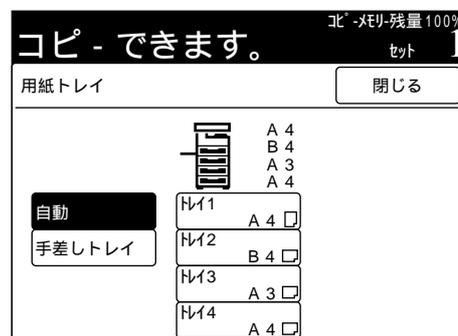
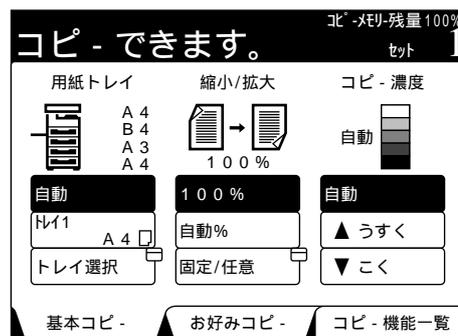
倍率を指定してコピーするには (●P64)  
コピー濃度を調整するには (●P69)

### 3 基本コピー画面で、用紙トレイの **トレイ選択** を選択します。

基本コピー画面が表示されていないときは、**基本コピー** のインデックスを選択します。

### 4 用紙トレイ (トレイ1～トレイ4) を選択します。

トレイ4はオプションです。



次ページに続きます。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかけるノ

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 こんなときには

# 用紙を指定してコピーするには



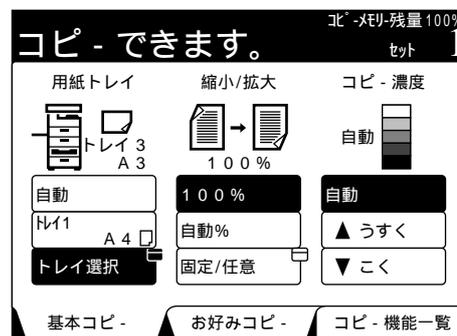
**5** **閉じる** を選択します。

画面は手順4で **トレイ3 A3** を選択した場合の例です。



**6** 必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(P140)



**7** コピーする部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

**8** [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

**ワンポイント** .....

コピー操作を中止するには [ストップ] ボタンを押します。

特定の用紙トレイを選択することが多い場合は 用紙トレイの初期値は、お買い求め時には、**自動** に設定されています。初期値を特定の用紙トレイに変更することもできます。(P175、300)

**お知らせ** .....

選択した用紙トレイに用紙がセットされていないときや、原稿と用紙の向きが異なるときなどは、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

用紙トレイは、コピー機能一覧の画面から設定することもできます。(P29)

手順3で、**自動** と **トレイ選択** の間には、自動解除時に選択されるトレイが表示されます。(P59、応用P195、302)

オプションによって、タッチパネルディスプレイに表示されるトレイの数や機能アイコンは異なります。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

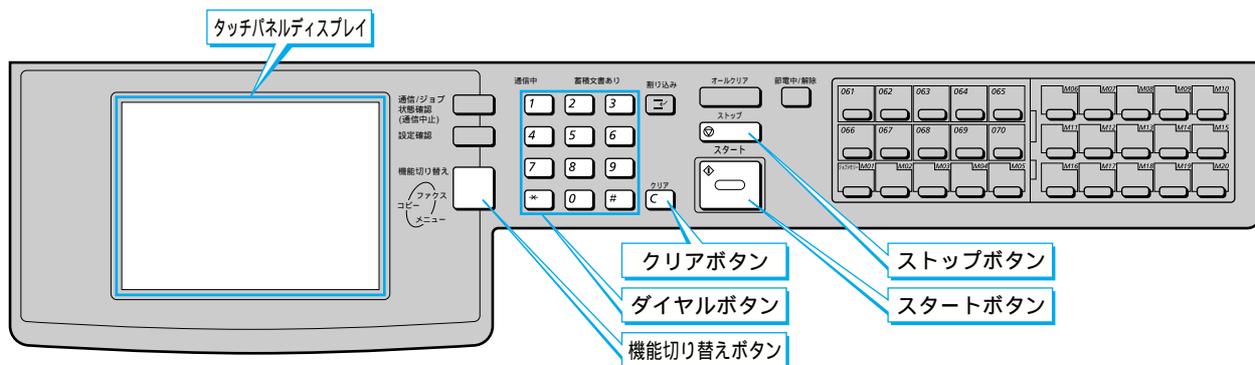
5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかけるノ

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 こんなどきには



## 定型外や厚手の用紙をセットしてコピーする

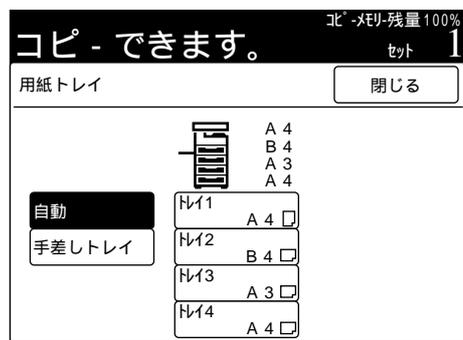
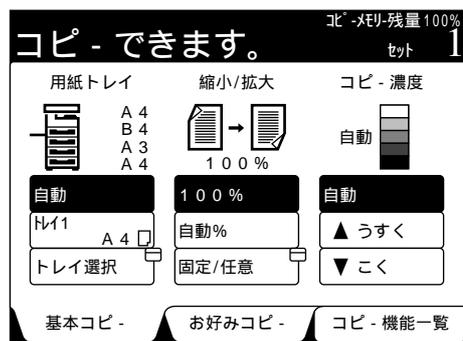
用紙トレイにセットできない定型外や厚手の用紙にコピーするときは、多重手差しトレイ（オプション）に用紙をセットしてコピーします。

**1** 原稿をセットします。（●P54）

**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。  
倍率を指定してコピーするには（●P64）  
コピー濃度を調整するには（●P69）

**3** 基本コピー画面で、用紙トレイの **トレイ選択** を選択します。  
基本コピー画面が表示されていないときは、 **基本コピー** のインデックスを選択します。

**4** **手差しトレイ** を選択します。



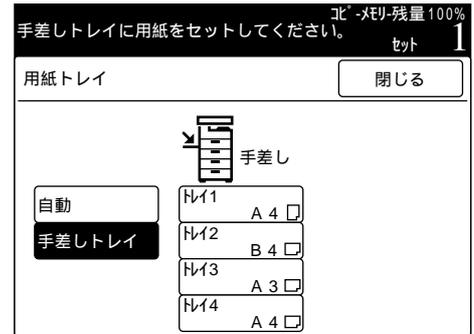
次ページに続きます。

# 用紙を指定してコピーするには



5

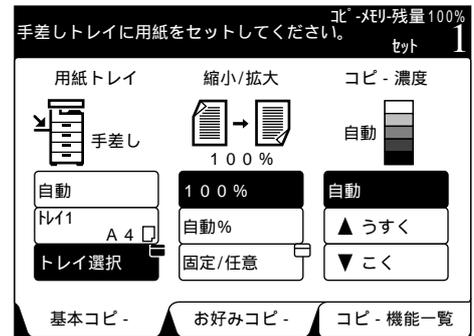
**閉じる** を選択します。



6

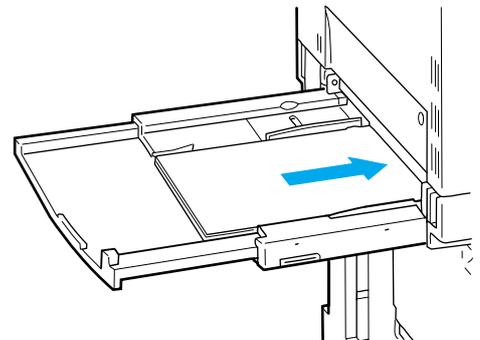
必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(P140)



7

多重手差しトレイに用紙をセットします。  
(P191)



8

コピーする部数(1~99)をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してもう一度入力し直します。

9

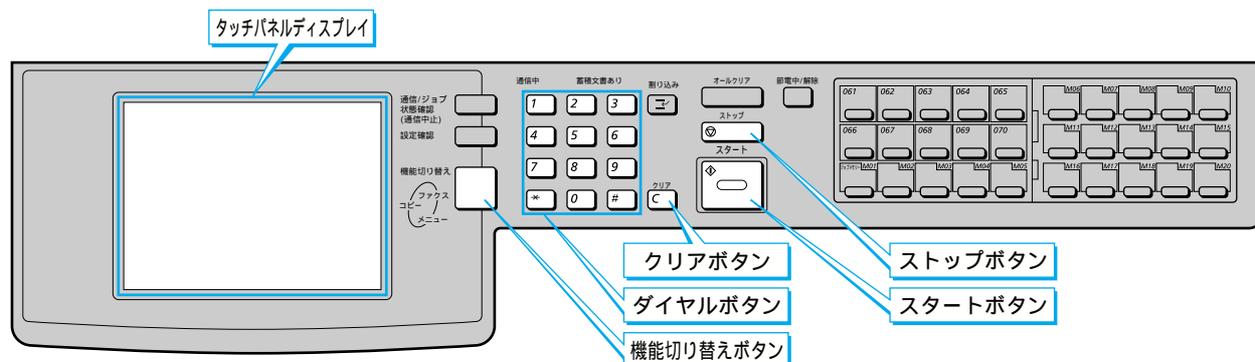
[スタート]ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。



# 倍率を指定してコピーするには

あらかじめ設定されている固定倍率から選んでコピーしたり、任意の倍率を入力してコピーしたりすることができます。



## 固定倍率から選んでコピーする

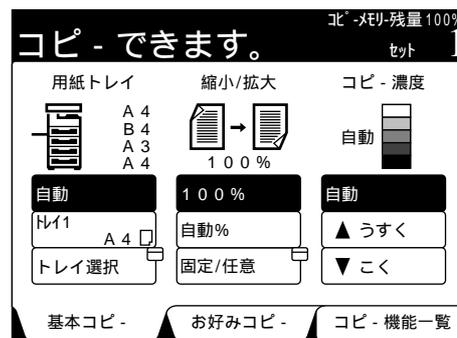
**1** 原稿をセットします。(●P54)

**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

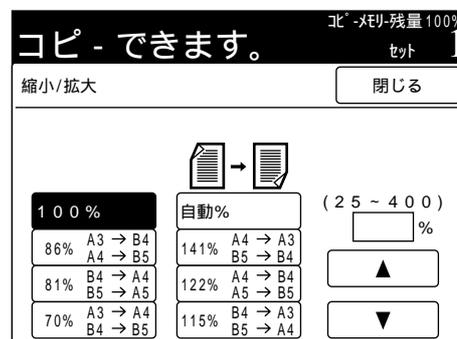
用紙を指定してコピーするには(●P59)  
コピー濃度を調整するには(●P69)

**3** 基本コピー画面で、縮小/拡大の **固定/任意** を選択します。

基本コピー画面が表示されていないときは、**基本コピー** のインデックスを選択します。



**4** 固定倍率を選択します。



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を  
使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファクスを

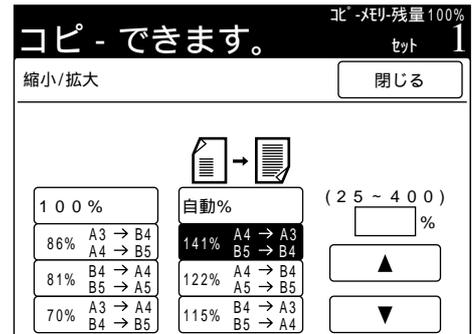
6  
受ける  
ファクスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

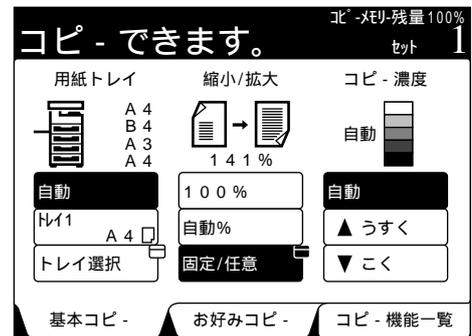
8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

**5** **閉じる** を選択します。



**6** **必要に応じてその他の機能を設定します。**  
画面は、手順4で **141%** を選択した場合の例です。  
機能によっては選択できないものがあります。(▶P140)



**7** **コピーする部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力します。**  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

**8** **[スタート] ボタンを押します。**  
原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

次ページに続きます。



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

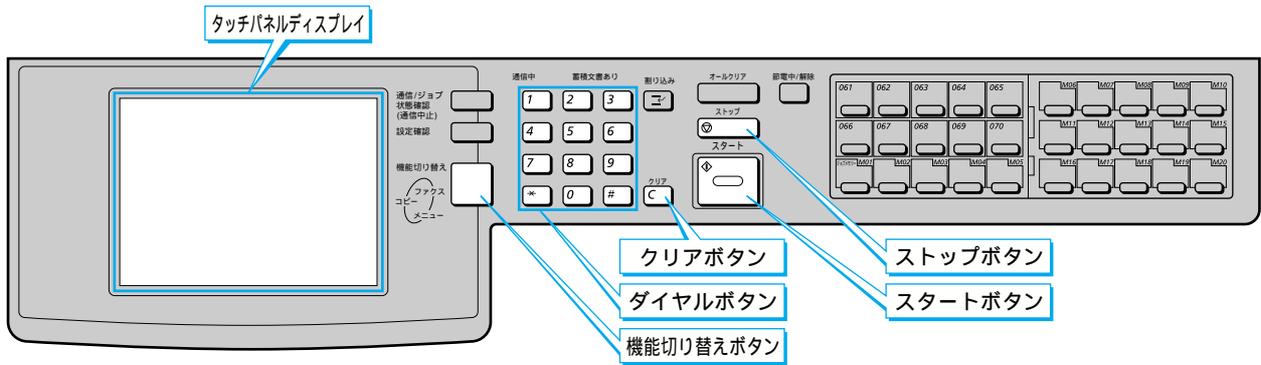
5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには



## 任意の倍率でコピーする

任意の倍率（25～400％）でコピーすることができます。

### 1 原稿をセットします。（☛P54）

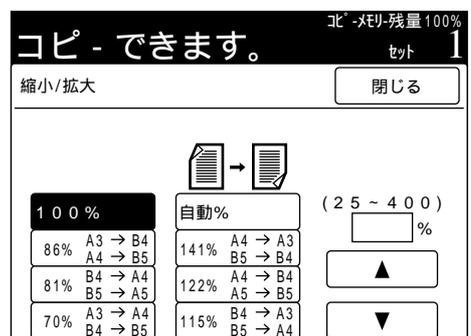
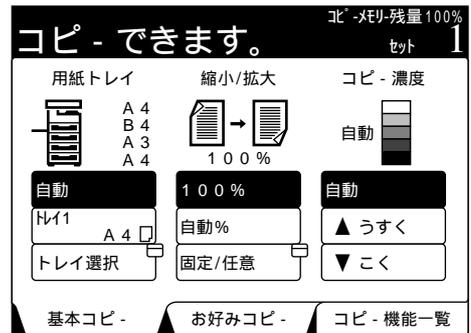
### 2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには（☛P59）  
コピー濃度を調整するには（☛P69）

### 3 基本コピー画面で、縮小/拡大の [固定/任意] を選択します。

基本コピー画面が表示されていないときは、 [基本コピー] のインデックスを選択します。

### 4 倍率を、 を使って入力します。

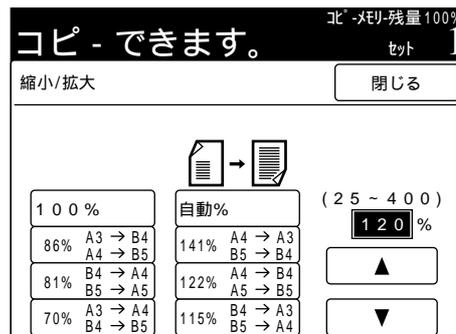


次ページに続きます。

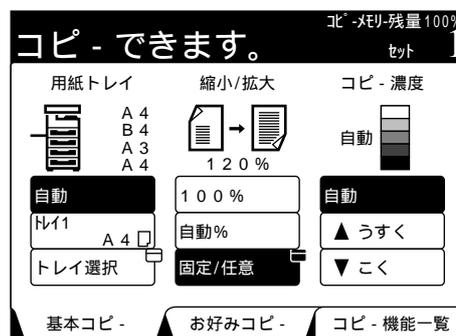
# 倍率を指定してコピーするには



**5** **閉じる** を選択します。



**6** 必要に応じてその他の機能を設定します。  
画面は、手順4で **120%** を選択した場合の例です。  
機能によっては選択できないものがあります。(▶P140)



**7** コピーする部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

**8** [スタート] ボタンを押します。  
原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

**ワンポイント** .....

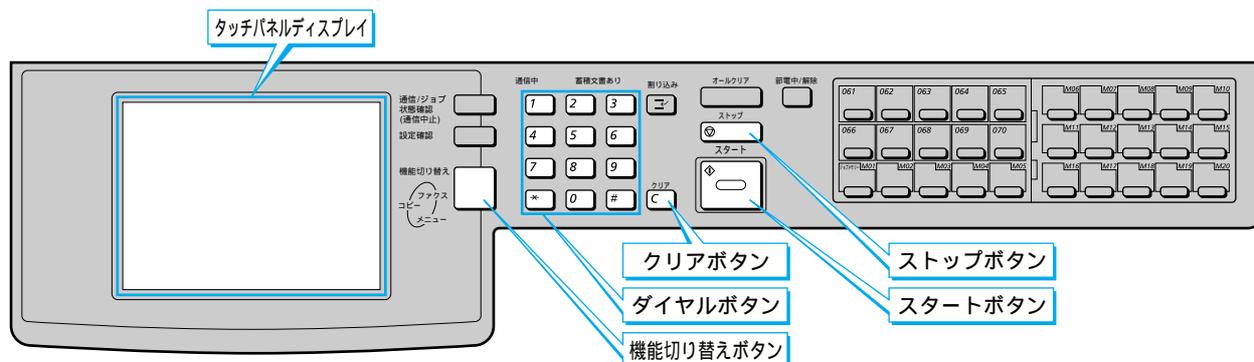
コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

**お知らせ** .....

用紙トレイを **自動** にしておくと、原稿のサイズと倍率から自動的に用紙が選択されます。適合する用紙がセットされていない場合は、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

# コピー濃度を調整するには

任意の濃度に調整してコピーすることができます。コピー濃度を指定しないでコピーすると、原稿に応じた濃度が自動的に選択されます。ただし、原稿の種類（●P71）が「文字/写真」や「写真」のときは濃度を自動調整する機能がはたらかないので、希望の濃度に調整する必要があります。



## 任意の濃度でコピーする

5段階のコピー濃度から、濃度を任意を選んでコピーします。

**1** 原稿をセットします。（●P54）

**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで「機能切り替え」ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには（●P59）  
倍率を指定してコピーするには（●P64）

**3** 基本コピー画面で、「うすく」「こく」を使ってコピー濃度を選択します。

基本コピー画面が表示されていないときは、「基本コピー」のインデックスを選択します。

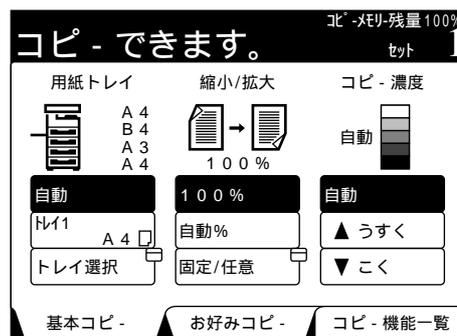
**4** 必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。（●P140）

**5** コピーする部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、「クリア」ボタンを押してもう一度入力し直します。

次ページに続きます。



1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかけるノ

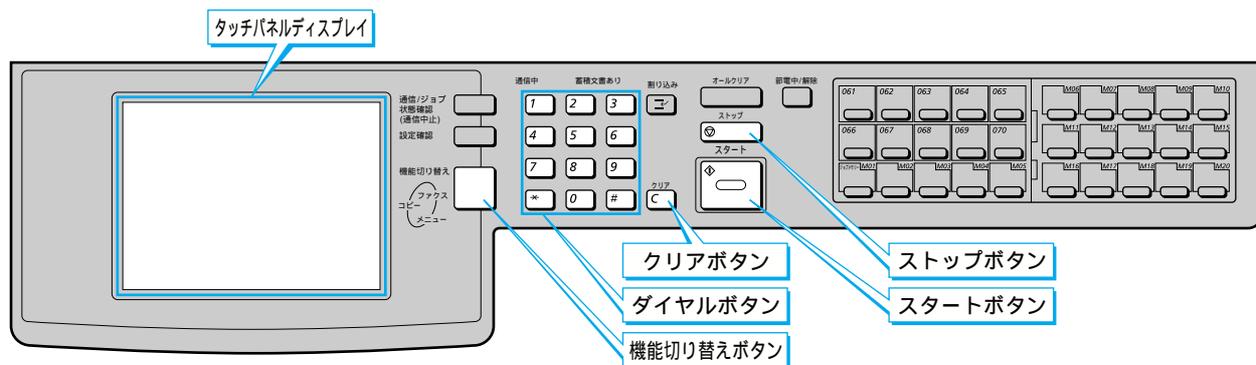
8 接続して使う  
留守番電話機を

9 こんなどきには



# 原稿の種類に合わせてコピーするには

原稿の種類（写真、写真と文字が混在するものなど）に応じて、適切な画質を選んでコピーすることができます。お買い求め時は、文字原稿のコピーに適した「文字」に設定されています。



## 1 原稿をセットします。(P54)

## 2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

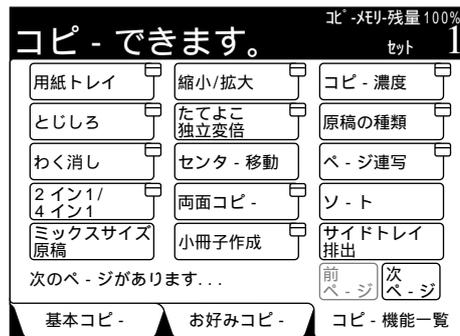
- 用紙を指定してコピーするには (P59)
- 倍率を指定してコピーするには (P64)
- コピー濃度を調整するには (P69)

## 3 コピー機能一覧画面で「原稿の種類」を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、「コピー機能一覧」のインデックスを選択します。

## 4 原稿の種類を選択します。

- 文字** : 文字や線の原稿
- 文字/写真** : 文字と写真が混在する原稿
- 写真** : 写真原稿



次ページに続きます。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかける /

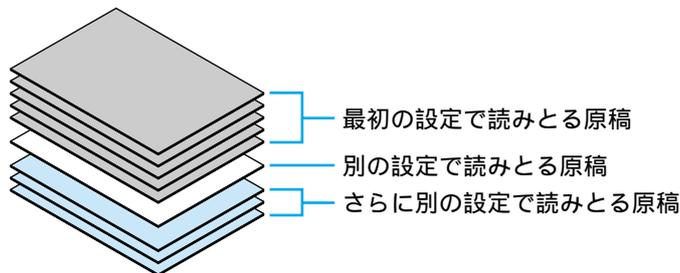
8 接続して使う  
留守番電話機を

9 こんなときには



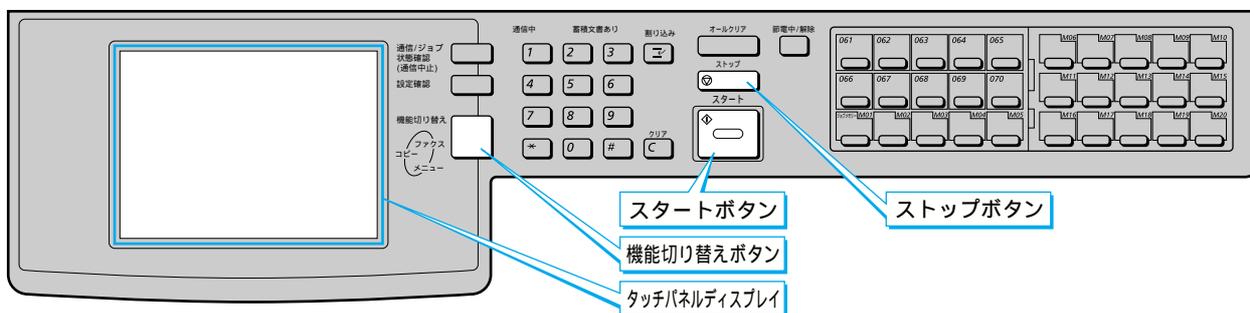
# 原稿の途中で読み取りの設定を変えるには

原稿の途中で、コピー濃度と原稿の種類の設定を変更してコピーすることができます。



以下の場合に、原稿の途中から設定を変更できます。

- ソート機能、小冊子作成機能を設定して、原稿を読み取り中
- OHPコピー機能の「会議コピー」を選択して、原稿を読み取り中
- 両面コピー機能を設定して、コピーガラスで原稿のおもて面を読み取り後



**1** 最初の設定で読み取る原稿をセットします。  
(●P54)

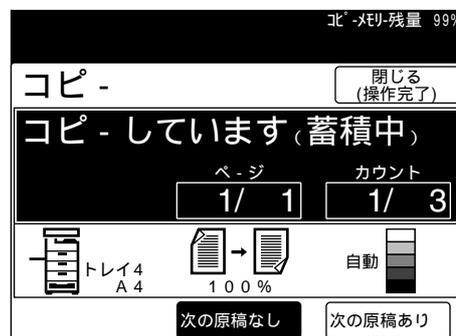
**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで「機能切り替え」ボタンを繰り返し押し続けます。

- 用紙を指定してコピーするには (●P59)
- 倍率を指定してコピーするには (●P64)
- コピー濃度を調整するには (●P69)

**3** 「スタート」ボタンを押します。

**4** 最初の原稿の読み取り中に、「次の原稿あり」を選択します。

コピーガラスにセットしている場合は、1枚目の原稿を読み取り中に「次の原稿あり」を選択します。DADF（自動両面原稿送り装置）にセットしている場合は、「次の原稿あり」を選択すると、最初にセットした原稿をすべて読み取ってから次の原稿のセットを待ちます。



次ページに続きます。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 便利な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかける /

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 こんなときには

## 原稿の途中で読み取りの設定を変えるには

5

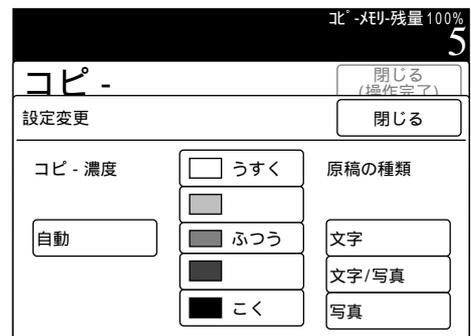
**設定変更** を選択します。



6

**コピー濃度、原稿の種類の設定を変更します。**

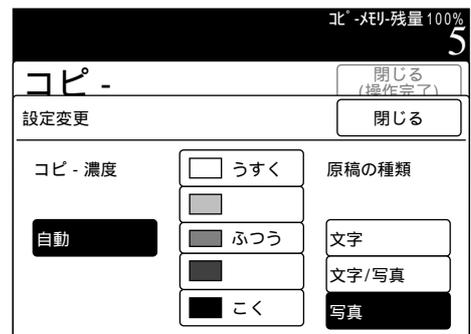
コピー濃度を調整するには (●P69)  
原稿の種類に合わせてコピーするには (●P71)



7

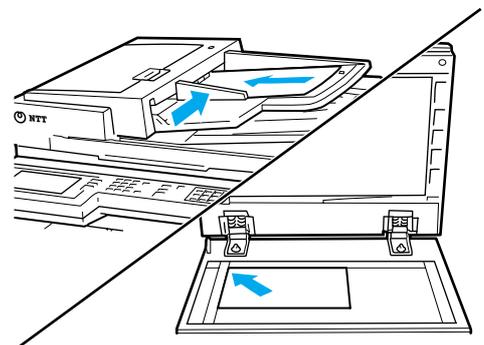
**閉じる** を選択します。

画面は、手順6でコピー濃度は **自動**、原稿の種類は **写真** を選択した場合の例です。



8

次の原稿をセットします。(●P56)







1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセッ  
ト

3  
コピーする

4  
コピーの便利  
な機能を使う

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

## コピーを中止する

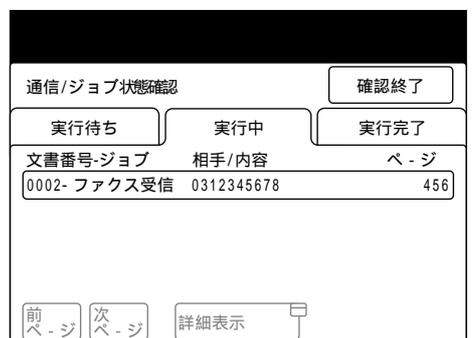
コピー中にコピーを中止することができます。コピー中のときは、[ストップ] ボタンを押すだけで、コピーを中止することができます。

**1** コピー中またはコピー排出待ち中に、[通信/ジョブ状態確認(通信中止)] ボタンを押します。  
実行中の画面が表示されます。  
実行待ちのコピージョブを中止する場合は手順4へ進みます。

**2** 中止するコピージョブを選択します。

**3** **ストップ** を選択します。  
手順2で選択したジョブが反転表示になります。

**4** ジョブが中止されたことを確認して、**確認終了** を選択します。

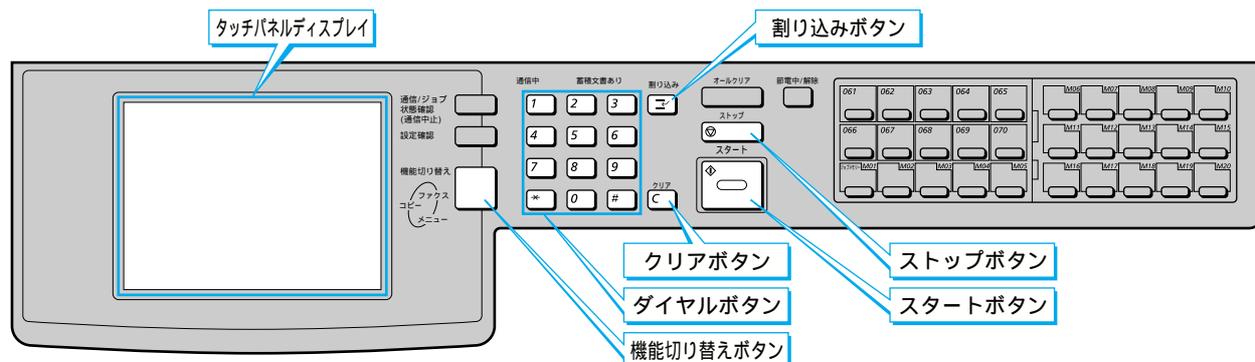


**ワンポイント** .....

操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

# 割り込んでコピーするには

コピー中に割り込んで、急ぎのコピーを先にすませることができます。そのあと、中断されたもとのコピーが継続されます。

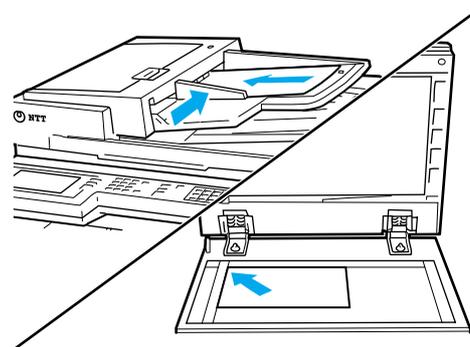


## 1 コピー中に、[ 割り込み ] ボタンを押します。

[ 割り込み ] ボタンの左上のランプが点滅します。  
割り込み可能になったときにランプが点灯します。

## 2

もとの原稿を取り除き、割り込んでコピーする原稿をセットします。



## 3

タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [ 機能切り替え ] ボタンを繰り返し押します。

## 4

必要に応じて機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(▶P140)

## 5

コピーする部数 ( 1 ~ 99 ) をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[ クリア ] ボタンを押してもう一度入力し直します。

## 6

[ スタート ] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

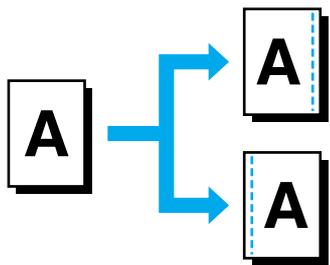




# こんな使い方ができます

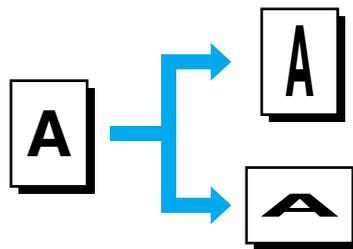
## とじしろをつけてコピーする

原稿の上下左右にとじしろ（余白）をつけてコピーすることができます。（●P83）



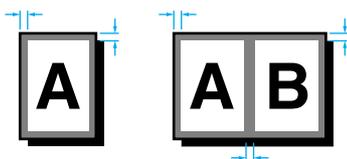
## たてよこ異なる倍率でコピーする （たてよこ独立変倍）

画像を縦長 / 横長に変形してコピーすることができます。（●P86）



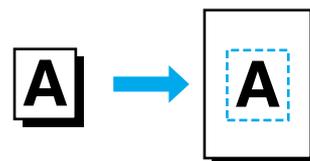
## いらない影を消す（わく消し）

本などからコピーしたときに写る原稿の枠や影を消すことができます。（●P95）



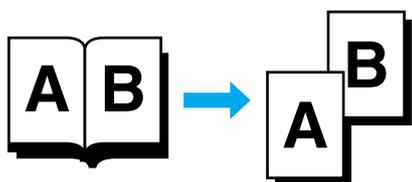
## 画像を中央に移動する（センター移動）

原稿と用紙のサイズが異なる場合でも、画像を用紙の中央に移動させてコピーすることができます。（●P97、応用P183、300）



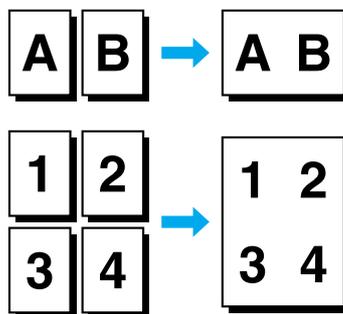
## 見開き原稿を左右別々にコピーする （ページ連写）

とじた原稿の見開きページを別々の用紙にコピーすることができます。（●P99）



## 2枚または4枚の原稿を1枚にまとめる （2イン1 / 4イン1）

片面原稿の1枚目と2枚目、または1枚目から4枚目までを、1枚の用紙にコピーすることができます。（●P101）



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

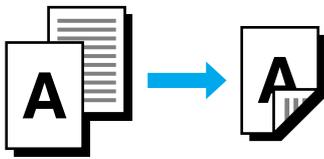
8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

### 両面コピーする

片面原稿や両面原稿を両面にコピーすることができます。また、両面原稿を片面にコピーすることもできます。(●P105)

自動両面ユニット(オプション)装着時



### はがきにコピーする

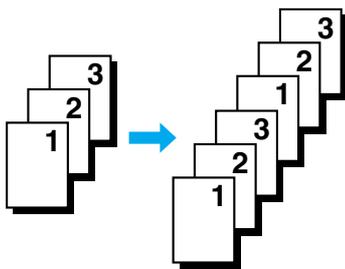
多重手差しトレイを使用して、はがきにコピーすることができます。(●P114)

多重手差しトレイ(オプション)装着時



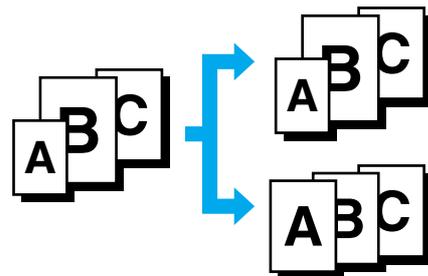
### 複数部のコピーをページ順に排出する(ソート)

コピーを1部ごとにページ順に並べて排出させることができます。(●P116、応用P185、300)



### サイズの異なる原稿を一度にコピーする(ミックスサイズ原稿)

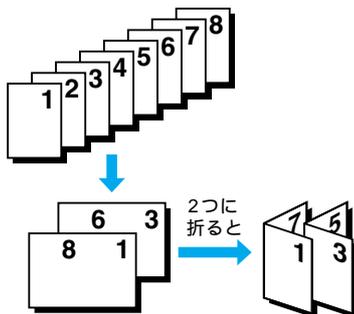
サイズの異なる原稿を一度に読み取ってコピーすることができます。(●P118)



### 小冊子となるようにコピーする(小冊子作成)

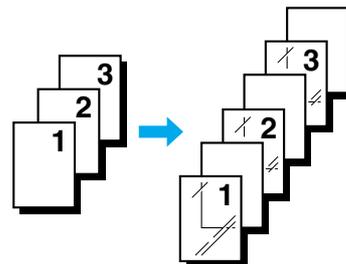
連続した原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーすることができます。(●P120)

自動両面ユニット(オプション)装着時



### OHPフィルムの中に紙を入れる(OHP合紙)

コピーしたOHPフィルムの中に、白紙やコピーを差し込んで排出させることができます。また、同時に必要部数のコピーをすること(会議コピー)もできます。(●P124)





## こんな使い方ができます

### ページごとに位置をずらして排出させる (オフセット排出)

複数枚の原稿をコピーするときに、ページごとにコピーをまとめて、その区切りがわかるように排出位置を交互にずらすことができます。(●P129、応用P199、302)



### コピーのおもて面を上にして排出させる

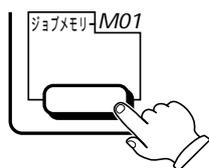
サイドトレイを使用して、コピーのおもて面を上にして排出させることができます。(●P130、応用P187、300)

サイドトレイ (オプション) 装着時



### 定型操作をボタンに登録してコピーを簡単にする (ジョブメモリ)

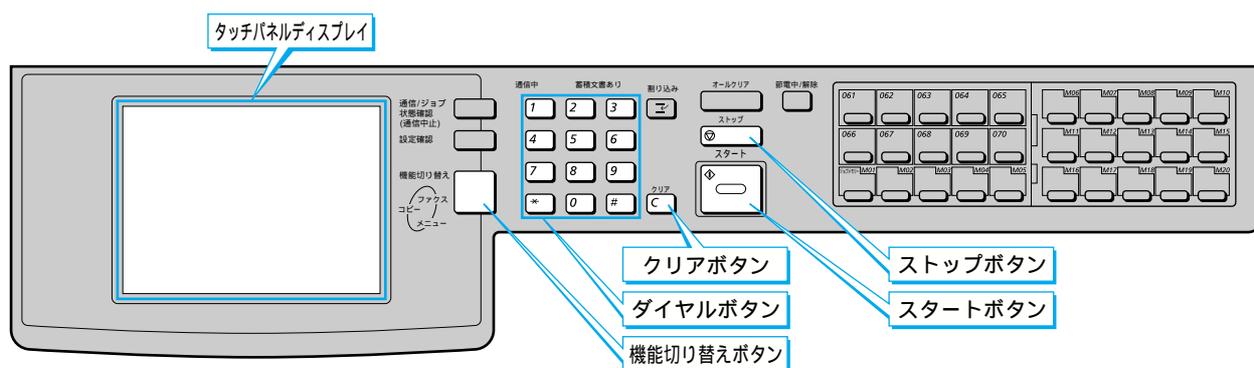
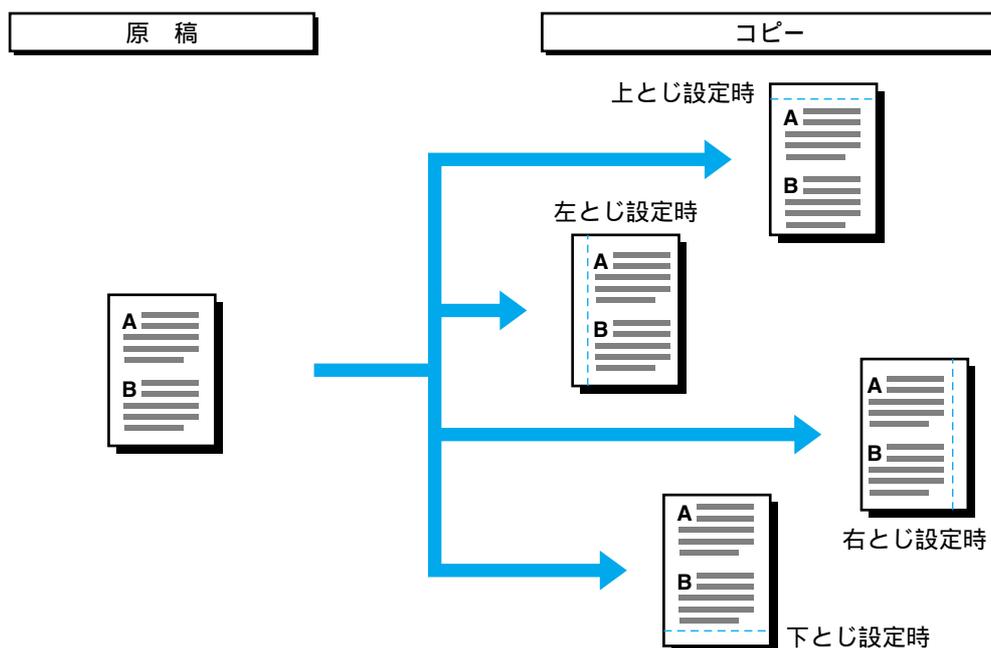
一連の定型操作をジョブメモリに登録しておくと、1つのボタンを押すだけで登録した操作を実行することができます。(●P132、応用P93、326)



# とじしろをつけるには (とじしろ)

とじしろ（余白）をつけてコピーすることができます。ホチキスでとじたり、穴あけをしたりするときに便利です。

とじしろをつける位置により左右方向、上下方向を設定します。また、両面コピーを利用するときは、うら面の設定をすることができます。



## 1 原稿をセットします。(☛P54)

## 2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押し続けます。

用紙を指定してコピーするには (☛P59)

倍率を指定してコピーするには (☛P64)

コピー濃度を調整するには (☛P69)

次ページに続きます。

1 お使いになる前に

2 原稿をセットする

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

6 ファックスを受ける

7 電話をかける/受ける

8 留守番電話機を接続して使う

9 こんなときには



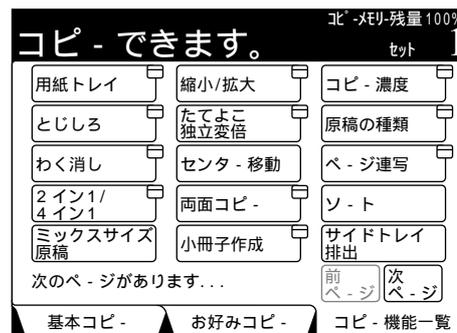
# とじしろをつけるには

# (とじしろ)

## 3

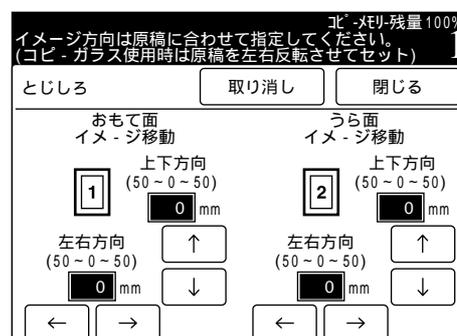
コピー機能一覧画面で **とじしろ** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。



## 4

とじしろ量 (0 ~ 50 mm) を、    を使って指定します。

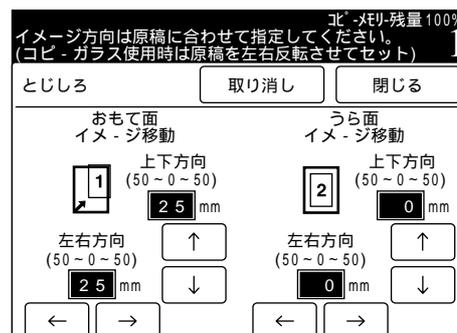


## 5

**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で「25」mmを指定した場合の例です。

**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



## 6

必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(P140)

## 7

コピーする部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

## 8

**[スタート]** ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

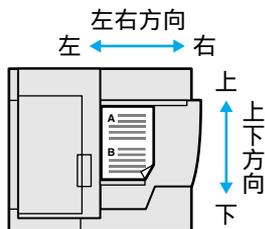


ワンポイント .....

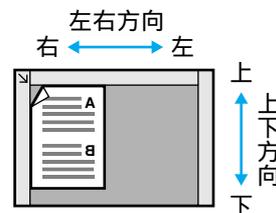
コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

原稿のセットの方向と、とじしろがつく位置の関係は

- DADF (自動両面原稿送り装置) にセットする場合



- コピーガラスにセットする場合



同時に両面コピー機能を使うときは

手順4で、おもて面とうら面の両方を設定します。別々のとじしろ量を設定することもできます。また、うら面の左右方向の画像移動は、おもて面と逆に設定します。



お知らせ

片面にだけコピーするときは、手順4でうら面の設定をしてもコピーには反映されません。

原稿の端まで画像がある場合は、画像が一部欠けてコピーされることがあります。

とじしろ量は、縮小/拡大しても変わりません。

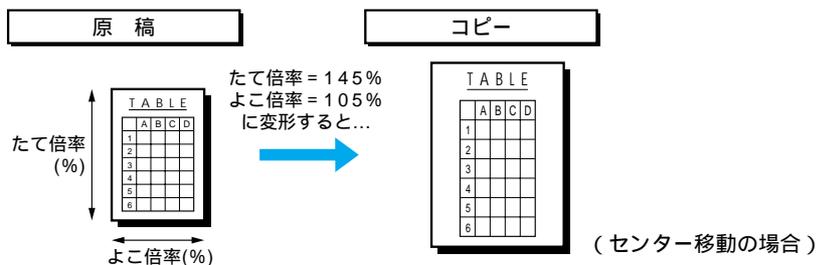
両面コピーと組み合わせる場合には、おもて面とうら面で異なったとじしろ量を設定することができます。

2イン1/4イン1機能と組み合わせると、2枚または4枚の原稿を1枚に並べた状態で画像を上下左右にずらしてコピーされます。

# 縦長 / 横長に変形するには (たてよこ独立変倍)

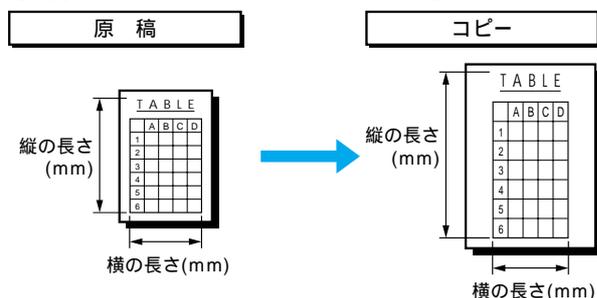
画像を縦長 / 横長に変形してコピーするには、以下の3つの方法があります。

## たて倍率とよこ倍率を別々に設定する



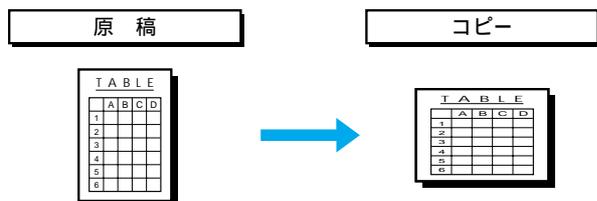
たて倍率とよこ倍率に、任意の倍率 (25 ~ 400%) を別々に設定して、画像を変形します。

## 原稿の長さとおコピーの長さを設定する



原稿の長さとおコピーの長さを設定して、画像を変形します。

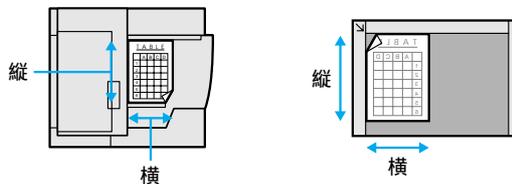
## たて倍率とよこ倍率を機械に自動設定させる



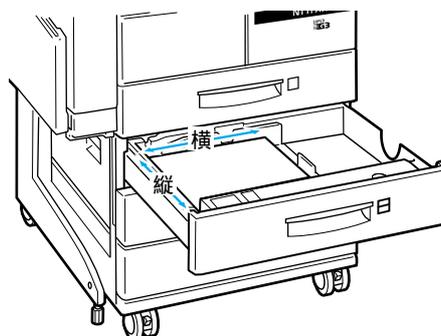
セットした原稿サイズと設定した用紙サイズから、本装置に自動的に倍率を設定させて、画像を変形します。たてよこ独立変倍を設定した場合は、自動画像回転ははたきません。

## ワンポイント.....

原稿の「たて」と「よこ」とは  
自動両面原稿送り装置のとき      コピーガラスのとき



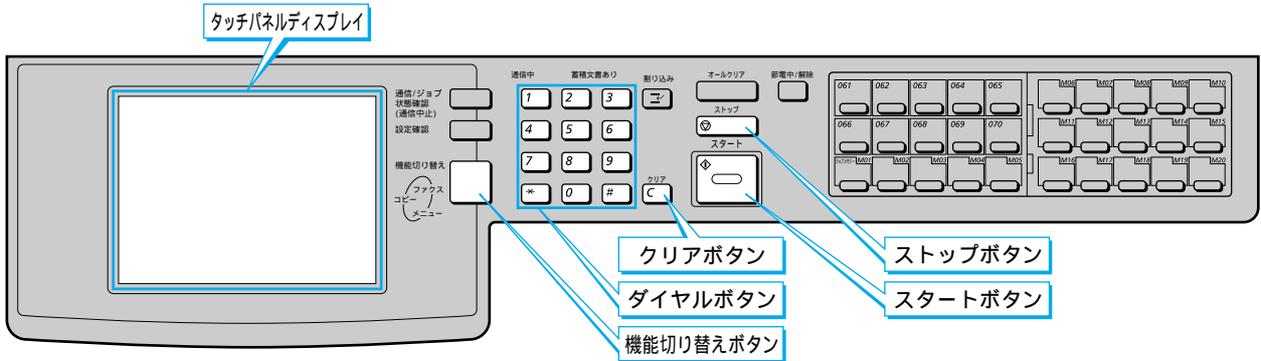
用紙の「たて」と「よこ」とは



1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする



4 コピーの  
便利な機能を使う

5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかける /

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 こんなときには

## たて倍率とよこ倍率を別々に設定する

たて倍率とよこ倍率に、任意の倍率（25～400%）を別々に設定して、画像を変形してコピーします。

1

### 原稿をセットします。(P54)



DADF（自動両面原稿送り装置）にA5 ㊦の原稿をセットした場合は、B5 ㊦の原稿サイズとして扱われます。

2

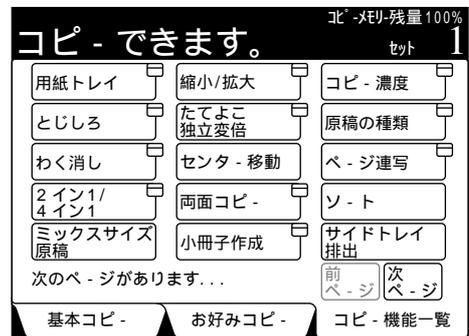
### タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには (P59)  
倍率を指定してコピーするには (P64)  
コピー濃度を調整するには (P69)

3

### コピー機能一覧画面で **たてよこ独立変倍** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。



次ページに続きます。

# 縦長 / 横長に変形するには (たてよこ独立変倍)



**4** **倍率指定** が反転表示されているのを確認し、**たて倍率**と**よこ倍率** (それぞれ25 ~ 400%) を   を使って指定します。

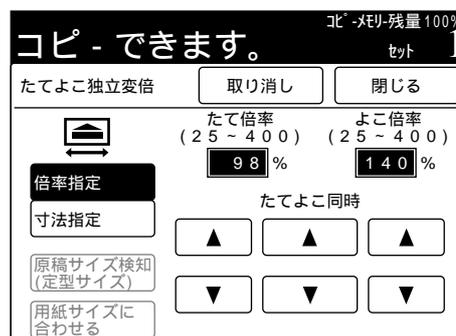
たて倍率とよこ倍率を同じ倍率にするときは、「たてよこ同時」の   を使います。



**5** **閉じる** を選択します。

画面は、手順4でたて倍率「98」%、よこ倍率「140」% に指定した場合の例です。

**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



**6** **必要に応じてその他の機能を設定します。**

**たてよこ独立変倍** を設定したあとに **縮小/拡大** を設定すると、**たてよこ独立変倍** の設定が取り消されます。機能によっては選択できないものがあります。(●P140)

**7** **コピーする部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力します。**

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

**8** **[スタート] ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

**ワンポイント** .....

コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
コピーの便利な機能を使う5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかける /8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときには

## 原稿の長さとおコピーの長さを設定する

原稿の長さとおコピーの長さを設定して、画像を変形してコピーします。原稿の長さとおコピーの長さによって決まるたて倍率とよこ倍率が、25%以下となる場合は25%、400%以上となる場合は400%の倍率でコピーされます。

### 1 原稿をセットします。(P54)

1



DADF (自動両面原稿送り装置) にA5 ㊦の原稿をセットした場合は、B5 ㊦の原稿サイズとして扱われます。

2

タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには (P59)  
コピー濃度を調整するには (P69)

3

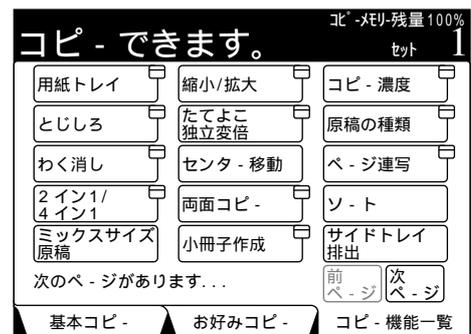
コピー機能一覧画面で **たてよこ独立変倍** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。

4

**寸法指定** を選択します。

次ページに続きます。





# 縦長 / 横長に変形するには (たてよこ独立変倍)

5

たて倍率の原稿サイズの左横に▶があることを確認し、原稿の縦の長さをダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

6

**決定/次選択** を選択します。

画面は、手順5で「210」mmを指定した場合の例です。

7

たて倍率のコピーサイズの左横に▶があることを確認し、コピーの縦の長さをダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

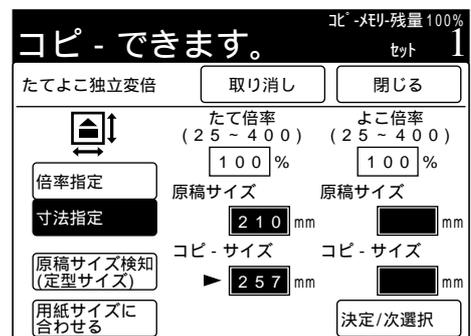
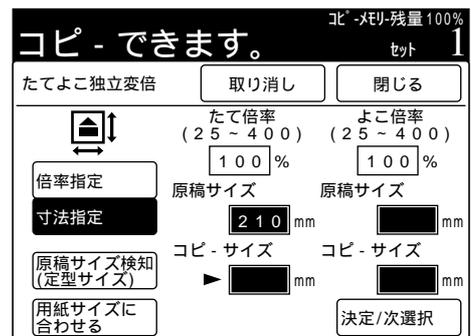
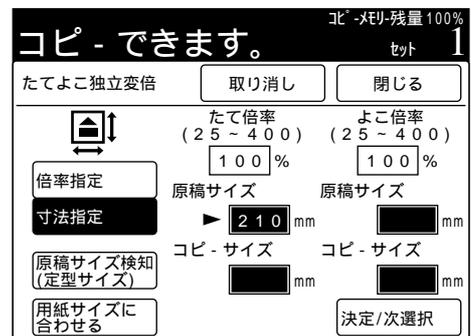
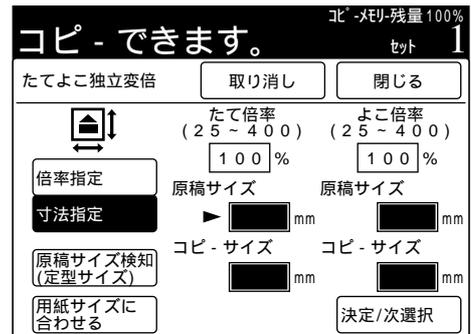
8

**決定/次選択** を選択します。

画面は、手順7で「257」mmを指定した場合の例です。

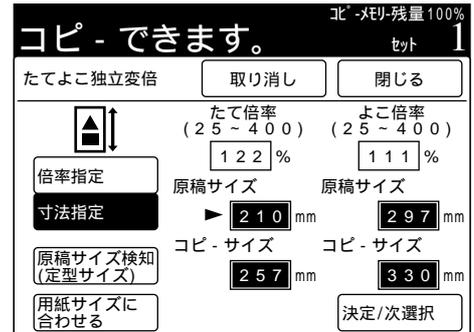
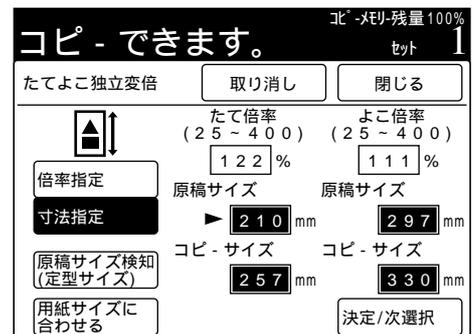
9

よこ倍率の原稿サイズ (またはコピーサイズ) の左横に▶があることを確認し、手順6～8の要領で、原稿とコピーの横の長さをダイヤルボタンで入力します。



1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
コピーの便利  
な機能を使う5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかける /8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときには**10** **決定/次選択** を選択します。

画面は、手順9でそれぞれ「297」mm、「330」mmを指定した場合の例です。

**11** **閉じる** を選択します。**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。**12** 必要に応じてその他の機能を設定します。**たてよこ独立変倍** を設定したあとに **縮小/拡大** を設定すると、**たてよこ独立変倍** の設定が取り消されます。機能によっては選択できないものがあります。(●P140)**13** コピーする部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

**14** [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。



ワンポイント .....

コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

## 縦長 / 横長に変形するには (たてよこ独立変倍)

## たて倍率とよこ倍率を本装置に自動設定させる

セットした原稿サイズと設定した用紙サイズから、本装置に自動的にたて倍率とよこ倍率を設定させて、画像を変形してコピーします。

**1** 原稿をセットします。(●P54)

**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには (●P59)  
コピー濃度を調整するには (●P69)

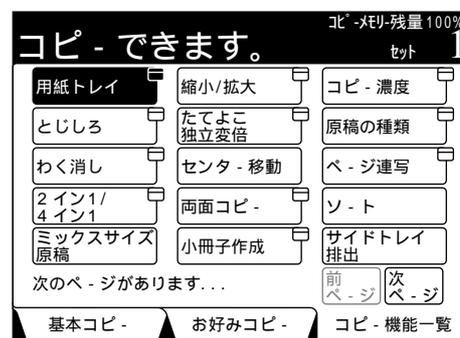
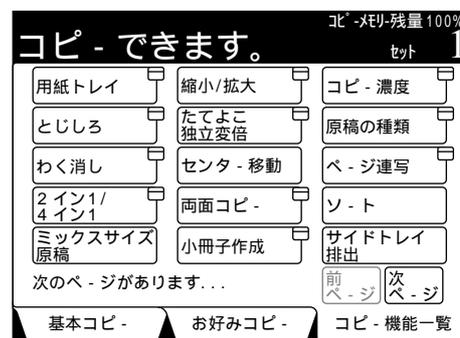
**3** コピー機能一覧画面で **用紙トレイ** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。

**4** コピーしたいサイズの用紙トレイを選択します。

**5** **閉じる** を選択します。

**6** **たてよこ独立変倍** を選択します。



1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
な機能を使う  
コピーの便利5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかける /8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときには7  
**寸法指定** を選択します。

コピー - できます。 コピー-残量 100%  
セット 1

たてよこ独立変倍

たて倍率 (25~400)      よこ倍率 (25~400)  
100%      100%

倍率指定

たてよこ同時  
▲      ▲      ▲  
▼      ▼      ▼

原稿サイズ検知 (定型サイズ)  
用紙サイズに合わせる

8  
**原稿サイズ検知 (定型サイズ)** を選択します。

コピー - できます。 コピー-残量 100%  
セット 1

たてよこ独立変倍

たて倍率 (25~400)      よこ倍率 (25~400)  
100%      100%

倍率指定

原稿サイズ      原稿サイズ  
mm      mm

原稿サイズ検知 (定型サイズ)  
用紙サイズに合わせる      決定/次選択

9  
**用紙サイズに合わせる** を選択します。

コピー - できます。 コピー-残量 100%  
セット 1

たてよこ独立変倍

たて倍率 (25~400)      よこ倍率 (25~400)  
---%      ---%

倍率指定

原稿サイズ      原稿サイズ  
A4 210 mm      A4 297 mm

原稿サイズ検知 (定型サイズ)  
用紙サイズに合わせる      決定/次選択

10  
**閉じる** を選択します。

画面は、手順1でA4 □の原稿をコピーガラスにセットし、手順4でB4 □の用紙を選択した場合の例です。

**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿をセットした場合は、原稿サイズ、たて倍率、よこ倍率が **自動** と表示されます。

コピー - できます。 コピー-残量 100%  
セット 1

たてよこ独立変倍

たて倍率 (25~400)      よこ倍率 (25~400)  
122%      122%

倍率指定

原稿サイズ      原稿サイズ  
A4 210 mm      A4 297 mm

原稿サイズ検知 (定型サイズ)  
用紙サイズに合わせる      決定/次選択

次ページに続きます。

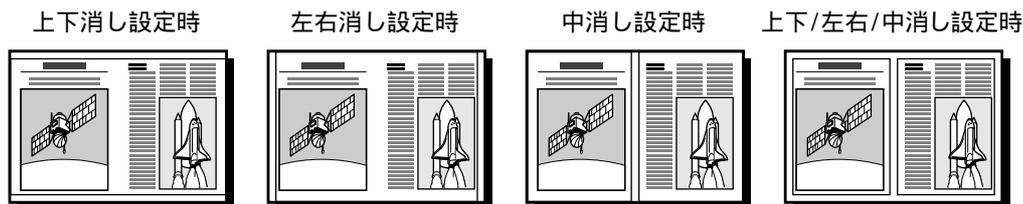


# 原稿の影を消すには

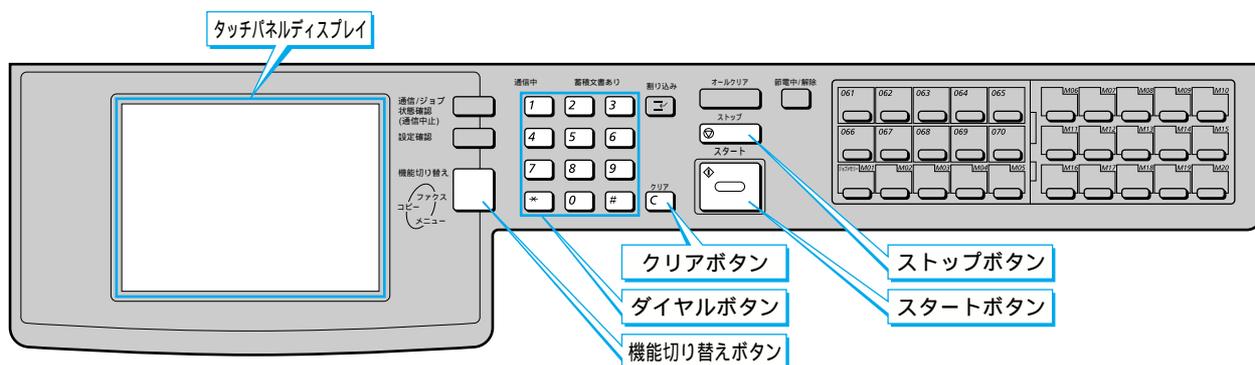
# (わく消し)

原稿カバーを開いたままコピーしたり、冊子になっている原稿などをコピーしたりしたときに写る原稿のわくや影を消すことができます。

## わく消しを使ったコピー



□: 影が消える部分



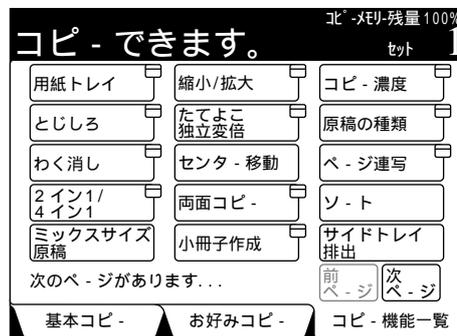
## 1 原稿をセットします。(P54)

## 2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押し続けます。

- 用紙を指定してコピーするには (P59)
- 倍率を指定してコピーするには (P64)
- コピー濃度を調整するには (P69)

## 3 コピー機能一覧画面で「わく消し」を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、「コピー機能一覧」のインデックスを選択します。



次ページに続きます。

1 お使いになる前に

2 原稿をセットする

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

6 ファックスを受ける

7 電話をかける/受ける

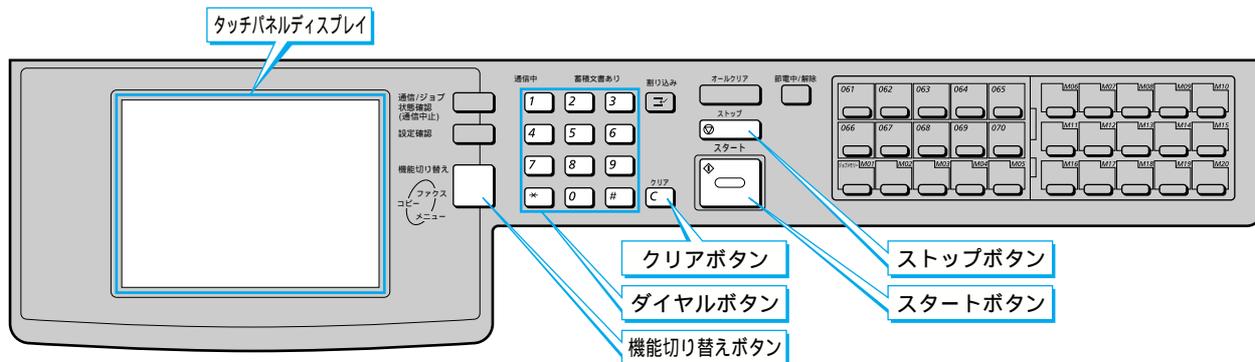
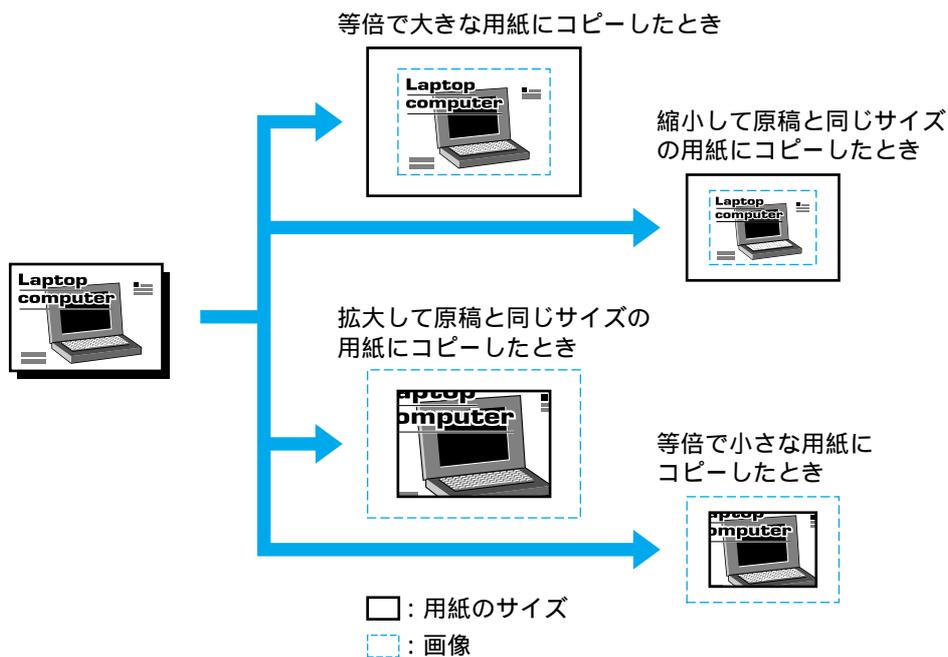
8 留守番電話機を接続して使う

9 こんなときには



# 画像を中央に移動するには (センター移動)

原稿の中心を、用紙の中央に自動的に移動させてコピーします。



## 1 原稿をセットします。(P54)

## 2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押し続けます。

- 用紙を指定してコピーするには (P59)
- 倍率を指定してコピーするには (P64)
- コピー濃度を調整するには (P69)

次ページに続きます。

1 お使いになる前に

2 原稿をセットする

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

6 ファックスを受ける

7 電話をかける/受ける

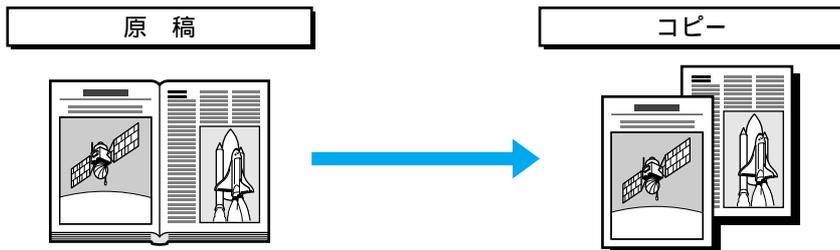
8 留守番電話機を接続して使う

9 こんなときには



# 見開き原稿を左右に分割するには（ページ連写）

とじた原稿の見開きページを別々の用紙にコピーします。冊子になっている原稿の左右のページを分けてコピーしたいときなどに便利です。ページ連写機能は、原稿をコピーガラスにセットした場合のみ利用できます。

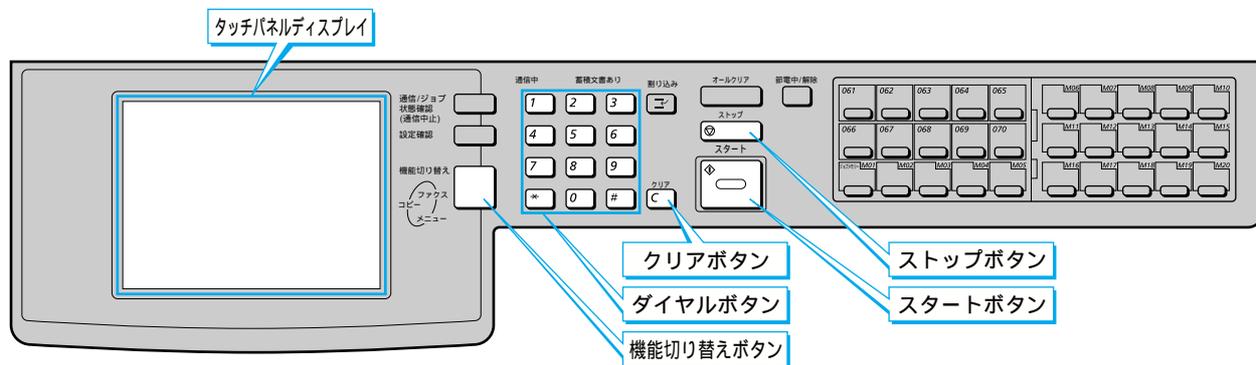


## お知らせ

分割部分（原稿のとじ部分）の画像が2～4 mm欠けてコピーされます。

ページ連写機能は、2イン1/4イン1、ミックスサイズ原稿、両面 片面コピー、両面 両面コピー、小冊子作成と組み合わせて利用することはできません。

定型でない原稿やサイズを検知できない原稿などは、正確に2等分されない場合があります。



## 1

タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには（●P59）

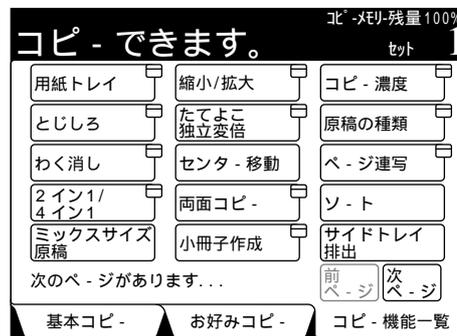
倍率を指定してコピーするには（●P64）

コピー濃度を調整するには（●P69）

## 2

コピー機能一覧画面で **ページ連写** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。



次ページに続きます。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファクスを

6 受ける  
ファクスを

7 受ける  
電話をかける/

8 接続して使う  
留守番電話機を

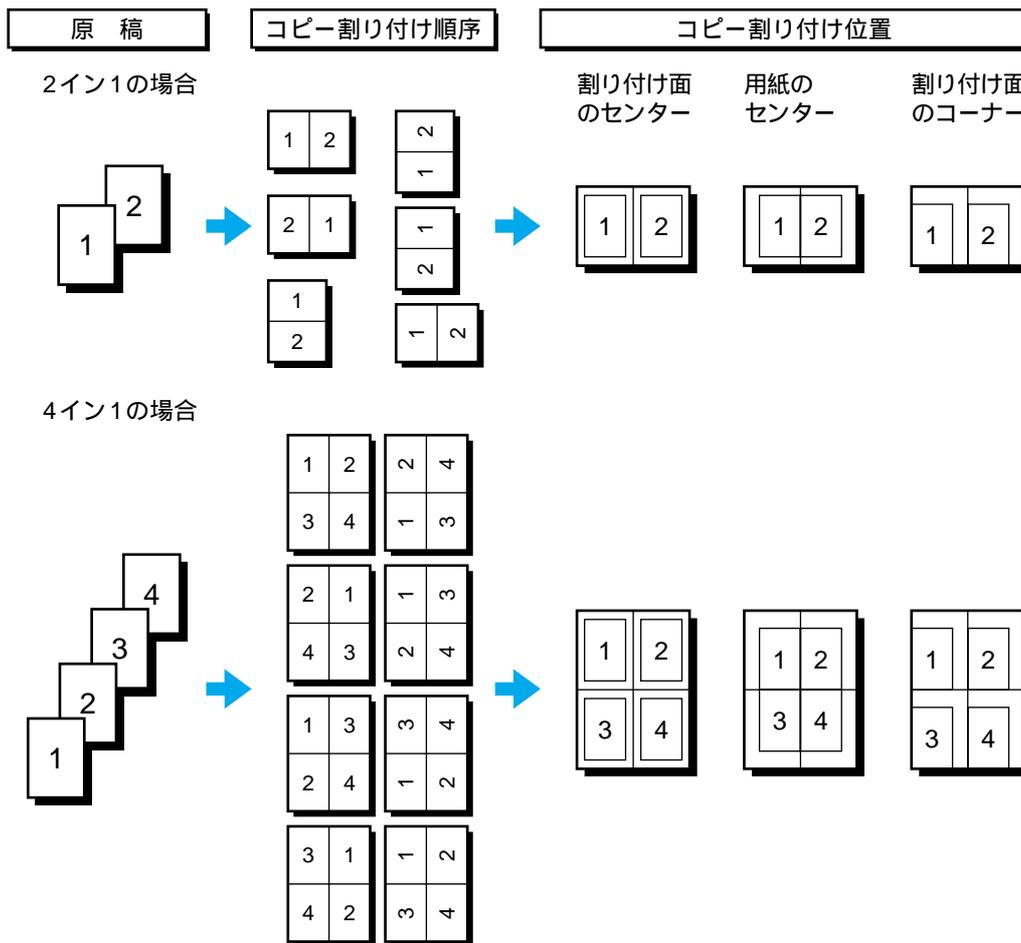
9 9  
こんなときには



## 4. コピーの便利な機能を使う

# 2枚 / 4枚の原稿を1枚の用紙にコピーするには (2イン1 / 4イン1)

DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿をセットして、2ページまたは4ページ分の原稿を1枚の用紙にコピーします。また、コピーの割り付け位置も設定することができます。



1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 な機能を使う  
コピーの便利

5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかける／

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 ほんなどときには

### お知らせ

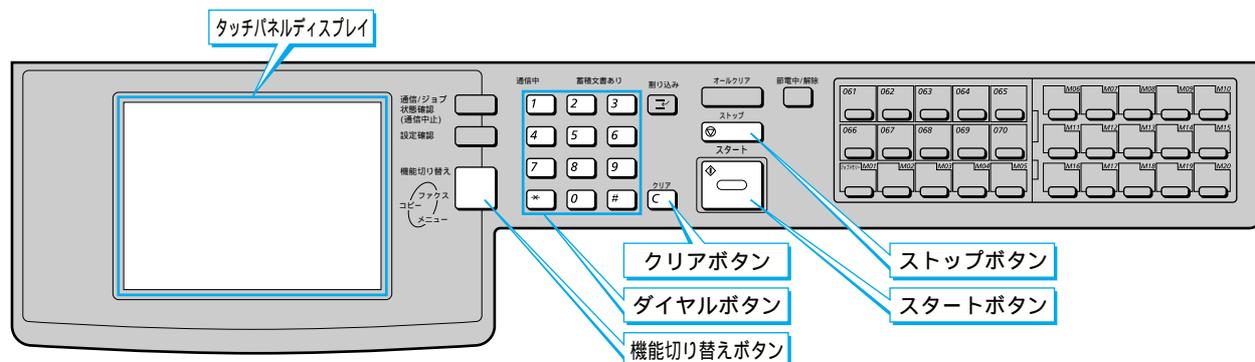
レイアウト順序は、読み込んだ原稿を出力されるコピーに割り付ける順序です。

12と12、1と1、12と12、13と13、13と13の出力されるコピーの画像は同じになります。

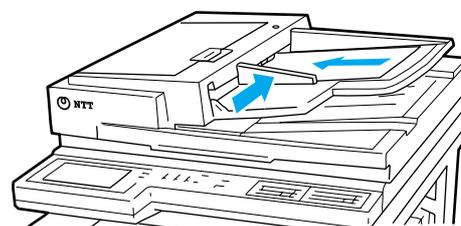
ミックスサイズ原稿機能、小冊子作成機能、ページ連写機能、多重手差しトレイ (オプション) からのコピーが設定されているときは、2イン1 / 4イン1機能は利用できません。

## 4. コピーの便利な機能を使う

# 2枚 / 4枚の原稿を1枚の用紙にコピーするには (2イン1 / 4イン1)



1 DADF(自動両面原稿送り装置)に原稿をセットします。(●P54)

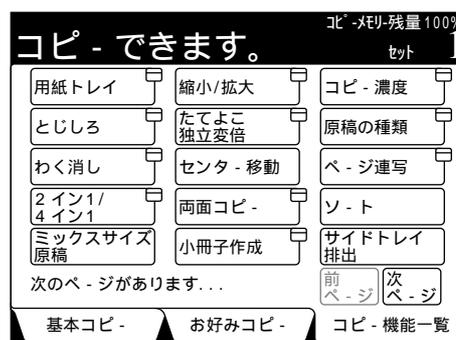


2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

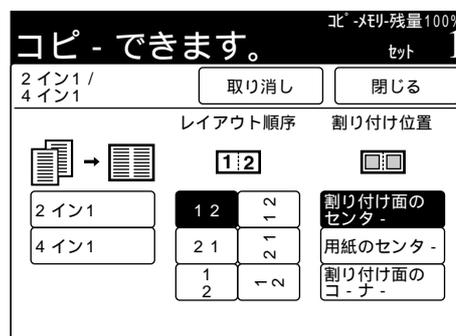
コピー濃度を調整するには (●P69)

3 コピー機能一覧画面で **2イン1 / 4イン1** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。



4 **2イン1** または **4イン1** を選択します。



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
っ  
た  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

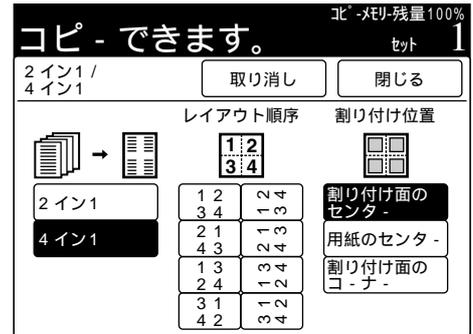
7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
っ  
た  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

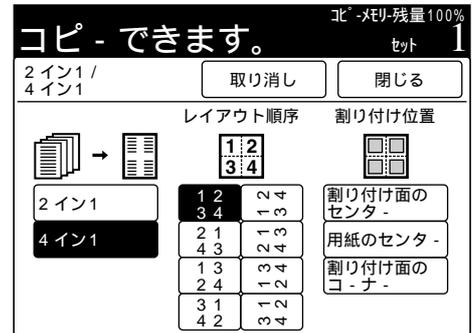
**5**

**レイアウト順序を選択します。**  
画面は、手順4で「4イン1」を選択した場合の例です。



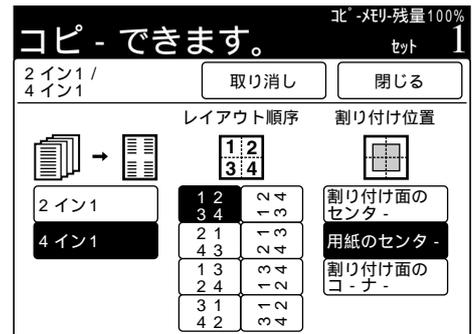
**6**

**割り付け位置を選択します。**  
画面は、手順5で「1 2 / 3 4」を選択した場合の例です。



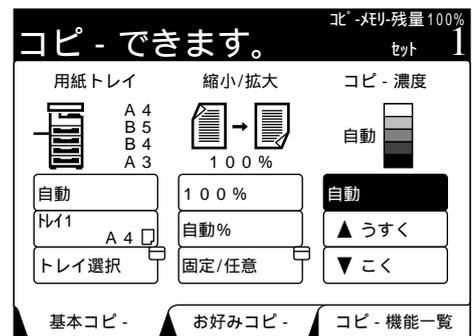
**7**

**閉じる** を選択します。  
画面は、手順6で「用紙のセンター」を選択した場合の例です。  
「取り消し」を選択すると、設定が取り消されます。



**8**

**コピーする用紙を選択します。**  
用紙を指定してコピーするには (P59)



次ページに続きます。



## 2枚 / 4枚の原稿を1枚の用紙にコピーするには (2イン1 / 4イン1)

9

**用紙サイズに応じた倍率を選択します。**

倍率を指定してコピーするには (●P64)  
縮小 / 拡大で **自動%** を選択すると、2イン1または4イン1の画像が選択した用紙サイズに収まるようにコピーされます。

10

**必要に応じてその他の機能を設定します。**

機能によっては選択できないものがあります。(●P140)

11

**コピーする部数 (1 ~ 99) をダイヤルボタンで入力します。**

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

12

**[スタート] ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。



**ワンポイント** .....

コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。



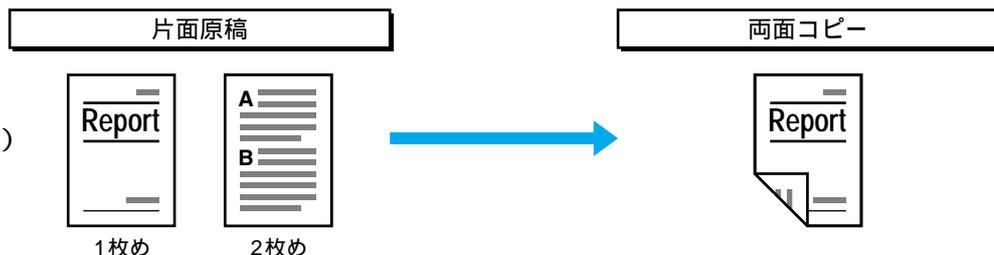
**お知らせ** .....

とじしる機能と組み合わせてコピーする場合は、割り付けられた画像を上下左右にずらしてコピーされます。  
わく消し機能と組み合わせてコピーする場合は、ページを合成する前の個々の画像に対してわく消しされます。  
2イン1 / 4イン1機能を設定した場合は、出力する用紙サイズがA4以上でも自動画像回転機能がはたらきます。  
(●P58)

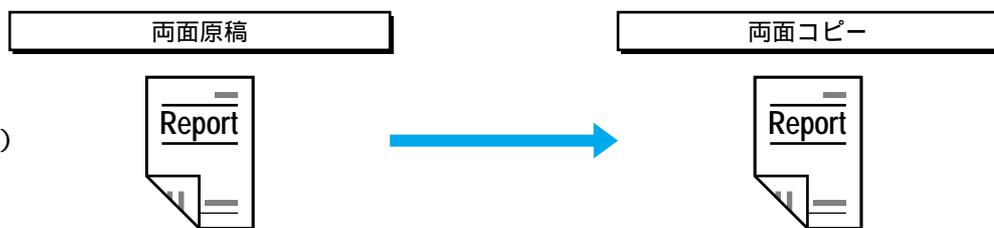
# 両面コピーするには

両面コピーには以下の3つの方法があります。

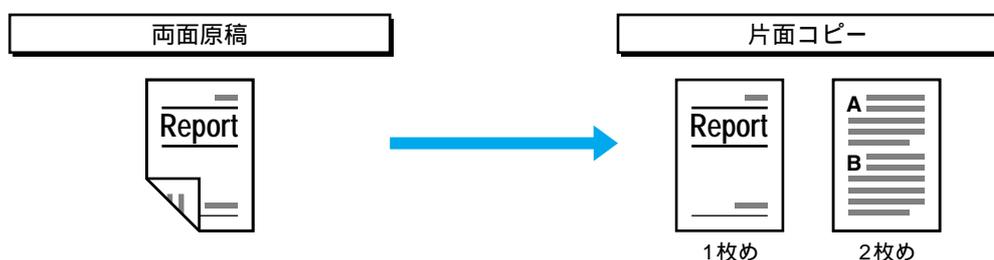
片面原稿を両面  
コピーする  
(自動両面ユニット  
(オプション)装着時)



両面原稿を両面  
コピーする  
(自動両面ユニット  
(オプション)装着時)



両面原稿を片面  
コピーする



原稿のセット方法と自動両面ユニットの有無によって可能な両面コピーは以下のとおりです。

	自動両面ユニットを装着している場合に可能な両面コピー	自動両面ユニットを装着していない場合に可能な両面コピー
コピーガラスに原稿をセット	片面 両面	
DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿をセット	片面 両面 両面 両面 両面 片面	両面 片面



## お知らせ

メモリがいっぱいになったときは、両面コピーはできません。タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

多重手差しトレイ (オプション) を使用した場合は、両面 片面のみ有効です。

ページ連写を設定した場合は、片面 両面のみ有効です。

自動両面ユニット (オプション) を装着していない場合は、片面 両面、両面 両面は使用できません。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
コピーの便利な機能を使う

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

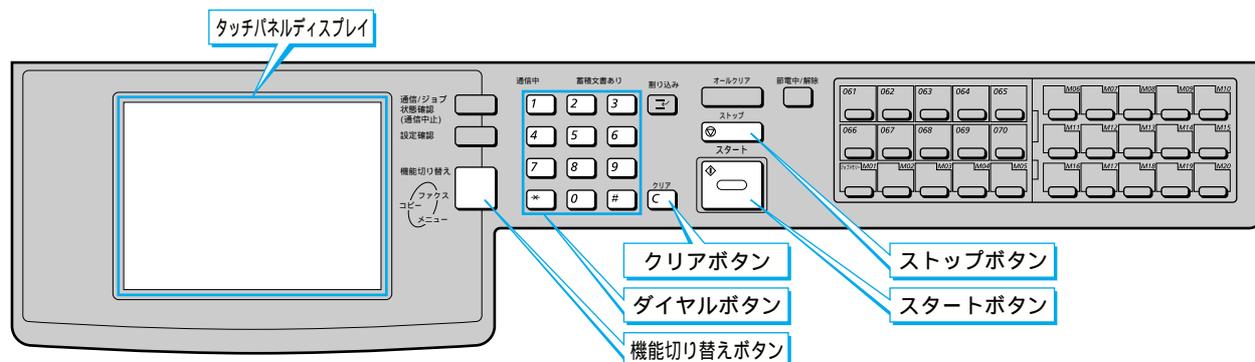
7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには



# 両面コピーするには



## 片面原稿を両面コピーする(片面 両面)

**1** 原稿をセットします。(☛P54)

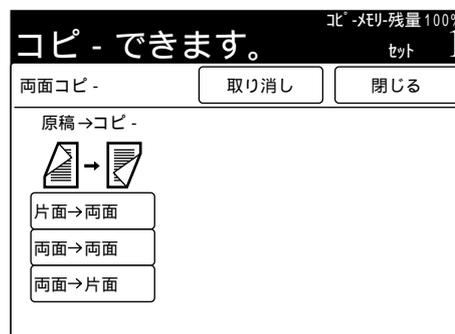
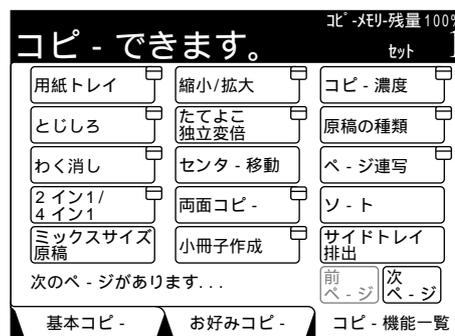
**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで[機能切り替え]ボタンを繰り返し押し続けます。

- 用紙を指定してコピーするには(☛P59)
- 倍率を指定してコピーするには(☛P64)
- コピー濃度を調整するには(☛P69)

**3** コピー機能一覧画面で **両面コピー** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。

**4** **片面 両面** を選択します。



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
っ  
て

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

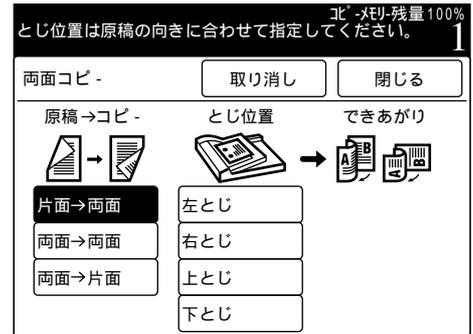
7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
っ  
て  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

**5** 原稿の向きに合わせて、**左とじ**、**右とじ**、**上とじ**、**下とじ**のいずれかを選択します。

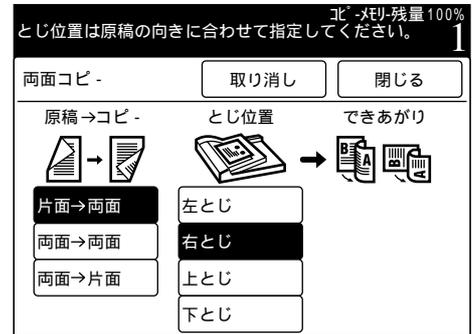
とじ位置は、P108のワンポイントを参照して正しく選択してください。



**6** **閉じる** を選択します。

画面は、手順5で**右とじ**を選択した場合の例です。

**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



**7** 必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(P140)

**8** コピーする部数(1~99)をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してもう一度入力し直します。

**9** [スタート]ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

原稿が奇数枚のときは、コピーの最後のページは片面でコピーされます。

原稿をコピーガラスにセットする場合は、原稿のセットと[スタート]ボタンを押す操作を繰り返します。原稿の読み取りがおもて面で終わる場合は、**次の原稿なし**を選択します。(P56)

次ページに続きます。



# 両面コピーするには



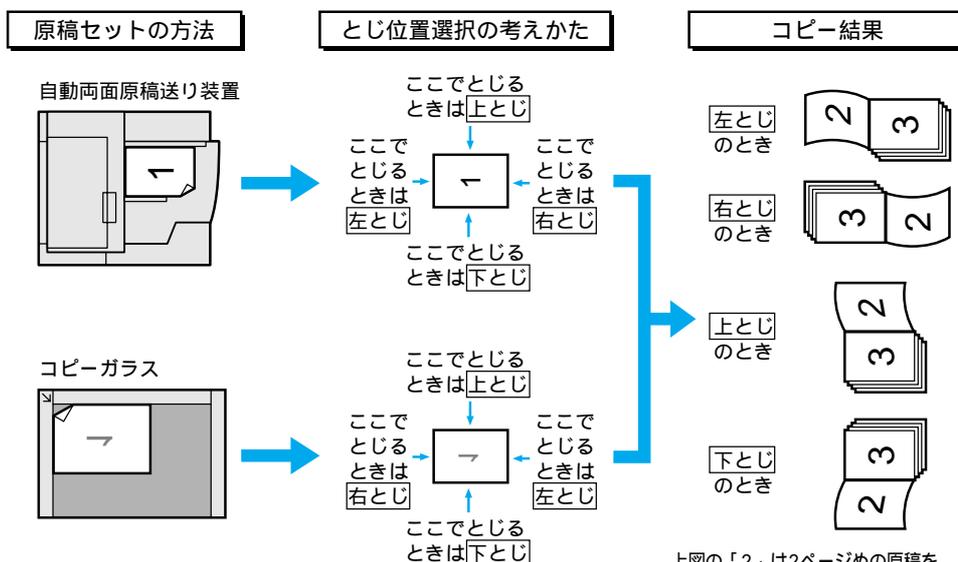
## ワンポイント.....

コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

とじ位置の選択について

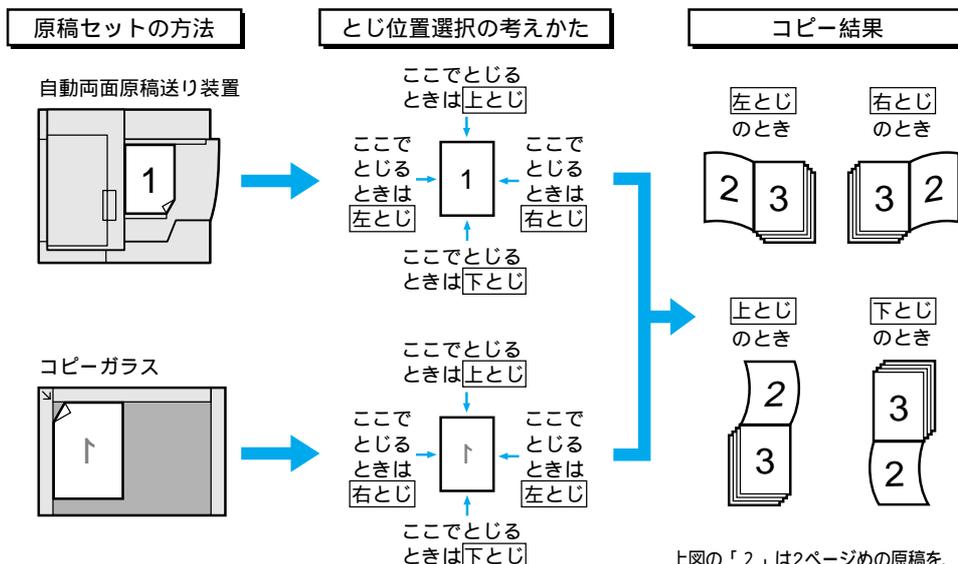
[左とじ]、[右とじ]、[上とじ]、[下とじ]の選択によって、以下のようにおもて面とうら面の天地が自動的に調整されます。

原稿を □ 方向にセットしたとき



上図の「2」は2ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。

原稿を ▽ 方向にセットしたとき



上図の「2」は2ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。



お知らせ

自動両面ユニット(オプション)を装着していない場合には、[片面 両面]は利用できません。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
コピーの便利な機能を使う

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

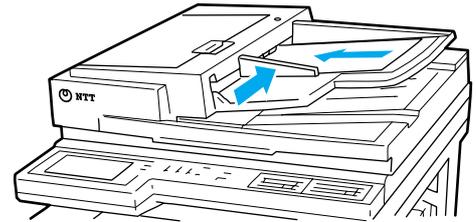
8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

## 両面原稿を両面コピーする(両面 両面)

1

DADF(自動画面原稿送り装置)に原稿をセットします。(●P54)



2

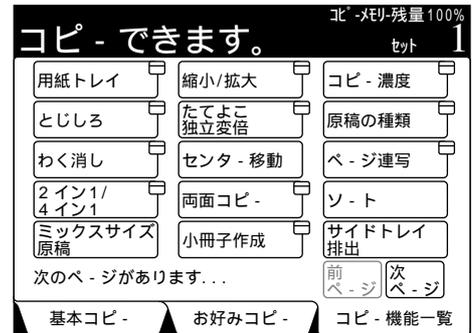
タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには(●P59)  
倍率を指定してコピーするには(●P64)  
コピー濃度を調整するには(●P69)

3

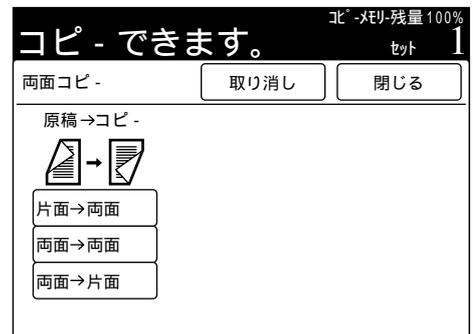
コピー機能一覧画面で **両面コピー** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。



4

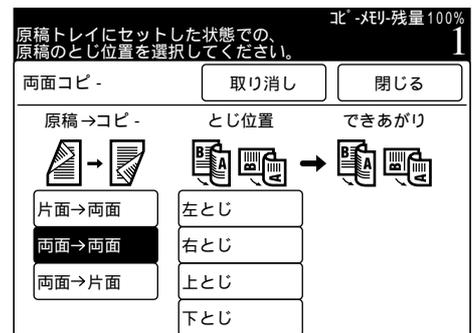
**両面 両面** を選択します。

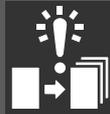


5

原稿の状態に合わせて、**左とじ**、**右とじ**、**上とじ**、**下とじ** のいずれかを選択します。

**2イン1/4イン1**、または **OHP合紙** の **会議コピー** と組み合わせるときのみ、原稿に合ったとじ位置を選択してください。  
とじ位置は、P111のワンポイントを参照して正しく選択してください。



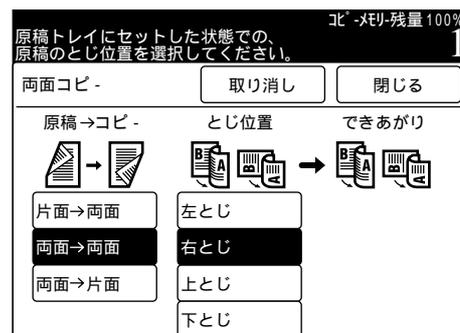


## 両面コピーするには

6

**閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **右とじ** を選択した場合の例です。  
**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



7

**必要に応じてその他の機能を設定します。**

機能によっては選択できないものがあります。(▶P140)

8

**コピーする部数(1~99)をダイヤルボタンで入力します。**

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

9

**[スタート] ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は



ワンポイント .....

コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

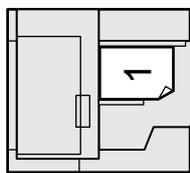
とじ位置の選択について

下記に従って [左とじ]、[右とじ]、[上とじ]、[下とじ] のいずれかを選択します。

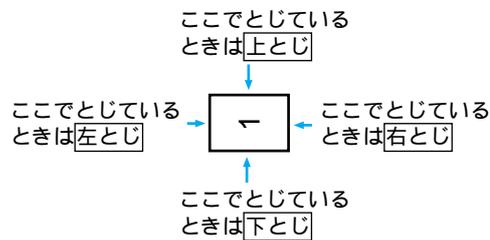
原稿を □ 方向にセットしたとき

原稿セットの方法

自動両面原稿送り装置



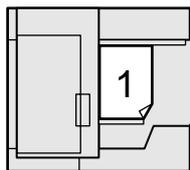
原稿のとじ位置選択の考えかた



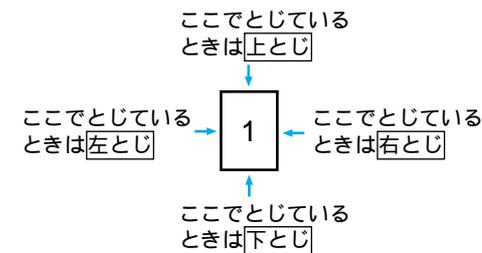
原稿を ▽ 方向にセットしたとき

原稿セットの方法

自動両面原稿送り装置

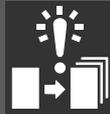


原稿のとじ位置選択の考えかた



お知らせ

自動両面ユニット (オプション) を装着していない場合には、[両面 両面] は利用できません。

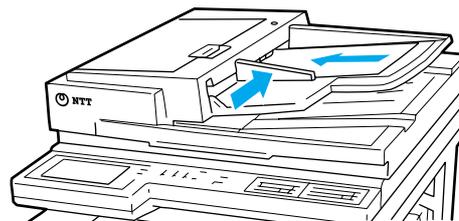


# 両面コピーするには

## 両面原稿を片面コピーする(両面 片面)

1

DADF(自動両面原稿送り装置)に原稿をセットします。(☛P54)



2

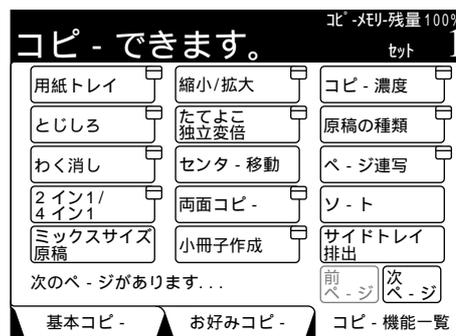
タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで[機能切り替え]ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには(☛P59)  
倍率を指定してコピーするには(☛P64)  
コピー濃度を調整するには(☛P69)

3

コピー機能一覧画面で**両面コピー**を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧**のインデックスを選択します。



4

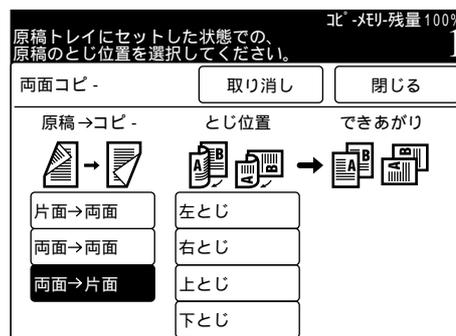
**両面 片面**を選択します。



5

原稿の状態に合わせて、**左とじ**、**右とじ**、**上とじ**、**下とじ**のいずれかを選択します。

とじ位置は、P111のワンポイントを参照して正しく選択してください。



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

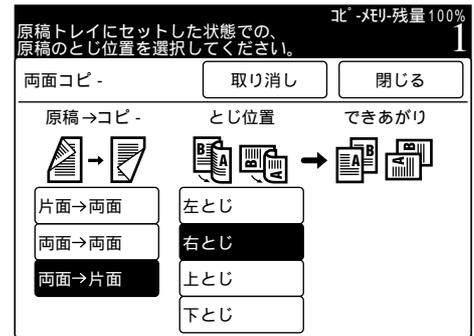
7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

**6** **閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **右とじ** を選択した場合の例です。  
**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



**7** **必要に応じてその他の機能を設定します。**

機能によっては選択できないものがあります。(▶P140)

**8** **コピーする部数(1~99)をダイヤルボタンで入力します。**

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してもう一度入力し直します。

**9** **[スタート]ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

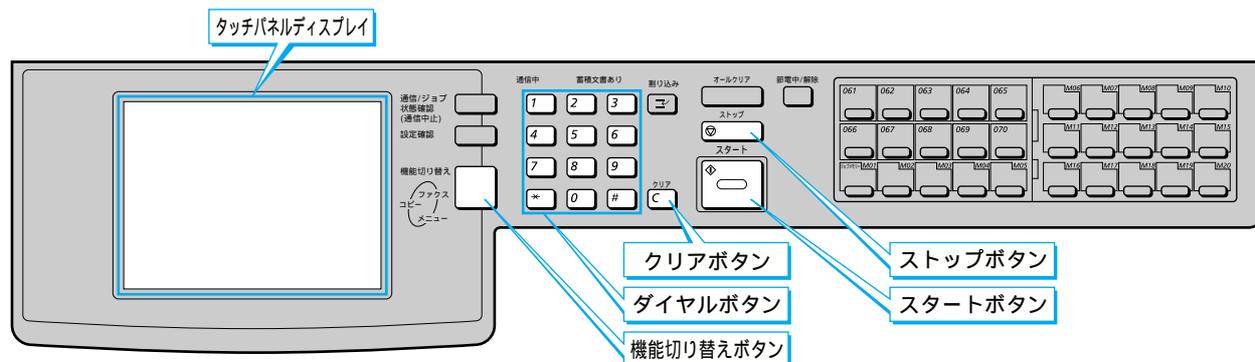
 **ワンポイント** .....

コピー操作を中止するには  
 [ストップ]ボタンを押します。

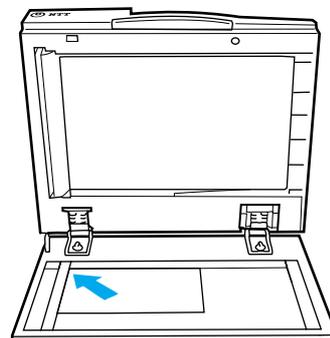


# はがきにコピーするには

多重手差しトレイ（オプション）を利用して、はがきにコピーすることができます。



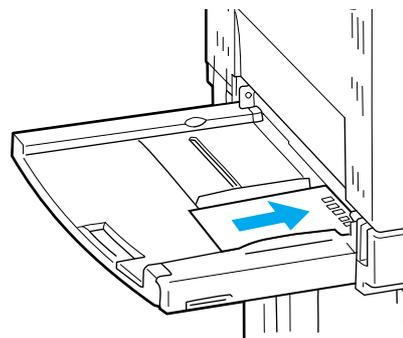
1 コピーガラスに原稿をセットします。(●P54)



2 タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [ 機能切り替え ] ボタンを繰り返し押しします。

倍率を指定してコピーするには (●P64)  
コピー濃度を調整するには (●P69)

3 多重手差しトレイにはがきをセットします。(●P191)



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
っ  
つ

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

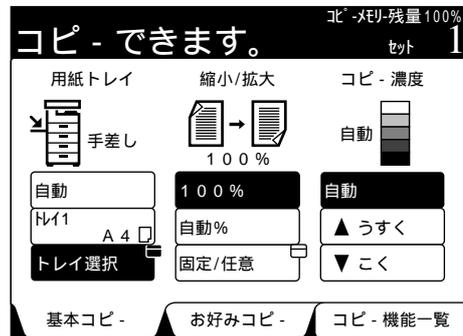
8  
接  
続  
し  
て  
使  
っ  
つ  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

**4** 必要に応じてその他の機能を設定します。

多重手差しトレイに用紙をセットすると、コピー画面で用紙トレイは自動的に「手差しトレイ」が選択されます。本装置の動作状態により「手差しトレイ」が選択されていないときは選択してください。(P61)

機能によっては選択できないものがあります。(P140)



**5** コピーする部数(1~99)をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してもう一度入力し直します。

**6** [スタート]ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

**ワンポイント** .....

コピー操作を中止するには  
[ストップ]ボタンを押します。  
往復はがきにコピーするときは  
原稿やはがきをセットする向きと位置は同じです。

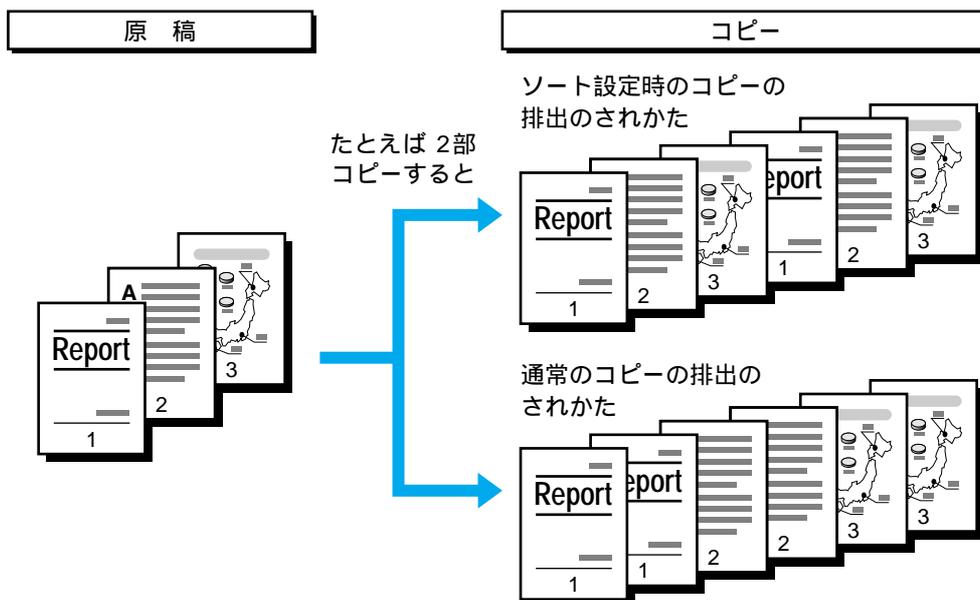
**お知らせ** .....

はがきにコピーしたときは、先端に最大で5 mmの余白が発生します。

# 1部ごとにページ順に並べて排出させるには

(ソート)

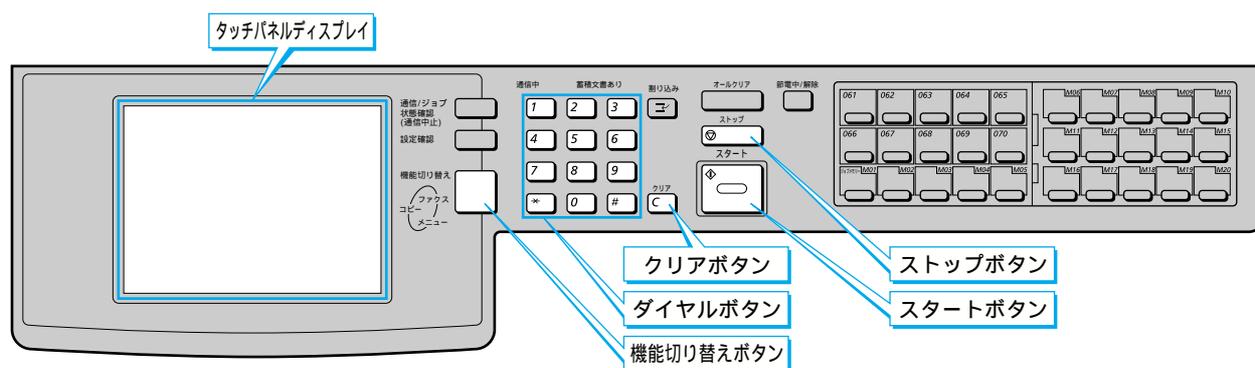
コピーを1部ごとにページ順に並べて排出させることができます(ソート)。オフセット排出機能(●P129、応用P199、302)と組み合わせて利用すると、1部ごとの区切りがわかり便利です。



## お知らせ

メモリがいっぱいになったときは、ソート機能を利用することはできません。タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

ソート機能を利用できる原稿の枚数は、200枚か、メモリがいっぱいになるまでです。



## 1 原稿をセットします。(●P54)

## 2

タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで[機能切り替え]ボタンを繰り返し押し続けます。

用紙を指定してコピーするには(●P59)

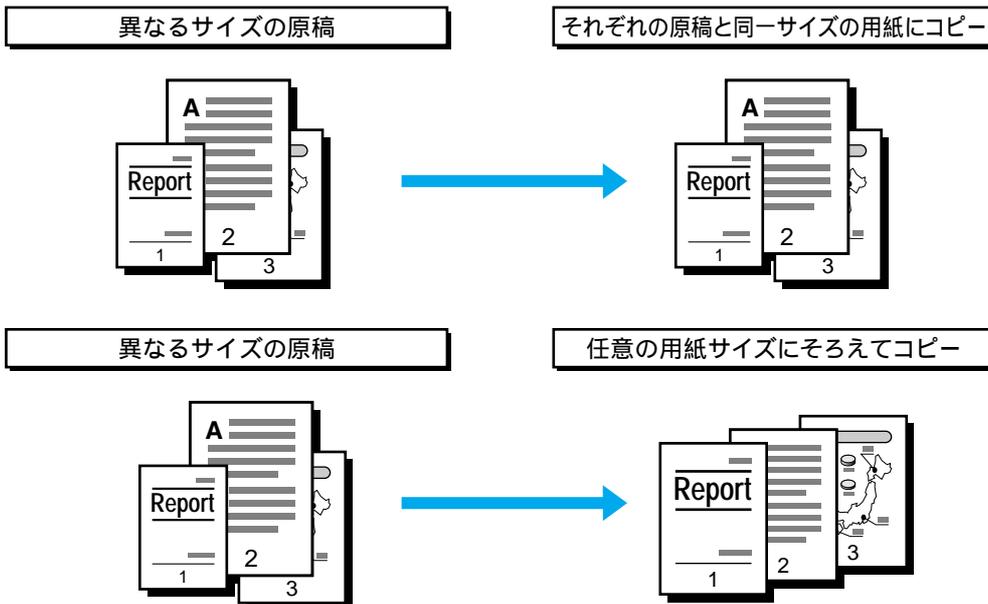
倍率を指定してコピーするには(●P64)

コピー濃度を調整するには(●P69)



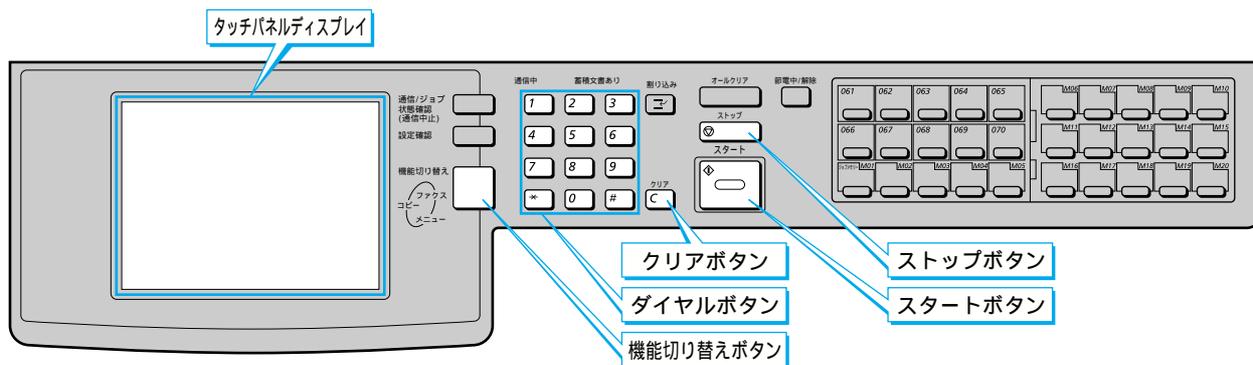
# 異なるサイズ of 原稿を一度に読み取らせるには (ミックスサイズ原稿)

サイズの異なる原稿を一度に読み取って、それぞれの原稿と同一サイズ of 用紙にコピーしたり、任意 of 用紙サイズにそろえてコピーしたりすることができます。ミックスサイズ原稿機能は、DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿をセットして利用します。



## お知らせ

ミックスサイズ原稿機能を利用する場合は、原稿サイズを検知できる定型サイズの原稿をセットしてください。サイズの異なる原稿をDADF (自動両面原稿送り装置) にセットするときは、原稿を奥のガイドに合わせてセットしてください。



1

DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿をセットします。(P54)



2

タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

- 用紙を指定してコピーするには (P59)
- 倍率を指定してコピーするには (P64)
- コピー濃度を調整するには (P69)

1 お使いになる前に

2 原稿をセッとする

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

6 ファックスを受ける

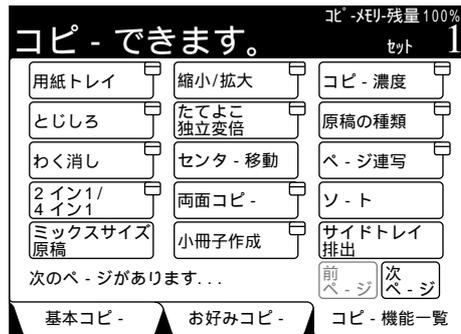
7 電話をかける/受ける

8 留守番電話機を接続して使う

9 こんなときには

**3** コピー機能一覧画面で **ミックスサイズ原稿** を選択します。

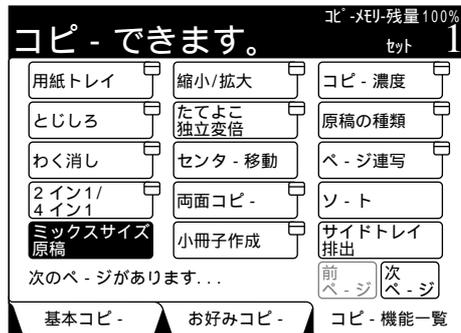
コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。



**4** 必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(P140)  
用紙トレイ の **自動** と、縮小/拡大 の **自動%** や たてよこ独立変倍 で **用紙サイズに合わせる** は同時に選択することはできません。

サイズの異なる原稿を、それぞれの原稿と同一サイズの用紙にコピーするときは、**用紙トレイ** を **自動** に設定します。



**5** コピーする部数 ( 1 ~ 99 ) をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してもう一度入力し直します。

**6** [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

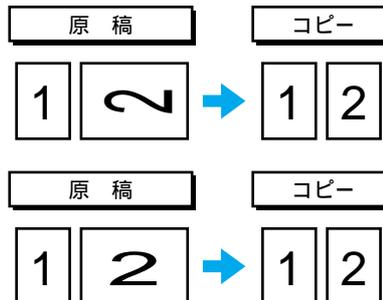
**ワンポイント** .....

コピー操作を中止するには [ストップ] ボタンを押します。

サイズの異なる原稿を、任意の用紙サイズにそろえてコピーするときは以下の2つの方法があります。

**用紙トレイ** で任意のトレイを指定し、**縮小/拡大** を **自動%** に設定します。このとき、自動画像回転が **する** に設定されている (P197、302) と、原稿と用紙の向きが異なっても、右図のように画像が回転してコピーされます。

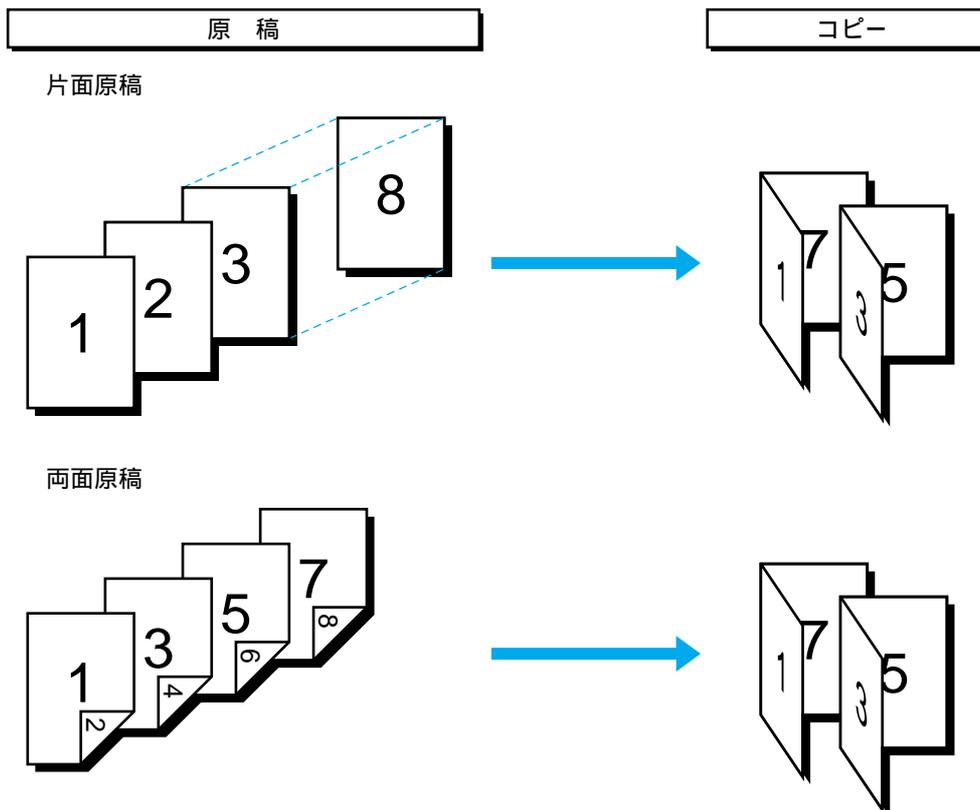
**用紙トレイ** で任意のトレイを指定し、**たてよこ独立変倍** を **用紙サイズに合わせる** に設定します。このとき、自動画像回転が **する** に設定されていても無効となります。原稿と用紙の向きが異なっていると、右図のようにコピーされます。





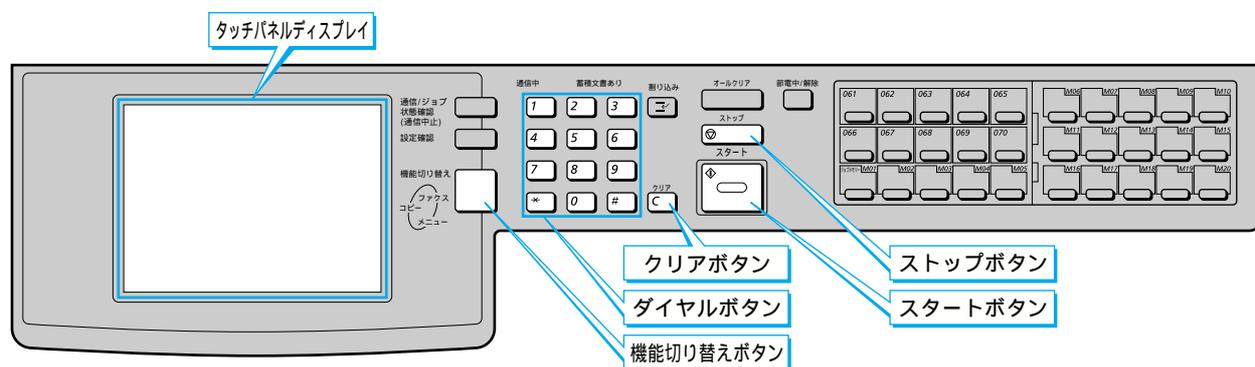
# 小冊子となるようにコピーするには（小冊子作成）

連続した片面または両面原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーすることができます。また、小冊子作成をするときに、中とじしろをつけることもできます。



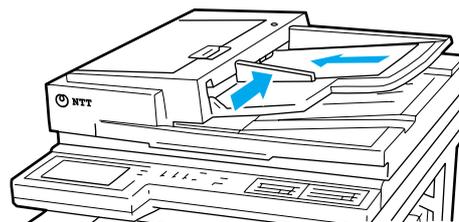
## お知らせ

自動両面ユニット（オプション）を装着していない場合には、小冊子作成機能を利用することはできません。小冊子作成機能は、ミックスサイズ原稿機能、とじしろ機能、2イン1 / 4イン1機能、両面コピー機能、OHP合紙機能と組み合わせて利用することはできません。小冊子作成機能は、多重手差しトレイ（オプション）からのコピー時は利用することはできません。



1

DADF(自動両面原稿送り装置)に原稿をセットします。(P54)



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセッ

3  
コピーする

4  
な機能を使

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使

9  
こんなときは

**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

用紙を指定してコピーするには (●P59)  
倍率を指定してコピーするには (●P64)  
コピー濃度を調整するには (●P69)

**3** コピー機能一覧画面で **小冊子作成** を選択します。

コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。

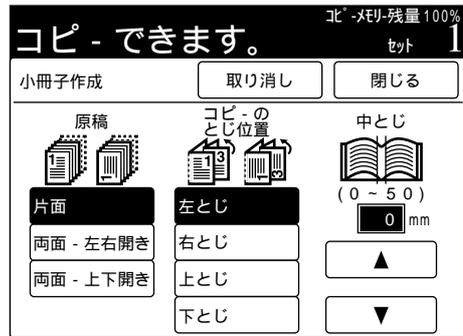
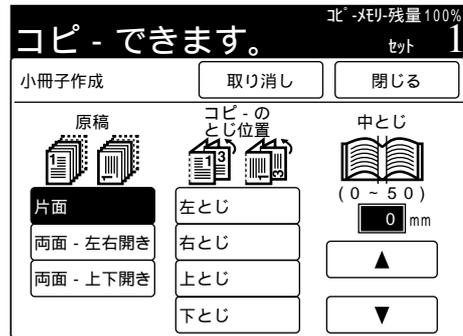
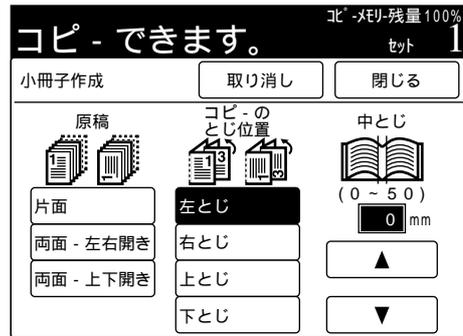
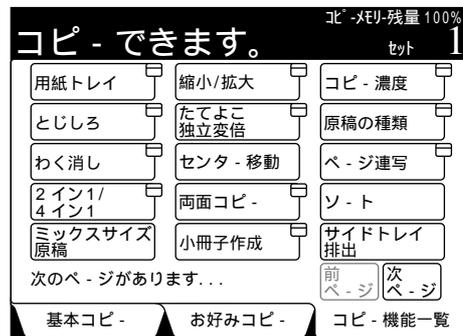
**4** 原稿の状態を選択します。

**5** コピーのとじ位置を選択します。

画面は、手順5で **片面** を選択した場合の例です。  
とじ位置は、P123のワンポイントを参照して正しく選択してください。

**6** 中とじしろをつけるときは、とじしろ量 (0 ~ 50 mm) を   を使って指定します。

画面は、手順5で **左とじ** を選択した場合の例です。





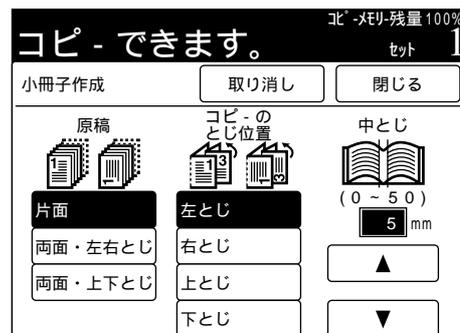
## 小冊子となるようにコピーするには（小冊子作成）

7

**閉じる** を選択します。

画面は、手順6で「5」mmを指定した場合の例です。

**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



8

必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(●P140)

9

コピーする部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してもう一度入力し直します。

10

[スタート]ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

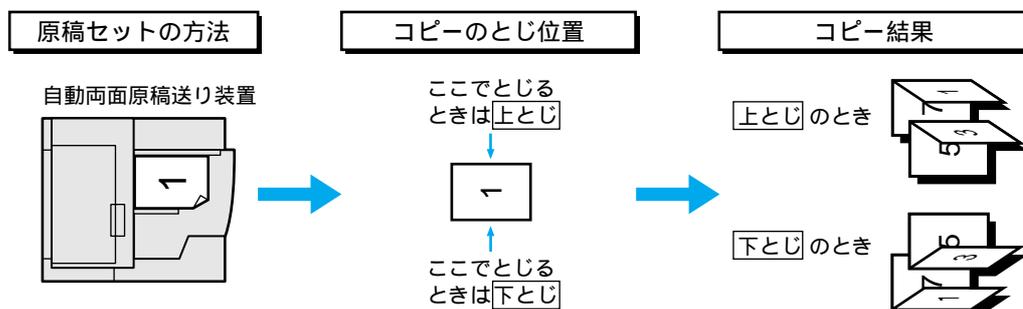


ワンポイント.....

コピー操作を中止するには  
[ストップ]ボタンを押します。  
とじ位置の選択について

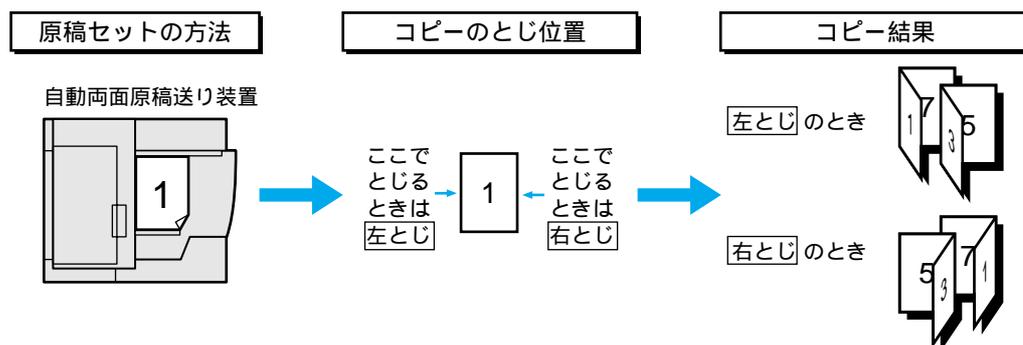
[左とじ]、[右とじ]、[上とじ]、[下とじ]の選択によって、以下のようにおもて面とうら面の天地が自動的に調整されます。

原稿を □ 方向にセットしたとき



上図の「1」は1ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。

原稿を ▽ 方向にセットしたとき



上図の「1」は1ページめの原稿を、「3」は3ページめの原稿を表します。奇数ページがおもて面、偶数ページがうら面になります。



お知らせ

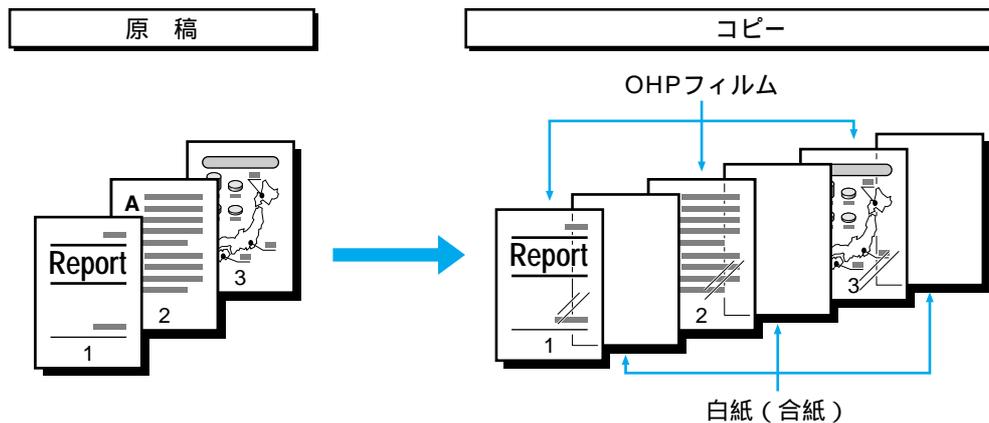
小冊子作成機能を設定した場合は、自動画像回転を [しない] に設定していても、必要に応じて自動画像回転機能がはたらきます。(●応用P197、302)

# OHPフィルムにコピーするには(OHPコピー)

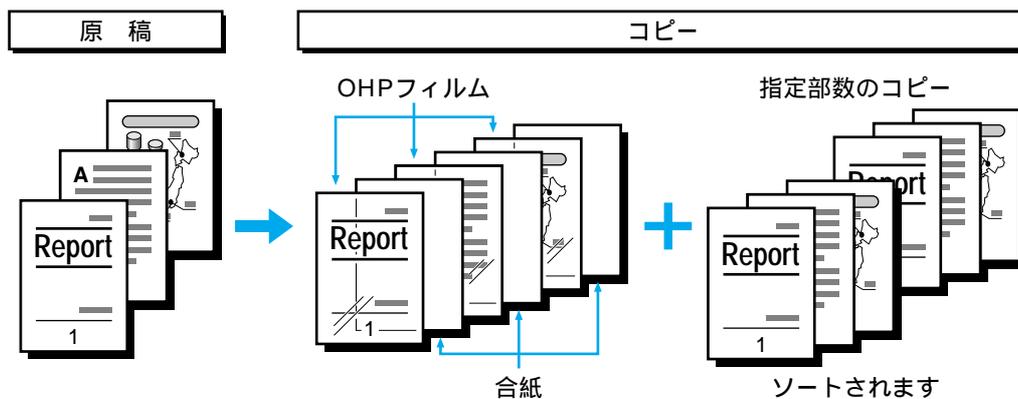
OHPフィルムに適した画質でコピーすることができます。また、コピーしたOHPフィルムの中に、合紙として白紙やコピーを差し込んで排出させることができます。OHPフィルムにコピーされた内容が見やすくなり便利です。また、コピーしたOHPフィルムの中に合紙として白紙を差し込み、同時に必要部数のコピーをすること(会議コピー)もできます。

OHPコピーの白紙挿入機能、コピー挿入機能、会議コピー機能は、多重手差しトレイ(オプション)を装着していないと使用できません。

## OHP合紙



## 会議コピー



## お知らせ

会議コピー機能は、両面コピー機能(両面 片面を除く)と組み合わせて利用することができます。

OHPコピー機能と組み合わせて利用できる機能は、ページ連写機能、2イン1/4イン1機能、ソート機能などです。

(P140)

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

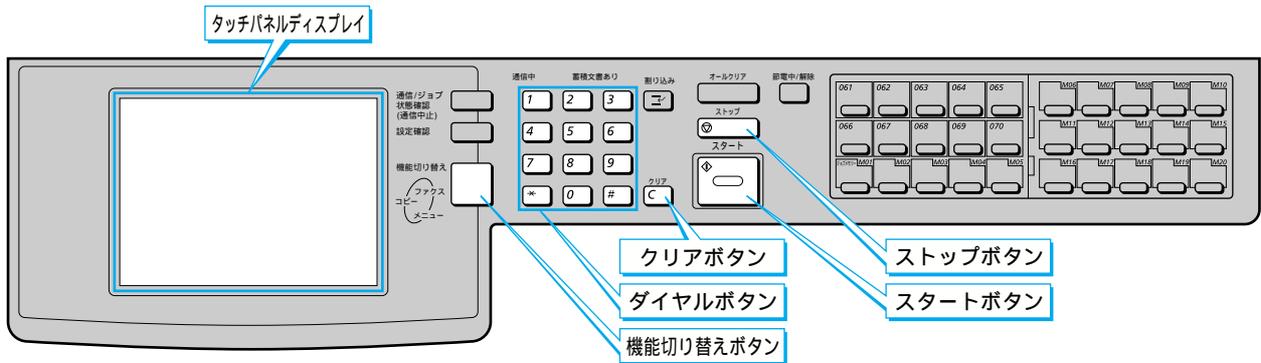
5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は



## OHPフィルムにコピーしたり、OHPフィルムの中に白紙やコピーを差し込む

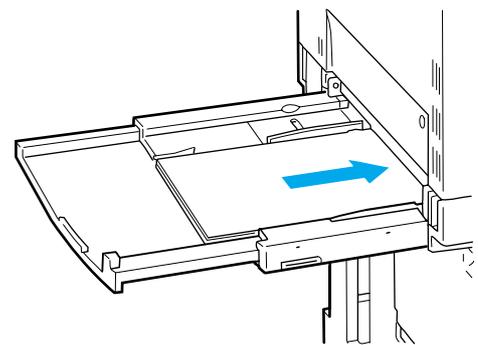
OHPフィルムにコピーします。また、コピーしたOHPフィルムの中に白紙や、同時にコピーした用紙を差し込んで排出させることもできます。

**1** 原稿をセットします。(●P54)  
原稿は、OHPフィルムと同じ向きにセットしてください。

**2** タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。  
倍率を指定してコピーするには(●P64)  
コピー濃度を調整するには(●P69)

**3** 多重手差しトレイ (オプション) にOHPフィルムをセットします。(●P191)  
多重手差しトレイ (オプション) に用紙をセットした場合、または手順6で、OHP合紙の [白紙挿入] や [コピー挿入] を選択した場合、 [用紙トレイ] は自動的に [手差しトレイ] が選択されます。

**4** コピー機能一覧画面で [次ページ] を選択します。  
コピー機能一覧画面が表示されていないときは、 [コピー機能一覧] のインデックスを選択します。

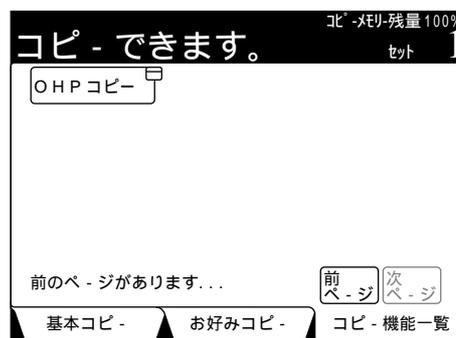


次ページに続きます。

# OHPフィルムにコピーするには(OHPコピー)

5

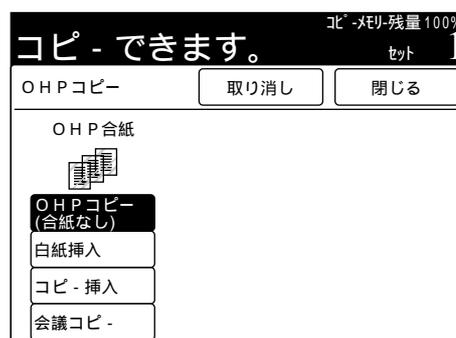
**OHPコピー** を選択します。



6

OHPフィルムの中に白紙またはコピーを挿入する場合は、**白紙挿入** または **コピー挿入** を選択します。

合紙を差し込まないときは **OHPコピー(合紙なし)** を選択して、手順8へ進みます。



7

合紙にしたい用紙がセットされている用紙トレイを選択します。

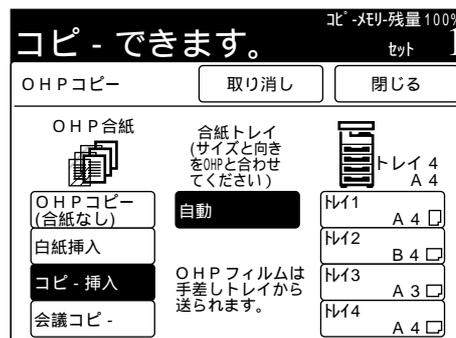
**自動** を選択すると、セットした原稿サイズから自動的に同じサイズの用紙が選択されます。オプションによって表示されるトレイの数が異なります。



8

**閉じる** を選択します。

画面は、手順7で **自動** を選択した場合の例です。**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



9

必要に応じてその他の機能を設定します。

機能によっては選択できないものがあります。(▶P140)

10

**[スタート]** ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。コピー部数は1部以外には設定できません。



ワンポイント.....

コピー操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。

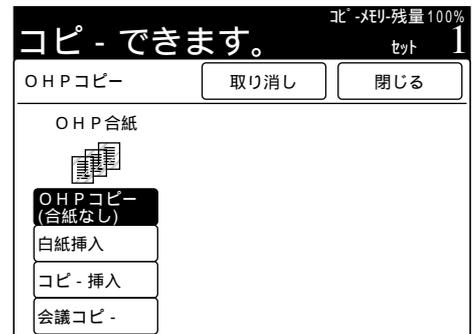
1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
コピーの便利な機能を使う5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかける／8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときには

## OHPフィルムの中に白紙を差し込み、コピーもする（会議コピー）

1回の読み取りで、コピーしたOHPフィルムの中に合紙として白紙を差し込んで排出させ、また必要部数のコピーもできます。

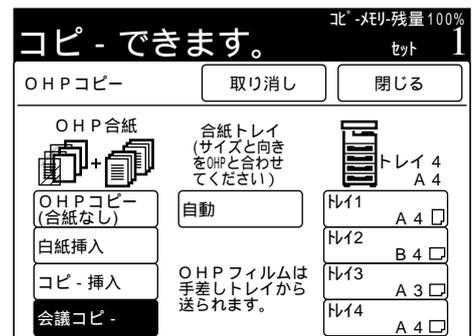
**1** 「OHPフィルムにコピーしたり、OHPフィルムの中に白紙やコピーを差し込む」の手順1～6の操作（P125）をします。

**2** **会議コピー** を選択します。



**3** 合紙およびコピーしたい用紙がセットされている用紙トレイを選択します。

**自動** を選択すると、セットした原稿サイズから自動的に同じサイズの用紙が選択されます。  
合紙とコピーの用紙サイズは同じになります。  
オプションによって表示されるトレイの数が異なります。



**4** **閉じる** を選択します。

画面は、手順3で**自動**を選択した場合の例です。  
**取り消し** を選択すると、設定が取り消されます。



**5** 必要に応じてその他の機能を設定します。

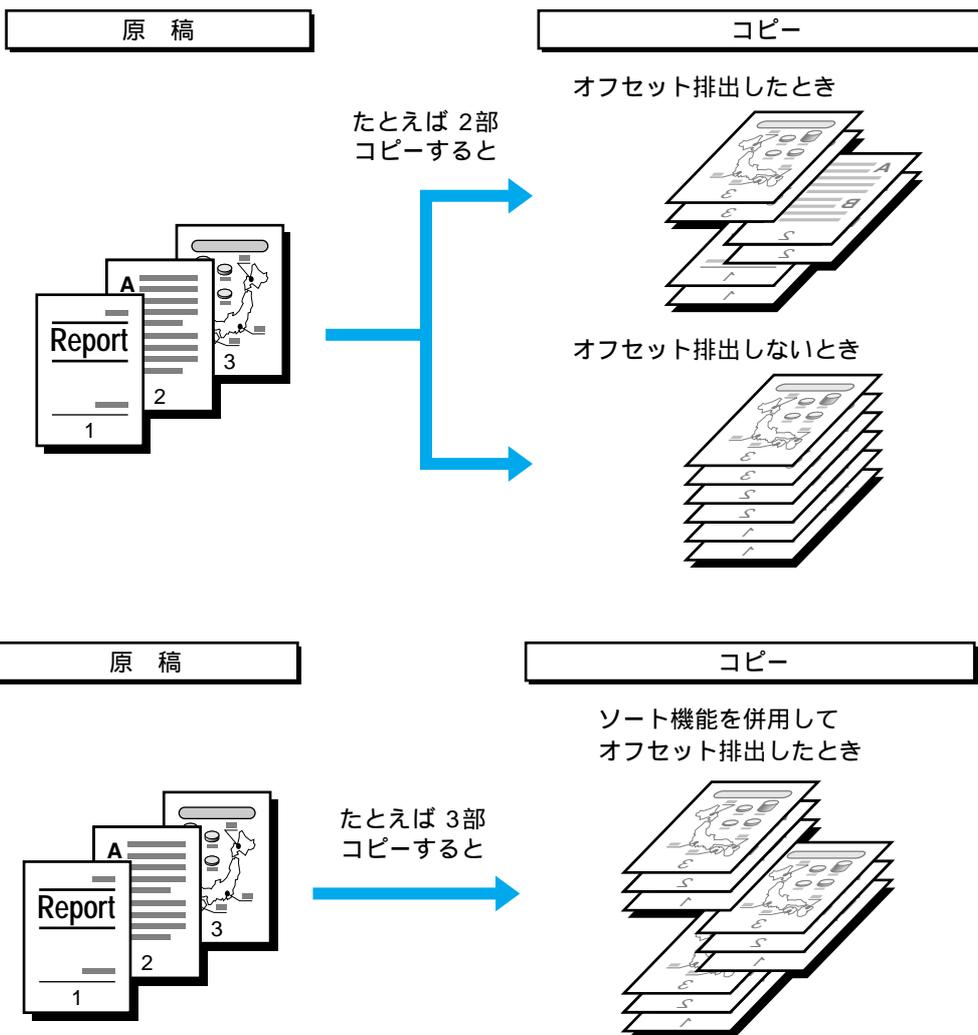
機能によっては選択できないものがあります。（P140）

次ページに続きます。



# ページごとに位置をずらして排出させるには (オフセット排出)

複数枚の原稿をコピーするとき、ページごとにコピーをまとめて、その区切りがわかるように排出位置を交互にずらして排出することができます(オフセット排出)。オフセット排出機能は、仕様設定画面で設定します。(●応用P199、302) オフセット排出を「する」に設定しておくこと、コピー時に特に操作しなくても、オフセット排出機能がはたらきます。お買い求めの時は、オフセット排出を「する」に設定されています。オフセット排出のとき、用紙の排出先はセンタートレイとなります。



1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 送る  
ファックスを

6 受ける  
ファックスを

7 受ける  
電話をかけるノ

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 ほんなどときには



## ワンポイント .....

オフセット排出されないようにするには  
オフセット排出の設定を「しない」に変更すると、排出位置をずらす機能がはたらかなくなります。(●応用P199、302)



## お知らせ

オフセット排出機能は、自動両面ユニット(オプション)またはサイドトレイキットA(オプション)を装着していない場合は、利用することができません。

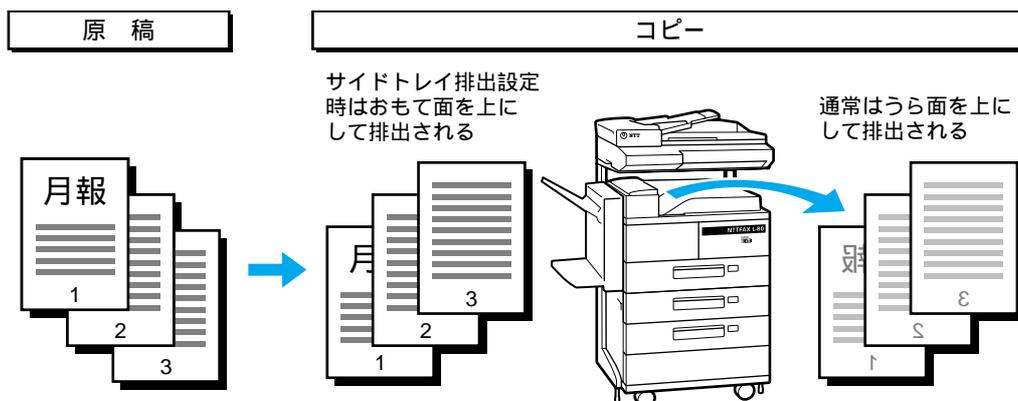
オフセット排出機能は、コピー画面から設定を変更することはできません。

サイドトレイ(オプション)にはオフセット排出することはできません。



## コピーのおもて面を上にして排出させるには (サイドトレイ排出)

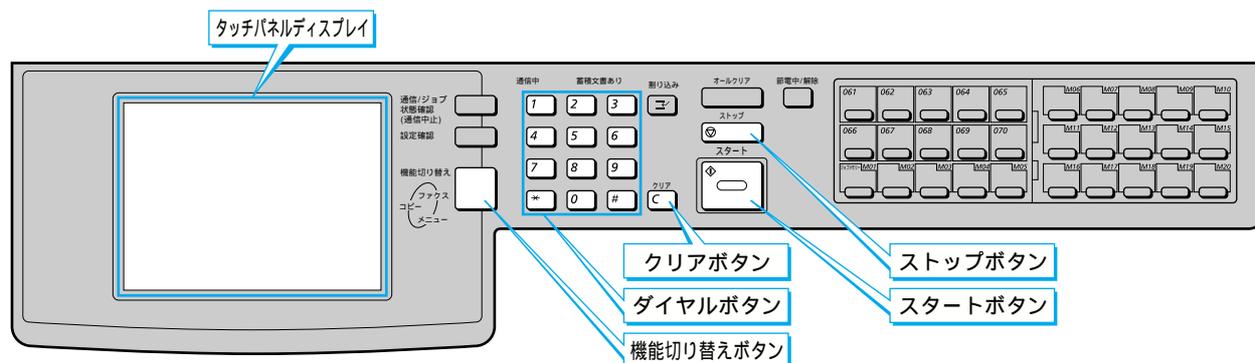
センタートレイでは、コピーのうら面が上向きになって排出されます。サイドトレイ（オプション）を利用して、サイドトレイ排出機能を設定すると、コピーのおもて面が上向きになって排出されます。



### お知らせ

サイドトレイ（オプション）にはオフセット排出（☛P129）することはできません。

サイドトレイ排出機能は、仕様設定画面から設定することもできます。（☛応用P187、300）



## 1 原稿をセットします。（☛P54）

## 2

タッチパネルディスプレイにコピー画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押し続けます。

用紙を指定してコピーするには（☛P59）

倍率を指定してコピーするには（☛P64）

コピー濃度を調整するには（☛P69）

1  
前に  
お使用になる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

コピー機能一覧画面で **サイドトレイ排出** を選択します。

3  
コピー機能一覧画面が表示されていないときは、**コピー機能一覧** のインデックスを選択します。

4  
必要に応じてその他の機能を設定します。

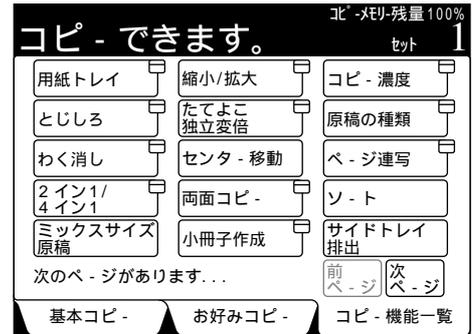
機能によっては選択できないものがあります。(●P140)

5  
コピーする部数(1~99)をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してもう一度入力し直します。

6  
[スタート]ボタンを押します。

原稿が読み取られ、コピーが開始されます。



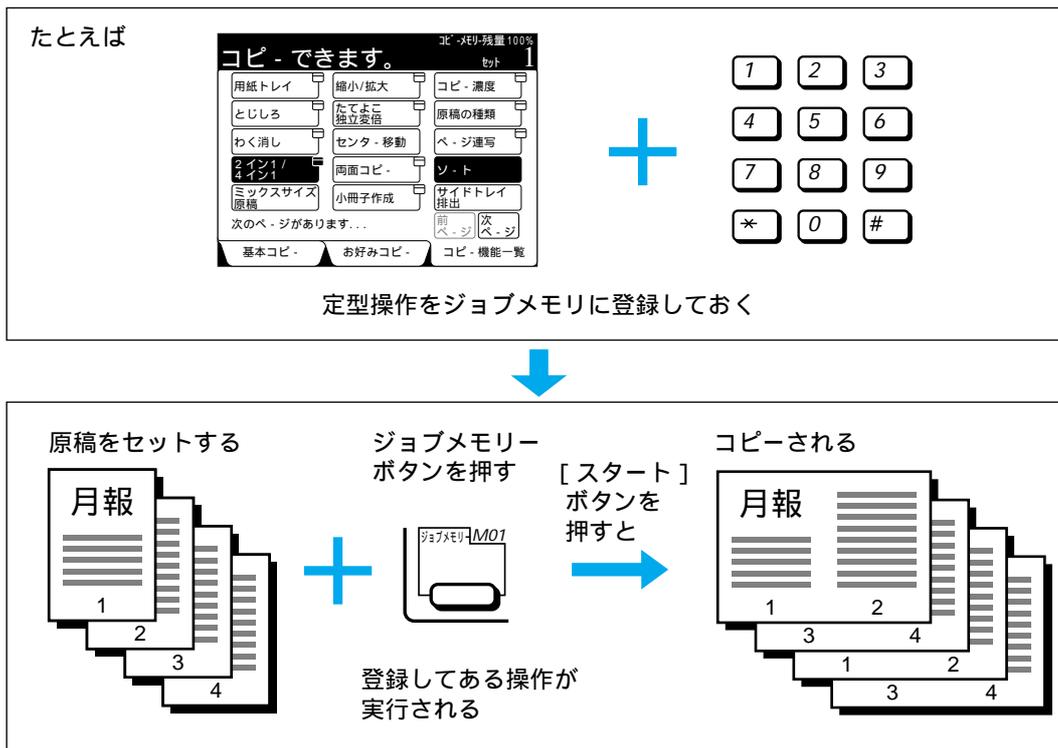
ワンポイント.....

コピー操作を中止するには  
[ストップ]ボタンを押します。

## 4. コピーの便利な機能を使う

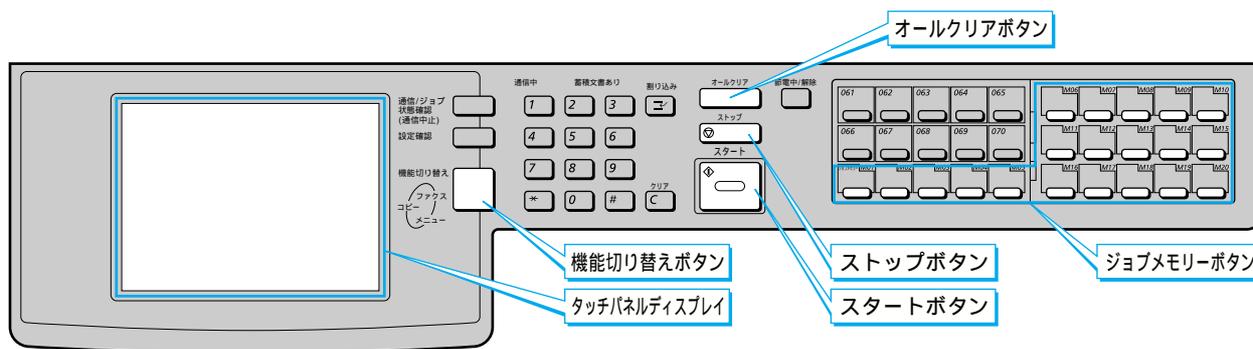
# 定型操作をボタンに登録してコピーを簡単にするには (ジョブメモリ)

一連の定型操作をジョブメモリに登録しておくと、1つのボタンを押すだけで登録した定型操作を呼び出して実行することができます。いつも同じ設定でコピーする場合は、ジョブメモリに登録しておくとう便利です。



### お知らせ

ジョブメモリには、ジョブメモリーボタン、メーター確認、診断、コピー開始のための [スタート] ボタン、[オールクリア] ボタンは登録できません。



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
コピーの便利な機能を使う

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける／

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

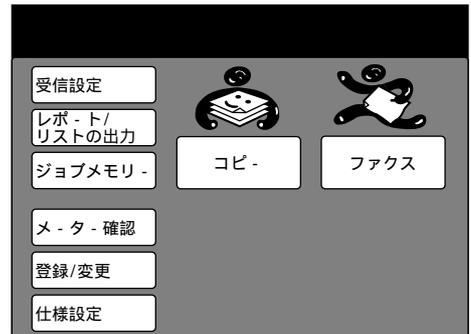
## 定型操作をジョブメモリに登録する

ファクス機能のジョブメモリの登録の数と合わせて20種類登録することができます。

1

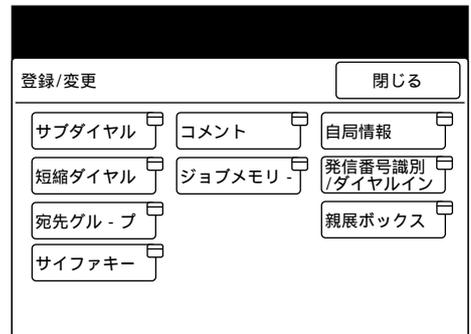
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**ジョブメモリー** を選択します。



3

登録するボタン番号を、直接指で触れるか   を使って選択します。

「(登録済)」と表示されているボタンや、コメントの記入されているボタンは、すでに操作が登録されています。



4

**登録/変更** を選択します。

画面は、手順3でボタン番号「1」を選択した場合の例です。



次ページに続きます。

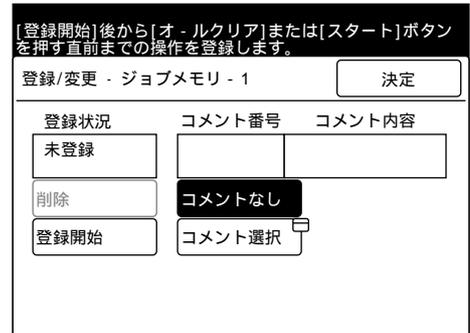
# 定型操作をボタンに登録してコピーを簡単にするには (ジョブメモリ)



5

コメントを付けたいときは、**コメント選択**を選択します。

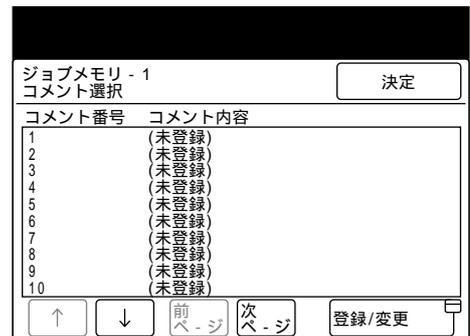
コメントを付けないときは、**コメントなし**が選択されているのを確認して手順11へ進みます。



6

「(未登録)」と表示されているコメント番号を、直接指で触れるか□□を使って選択します。

すでに登録されているコメントを使うときは、そのコメント番号を選択して、手順10へ進みます。



7

**登録/変更**を選択します。

画面は、手順6でコメント番号「1」を選択した場合の例です。



8

コメント(最大18文字)を▶の横に入力します。

文字を入力するには(▶P48)

ここでは例として「月報」と入力します。

はじめに「げつ」と入力して**単漢字変換**ボタンを押し、「月」を表示させ、次に「ほう」と入力して**単漢字変換**ボタンを押し、「報」を表示させます。



9

**決定**を選択します。

**取り消し**を選択すると、設定が取り消されます。





# 定型操作をボタンに登録してコピーを簡単にするには (ジョブメモリ)

## ジョブメモリの登録を変更 / 削除する

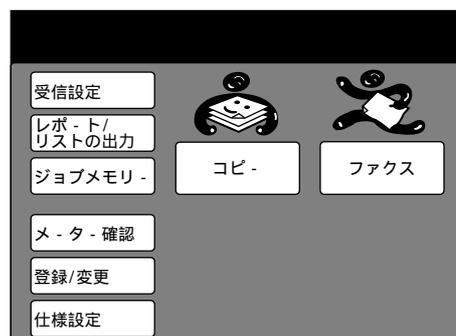
### 登録内容の変更

登録操作を変更するとコメントも削除されてしまいます。もう一度登録し直してください。

1

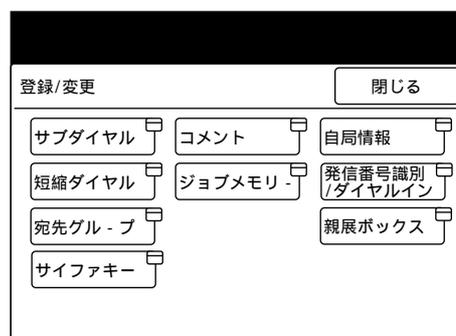
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[ 機能切り替え ] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**ジョブメモリー** を選択します。



3

登録を変更したいボタン番号を、直接指で触れるか   を使って選択します。

「(登録済)」と表示されているボタンや、コメントの記入されているボタンは、すでに操作が登録されています。ここでは例として、ボタン番号「1」を選択します。



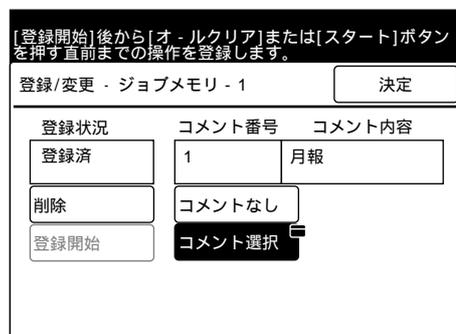
4

**登録/変更** を選択します。

5

登録操作を変更するときには、**削除** を選択します。

コメントも削除されます。



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

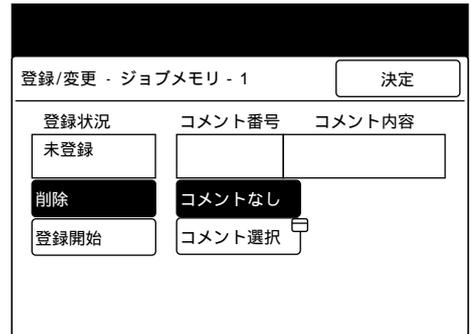
7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

**6** **コメント選択** を選択します。

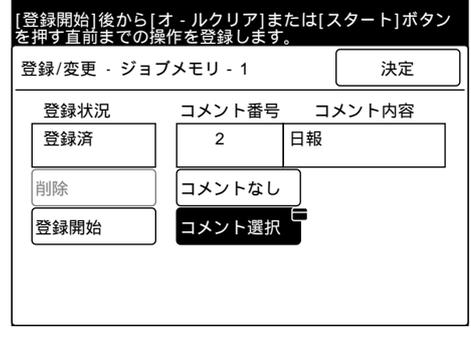
コメントを登録しないときは、**コメントなし** を選択して **決定** を選択し、手順8へ進みます。



**7** コメントを変更あるいは新たに設定するときは「定型操作をジョブメモリに登録する」(P133)の手順6~10の操作をして、コメントを入力します。

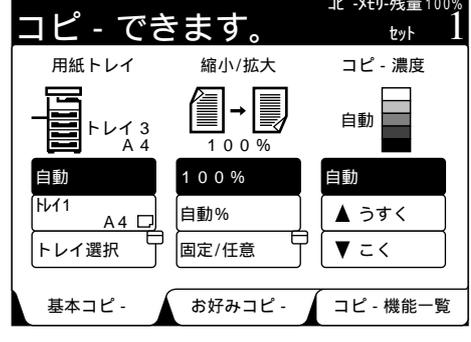
**8** **登録開始** を選択します。

「ブップッ...」という音が鳴ります。



**9** 登録したい操作を、すべて選択します。

58ステップまで登録することができます。1ステップはボタンを1回選択する(押す)操作です。



**10** 最後に [ オールクリア ] ボタンを押します。

初期画面に戻ります。

**ワンポイント** .....

ジョブメモリのコメントだけを変更するには  
手順1~4の操作を行います。  
手順6~7の操作を行い、新しいコメントを登録します。  
**決定** を選択します。  
[ オールクリア ] ボタンを押します。

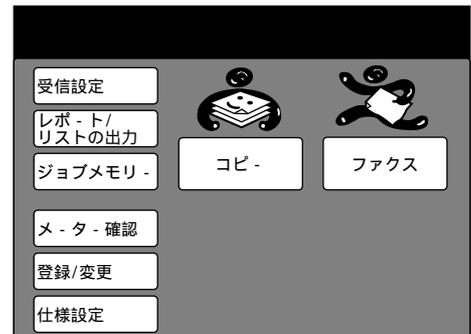
ジョブメモリのコメントだけを削除するには  
手順1~4の操作を行います。  
**コメントなし** と **決定** を選択します。  
[ オールクリア ] ボタンを押します。

# 定型操作をボタンに登録してコピーを簡単にするには (ジョブメモリ)

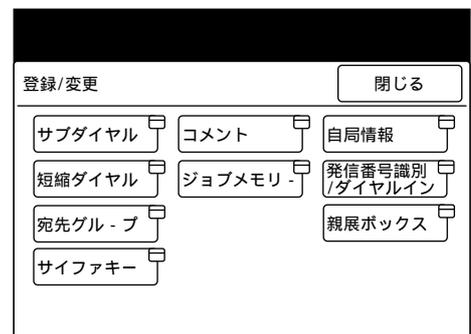
## 登録内容の削除

1 タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[ 機能切り替え ] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2 **ジョブメモリー** を選択します。



3 登録を削除したいボタン番号を、直接指で触れるか   を使って選択します。

ここでは例として、ボタン番号「1」を選択します。



4 **登録/変更** を選択します。



5 **削除** を選択します。

6 **決定** を選択します。



# 機能の組み合わせ一覧表

		設定されている機能		用紙トレイ選択		縮小/拡大		濃度調整		たてよこ独立変倍			原稿の種類			両面コピー						
		自動	トレイ1~4	手差し	自動%	固定/任意	自動	任意	とじしろ	たてよこ自動	任意倍率	寸法指定	文字/写真	文字	写真	わく消し	センター移動	ページ連写	両面 片面	両面 両面	片面 両面	
設定しようとする機能																						
用紙トレイ 選択	自動				×					×		1										
	トレイ1~4																					
	手差し				×					×		3				×				×	×	
縮小/ 拡大	自動%	×		×																		
	固定/任意																					
濃度 調整	自動												×		×							
	任意																					
とじしろ																						
たてよこ 独立変倍	たてよこ自動	×		×																		
	任意倍率																					
	寸法指定	1		3																		
原稿の 種類	文字/写真								×													
	文字																					
	写真								×													
わく消し																						
センター移動				×																		
ページ連写																				×	×	
両面 コピー	両面 片面																			×		
	両面 両面			×																×		
	片面 両面			×																		
小冊子作成										×									×	×	×	×
2イン1 / 4イン1				×																×		
OHPコピー						2															×	×
OHPコピー(会議コピー)						4																
サイドトレイ排出																						
ソート																						
オフセット排出																						
ミックスサイズ原稿																					×	
セット 原稿	コピーガラス																				×	×
	自動両面原稿送り装置																				×	



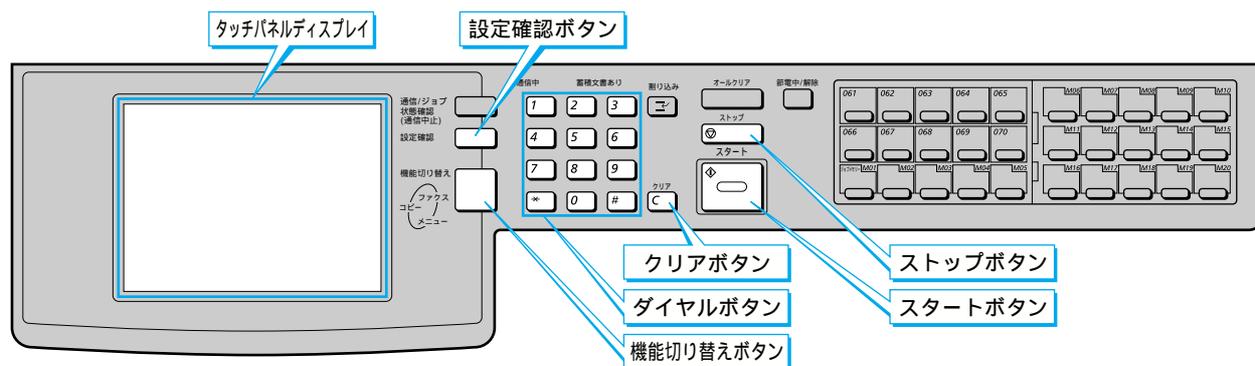


# ファクスを送るには

# (メモリ送信)

本装置は、読み取った原稿をメモリに蓄積して送信します。高速に読み込むことができるので、送信の完了を待たずに原稿が持ち帰れます。

相手先を指定する方法にはダイヤル入力のほかに、短縮番号 (●P150)、ワンタッチボタン (●P150)、宛先表 (●P151)、グループ番号 (●P153)、サブダイヤル (●P153) を使う方法があります。



## ファクスを送る (基本操作)

**1** 原稿をセットします。(●P54)

**2** タッチパネルディスプレイにファクス画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

送信画質を選択するには (●P144)  
 原稿の種類を選択するには (●P145)  
 送信濃度を選択するには (●P146)  
 通信モードを選択するには (●P147)

**3** 相手先のファクスの電話番号をダイヤルボタンで入力します。

相手先を短縮番号で指定するには (●P150)  
 相手先をワンタッチボタンで指定するには (●P150)  
 相手先を宛先表を使って指定するには (●P151)  
 相手先をグループ番号で指定するには (●P153)  
 相手先をサブダイヤルを使って指定するには (●P153)  
 入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

**4** [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセッ  
ト

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファクスを

6  
受ける  
ファクスを

7  
受ける  
電話をかける/  
受ける

8  
接続して使う  
留守番電話機を

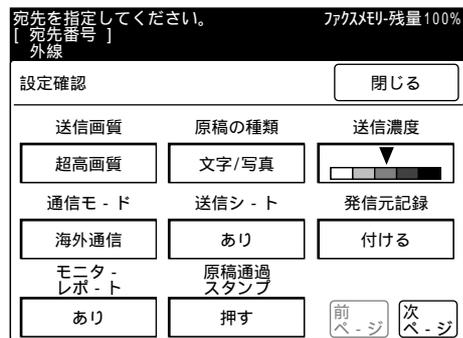
9  
こんなときには



ワンポイント.....

送信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。  
通信を確認/中止するには (●P166、169)  
送信結果を確認するには (●応用P128)  
原稿がつまったときは (●P205)  
相手先が話し中/通信中のときは  
約1分間隔で2回まで自動的にリダイヤルされます。  
リダイヤルの回数を変更することができます。  
(●応用P222、306)  
すべての原稿がメモリに読み込まれたかどうかを確認するには  
済スタンプ(オプション)をご利用になると、メモリに読み込まれた原稿にスタンプが押されます。  
(●応用P306、334)  
メモリ(標準:2MB)に蓄積できる原稿の枚数は  
A4判700字程度で約101枚(標準の画質で読み取った場合)です。画質、原稿の種類によって枚数は異なります。

通信障害のため中断されたときは  
送信できなかったページが自動的に再送(3回)されます。送り直す回数を変更することもできます。  
(●応用P224、308)  
現在の設定を確認するには  
ファクス画面を表示した状態で[設定確認]ボタンを押します。



機能を1ページに表示しきれない場合は、  
[前ページ]や[次ページ]を選択して表示させます。  
[閉じる]を選択するか[設定確認]ボタンを押して、  
ファクス画面に戻ります。

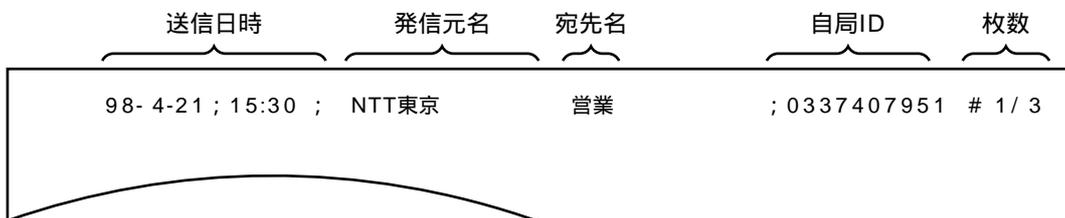


お知らせ

相手の方がお話し中で、自動リダイヤルを行っても送信できなかった場合には、メモリに蓄積された原稿は削除されますので、もう一度はじめから送り直してください。  
原稿読み込み蓄積中に、「メモリーオーバーフローです。蓄積を中止しました。[ストップ]ボタンを押してください。」と表示された場合は、読み込み中の原稿はメモリに蓄積されず、排出されます。またメモリー残量は、一度「0%」を表示したあと、その原稿を読み込む前の残量が表示されます。  
送信できなかった原稿がある場合には、未送信レポートが出力されます。未送信レポートが出力されないように設定を変更することもできます。(●応用P148、298)

発信元記録について

ファクスを送信すると、相手先の記録紙の先端に送信日時やこちらの名前・電話番号などがプリントされます。これを発信元記録といいます。



- 発信元記録を付けると、相手先が受信する文書の先端の情報が一部欠けることがあります。
- 宛先名は、短縮登録(●応用P17)されている相手先でのみプリントされます。
- 再送された文書の場合は、送信日時の左側に「再送」とプリントされます。
- 発信元記録がプリントされないように設定を変更することもできます。(●応用P304)







# 送信画質 / 原稿の種類 / 送信濃度を選択するには

## 送信濃度を選択する

送信濃度は5段階の中から選択することができます。お買い求め時は「ふつう」に設定されています。

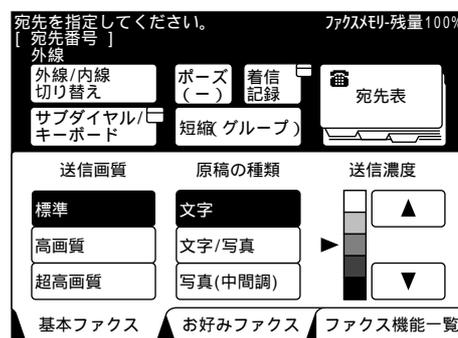
地色が濃い場合などは「うすく」を、文字が鉛筆書きなどで薄い場合などは「こく」を選択すると、より読みやすく送信できます。

**1** タッチパネルディスプレイに、ファクス画面が表示されるまで「機能切り替え」ボタンを繰り返し押します。

基本ファクス画面で   を選択して、送信濃度を指定します。

**2**

基本ファクス画面が表示されていないときは「基本ファクス」のインデックスを選択します。



お好みファクス画面またはファクス機能一覧画面で指定するとき

お好みファクス画面またはファクス機能一覧画面で「送信濃度」を選択すると、右のポップアップ画面が表示されます。5段階のうちいずれかを選択して送信濃度を指定することができます。



ワンポイント .....

「うすく」や「こく」などをよく選択する場合は

送信濃度の初期値を変更しておく、送信のたびに選択する手間が省けます。(●応用P304)





## 相手先を指定するには

相手先を指定するには、以下の方法があります。

- ダイヤル入力で指定する
- 短縮番号で指定する
- ワンタッチボタンで指定する
- 宛先表を使って指定する
- グループ番号で指定する
- サブダイヤルを使って指定する

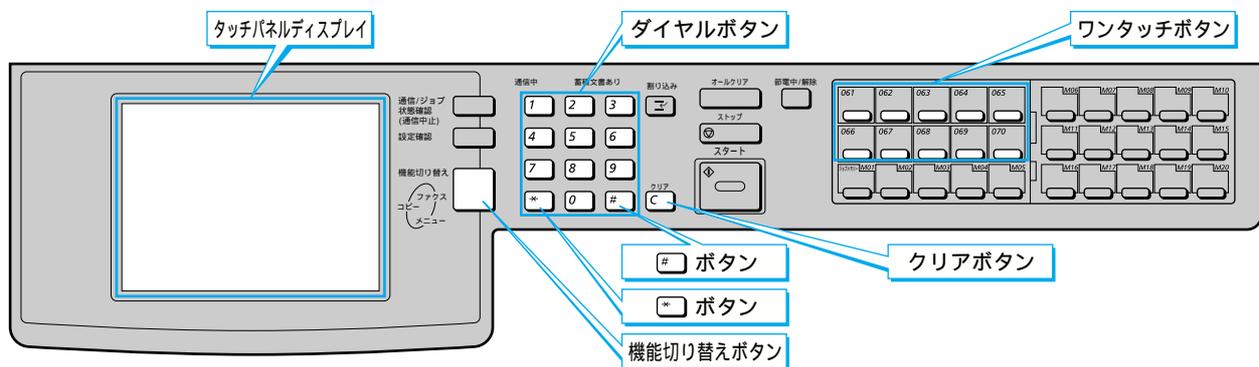


### お知らせ

短縮番号・ワンタッチボタン・宛先表を使った指定を行うためには、あらかじめ短縮ダイヤルを登録しておきます。(●応用P16)

グループ番号を使った指定を行うには、あらかじめ短縮ダイヤルを登録し、さらにその短縮ダイヤルを目的に応じてグループ化しておきます。(●応用P35)

サブダイヤルは、ダイヤル入力や短縮番号などと組み合わせて使います。サブダイヤルを使った指定を行うためには、あらかじめサブダイヤルを登録しておきます。(●P160、応用P14、322)



## ダイヤル入力で指定する

ダイヤルボタンでファクスの電話番号を入力します。

# 1

### 相手先のファクスの電話番号をダイヤルボタンで入力します。

入力した電話番号が画面に表示されます。  
入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



### ワンポイント

ダイヤルボタンで指定後、複数の相手先を指定するには

[次宛先]を選択し、次の相手先を指定します。[次宛先]は基本ファクス画面かお好みファクス画面でダイヤル入力後に表示されます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ツ  
ト

3  
「  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

### 特殊記号を入力するには

相手先を指定するとき、タッチパネルディスプレイのキーボード (●P48) を使って特殊記号を入力することにより、以下のような機能を利用することができます。

機能	ボタン	はたらき	入力方法
ポーズを入れる	ポーズ(-)	「0」発信などの場合に、内線から外線への切り替えに要する時間(ポーズ)を設定します(1ポーズ=3秒)。繰り返し使用して、6秒、9秒...のポーズを設定することもできます。	基本ファクス画面の「ポーズ(-)」を選択します。「0」などの外線発信番号のあとに入力します。 例 0-033... 0--033...
外線のダイヤルトーンを検出する	=	内線から外線への切り替え時に外線のダイヤルトーン(発信音)を検出します。3秒以上のポーズが必要な場合に、ポーズ記号よりも確実に待ち時間を設定することができます。	1.基本ファクス画面の「サブダイヤル/キーボード」を選択します。 2.「サブダイヤル/キーボード」を選択し、キーボードを表示します。 3.=を選択します。 例 0=033...
第2ダイヤルトーンを検出する	= =	「プップッ...」という音の第2ダイヤルトーンを検出します。ファクシミリ通信網を利用する場合などに、音声確認の手間を省き、確実に待ち時間を設定することができます。	1.基本ファクス画面の「サブダイヤル/キーボード」を選択します。 2.「サブダイヤル/キーボード」を選択し、キーボードを表示します。 3.=を2回選択します。 例 00==033...
サブアドレスを指定する	_	ISDN/G4通信をする場合に、サブアドレスを指定するときに設定します。	1.基本ファクス画面の「サブダイヤル/キーボード」を選択します。 2.「サブダイヤル/キーボード」を選択し、キーボードを表示します。 3._を選択します。 例 0335094202_0001
ポートを指定して送信する	< >	増設ポートが装着されている場合に、ポートを指定して送信するときに使います。ポートごとに自局情報を登録できるので、回線を使い分けたいときに使います。	1.基本ファクス画面の「サブダイヤル/キーボード」を選択します。 2.「サブダイヤル/キーボード」を選択し、キーボードを表示します。 3.<、ポート番号(1~6、9)、>を選択します。 ポート番号は次の通りです。 外線1 1、内線1 2、外線2 3、内線2 4、外線3 5、内線3 6、ISDN 9 例 外線1から0335094202へ送信するとき: 1 0335094202
ダイヤル回線からトーン信号を送出する	トーン(:)	ダイヤル回線からFAX情報サービスを利用する場合など、トーン信号を送出したいときに使います。	1.オンフックまたはオフフック画面で「トーン(:)」を選択します。



# 相手先を指定するには

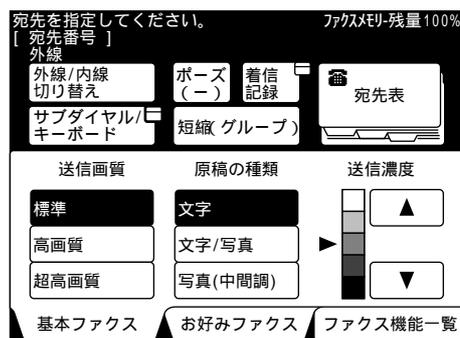
## 短縮番号で指定する

あらかじめ相手先を短縮ダイヤルに登録しておきます。(●P154、応用P16、322) 短縮番号を使う場合、ワイルドカード(  ボタン )を使って複数の相手先を指定することもできます。

**1** タッチパネルディスプレイに、ファクス画面が表示されるまで [ 機能切り替え ] ボタンを繰り返し押します。

**2** 基本ファクス画面またはお好みファクス画面で **短縮(グループ)** を選択します。

基本ファクス画面またはお好みファクス画面が表示されていないときは **基本ファクス** または **お好みファクス** のインデックスを選択します。



**3** 短縮番号(3桁の数字)をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[ クリア ] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



**ワンポイント** .....

ワイルドカード(  ボタン )を使って短縮ダイヤルを指定するには

- 10宛先単位で指定するとき  
「百の位」+「十の位」のあとに「\*」を入力します。  
例：01\* : 010 ~ 019
- すべての短縮ダイヤルを指定するとき  
「\* \* \*」を入力します。

短縮番号で複数の相手先を指定するには  
手順2~3を繰り返します。

## ワンタッチボタンで指定する

ワンタッチボタンは、短縮ダイヤルに対応しています。あらかじめ相手先を短縮ダイヤルに登録しておいてください。(●P154、応用P16、322)

**ワンタッチボタンを押します。**

**1**



ワンタッチボタン001~070は、短縮番号001~070に対応しています。

ワンタッチボタン031以降を押すときは、パネルをめくり  
ます。



**ワンポイント** .....

ワンタッチボタンで複数の相手先を指定するには  
手順1を繰り返します。





# 相手先を指定するには

## 宛先表の使いかた

基本ファクス画面またはお好みファクス画面で「宛先表」を選択すると、下のような画面が表示されます。

宛先を指定してください。  
[宛先番号]  
外線

001 NTT営業	002 NTT開発	003 NTT北陸	閉じる
004 NTT東海	005 NTT四国	006 NTT関東	宛先検索
007 小田原営業所	008 NTT総務	009 いわき支店	短縮 001 (001-300) 表示番号変更
010 横浜支店	011 人事	012 NY	↑ 前ページ ↓ 次ページ

宛先一覧 / 検索    あ / か    さ / た  
な / は    ま / や    ら / わ    英 / 数字

番号で検索したいときに選択し、上の欄に短縮番号をダイヤルボタンで入力します。

次のページや前のページを表示させたいときに選択します。

宛先名の文字をキーワードとして検索します。文字を入力し、「検索実行」を選択します。

検索文字を入力してください。その文字が入っている宛先を検索します。

検索文字    取り消し    検索実行

▼

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退
を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	空白
ん	る	よ	む	ぶ	ぬ	つ	す	く	う	無変換
°	れ	-	め	へ	ね	て	せ	け	え	シフト
°	ろ	々	も	ほ	の	と	そ	こ	お	シフト
記号	英/数	カタカナ	ひらがな	単漢字変換						

短縮登録時に登録した索引文字を指定して検索します。

宛先を指定してください。  
[宛先番号]  
外線

閉じる

右の索引文字を選択してください。

た	さ
ち	し
つ	す
て	せ
と	そ

宛先一覧 / 検索    あ / か    さ / た  
な / は    ま / や    ら / わ    英 / 数字

宛先表で相手先を検索する方法には、以下の3通りの方法があります。

- 短縮番号で検索する
- 宛先名のうちの1文字を手がかりに検索する
- 短縮ダイヤルに登録してある索引文字で検索する

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセッ  
ト

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファクスを

6  
受ける  
ファクスを

7  
受ける  
電話をかける/  
受ける

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

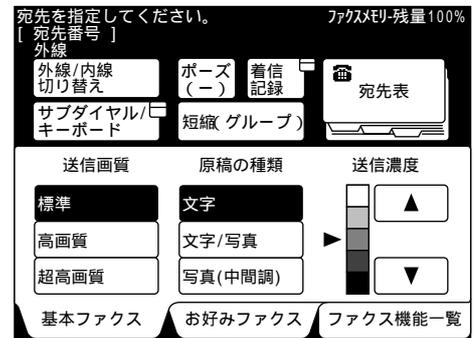
## グループ番号で指定する

あらかじめ複数の短縮ダイヤル（最大100件）をグループ登録しておきます。（☛P158、応用P324）

**1** タッチパネルディスプレイに、ファクス画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押します。

**2** 基本ファクス画面またはお好みファクス画面で **短縮（グループ）** を選択します。  
基本ファクス画面またはお好みファクス画面が表示されていないときは **基本ファクス** または **お好みファクス** のインデックスを選択します。

**3** **#** ボタンを押してから **グループ番号（2桁の数字）** を入力します。



**ワンポイント** .....

複数のグループを指定するには  
手順2～3を繰り返します。

## サブダイヤルを使って指定する

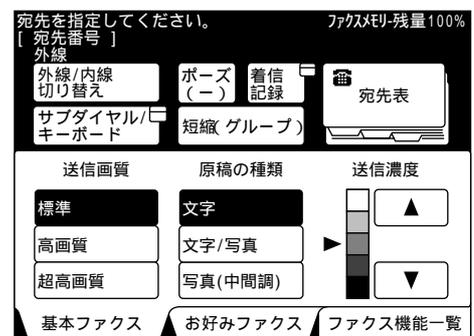
相手先を指定するときに、サブダイヤルを補助的に使用する方法を説明します。よく使う番号（最大16桁10件）をあらかじめサブダイヤルとして登録しておいてください。（☛P160、応用P322）

例えば、海外通信をよく利用する場合には国際電話番号（例：「001」KDDを利用する場合の国際電話番号）を登録しておいたり、特定の地域に頻繁にかけると場合には市外局番を登録しておきます。実際に相手先を指定するときには、サブダイヤルとダイヤル入力 / 短縮番号 / ワンタッチボタンなどを組み合わせて指定します。サブダイヤルは、複数組み合わせることもできます。

例 サブダイヤル **[1]** **001** を選択します。  
「123456789」をダイヤルボタンで入力します。  
001123456789がダイヤルされる

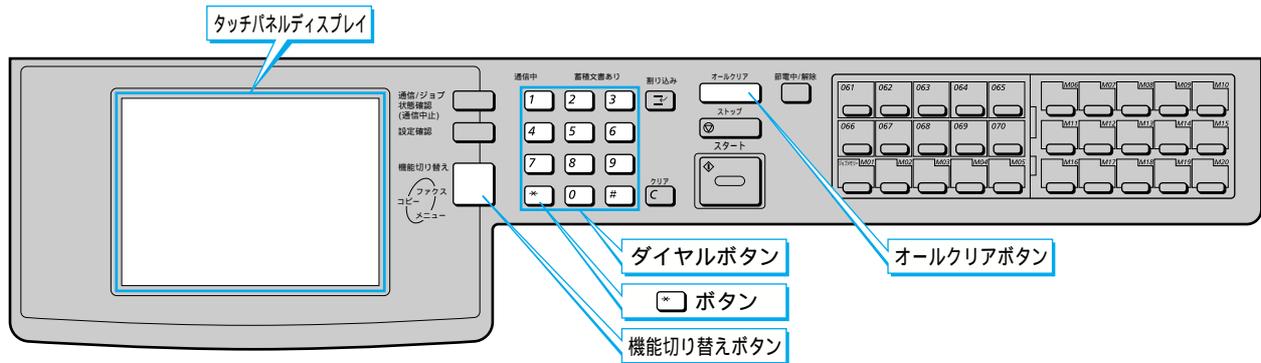
**1** タッチパネルディスプレイで、基本ファクス画面またはお好みファクス画面から **サブダイヤル/キーボード** を選択します。

**2** サブダイヤル（[1]～[10]）を選択します。  
ダイヤル入力 / 短縮番号 / ワンタッチボタンなどで相手先を指定します。





# 相手先を登録するには



## 短縮ダイヤルの基本項目を登録する

よく通信する相手先（最大300件）を短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルのうち70件（短縮番号001～070）はワンタッチボタンに対応しているため、ボタンを1つ押すだけで通信が行えます。（●P150）また、短縮ダイヤルに登録されている相手先は、「宛先表」で検索することができます。（●P151）

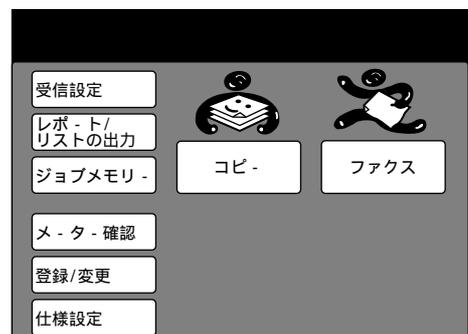
短縮ダイヤルの機能は、ファクスの電話番号を登録するだけでも使えますが、必要に応じて、以下のような項目の登録も行えます。あらかじめ短縮ダイヤルに各種の機能を合わせて登録しておくことで、短縮ダイヤルを指定するだけで複雑な応用機能を利用した通信が行えます。

- |          |              |                  |
|----------|--------------|------------------|
| 1 ファクス番号 | 8 最大蓄積サイズ    | 15 親展通信          |
| 2 回線     | 9 時刻指定       | 16 中継同報          |
| 3 宛先名    | 10 サイファキー番号  | 17 課金情報（昼間）      |
| 4 索引文字   | 11 ポーリング暗証番号 | 18 課金情報（夜間）      |
| 5 通信モード  | 12 結果通知先     | 19 課金情報（深夜）      |
| 6 送信画質   | 13 受信モード     | 現在、課金情報は設定できません。 |
| 7 送信シート  | 14 発信番号着信音   |                  |

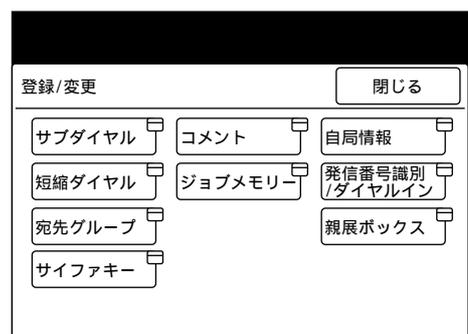
ここでは、ファクス番号と宛先名を登録する方法を説明します。また、宛先表で相手先を指定するときに利用できる索引文字の登録方法を説明します。他の項目の登録については、「短縮ダイヤルを登録するには」（●応用P16）を参照してください。

### 1 タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から「登録/変更」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



### 2 「短縮ダイヤル」を選択します。



1 お使いになる前に

2 原稿をセットする

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

6 ファックスを受ける

7 電話をかける／受ける

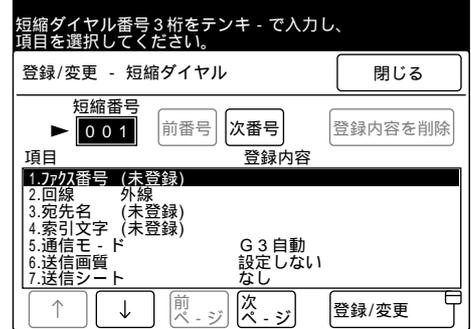
8 留守番電話機に接続して使う

9 こんなときには

登録したい短縮番号（001～300）を、ダイヤルボタンまたは **次番号** **前番号** を使って指定します。

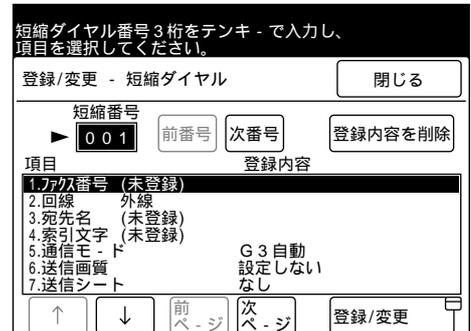
3

ここでは例として「001」を指定します。ダイヤルボタンで入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。3桁入力した場合は、[クリア]ボタンを押すと3桁すべて消すことができます。



**1.ファクス番号** が選択されていることを確認し、**登録/変更** を選択します。

4



**サブダイヤル/キーボード** を選択します。

キーボードが表示されます。

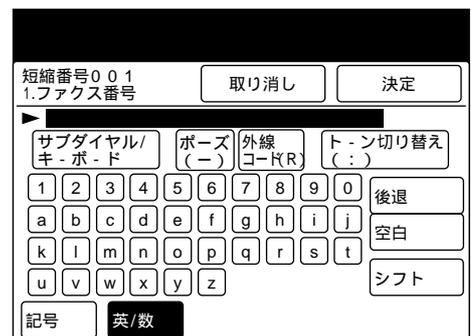
5



**ファクス番号（最大39桁）** を入力します。

文字を入力するには (☛P48)  
特殊記号を入力するには (☛P149)  
番号はダイヤルボタンで入力することもできます。

6



**決定** を選択します。

宛先名の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア]ボタンを押して初期画面に戻ります。

7

次ページに続きます。



# 相手先を登録するには

8

3.宛先名 を、直接指で触れるか   を使って選択します。

9

登録/変更 を選択します。

10

相手先の名前（最大18文字）を入力します。

文字を入力するには（▶P48）

11

決定 を選択します。

索引文字の登録を行わない場合は、次の画面で閉じる を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

12

4.索引文字 を、直接指で触れるか   を使って選択します。

13

登録/変更 を選択します。

14

索引文字（英数字またはひらがなで1文字）を入力します。

文字を入力するには（▶P48）

ここでは例として「あ」を入力します。

15

決定 を選択します。

16

閉じる を選択します。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキ - で入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号  前番号 次番号 登録内容を削除

項目  登録内容

1.ファクス番号	0335095538
2.回線	外線
3.宛先名	(未登録)
4.索引文字	(未登録)
5.通信モード	G3自動
6.送信画質	設定しない
7.送信シート	なし

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

短縮番号001 取り消し 決定

3.宛先名

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退
を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	空白
ん	る	よ	む	ぶ	ぬ	つ	す	く	う	無変換
*	れ	-	め	へ	ね	て	せ	け	え	シフト
*	ろ	ろ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	

記号 英/数 カタカナ ひらがな 単漢字変換

短縮ダイヤル番号3桁をテンキ - で入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号  前番号 次番号 登録内容を削除

項目  登録内容

1.ファクス番号	0335095538
2.回線	外線
3.宛先名	NTT営業
4.索引文字	(未登録)
5.通信モード	G3自動
6.送信画質	設定しない
7.送信シート	なし

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

短縮番号001 取り消し 決定

4.索引文字

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退
を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	
ん	る	よ	む	ぶ	ぬ	つ	す	く	う	
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
	ろ		も	ほ	の	と	そ	こ	お	

英/数 ひらがな





# 相手先を登録するには

あらかじめ短縮ダイヤルに登録してある相手先（最大100件）を1つにまとめ、宛先グループとして登録することができます。短縮ダイヤルの指定にはワイルドカード（\* ボタン）も使用できます。最大40件の宛先グループが登録できます。

## 宛先グループを登録する

1

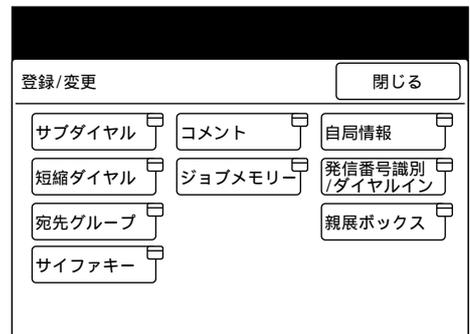
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[ 機能切り替え ] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**宛先グループ** を選択します。



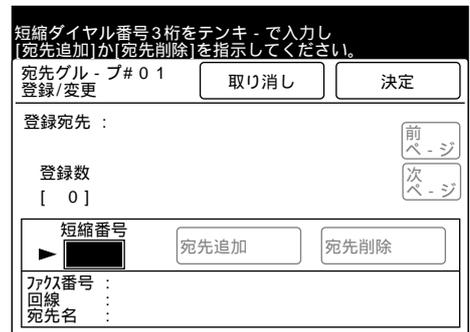
3

登録したいグループ番号を、直接指で触れるか   を使って選択します。



4

**登録/変更** を選択します。



6

**宛先追加** を選択します。

7

手順5～6を繰り返して短縮番号を指定します。





# 相手先を登録するには

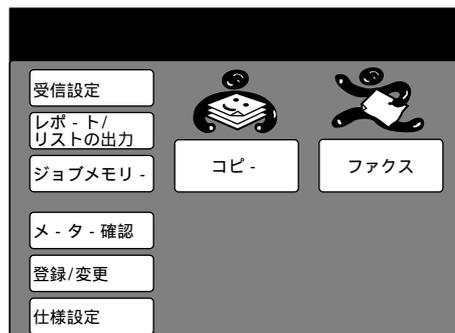
サブダイヤルは、電話番号を入力するときに補助的に使用する番号です。よく使う番号（最大16桁10件）をサブダイヤルとしてあらかじめ登録しておき、通信時に相手先を指定するときや、短縮ダイヤルを登録するときなどに使用します。

## サブダイヤルを登録する

1

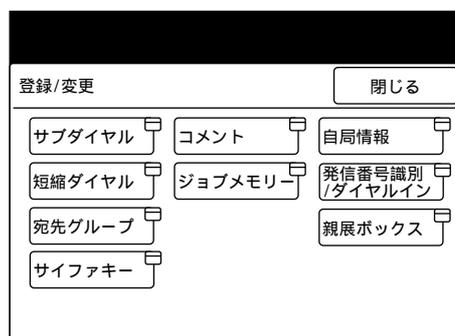
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



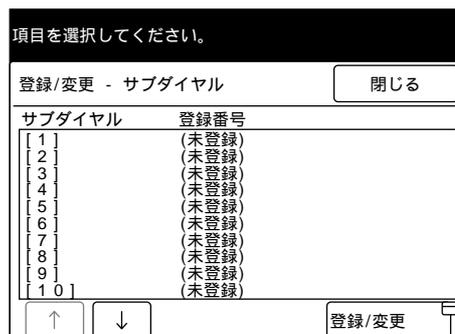
2

**サブダイヤル** を選択します。



3

登録したいサブダイヤル番号を、直接指で触れるか   を使って選択します。



4

**登録/変更** を選択します。



5

番号（最大16桁）を入力します。

画面は、手順3でサブダイヤル番号「1」を選択した場合の例です。

文字を入力するには（P48）

番号はダイヤルボタンで入力することもできます。

ここでは例として「001」を入力します。

6

**決定** を選択します。



お知らせ

手順5で入力した番号の登録を取り消したい場合には、

**取り消し** を選択します。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

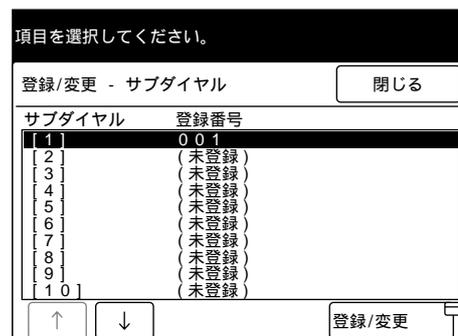
6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

**7** 登録した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。



**8** [オールクリア] ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。

 **ワンポイント** .....

登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。  
サブダイヤルの登録内容を確認するには  
登録ダイヤルリスト (●応用P145、168) を出力して確認することができます。

**STOP** **お願い**

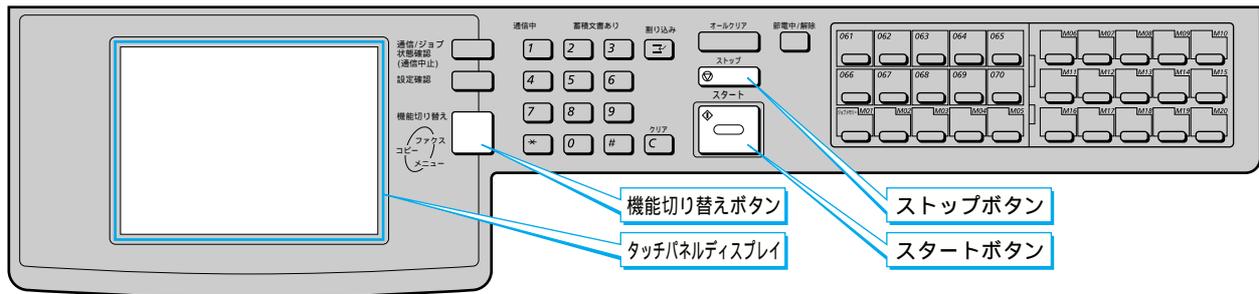
すでに指示した、待ち状態の通信にサブダイヤルが使用されているときに、そのサブダイヤルを変更してしまうと、変更したサブダイヤルで通信が行われてしまうので、ご注意ください。



# 原稿の途中で読み取りの設定を変えるには

一度の送信操作で複数枚の原稿を送信する場合に、途中から読み取り方の設定（送信画質 / 原稿の種類 / 送信濃度 / 読み取り指定）を変えることができます。

ここでは、最初の原稿をセットして [スタート] ボタンを押してからの操作を中心に説明します。詳しい原稿のセット方法や、読み取りの設定については、それぞれの項を参照してください。



**1** 最初の設定で読み取る原稿をセットします。

**2** タッチパネルディスプレイに、ファクス画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押します。

**3** 相手先を指定します。

**4** [スタート] ボタンを押します。

原稿の読み取りが開始されます。

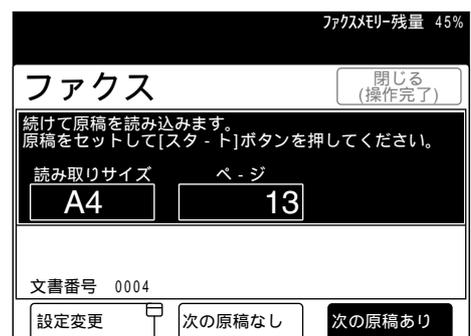
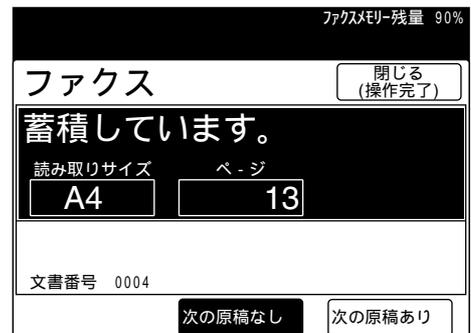
最初の原稿の読み取り中に、**次の原稿あり** を選択します。

**5** コピーガラスにセットしている場合は、1枚目の原稿を読み取り中に **次の原稿あり** を選択します。DADF（自動両面原稿送り装置）にセットしている場合は、**次の原稿あり** を選択すると、最初にセットした原稿をすべて読み取ってから次の原稿のセットを待ちます。

**6** 次の原稿をセットします。

**設定変更** を選択します。

**7**



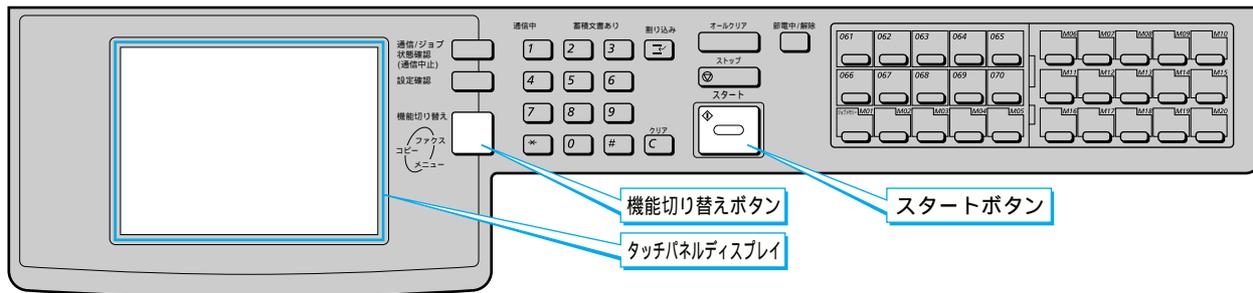


## 5. ファクスを送る



# 相手先の応答を確認してからファクスを送るには (手動送信)

オンフックの状態、相手先の応答を確認してから送信する方法です。受話器をご利用の場合は、電話でお話ししてから原稿を送ることができます。



**1** 原稿をセットします。(☛P54)

**2** タッチパネルディスプレイにファクス画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

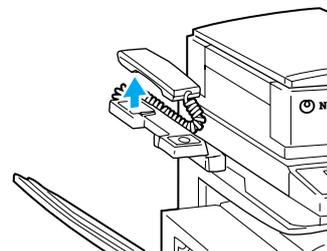
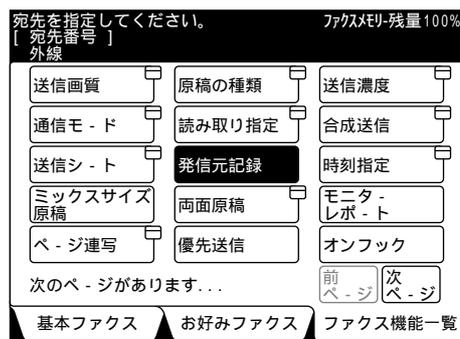
**3** 必要に応じて、各種機能を設定します。

ファクス機能一覧画面で **オンフック** を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。

**4**

または、受話器を取りあげます。  
発信音が聞こえます。

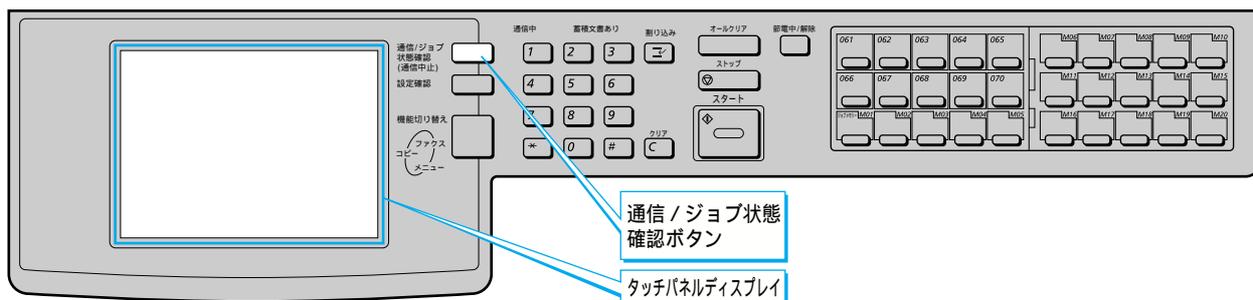






# 通信を中止するには

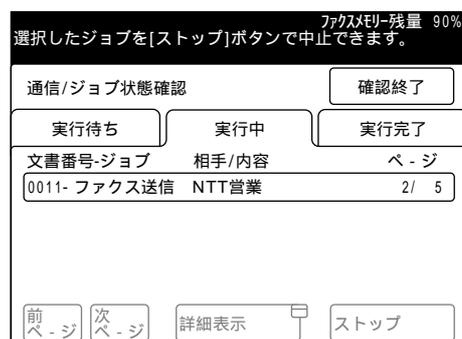
通信中または通信待ちの状態のときに、通信（ジョブ）を中止することができます。



1

通信中または通信待ちのジョブがあるときに、**[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)]** ボタンを押します。

通信/ジョブ状態確認画面の**実行中**のリストが表示されます。



2

タッチパネルディスプレイから中止する通信ジョブを選択します。

選択したジョブが反転表示になります。

中止したいジョブが表示されていない場合は手順4に進みます。

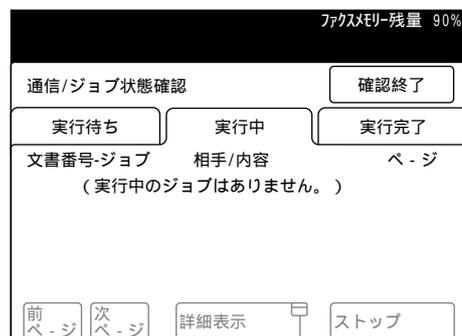


3

**ストップ** を選択します。

他に中止したいジョブが表示されている場合は、手順2～3の操作を繰り返します。

中止したいジョブが他にないときは手順8へ進みます。



1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
コピーの便利な機能を使う5  
送る  
ファクスを6  
受ける  
ファクスを7  
受ける  
電話をかけるノ8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときには

4

通信待ちのジョブを中止するときは、**実行待ち**のインデックスを選択します。

通信待ちやプリント待ちのジョブが表示されます。

ファクス残量 90%  
選択したジョブを[ストップ]ボタンで中止できます。

通信/ジョブ状態確認			確認終了
実行待ち	実行中	実行完了	
文書番号-ジョブ	相手/内容	ページ	
0011- ファクス送信	NTT営業	2/ 5	

前ページ 次ページ 詳細表示  ストップ

5

中止する通信ジョブを選択します。

ファクス残量 90%

通信/ジョブ状態確認			確認終了
実行待ち	実行中	実行完了	
文書番号-ジョブ	相手/内容	ページ	
0012- ファクス送信	総務	1/ 15	
0015- ファクス送信	NTT開発	1/ 10	

前ページ 次ページ 詳細表示

6

**詳細表示**を選択します。

画面は、手順5で「0015-ファクス送信」のジョブを選択した場合の例です。

ファクス残量 90%

通信/ジョブ状態確認			確認終了
実行待ち	実行中	実行完了	
文書番号-ジョブ	相手/内容	ページ	
0012- ファクス送信	総務	1/ 15	
0015- ファクス送信	NTT開発	1/ 10	

前ページ 次ページ 詳細表示  優先送信

7

詳細を確認し、**ストップ**を選択します。

選択した通信が中止されます。

他に中止したいジョブが表示されているときは、手順5～7操作を繰り返します。

ファクス残量 90%  
[ストップ]ボタンで中止できます。

通信/ジョブ状態確認		確認終了
実行待ち - ファクス送信		閉じる
[相手]	NTT開発	
外線	0335094202	
ページ	: 1/10	
種別	: ファクス送信	
文書番号	: 0015	
時刻指定	: 12時 34分	
ストップ		

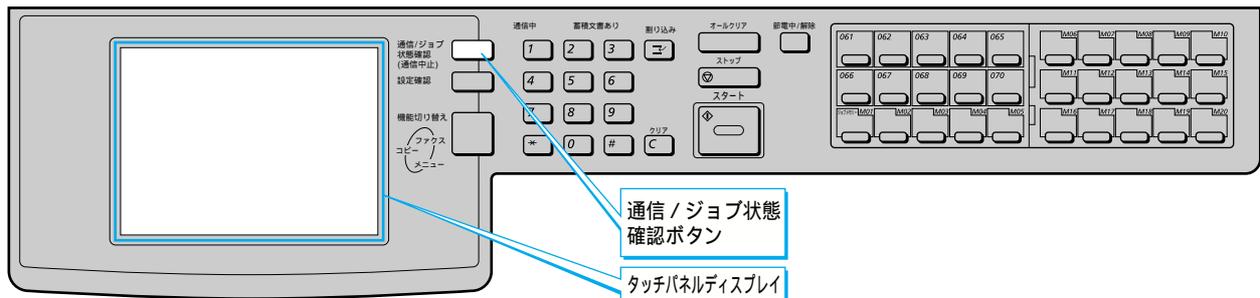
次ページに続きます。





## 通信状態を確認するには

送信 / 受信操作を終えた文書やポーリングの操作をした文書について、通信（ジョブ）状態を確認することができます。通信状態は、実行待ち、実行中、実行完了の3つに分類してジョブ単位に表示されます。実行待ちのジョブの中から、プリント待ちの文書を指定してすぐにプリントしたり、ジョブの順番を入れ替えて、送信待ちのジョブを優先させたりすることができます。



### 通信中文書を確認する

1

通信中または通信待ちのジョブがあるときに、**[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)]** ボタンを押します。

通信 / ジョブ状態確認画面の **実行中** の画面が表示されます。ジョブの詳細を確認する必要がない場合は手順5へ進みます。

2

タッチパネルディスプレイから詳細を確認したい通信ジョブを選択します。

3

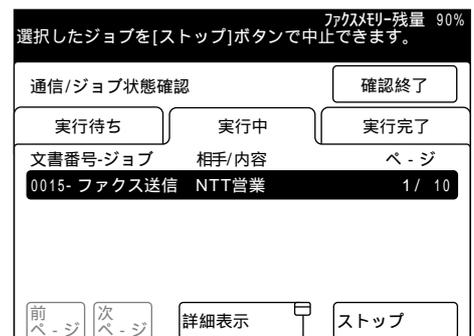
**詳細表示** を選択します。

手順2で選択されたジョブが反転表示になります。

4

詳細を確認し、**閉じる (操作完了)** を選択します。

次ページに続きます。



1 お使いになる前に

2 原稿をセットする

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファクスを送る

6 ファクスを受ける

7 電話をかける/受ける

8 留守番電話機を接続して使う

9 こんなときには



## 通信状態を確認するには

5

**確認終了** を選択します。

[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押す前の画面に戻ります。

ファクス残量 90%  
選択したジョブを[ストップ]ボタンで中止できます。

通信/ジョブ状態確認			確認終了
実行待ち	実行中	実行完了	
文書番号-ジョブ	相手/内容	ペ-ジ	
0015- ファクス送信	NTT営業	1/ 10	

前 ペ-ジ   次 ペ-ジ   詳細表示   ストップ



ワンポイント

確認操作を中止するには

[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押します。

## 通信 / プリント待ち文書を、確認 / プリント / 優先する

### 通信待ち文書の確認

1

通信中または通信待ちのジョブがあるときに、[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押します。

通信 / ジョブ状態確認の **実行中** の画面が表示されます。

ファクス残量 90%  
選択したジョブを[ストップ]ボタンで中止できます。

通信/ジョブ状態確認			確認終了
実行待ち	実行中	実行完了	
文書番号-ジョブ	相手/内容	ペ-ジ	
0015- ファクス送信	NTT営業	1/ 10	

前 ペ-ジ   次 ペ-ジ   詳細表示   ストップ

2

タッチパネルディスプレイから **実行待ち** のインデックスを選択します。

通信待ちやプリント待ちの文書が表示されます。ジョブの詳細を確認する必要がない場合は手順6へ進みます。

3

詳細を確認したい通信ジョブを選択します。

4

**詳細表示** を選択します。

ファクス残量 90%

通信/ジョブ状態確認			確認終了
実行待ち	実行中	実行完了	
文書番号-ジョブ	相手/内容	ペ-ジ	
0012- ファクス送信	NTT開発	1/ 15	
0016- ファクス送信	NTT東海	1/ 10	
0006- レポート	通信管理レポート	1	

前 ペ-ジ   次 ペ-ジ   詳細表示   プリント開始

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

**5** 詳細を確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順3で「0016-ファクス送信」のジョブを選択した場合の例です。



**6** **確認終了**を選択します。

[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押す前の画面に戻ります。

### プリント待ち文書のプリント

**1** 「通信待ち文書の確認」の手順1～2の操作を行います。

**2** プリントしたい通信ジョブを選択します。

ここでは例として「0006-レポート」を選択します。



**3** **プリント開始**を選択します。

選択された文書が排出されます。





# 通信状態を確認するには

## 通信待ち文書の優先送信

**1** 「通信待ち文書の確認」の手順1～2の操作を行います。

**2** 優先したい通信ジョブを選択します。

**3** **優先送信** を選択します。

画面は、手順2で「0016-ファクス送信」を選択した場合の例です。

選択された通信が上に表示され、順位が入れ替わります。

ファクス残量 90%

通信/ジョブ状態確認 確認終了

実行待ち 実行中 実行完了

文書番号-ジョブ	相手/内容	ページ
0012- ファクス送信	NTT開発	1/ 15
0016- ファクス送信	NTT東海	1/ 10
0006- レポート	通信管理レポート	1

前ページ 次ページ 詳細表示 プリント開始

ファクス残量 90%

通信/ジョブ状態確認 確認終了

実行待ち 実行中 実行完了

文書番号-ジョブ	相手/内容	ページ
0012- ファクス送信	NTT開発	1/15
<b>0016- ファクス送信</b>	<b>NTT東海</b>	<b>1/ 10</b>
0006- レポート	通信管理レポート	1

前ページ 次ページ 詳細表示 優先送信



ワンポイント .....

確認操作を中止するには

[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押します。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

## 通信結果を確認する

**1** [通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押します。  
通信 / ジョブ状態確認画面の **実行中** のリストが表示されます。

**2** タッチパネルディスプレイから **実行完了** のインデックスを選択します。

**3** 詳細を確認したい通信ジョブを選択します。  
リストが次ページまで続いているときは **次ページ** を選択して検索します。

**4** 詳細を確認し、 **閉じる** を選択します。  
画面は、手順3で「0018-送信」を選択した場合の例です。

**5** **確認終了** を選択します。  
[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押す前の画面に戻ります。



ワンポイント .....

確認操作を中止するには  
[通信/ジョブ状態確認 (通信中止)] ボタンを押します。





1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

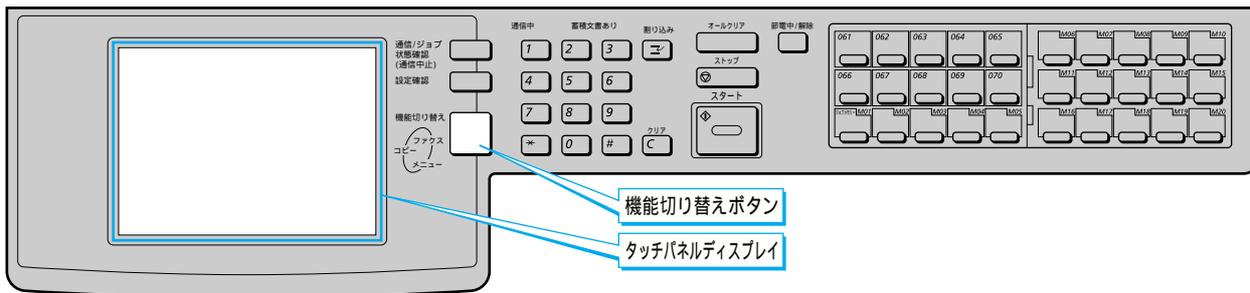
5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は



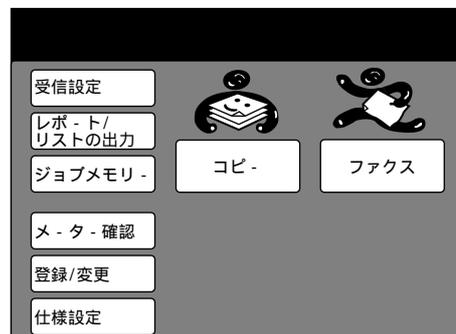
## 受信モードを切り替える

受信モードの切り替えは、メニュー画面の **受信設定** で設定します。

1

**タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **受信設定** を選択します。**

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

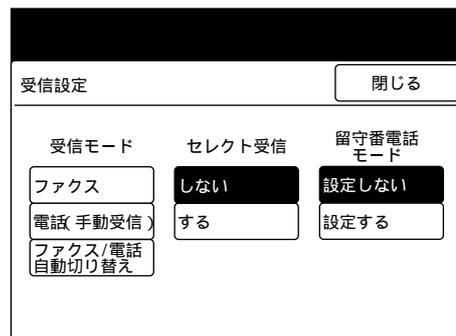
**ファクス、電話(手動受信)、ファクス/電話自動切り替え** のいずれかを選択します。

仕様設定で留守番電話接続を **しない** に設定した場合、留守番電話モードは表示されません。

3

**閉じる** を選択します。

メニュー画面に戻ります。





# ファクス / 電話自動切り替え動作について

「ファクス / 電話自動切り替え」設定時に相手先からの着信があった場合の動作について説明します。

### 相手の方から呼び出しがあったとき

相手先からの着信に自動応答します。約4秒間は呼出音は鳴りません。  
その間に、相手先がファクスであることを検知した場合は、自動的にファクス受信を開始します。



着信から約4秒後、相手先がファクスであるか不明の場合は、呼出音が鳴ります。  
相手先には「電話を呼び出しております。」という音声メッセージのあと、呼出音が聞こえています。  
呼出音が鳴っているときに相手先がファクスであることを検知した場合は、自動的にファクス受信を開始します。



呼出音が鳴っているときに受話器を取りあげると、相手の方とお話しができます。受話器を取りあげてお話し中に、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたときは、[スタート]ボタンを押します。  
相手先がファクスでない場合、そのまま相手の方とお話しを続けることができます。



相手先がファクスでない場合で、呼出音が鳴ってから約30秒間、受話器を取らなかった場合は、呼出音を停止し、相手先に「ファクシミリにつながります。」という音声メッセージを流したあと、自動的にファクスを受信します。



### お知らせ

本受信モードにおいて、相手先からの着信に自動応答したときから課金が始まります。このとき、相手の方が電話の場合、こちらが電話に出なくても課金は開始されていますのでご注意ください。

また、音声メッセージを[送出ししない]に設定していると、ファクスが自動着信したときに、相手の方には呼出音が聞こえるだけにもかかわらず課金が始まっていますので、ご注意ください。

諸条件（検知範囲ではない信号など）により相手先がファクスであるか否かを自動検知できない場合があります。

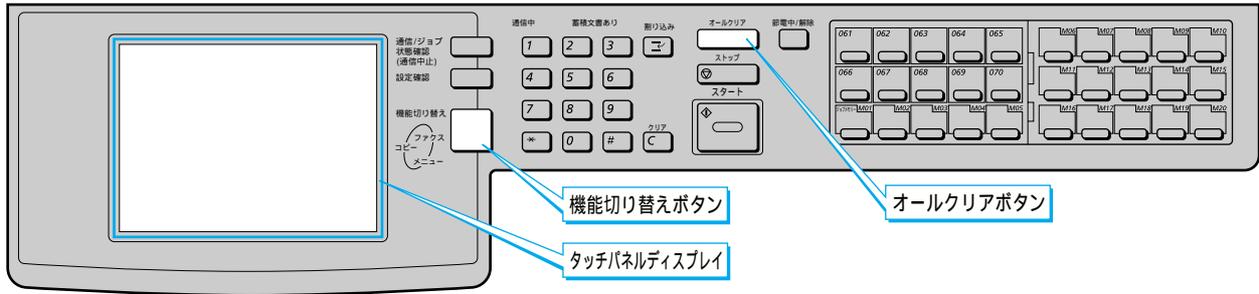
本受信モードにおいて、G4通信ユニット（オプション）を装着時は、ISDN回線に着信があると、ファクスで応答しますのでご注意ください。

お買い求め時は、呼出音が10回鳴るように設定されています。

## 6. ファクスを受ける

# 特定の相手の方以外からの受信を防ぐには (セレクト受信)

セレクト受信機能を使うと、短縮ダイヤルに登録されている相手先からのファクス受信のみ受け付けることができます。あらかじめ、短縮ダイヤルにファクス受信を受け付ける相手先を登録しておいてください。(●P154、応用P16、322) セレクト受信は、お買い求め時は、**しない** に設定されています。



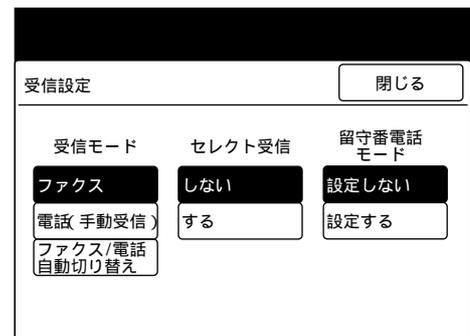
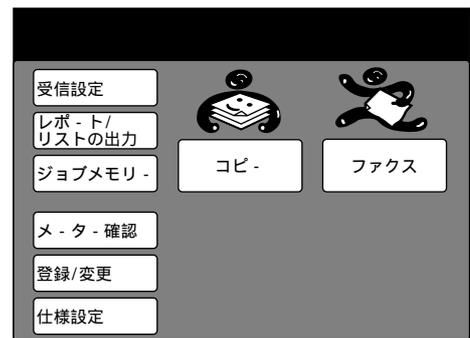
1 **タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から受信設定を選択します。**

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

2 **セレクト受信の**する**を選択します。**

3 **閉じる**を選択します。

メニュー画面に戻ります。



### お知らせ

セレクト受信の設定は、メニュー画面の**受信設定**で**しない****する**を切り替えることができますが、いつもセレクト受信したい場合には、セレクト受信の初期値を**する**に変更しておくこともできます。(●応用P242、310) 短縮ダイヤルに相手先のファクスの電話番号が正しく登録されていないと、相手先からのファクスを受信できません。相手先がID番号を正しく登録していないと、ファクスを受信することができません。特定の相手先からのファクスを受信できないときは、相手先のID番号登録をご確認ください。

相手先のファクスがID番号を送ってこない、または登録できない機種の場合、セレクト受信でファクスを受信することはできません。

相手先から送られたID番号が4桁未満のときは、短縮ダイヤルにそれ以下の桁数で登録されていないと、受信できません。

手動受信、ポーリング通信をしているときは、セレクト受信は行われません。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 送る  
ファクスを

6 受ける  
ファクスを

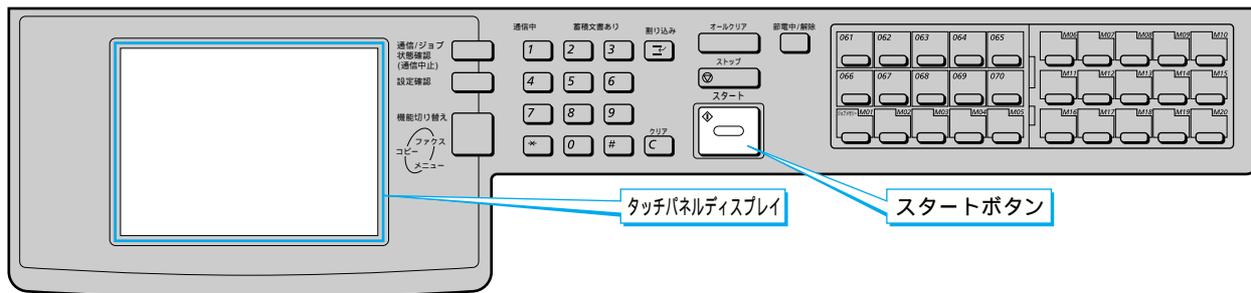
7 受ける  
電話をかける

8 接続して使う  
留守番電話機を

9 ほんとは  
こんなときは

# 電話でお話ししてから受信するには（手動受信）

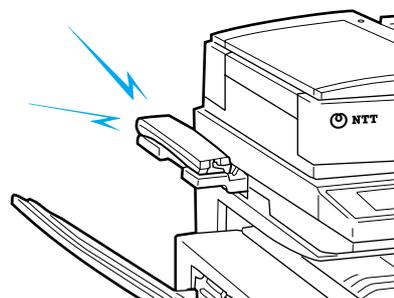
相手の方と電話でお話ししてからファクスを受信することができます。



1

呼出音が鳴ったら、受話器を取りあげます。

「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたときは手順3へ進みます。



2

相手の方とお話しします。

3

ファクスを受信するときはタッチパネルディスプレイで **手動送信/受信切り替え** を選択して、手動受信が表示されていることを確認します。

手動送信が表示されているときは、**手動送信/受信切り替え** を選択し、手動受信を表示させます。



4

[スタート] ボタンを押します。

通信中ランプが点灯して、受信が開始されます。

5

通信中ランプの点灯を確認して、受話器を置きます。



ワンポイント.....

受信時の出力について

受信文書は、基本的に送信側の原稿と同じサイズになるように出力されます。設定を変更して、縮小したり、画像の後端をカットしたり、ページ分割をしたりすることなどできます。(●応用P244~255、310~312)



お知らせ

お買い求め時は、**手動送信/受信切り替え** は手動受信に設定されています。

相手の方が手動送信でファクスを送ろうとしている場合は、電話を受けても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを再度確認してから、[スタート] ボタンを押してください。



## 電話をかけるには

(発信)

## 受話器を置いたままかける (オンフックダイヤル)

**1** タッチパネルディスプレイにファクス画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押しします。

**2** ファクス機能一覧画面で **オンフック** を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。

**3** 相手先の電話番号をダイヤルボタンで入力します。

短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルで指定することもできます。

回線種別がプッシュ回線に設定されているときは、**トーン (:)** は表示されません。

**4** 相手の方の声が聞こえたら、受話器を取りあげてお話しください。

**5** お話しが終わったら、受話器を置きます。

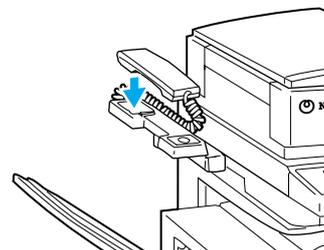
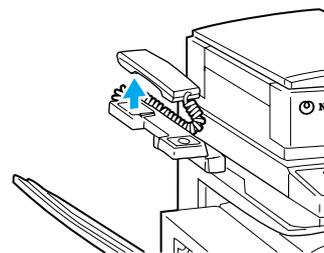
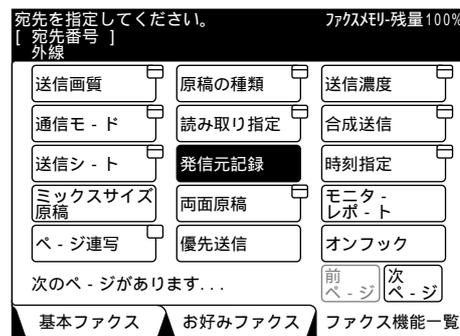
受話器は正しく置いてください。正しく置かないと「話中」の状態が続きます。



ワンポイント .....

外線 / 内線切り替えをするときは (外線 / 内線切替キット (オプション) 装着時)

**オンフック** を選択する前に、基本ファクス画面かお好みファクス画面で **外線 / 内線切り替え** を選択します。

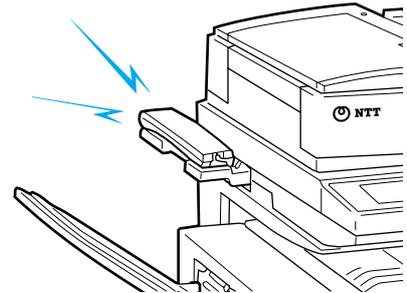


# 電話がかかってきたときは

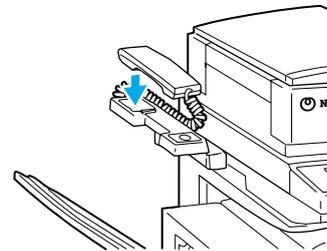
## (着信)

受話器を使って電話を受けるほか、外付け電話機を接続して使用することもできます。(●応用P341)  
 お買い求め時は、電話の呼出音は鳴らないように設定されています。あらかじめ受信モードを切り替えて  
 手動受信に設定するか(●P174)、着信音が鳴るようにファクス切り替え時間を変更しておきます。  
 (●応用P232、308)

**1** 呼出音が鳴ったら、受話器を取りあげてお話しください。

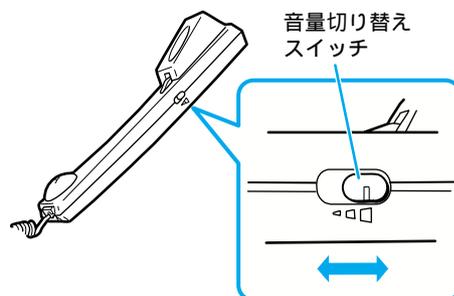


**2** お話しが終わったら、受話器を置きます。  
 受話器は正しく置いてください。正しく置かないと「話し中」の状態が続きます。



**ワンポイント** .....

呼出音を調整するには  
 受話器の側面にある音量切り替えスイッチで調整します。



2回線以上接続している場合は、本体側から呼出音が鳴ります。設定方法については、応用編のP280、320を参照してください。

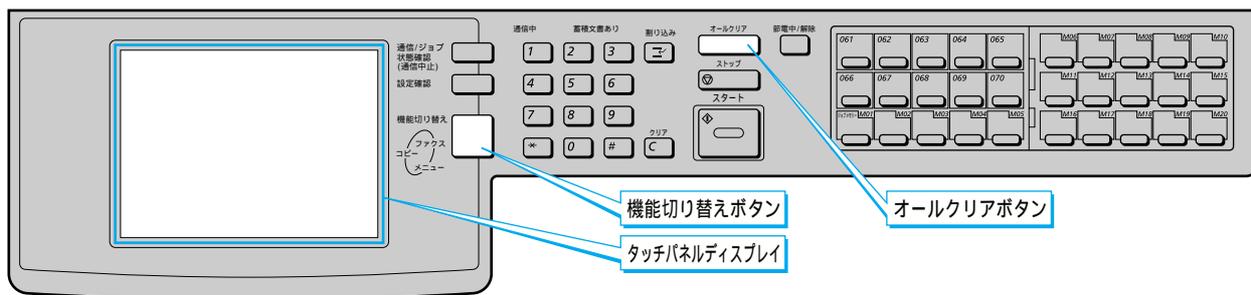
- 1** 前に お使いになる
- 2** する 原稿をセット
- 3** コピーする
- 4** コピーの便利な機能を使う
- 5** ファクスを送る
- 6** ファクスを受ける
- 7** 電話をかける / 受ける
- 8** 留守番電話機を接続して使う
- 9** こんなときには





## 8. 留守番電話機を接続して使う

# 留守番電話機を接続してファクスを受けるには (留守番電話モード)



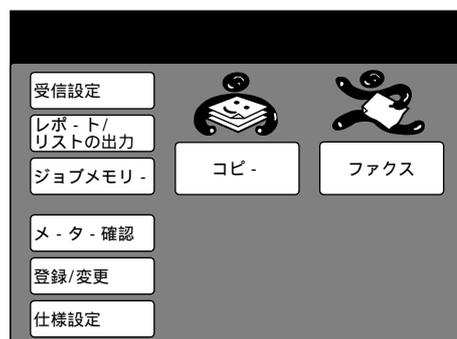
## 留守番電話接続の設定をする

外付け電話機として留守番電話機を接続し、留守中にファクスと電話の用件の両方を受ける留守番電話モードを利用するには、留守番電話接続を **する** に設定します。お買い求め時は **しない** に設定されています。

1

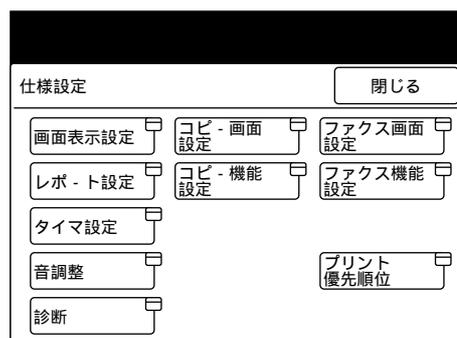
タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **仕様設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



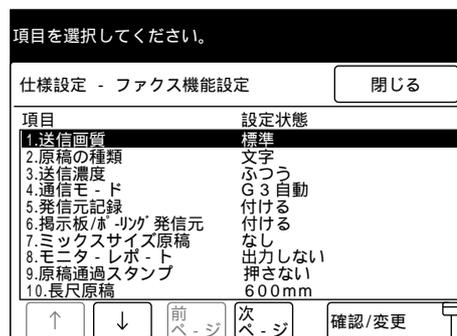
2

**ファクス機能設定** を選択します。



3

**次ページ** を2回選択します。



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセッ  
ト

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファクスを

6  
受ける  
ファクスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときには

**4** 22. 留守番電話接続 を、直接指で触れるか  
□ □ を使って選択します。

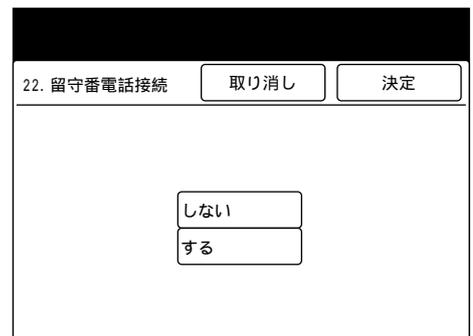
**5** 確認/変更 を選択します。

**6** しない または する のいずれかを選択して、  
留守番電話モードの機能を利用するかどうか  
を指定します。

**7** 決定 を選択します。

**8** 設定した値が表示されているのを確認し、  
閉じる を選択します。  
画面は、手順6で する を選択した場合の例です。

**9** [オールクリア] ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

## 留守番電話機を接続してファクスを受けるには (留守番電話モード)

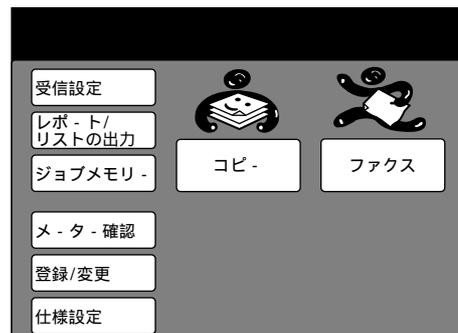
### 留守番電話モードを設定する

留守番電話モードの設定は、メニュー画面の **受信設定** で設定します。

1

タッチパネルディスプレイで、メニュー画面から **受信設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

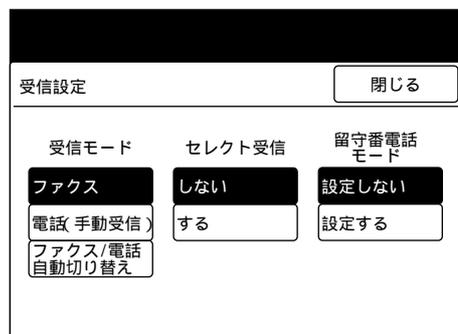


2

留守番電話モードの **設定する** を選択します。

留守番電話モードを解除するときは **設定しない** を選択します。

留守番電話モードは、電源を入れたときに **設定しない** に戻ります。



3

**閉じる** を選択します。

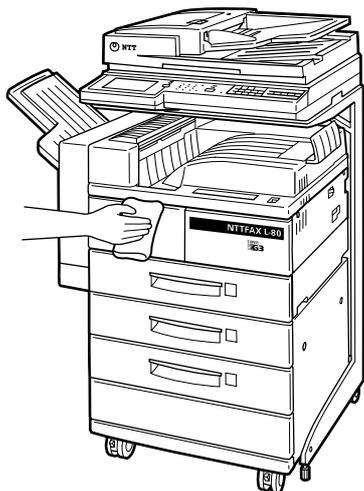
メニュー画面に戻ります。

# お手入れするには

常に高品質を保つために、定期的に清掃を行ってください。清掃時に電源を切る必要はありません。

## 本体の清掃をする

- ① やわらかい布に水を含ませて、かたく絞ってから、本体の周囲をふきます。通風孔も忘れずにふいてください。



**STOP** お願い

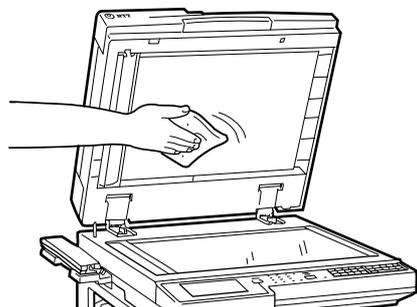
ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、みがき粉、熱湯、アルコールなどは使わないでください。変形、変色の原因となります。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

## 原稿カバーの清掃をする

原稿カバーが汚れていると、コピーや相手側の受信原稿が汚れたり、原稿サイズが誤検知されることがあります。

- ① やわらかい布に水を含ませて、かたく絞ってからふきます。

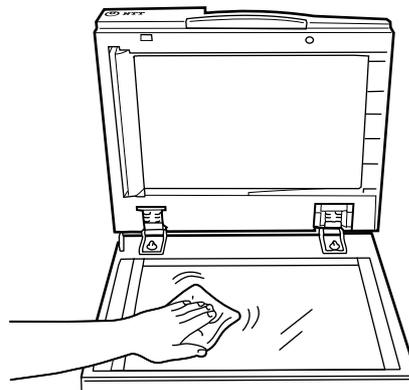


- ② かわいたやわらかい布でからぶきします。

## コピーガラスの清掃をする

コピーガラスが汚れていると、汚れがそのままコピーされたり相手側の受信原稿が汚れたりすることがあります。

- ① やわらかい布に水を含ませて、かたく絞ってからふきます。



- ② かわいたやわらかい布でからぶきします。

**STOP** お願い

ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、みがき粉、熱湯、アルコールなどは使わないでください。変形、変色の原因となります。

布はかたく絞り、ぬらしすぎないようにしてください。原稿の破損や、故障の原因になることがあります。

1 前に  
お使いになる

2 する  
原稿をセット

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

6 ファックスを受ける

7 電話をかける／受ける

8 留守番電話機を接続して使う

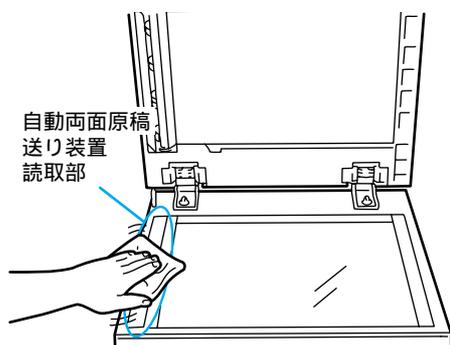
9 こんなときには

# お手入れするには

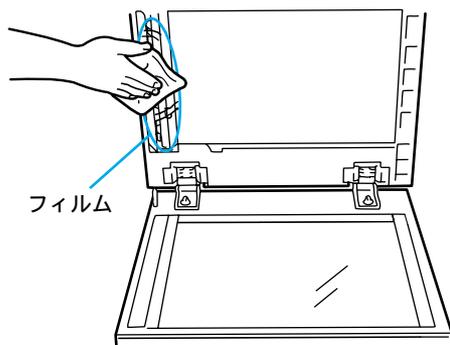
## DADF(自動両面原稿送り装置)の清掃をする

DADF(自動両面原稿送り装置)の各部が汚れていると、原稿づまりやプリント汚れの原因となります。やわらかい布に水を含ませて、かたく絞ってから、各部を清掃してください。

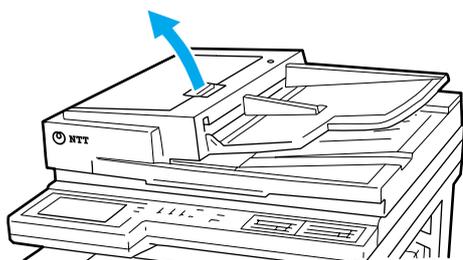
- ① かたく絞った布で読取部をふき、その後かわいたやわらかい布でからぶきします。



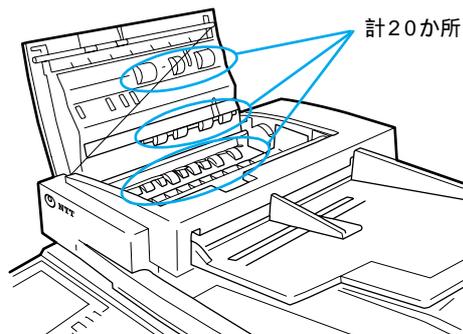
- ② かたく絞った布でフィルム部をふき、その後かわいたやわらかい布でからぶきします。



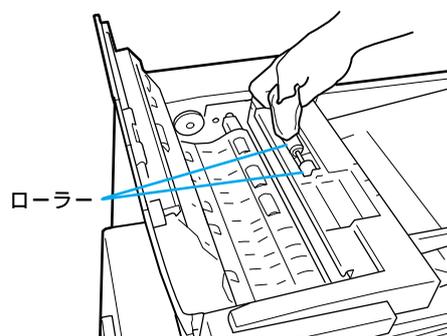
- ③ DADF(自動両面原稿送り装置)の中央のレバーを引き上げて、カバーを開けます。カバーが固定されるまで充分に開けてください。



- ④ かたく絞った布でローラー(計20か所)を回しながらふきます。



- ⑤ かたく絞った布でローラー(計2か所)を回しながらふきます。



- ⑥ カバーを戻します。

### STOP お願い

フィルム部は破損しやすいので、強く押しすぎないでください。

布はかたく絞り、ぬらしすぎないようにしてください。DADF(自動両面原稿送り装置)の内部に水滴が落ちると、誤作動を起こす場合があります。

## 用紙を補給するには

用紙トレイの用紙がなくなると、タッチパネルディスプレイに「用紙を補給してください」と表示されます。コピー/プリント中に用紙がなくなったときは、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って用紙を補給し、[スタート]ボタンを押すと、コピー/プリントが再開されます。各用紙トレイにセットできる用紙サイズと枚数は、以下のとおりです。

### 各用紙トレイにセットできる用紙サイズと枚数

用紙トレイ	セットできる用紙サイズ	セットできる用紙枚数 (上質紙 64 g/m <sup>2</sup> 相当)
トレイ1~4*	A5□(トレイ1のみ) B5□、B5□、A4□、A4□、B4□、A3□、8.5x11"(インチ)□(レター) 8.5x11"(インチ)□(レター) 11x17"(インチ) 八開	約500枚
多重手差しトレイ*	最小：官製はがき～最大：A3または11x17"(インチ) •ただし用紙送り方向に対して、縦方向にセットしてください。	約50枚

\*多重手差しトレイとトレイ4はオプションです。

トレイ1~4にセットできる用紙のうち、自動用紙選択が行えるサイズはA5□、B5□、B5□、A4□、A4□、B4□、A3□です。

用紙トレイにセットされていない用紙、はがき、OHPフィルムなどにコピーするときは、多重手差しトレイ(オプション)を使います。(●P191)

すべての用紙トレイの用紙がなくなった場合、「用紙を補給してください」という表示は、コピー操作およびファクス受信時に表示されます。待機状態では「用紙を補給してください」と表示されません。

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファクスを

6  
受ける  
ファクスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときは



### お知らせ

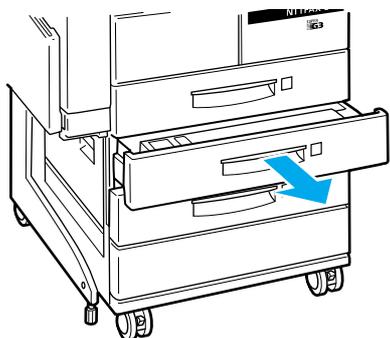
コピー/プリント中でも、使用中の用紙トレイ以外のトレイには用紙を補給できます。

# 用紙を補給するには

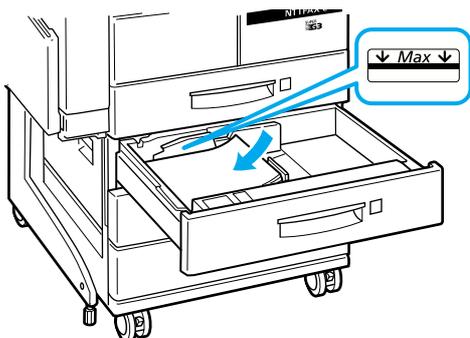
## 用紙トレイ1～4（トレイ4はオプション）に用紙を補給する

約500枚までセットできます。セットした用紙の上面にコピー/プリントされます。

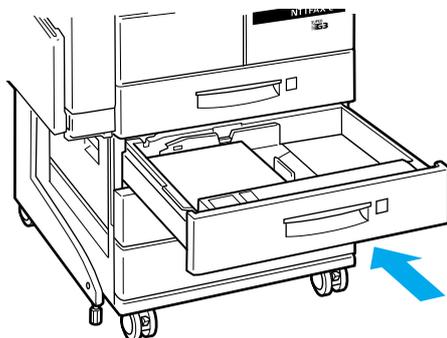
- ① 用紙を補給するトレイを、止まるまで手前に引き出します。



- ② 用紙の先端をきれいにそろえてセットします。用紙は「Max」の線を越えないようにセットしてください。



- ③ 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。



### ワンポイント.....

異なるサイズの用紙をセットするには、用紙サイズを変更してから用紙をセットします。  
(P192)

#### STOP お願い

セットする用紙の量は、トレイに表示されている「Max」の線より上にならないようにしてください。「Max」の線を越える量をセットすると、紙づまりの原因となります。

新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。用紙トレイには、適応サイズ以外の用紙はセットしないでください。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度使用した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

用紙トレイを戻すときは、ゆっくりと確実に最後まで戻してください。用紙トレイが正しくセットされていないと、紙づまりの原因となります。

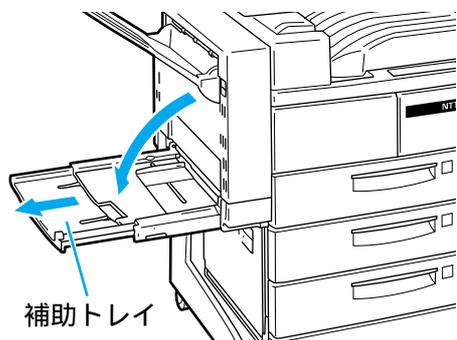
コピー/プリント中に、使用中の用紙トレイを引き出さないでください。紙づまりの原因となります。

用紙はNTT推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。

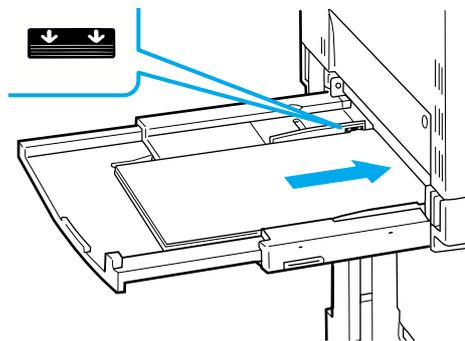
## 多重手差しトレイ（オプション） に用紙を補給する

用紙トレイにセットされていない用紙や、各用紙トレイにセットできない定型外用の紙、はがきなどにコピーしたいときは、多重手差しトレイを使います。約50枚（高さ5 mm以下程度）の用紙がセットできます。セットした用紙の下面にコピーされます。

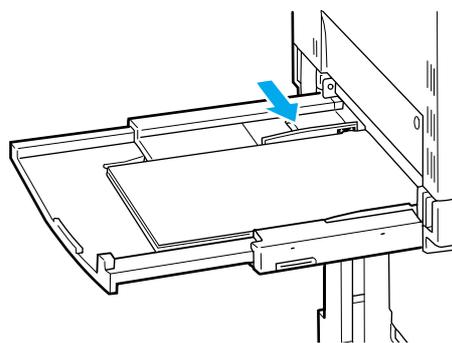
- ① 多重手差しトレイを開き、用紙のサイズに合わせて補助トレイを引き出します。下図は、自動両面ユニット（オプション）を装着している場合の例です。



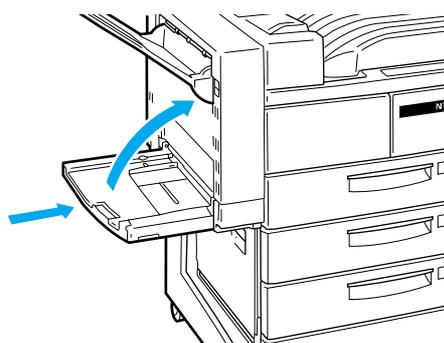
- ② コピーしたい面を下に向けて、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。用紙は高さの上限の表示を越えないようにセットしてください。



- ③ 用紙ガイドを、セットした用紙の端に軽く当てます。ガイドは用紙の端に合わせてください。用紙の端に合っていないと、コピーに汚れが出る場合があります。コピー中にタッチパネルディスプレイに「手差しトレイに用紙をセットしてください。」と表示された場合は、手順2～3を繰り返します。



- ④ コピーが終了したら、多重手差しトレイをもとに戻します。多重手差しトレイに用紙が残っている場合は、用紙を取り除いてからトレイに戻します。補助トレイを引き出した場合は、補助トレイを押し込んでください。



### STOP お願い

セットする用紙の量は、トレイに表示されている高さの上限の表示より上にならないようにしてください。上限を越える量をセットすると、紙づまりの原因となります。しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度使用した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を  
受  
け  
る

7  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ  
受  
け  
る

8  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を  
接  
続  
し  
て  
使  
う

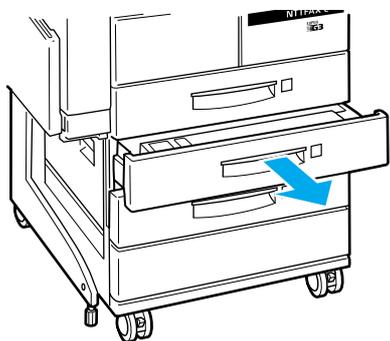
9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

# 用紙サイズを変更するには

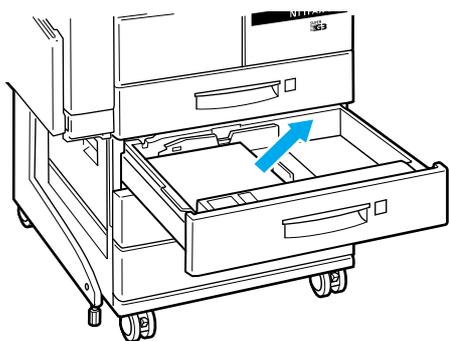
## 用紙トレイ1～4（トレイ4はオプション）の用紙サイズを変更する

本装置の用紙トレイは、いろいろなサイズに共用することができます。（「各用紙トレイにセットできる用紙サイズと枚数」▶P189）お使いになる用紙のサイズに合わせて調整してから、用紙をセットしてください。

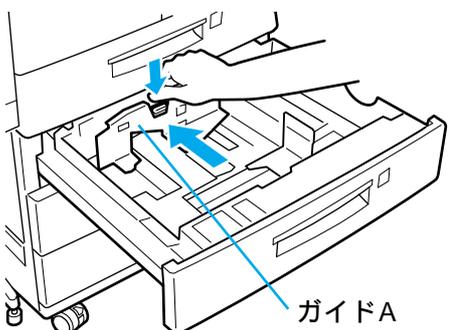
- ① 用紙のサイズを変更する用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。



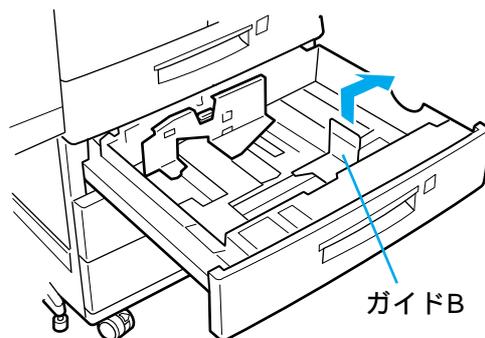
- ② 用紙がセットされているときは、取り除きます。



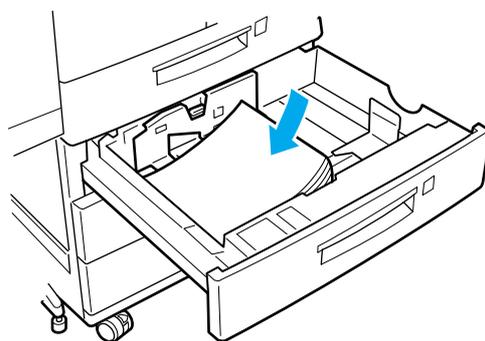
- ③ 図のようにボタンを押しながら、ガイドAを奥まで移動させます。



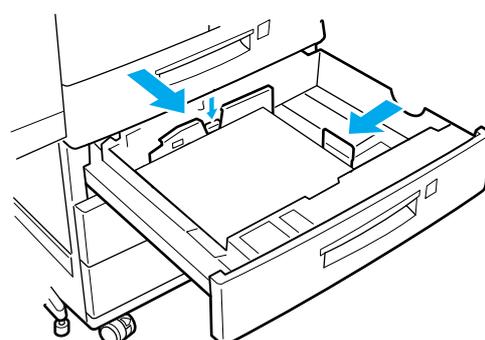
- ④ ガイドBを持ち上げるようにして右側へ移動させます。



- ⑤ セットしたい用紙の先端をきれいにそろえ、左手前の隅に合わせてセットします。



- ⑥ ガイドAはボタンを押しながら、ガイドBを持ち上げるようにして移動させ、用紙に軽く当ててセットします。



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

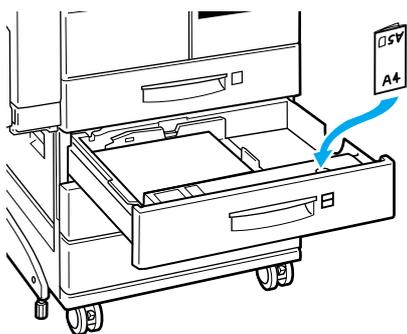
6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る

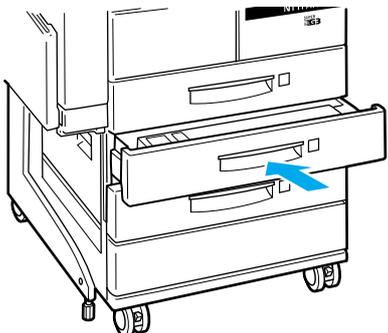
8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

7 用紙トレイのラベルを抜き出し、セットした用紙のサイズを表示させるようにしてセットします。

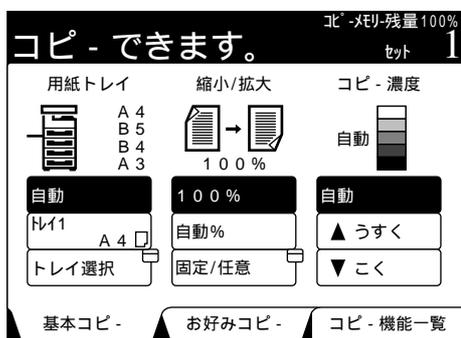


8 奥に突き当たるところまでトレイをゆっくりと押し込みます。



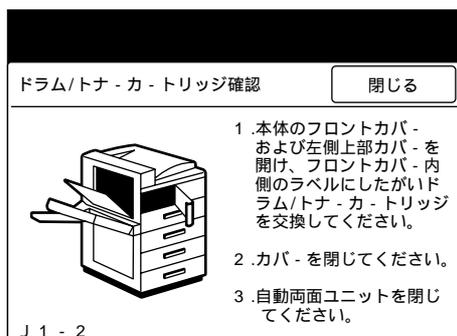
9 タッチパネルディスプレイの基本コピー画面の用紙トレイの表示に、セットした用紙のサイズが正しく表示されていることを確認します。

A4サイズの用紙をセットしたときに、基本コピー画面に「8.5 x 11”(インチ) □ □ (レター)」が表示される場合は、手順6に戻り、用紙にガイドを確実に当てるようにしてください。



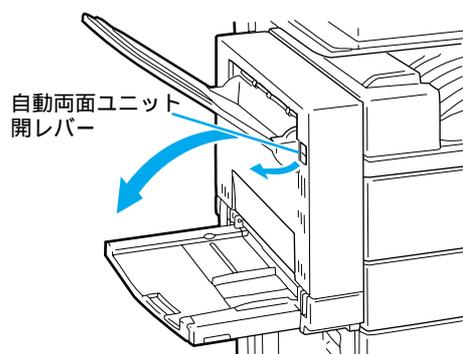
# ドラム/トナーカートリッジを交換するには

ドラム/トナーカートリッジの交換時期になると、タッチパネルディスプレイのメッセージエリア（最上部）に「ドラム/トナーカートリッジ交換の時期です。」というメッセージが表示されます。そのまましばらくはお使いになれますが、以下のように表示されたら、ドラム/トナーカートリッジを交換してください。

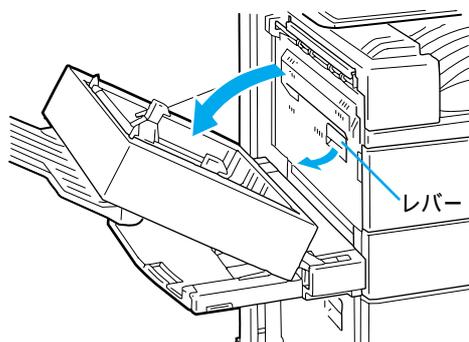


- ① 自動両面ユニット開レバーを引きながら、ゆっくりと自動両面ユニット（オプション）を開けます。

自動両面ユニット（オプション）が装着されていない場合は手順2へ進みます。



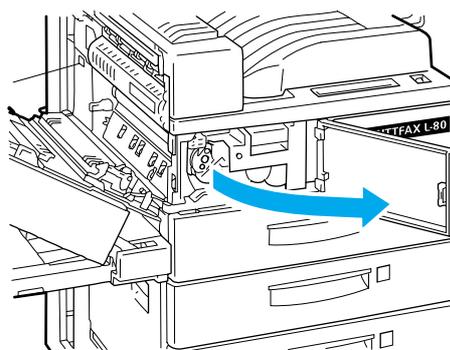
- ② レバーを引きながら、左側上部カバーを開けます。



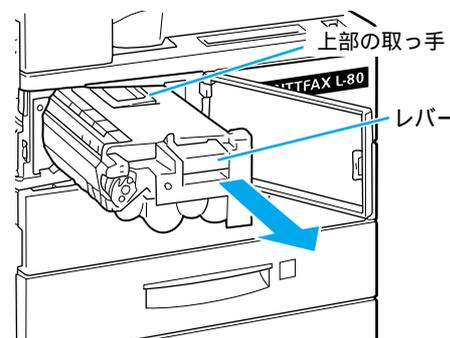
- ③ フロントカバーを開けます。フロントカバーは、押さえていないと自動的に閉じるようになっています。

## ⚠ 注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。



- ④ ドラム/トナーカートリッジのレバーを引いて、カートリッジをゆっくりと引き出しながら、カートリッジの上部の取っ手を起こして持ちます。



1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
する  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

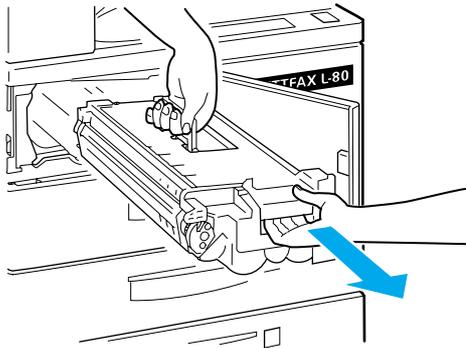
6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

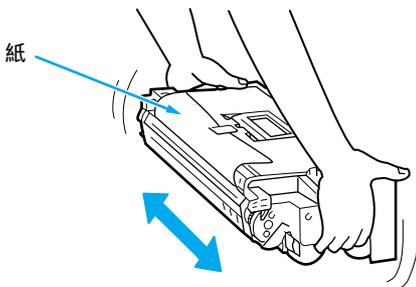
9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

- 5 カートリッジの上部の取っ手とレバーを持って、カートリッジを取り出します。必ず上部の取っ手を持ってカートリッジを引き出してください。上部の取っ手を持たずにカートリッジを引き出すと、カートリッジが抜け落ちて床を汚すことがあります。

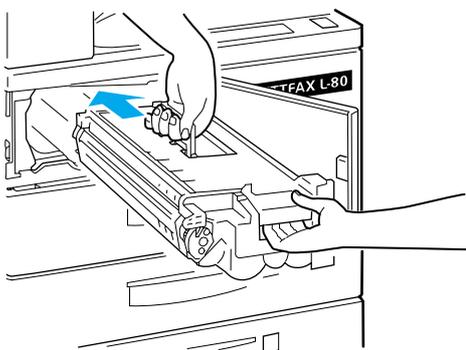


- 6 新しいドラム/トナーカートリッジを袋から取り出し、トナーを均一にするために、水平に持って図のように5～6回振ります。

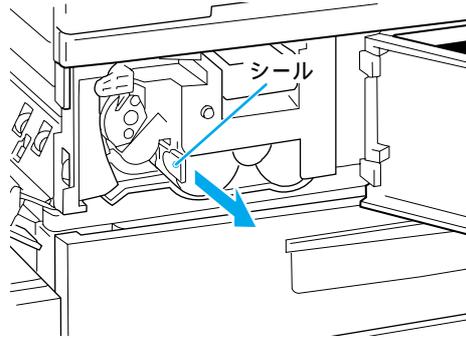
- 7 テープでとめてある紙を外します。



- 8 カートリッジをゆっくりと奥までセットします。「カチッ」と音がするまで確実にセットしてください。



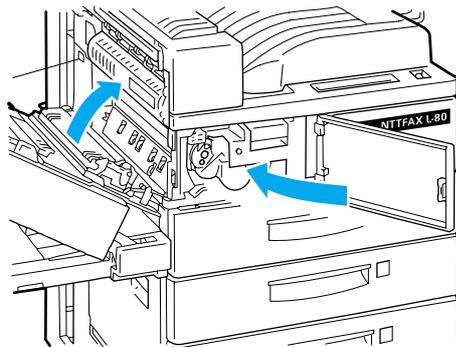
- 9 シールを抜き取ります。



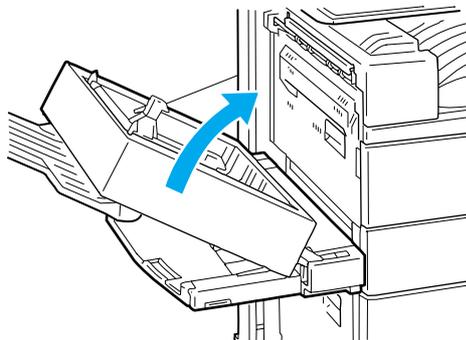
- 10 左側上部カバーおもて面の「ここを押してください。」の表示部を押して、左側上部カバーを閉じます。

ドラム/トナーカートリッジが正しくセットされていないと、左側上部カバーを閉じることができません。

- 11 フロントカバーを閉じます。



- 12 自動両面ユニット（オプション）を閉じます。



次ページに続きます。

# ドラム／トナーカートリッジを交換するには

## お知らせ

タッチパネルディスプレイのメッセージエリアに「ドラム／トナーカートリッジ交換の時期です。」と表示されたあと、A4サイズで画像濃度（黒比率）6%相当の原稿の場合で約600枚程度コピー／プリントできます。ただし、環境条件によって、あるいは黒比率の大きいページや濃い濃度でコピー／プリントした場合などには、コピー／プリントできる枚数は少なくなることがあります。

ドラム／トナーカートリッジの交換時には、必ず新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。

ドラム／トナーカートリッジの交換時にトナーなどで床を汚さないように、取り出したドラム／トナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ用紙等を敷いておくことをお勧めします。

ドラム／トナーカートリッジの交換後、1、2枚までの出力の際に音がすることがありますが、動作および画質には影響ありません。

新しいドラム／トナーカートリッジの箱を立てたまま保管することは避けてください。

新しいドラム／トナーカートリッジは、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。

- 高温、多湿の場所
- 火気のある場所
- 直射日光の当たる場所
- ほこりの多い場所

## お願い

本装置専用のドラム／トナーカートリッジ以外は絶対に使用しないでください。

## 注意

ドラム／トナーカートリッジを絶対に火の中に投げ込まないでください。カートリッジ内に残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

使用後のドラム／トナーカートリッジは、ビニール袋などに入れて、燃えないゴミとして処理してください。

# 消耗品について

本装置には、次のような消耗品があります。

## 用紙（記録紙）

A3（297×420 mm）

B4（257×364 mm）

A4（210×297 mm）

B5（182×257 mm）

A5（148×210 mm）

## ドラム／トナーカートリッジ

形態：1個／1箱

## 済スタンプ用インク （済スタンプはオプション）

### お知らせ

消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。

- 高温、多湿の場所
- 火気のある場所
- 直射日光の当たる場所
- ほこりの多い場所

消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。消耗品は予備を置くことをお勧めします。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

## 保守サービスのご案内

### 保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

### 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

NTTでは、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

### 保守サービスの種類は

定額保守サービス	<p>毎月決められた料金をお支払いいただくことで、定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換 など、性能維持に必要な保守サービスを行いますので、本装置を安心してご利用いただけます。</p> <p>定額保守サービスには、サービス内容により以下のような種別があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●Aコース：毎月の定額料金のみで、定期点検を含む保守サービスを提供いたします。</li> <li>●Cコース：定期点検を除く保守サービスを提供いたします。</li> </ul>
実費保守サービス	<p>定期交換部品の交換、故障時の修理等に要した費用をそのつどいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。</li> <li>●故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。</li> </ul> <p>当社のサービス取扱所まで商品をお持ちの場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。</p>

本装置には、定着器等の定期的交換を必要とする部品(定期交換部品)があります。

定額保守Aコースをご契約いただければ、当社が責任をもって定められた交換時期に必要な部品の交換を行います。

本装置を安心してお使いいただくために、是非とも定額保守Aコースのご契約を結ばれるようお願いいたします。

### 故障した場合のお問い合わせは

局番なしの113番へご連絡ください。

### お話し中調べ

局番なしの114番へご連絡ください。

### その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： トークニーナ  
0120-109217

### 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

## リモートメンテナンスについて

本装置は、故障の場合などお客様の機器を保守する際に、登録内容や通信状況を確認したり、登録内容を変更したりするために、当社のサービス取扱所からの遠隔操作で、短縮ダイヤルのデータやその他のユーザデータの登録/設定内容を確認/変更したり、通信管理レポートの内容を確認したりするリモートメンテナンスに対応しています。

メンテナンスの種類は

ダイヤルデータ登録	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録内容を確認/変更します。
ユーザデータ登録	いろいろな機能の登録/設定内容を確認/変更します。
通信管理レポートの収集	通信管理レポートの内容を確認します。

一部の地域においては、リモートメンテナンスを実施していない場合があります。  
お買い求め時は、リモートメンテナンスは「**受けない**」に設定されています。

# 表示できる漢字一覧

コメント登録などのときに、単漢字変換を行う場合は、以下の一覧表で示された漢字を使用することができます。

使用することのできる漢字は、JISの第一水準すべてと第二水準の一部（32文字）です。

第一水準の漢字は、読みがなの一文字めで分類しています。第二水準の漢字は、読みがなと漢字を示しています。コメント登録などの場合は、対応した読みがなを入力して単漢字変換を行ってください。その他のアルファベットやひらがな、数字、記号についてはタッチパネルディスプレイに表示されるキーボードをお使いください。

## 漢字一覧表（第一水準）

あ	葵 梓 鮎 鮎 鞍	亜 茜 压 或 杏	唾 穉 幹 粟 杏	娃 悪 扱 裕 安	阿 握 宛 安 庵	哀 渥 姐 庵 按	愛 旭 虹 按 暗	挨 葦 飴 暗 案	始 芦 絢 案 案	逢 鯨 綾 間 間
い	威 移 井 稲 引	尉 維 亥 茨 飲 院	以 惟 緯 域 芋 淫 陰	伊 意 胃 育 翳 胤 隱	位 慰 萎 郁 允 蔭 韻	依 易 衣 磯 印 咽	偉 椅 謂 一 舌 員	困 為 違 巷 員	夷 畏 遣 溢 因	委 異 医 逸 姻
う	迂 唄 云	雨 鬱 運	卯 蔚 雲	鵝 鰻 姥	窺 姥 廐	丑 廐 廐	右 碓 浦	宇 白 瓜	烏 渦 閨	羽 嘘 噂
え	曳 衛 閑 掩 艶	栄 詠 榎 援 苑	永 鋭 厭 沿 園	苳 泳 液 円 演 遠	餌 洩 疫 園 炎 鉛	叡 瑛 益 堰 焰 鴛	嘗 盈 馱 奄 煙 塩	嬰 穎 悅 宴 燕	影 穎 謁 延 猿	映 英 越 怨 縁
お	凹 鷗 牡	央 押 黄 乙	奥 旺 岡 俺	往 横 冲 卸	心 欧 荻 恩	殴 億 温	王 屋 穩	翁 憶 音	汚 襖 臆	甥 鶯 桶
か	仮 家 禍 蝦 我 介 恢 蟹 慨 馨	何 寡 禾 課 牙 会 懷 魁 開 概 蛙	伽 科 稼 嘩 画 解 戒 晦 階 涯 垣	価 暇 箇 貨 臥 回 拐 械 貝 碍 柿	佳 果 花 迦 芽 塊 改 海 凱 蓋 蚯	加 架 苛 過 蛾 壞 廻 灰 効 街 鈎	可 歌 茄 霞 賀 廻 界 外 該 劃	嘉 河 荷 蚊 雅 快 皆 咳 鎧 嚇	下 夏 火 華 俄 峨 餓 怪 繪 害 骸 各	化 嫁 珂 菓 峨 駕 悔 芥 崖 湮 廓

か	拈 赫 顎 恰 叶 啣	攪 較 掛 括 椀 鴨	格 郭 笠 活 樺 栢	核 閣 櫻 渴 靴 茅	殼 隔 檀 滑 株 萱	獲 革 棍 葛 兜	確 学 鳧 褐 竈	穫 岳 瀉 轄 蒲	覺 樂 割 且 釜	角 額 喝 鯉 鎌
か	勸 幹 款 竿 諫 館 贖	尉 維 亥 茨 飲 院	以 惟 緯 域 芋 淫 陰	伊 意 胃 育 翳 胤 隱	位 慰 萎 郁 允 蔭 韻	依 易 衣 磯 印 咽	偉 椅 謂 一 舌 員	困 為 違 巷 員	夷 畏 遣 溢 因	委 異 医 逸 姻
き	基 旗 紀 鬼 犧 吉 客 宮 究 巨 禦	奇 既 機 徽 龜 疑 吃 脚 弓 窮 拒 魚 供 叫 教 鄉 局 錦 菌	嬉 期 歸 規 偽 祇 喫 脚 窮 拒 魚 供 叫 教 鄉 局 錦 菌	寄 棋 毅 記 儀 義 桔 逆 救 級 拳 享 僑 境 況 響 鏡 曲 斤 衿	岐 棄 氣 貴 妓 蟻 橘 丘 朽 糾 渠 京 兇 峽 狂 饗 玉 欽 謹	企 希 汽 起 宜 誼 詰 久 求 給 虛	伎 幾 畿 軌 戲 議 砧 仇 汲 旧 許	危 忌 祈 輝 技 掬 杵 休 泣 牛 距	喜 揮 季 飢 擬 菊 黍 及 灸 去 鋸	器 机 稀 騎 欺 鞠 却 吸 球 居 漁
く	俱 駒 串	句 具 櫛 掘	区 愚 釧 窟	狗 虞 屑 沓	玖 喰 屈 靴	矩 空 窪	苦 偶 窪	軀 寓 熊	驅 遇 隈	九 駝 隅 条



# 表示できる漢字一覧



す	瑞 梟	髓 菅 澄	崇 頗 摺	高 雀 寸	数 裾	枢	趨	雞	据	杉
せ	勢 栖 西 脆 籍 接 蝉 扇 煽 選 全	姓 正 誠 隻 績 撰 仙 撰 旋 織 遷 禪	征 清 誓 席 脊 折 先 栓 穿 羨 錢 繕	性 請 惜 責 設 千 梅 箭 腺 銑 膳	世 成 生 逝 戚 赤 窃 占 泉 線 舛 閃	瀨 政 盛 醒 斥 跡 節 宣 浅 船 鮮	畝 整 精 青 昔 蹟 説 専 洗 薦 前	是 星 聖 静 析 碩 雪 尖 染 詮 善	凄 晴 声 齐 石 切 絶 川 潜 踐 漸	制 棲 製 税 積 拙 舌 戟 煎 踐 然
	曾 組 倉 搜 漕 草 霜 捉 卒	楚 蘇 喪 掃 燥 莊 騷 臧 束 袖 其	狙 訴 壯 挿 争 葬 像 蔵 測 其	疏 阻 奏 搔 瘦 相 藻 憎 造 速 存	糲 疎 邈 爽 操 相 藻 憎 造 速 存	噌 礎 鼠 宋 早 窓 装 促 俗 孫	塑 祖 僧 層 曹 糟 走 側 属 尊	岨 祖 創 匠 巢 総 送 則 賊 損	措 粗 双 惣 槍 綜 遭 即 族 村	曾 素 叢 想 槽 聡 鎗 息 続 遜
そ	他 柁 岱 腿 台 宅 諾 棚 担 綻 暖	多 舵 帶 苔 大 托 茸 叩 谷 探 耽 檀	太 椅 待 袋 第 捩 佩 但 狸 旦 胆 段	汰 陀 怠 貸 醜 拓 蛸 達 鱈 歎 蛋 男	詔 馱 態 退 題 沢 只 辰 樽 淡 誕 談	唾 驛 戴 逮 鷹 濯 奪 誰 湛 鍛	墮 体 替 隊 滝 琢 脱 丹 炭 団	妥 堆 泰 黨 瀧 託 巽 单 短 壇	情 对 滞 鯛 卓 鐸 豎 嘆 端 彈	打 耐 胎 代 啄 濁 辿 坦 筆 断
	智 畜 中 註 丁	池 竹 仲 耐 兆	痴 筑 宙 鑄 凋	稚 蓄 忠 駐 喋	置 逐 抽 樗 籠	值 致 秩 昼 瀦	知 蜘 室 柱 猪	地 遲 茶 注 苧	弛 馳 嫡 虫 著	恥 築 着 衷 貯

ち	暢 調 直	帖 朝 謀 朕	帳 潮 超 沈	庁 牒 跳 珍	甲 町 鈔 賃	張 眺 長 鎮	彫 聰 頂 陳	徵 脹 鳥	懲 腸 勅	挑 蝶 抄
つ	槌 漬 孀	追 柘 紬	鎚 辻 爪	痛 鳶 吊	通 綴 釣	塚 鏢 鶴	亭 底 碇	低 庭 禎	墜 槻 坪	椎 佃 壺
て	剃 梯 艇 的 鉄 転	貞 抵 訂 邸 笛 典 顛	呈 挺 諦 鄭 適 填 点	堤 提 蹄 釘 鎚 天 伝	定 梯 通 鼎 溺 展 殿	帝 汀 泥 哲 店 澱	摘 徹 添 田	擢 撤 纏 電	停 廷 程	偵 弟 締 滴 迭 貼
と	堵 賭 怒 宕 盜 答 燈 懂 鴉 独 寅 頓	塗 途 倒 島 淘 筒 董 陶 撞 匿 読 西 吞	妬 都 党 嶋 湯 糖 蕩 頭 洞 得 析 滌 曇	屠 鍍 冬 悼 涛 統 藤 騰 瞳 德 橡 嶮 鈍	徒 砥 凍 投 灯 到 討 鬪 童 洗 凸 屯	斗 斫 刀 搭 燈 騰 働 胴 特 突 悖	杜 努 唐 東 当 豆 動 荀 督 椽 敦	渡 度 塔 桃 痘 踏 同 道 秃 届 沌	兔 登 土 塘 袴 袴 逃 堂 銅 篤 鳶 豚	吐 菟 奴 套 棟 等 透 導 峠 毒 苦 遁
な	謎 軟	灘 難	捺 汝	鍋	奈 檜	那 馴	内 縄	乍 啜	凧 南	薙 楠
に	虹	廿 如	日 尿	二 乳 菲	尼 入 任	式 妊	迓 忍	勺 認	賑	肉
ぬ									濡	
ね	祢 粘	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	襦 燃
の	腦	乃 膿	迺 農	之 覗	埜 蚤	囊	惱	濃	納	能
は	波	派	琶	破	婆	巴 罵	把 芭	播 馬	霸 伴	杷 糜

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセツト

3  
コピーする

4  
コピーの便利  
な機能を使う

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける／

8  
留守番電話機を  
接続して使う

9  
こんなときは

は	排培敗杯孟牌背肺輩配 倍培媒梅煤煤猥買壳賠 陪這蠅梅矧荊剥伯剥博 柏泊白蠅秤矧荊荊伯剥博 爆縛莫箱駁裕筭笈筆笈櫨 燭畠八箱筭笈笈笈櫨櫨 拔篋反閥鳩嘶塙蛤隼幡 半反叛帆搬斑板汜汎采 犯班畔帆搬斑板汜汎采 頒飯挽晚番盤盤盤盤盤盤
ひ	卑比誹枇 肘百評蛭敏 否泌費毘鼻弼謬豹鱸瓶 妃疲避琵琶必依廟品 庇皮非眉稗畢彪描彬 彼碑飛美匹筆標病斌 悲秘樋 疍緋簸 批罷備 披肥尾 膝媛票鉞寶 菱紐表蒜頻 斐被微 蔓媛票鉞寶 蒜頻
ふ	府膚武伏物粉 怖芙舞副福鮒糞 不扶譜葡復腹分紛 付敷負蕪幅複吻霧 埠斧賦部服覆噴文 夫普赴封淵墳聞 婦浮阜楓弗憤 富父附風弘扮 富符侮葺沸焚 布腐撫落 仏奮
へ	幣僻片鞭 平壁篇 弊癖編 柄碧辺 並別返 蔽瞥遍 丙閉蔑便 併陞篋勉 兵米偏婉 摒頁變弁
ほ	穂俸抱蜂亡望銚牧本 保募包捧法褒傍某防睦翻 鋪墓呆放泡訪剖棒吠穆凡 圃戊奉朋砲縫鋒帽肪僕沒 捕暮宝 步母峰 甫簿峯 補菩崩 輔傲庖 蓬乏暴買朴奔 萌鵬房貌撲幌 芳鳳忙謀墨堀 胞飽忘膨卜殆 縫鋒帽肪僕沒

ま	昧鱒繭 枚樹磨漫 每亦万蔓 哩俣慢 摩楨又滿 磨幕抹 魔膜末 麻枕沫 埋鮪迄 妹枉俚
み	蜜湊 味稔 未脈 魅妙 巳耗 箕民 岬眠
む	夢無牟矛霧鷓棕婿娘
め	名免命綿明綿盟緬迷面銘麵鳴姪牝冥滅
も	孟目紋毛空門猛勿勿盲餅網尤耗戾摸蒙初模儲貰茂木問妄默悶
や	矢鍵厄役也約治菓夜訖爺躍耶靖野柳彌藪
ゆ	悠祐愉諭憂裕愈輸揖誘油唯有遊癒佑柚邑優湧郵勇涌雄友猶融宥猷夕幽由
よ	余揚窳養與搖羊慾譽擁耀抑輿曜葉欲預楊蓉沃備樣要浴幼洋謠翌妖溶踊翼容熔遙淀予庸用陽
ら	螺乱裸卵來嵐萊欄賴濫雷藍洛蘭絡覽落羅酪
り	履痢律隆兩糧厘李裏掠竜凌良林梨裡略龍寮諒淋理里劉侶料遼燐璃離流慮梁量琳陸溜旅涼陵臨律琉虜獺領輪率留了療力隣立疏亮瞭綠鱗粒僚稜倫鱗
る	瑠壘淚累類
れ	嶺齡漣伶曆煉蓮玲歷簾連礼列練鍊苓劣聯令鈴烈伶隸裂例零廉冷靈恋励麗憐

次ページに続きます。

# 表示できる漢字一覧

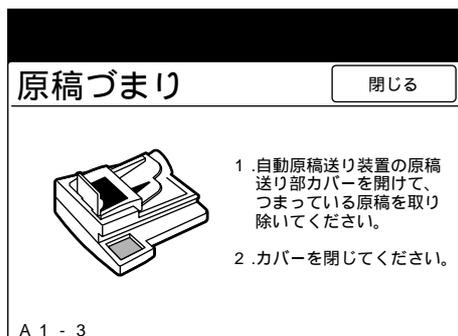
ろ	露	勞	婁	廊	呂	魯	櫓	炉	賂	路
	牢	狼	籠	老	弄	朗	楼	榔	浪	漏
わ	肋	録	論		蠶	蠶	郎	六	麓	禄
	椀	鶯	互	倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	碗	腕		巨	鯉	詫	藁	蕨	椀	湾

## 漢字一覧表（第二水準）

読み	漢字	読み	漢字	読み	漢字
ポウ	眸	サイ	齋	リン	稟
キョウ	筐	コウ	篋	キュウ	糺
ショウ	翔	コウ	肛	シュウ	脩
ヨ	與	マツ	茱	リ	莉
ホウ	萌	マン	萬	ロ	蘆
エビ	蛭	ケン	蜷	フ	訃
ショウ	誦	ジュン	諄	ショウ	證
キュウ	趯	ケイ	蹊	リョウ	輜
テキ	迪	マイ	邁	ヘン	邊
ハン	飯	テツ	鐵	カン	罐
ショウ	頌	セン	餞		

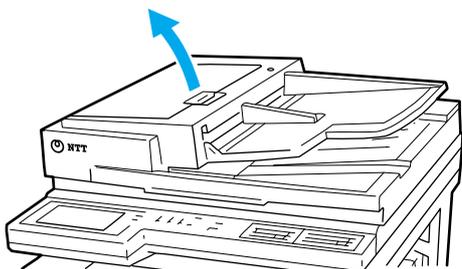
# 原稿がつまったら

DADF（自動両面原稿送り装置）に原稿がつまると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示され、本装置は停止します。エラーメッセージに従って、つまっている原稿を取り除いてください。

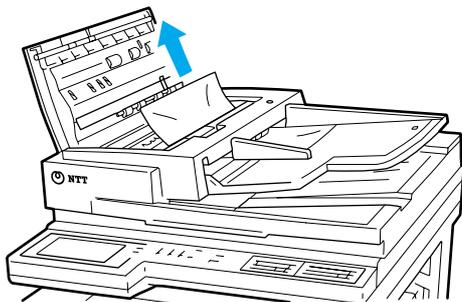


## 状態表示コード「A 1-X」が表示されているとき

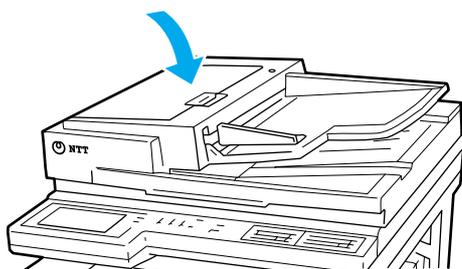
- ① DADF（自動両面原稿送り装置）の中央のレバーを引き上げて、原稿読取部カバーを開けます。



- ② 自動両面原稿送り部につまっている原稿を、矢印の方向へゆっくり引いて取り除きます。



- ③ DADF（自動両面原稿送り装置）の原稿読取部カバーを「カチッ」と音がするまで押し下げて、確実に閉じます。



1 お使いになる前に

2 原稿をセットする

3 コピーする

4 コピーの便利な機能を使う

5 ファックスを送る

6 ファックスを受ける

7 電話をかける／受ける

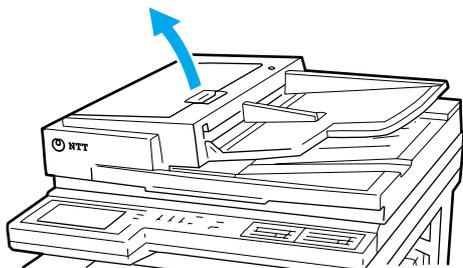
8 留守番電話機を接続して使う

9 こんなときには

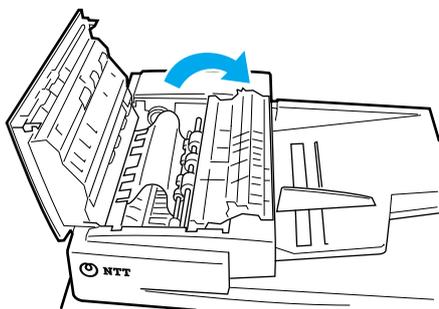
# 原稿がつまったら

## 状態表示コード「A2-X」または「A3-X」が表示されているとき

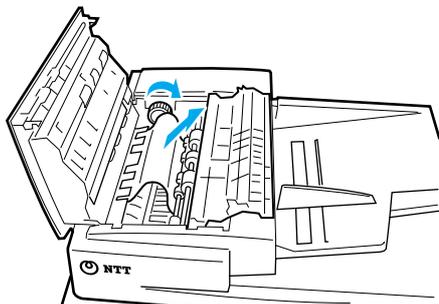
- ① DADF（自動両面原稿送り装置）の中央のレバーを引き上げて、原稿読取部カバーを開けます。



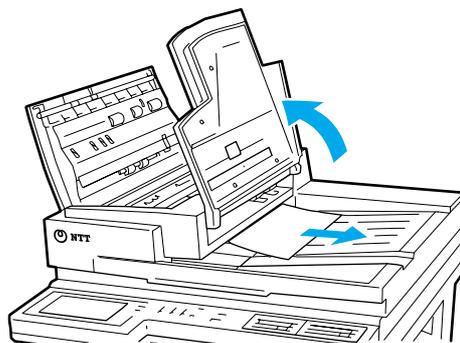
- ② 取っ手を持って、中のカバーを上げます。原稿がすでに原稿反転部を通過している場合は、手順4に進みます。



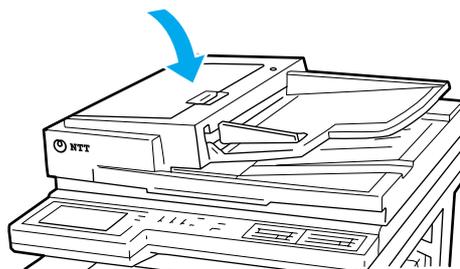
- ③ ノブを矢印の方向に回して、原稿反転部および原稿排出部につまっている原稿を取り除きます。手順2で上げたカバーをもとに戻します。



- ④ 原稿排出部の原稿は、原稿トレイを上げて、ゆっくり引き抜きます。すべての原稿づまりがなくなったことを確認し、原稿トレイをもとに戻します。



- ⑤ DADF（自動両面原稿送り装置）の原稿読取部カバーを「カチッ」と音がするまで押し下げて、確実に閉じます。



### ワンポイント.....

「A5-X」が表示されたら  
DADF（自動両面原稿送り装置）の原稿読取部カバーが完全に閉まっていないことを示しています。カバーを確実に閉じてください。

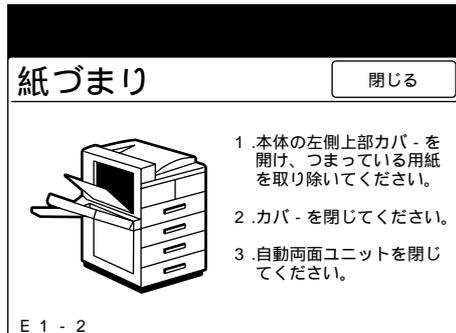
# 用紙が詰まったら

用紙が詰まると、タッチパネルディスプレイに「紙づまり」と表示され、本装置は停止します。エラーメッセージに従って、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまりは、複数の場所で発生している場合があります。用紙を取り除いてもさらにエラーメッセージが表示される場合は、メッセージに従ってください。

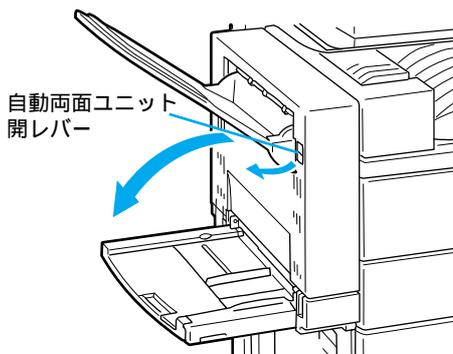
## 本体左側上部 / センタートレイ (出口部) でつまっているとき

本体左側上部またはセンタートレイ (出口部) で用紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。

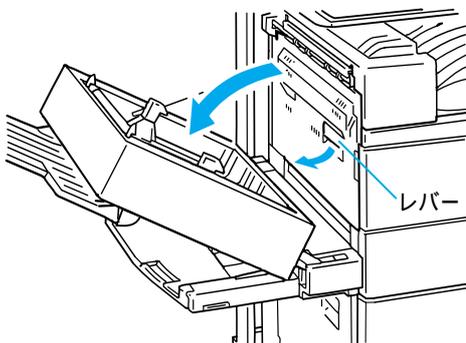


**①** 自動両面ユニット開レバーを引きながら、ゆっくりと自動両面ユニット (オプション) を開けます。

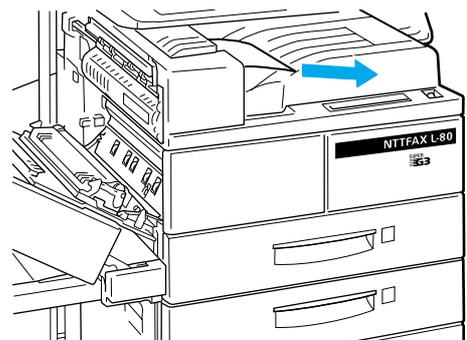
自動両面ユニット (オプション) が装着されていない場合は、手順2へ進みます。



**②** レバーを引きながら、左側上部カバーを開けます。



**③** つまっている用紙の先端がセンタートレイの方向に出ている場合は、つまっている用紙を排出方向にまっすぐ引いて取り除きます。



次ページへ続きます。

1  
前に  
お使用になる

2  
する  
原稿をセッ  
ト

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかけるノ

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときは

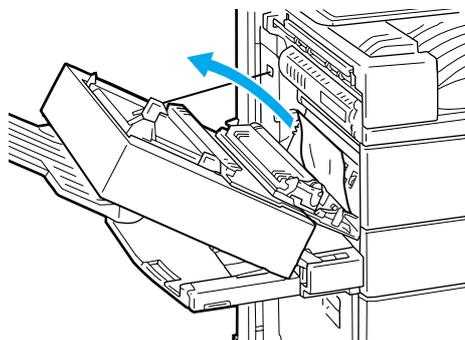
# 用紙が詰まったら



④ さらに、つまっている用紙を取り除きます。

**注意**

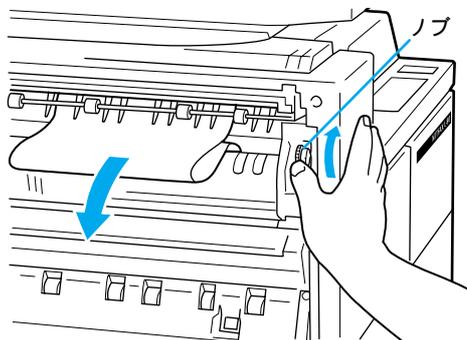
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となります。



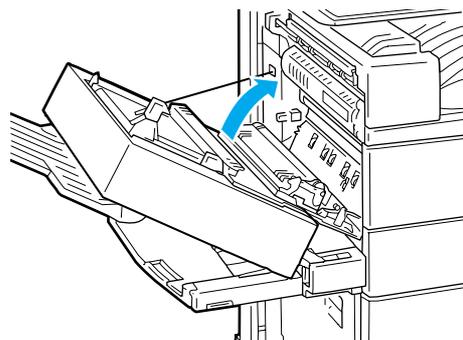
⑤ 定着部に用紙が詰まっている場合は、定着部に触れないように注意し、ノブを押し込みながら矢印の方向に何回か回して、用紙が矢印の方向に充分排出されてから取り除きます。

**注意**

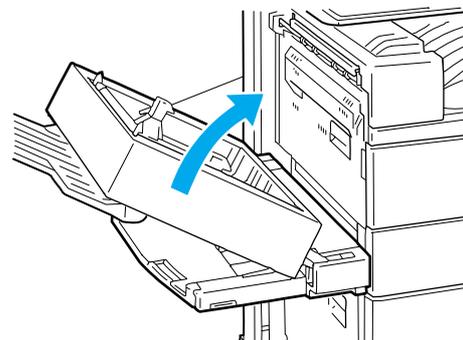
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となります。



⑥ 左側上部カバーおもて面の「ここを押して閉じてください。」の表示部を押して、左側上部カバーを閉じます。



⑦ 自動両面ユニットを閉じます。



**ワンポイント** .....

つまっている用紙が取りづらいときは左側下部カバーを開けて、用紙を取り除いてください。「本体左側下部/トレイ部でつまっているとき」(P209)を参照してください。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

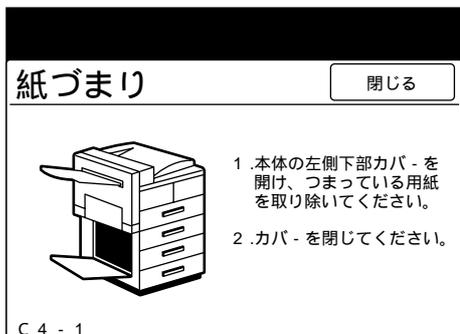
7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

## 本体左側下部 / トレイ部でつまっているとき

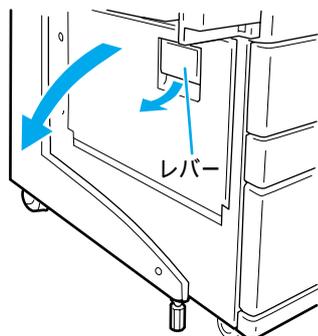
本体左側下部またはトレイ部で用紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。



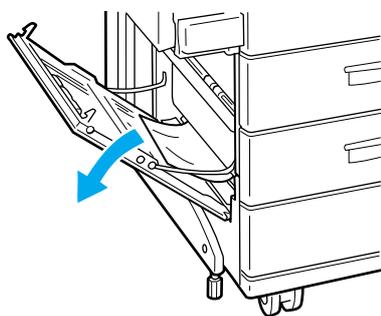
紙づまりは、複数の場所で発生している場合があります。用紙を取り除いてもさらにエラーメッセージが表示される場合は、メッセージに従ってください。

### 本体左側下部につまっている場合

- ① 左側下部カバーを、レバーを引いて開けます。



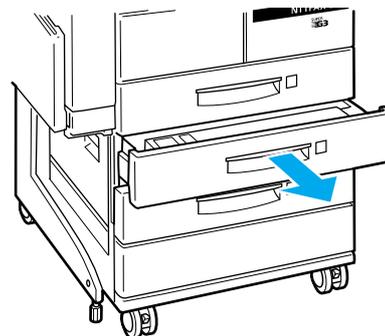
- ② つまっている用紙を取り除きます。



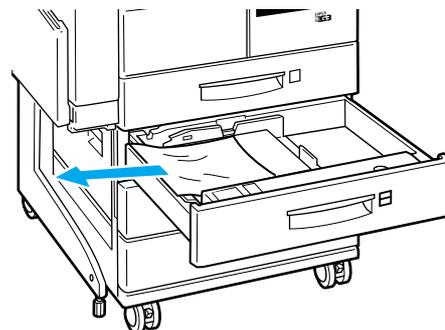
- ③ カバーを閉じます。

### トレイ部につまっている場合

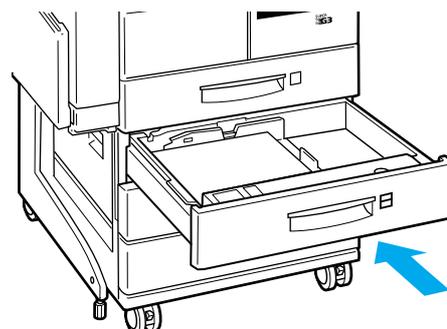
- ① 指定された用紙トレイを引き出します。



- ② つまっている用紙を取り除きます。



- ③ 奥に突き当たるところまでトレイをゆっくりと押し込みます。



# 用紙がつまったら

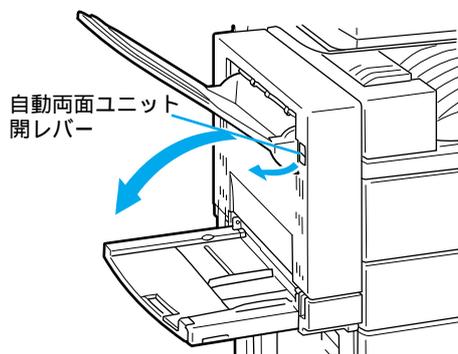
## 自動両面ユニット (オプション) でつまっているとき

自動両面ユニット部で用紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。

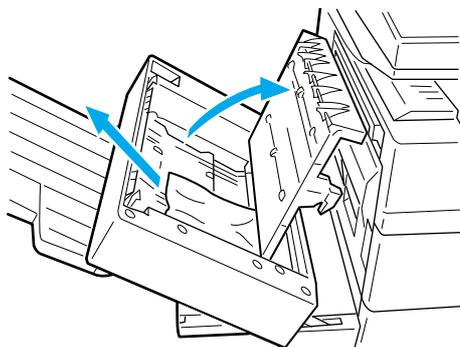


左下の状態表示コードは異なる場合があります。

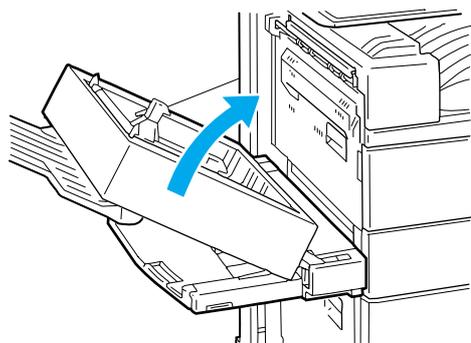
- 1 自動両面ユニット開レバーを引きながら、ゆっくりと自動両面ユニットを開けます。



- 2 自動両面ユニット内部につまんでいる用紙を取り除きます。

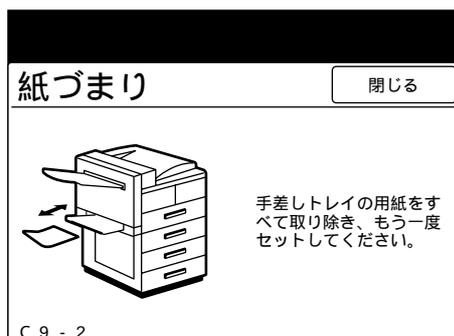


- 3 自動両面ユニットを閉じます。



## 多重手差しトレイ (オプション) 部でつまっているとき

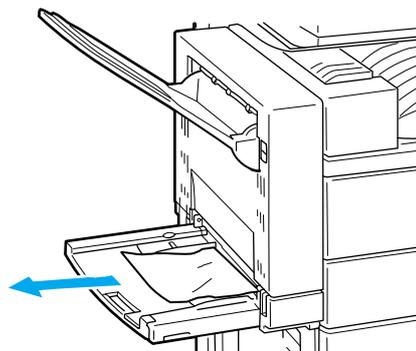
多重手差しトレイ部で用紙づまりが発生すると、タッチパネルディスプレイに以下のような画面が表示されます。



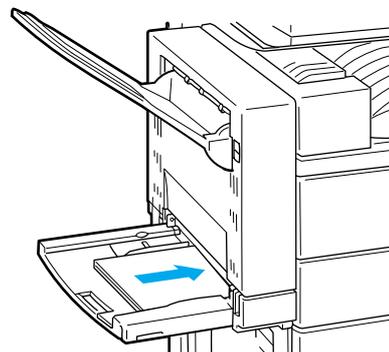
左下の状態表示コードは異なる場合があります。

- 1 つまっている用紙を取り除きます。

- 2 残っている用紙をすべて取り出します。



- 3 用紙をそろえて、もう一度多重手差しトレイにセットします。



## 停電になったときは

停電になったときや電源を切ったときは、コピー/ファクスの機能/動作が停止し、タッチパネルディスプレイの表示が消えます。また、メモリに蓄積されている原稿が消えてしまう場合があります（内蔵のバッテリーにより、72時間以上充電していた場合で約3時間はバックアップ機能がはたらきます）。消去された原稿の相手先や枚数などの情報は、パワーオフレポート（●応用P172）で確認できます。パワーオフレポートは、停電から復旧したときに、消去された原稿があると、自動的に出力されます。

1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
な機能を使う  
コピーの便利5  
送る  
ファクスを6  
受ける  
ファクスを7  
受ける  
電話をかける/8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときは

### STOP お願い

#### 蓄積文書の保持について

本装置は72時間充電した状態（フル充電）で、約3時間まで、メモリ内容を保持することができます。以下の場合に限り、装置内のデータが消去されます。大事なデータは早めにプリントするようにしてください。

- 設置直後などで、本装置の充電が不十分な場合
- 停電後、3時間以上本装置が立ち上げられなかった場合

コピーの蓄積文書は、電源が切れると削除されます。削除された文書は復旧できません。

データが消去された場合には、失われたデータはパワーオフレポートに記録され、電源再立上げのときに出力されません。

停電時は外線1での着呼のみ行えます。受話器を取りあげてお話しください。また、外付け電話機により発呼および着呼が行えます（一般電話回線接続時）。その他の通信は行えません。電源復旧後パワーオフレポートをご確認の上、失われた送受信文書については、相手先などにご確認のうえ対処してください。

増設G3ポート（オプション）または増設G4ポート（オプション）装着時は、停電時に外線1での着呼は行えません。発信番号通知を  に設定している場合（●P47）、停電時に本装置の受話器または外付け電話機でお話し中に停電が復旧すると、通話が切れてしまいます。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、以下の表のチェック項目を確認し、処置を行ってください。また、タッチパネルディスプレイに状態表示コードやエラーメッセージが表示されたときは、「状態表示コード一覧」(●P216)や「エラーメッセージ一覧」(●P220)を参照してください。通信トラブルの際は、自動診断(●P224)を行ってください。

処置を行っても正常に戻らないときは、局番なしの113番にお問い合わせください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
タッチパネルディスプレイに何も表示されない	電源プラグがはずれている	コンセントに電源プラグを確実に接続してください	●応用P338
	ブレーカースイッチが   (入) になっていない	ブレーカースイッチを   (入) にしてください	●応用P339
	電源スイッチが   (入) になっていない	電源スイッチを   (入) にしてください	●応用P339
	[ 節電中/解除 ] ボタンが点灯している	[ 節電中/解除 ] ボタンまたは操作パネルのいずれかのボタンを押して、節電状態を解除してください	●応用P340

### コピーのトラブル

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
「コピーできます」の表示にならない	タッチパネルディスプレイに、エラーメッセージが表示されている 例:自動両面ユニット(オプション)部で用紙づまりが発生したときのエラーメッセージ  状態表示コード	エラーメッセージの内容に従って処置してください	●P220
	タッチパネルディスプレイに状態表示コード(上図参照)が表示されている	「状態表示コード一覧」を参照し、処置してください	●P216
	タッチパネルディスプレイに「リモートメンテナンス、またはリモートサービス中です」が表示されている	当社のサービス取扱所からのリモートメンテナンスが終わり次第、コピーできます	●P199
	タッチパネルディスプレイに「節電中」または [ 節電中/解除 ] ボタンが点灯している	本装置は、節電状態に入っています。[ 節電中/解除 ] ボタンまたは操作パネルのいずれかのボタンを押して、節電状態を解除してください	●応用P340
コピーが汚れている コピーが濃すぎる コピーが薄すぎる	原稿にカラーペーパー、ザラ紙などを、使用している 汚れている	コピー濃度を調整してコピーしてください	●P69
	コピーガラス、原稿カバーなどが汚れている	コピーガラス、原稿カバーなどを清掃してください	●P187
セットした用紙サイズが正しく表示されない	用紙トレイのガイドがずれている	用紙トレイのガイドを正しく用紙に合わせてください	●P192

1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセッ  
ト3  
コピーする4  
な機能を使  
う5  
送る  
ファクスを6  
受ける  
ファクスを7  
受ける  
電話をかける8  
接続して使  
う9  
こんなとき  
には

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
コピーが汚れている コピーが濃すぎる コピーが薄すぎる	OHPフィルムなどの透過度の高い原稿を使っている	透過度の高い原稿では、原稿カバーの汚れが写ります 原稿の上に原稿と同じサイズの白紙を重ねてコピーしてください	-
	コピー濃度が「こく」に設定されている	コピー濃度を調整してください	☛P69
	原稿の濃度が薄い	コピー濃度を調整してください	☛P69
	コピー濃度が「うすく」に設定されている	コピー濃度を調整してください	☛P69
コピーが部分的に写らない	用紙が湿気を含んでいる	用紙が湿気を含んでいると、部分的に写らないコピーになったり、不鮮明になります 新しい包装の用紙と交換してください	☛P190、 191
	折り目やシワの入った用紙がトレイに入っている	不良用紙を取り除くか、新しい包装の用紙と交換してください	☛P190、 191
コピーがズレたり、曲がって写っている	原稿が正しくセットされていない	原稿を正しくセットしてください	☛P54
	用紙がトレイや多重手差しトレイ(オプション)に正しくセットされていない	用紙を正しくセットしてください	☛P190、 191
	用紙トレイが確実にセットされていない	用紙トレイを確実に奥まで押し込んでください	-
原稿または用紙が つまっている	原稿づまり	つまった原稿を取り除いてください	☛P205
	用紙づまり	つまった用紙を取り除いてください	☛P207
紙づまり、紙しわ がたびたび発生する	用紙がトレイや多重手差しトレイに正しくセットされていない	用紙を正しくセットしてください	☛P190、 191
	トレイが本装置に正しくセットされていない	トレイを正しくセットしてください	-
	折り目やシワの入った用紙がトレイに入っている	不良用紙を取り除くか、新しい包装の用紙と交換してください	☛P190、 191
	用紙がカールしている	トレイの用紙を裏返すか、新しい包装の用紙と交換してください	☛P190、 191
	本装置の内部につまんだ用紙や紙片が残っていたり、異物が入っている	本装置を開けるか、トレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください	☛P205、 207
	用紙が湿気を含んでいる	新しい包装の用紙と交換してください	☛P190、 191
	規格外の用紙がトレイに入っている	規格に合った用紙と交換してください	☛P189

次ページに続きます。



## 故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
原稿が送り込まれない	タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されている	エラーメッセージの内容に従って処置してください	●P220
		原稿をセットしたときに、原稿検知ランプが点灯するかどうか確かめてください	●P21、54
	DADF（自動両面原稿送り装置）がコピーガラス面から浮いている	DADF（自動両面原稿送り装置）を完全に閉じてください	●P54
	原稿が小さい	DADF（自動両面原稿送り装置）にセットできる原稿の最小サイズは148×100 mmです 原稿が148×100 mmより小さい場合は、コピーガラスを使ってください	●P53、54
原稿がたびたびつまる	適切な原稿を使用していない	DADF（自動両面原稿送り装置）に適した原稿をセットしてください	●P53
	原稿ガイドの位置がずれている	原稿ガイドを正しくセットしてください	●P54
	DADF（自動両面原稿送り装置）に紙片が残っている	DADF（自動両面原稿送り装置）の原稿読取部カバーを開けて確認してください	●P205
原稿の端が折れる	原稿がカールしている	原稿のカールを直してからセットしてください	-

### 送信のトラブル

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
ファクスを送信できない	送信手順が正しくない	手順を確認し、もう一度操作してください	●P142
	回線の接続が正しくない	電話回線が正しく接続されているか確認してください	●応用P338
	相手先のファクス番号が正しくない	画面に表示される番号を確認してください 短縮ダイヤルで指定している場合には、短縮ダイヤルリストで確認してください 間違っている場合は、登録されている番号を修正します	●応用P145
	回線の設定が正しくない	ダイヤル種別、回線種別を機能設定リストで確認してください 設定が間違っている場合は修正してください	●応用P144
	相手先にトラブルがある	相手先のファクスの電源が切れていないかなど、通信できる状態かどうかを確認してください	-
	ISDNの契約をしていない	G4通信するには、NTTとの契約が必要です	-
	国際ISDNの契約をしていない	海外とG4通信するには、国際電信電話株式会社（KDD）との契約が必要です	-
	リモートメンテナンス、リモートサービスのメッセージが表示されている	リモートメンテナンス通信中です 通信が終わるまでお待ちください	-

1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセッ  
ト3  
コピーする4  
な機能を使う  
コピーの便利5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかけるノ8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときは

## 受信のトラブル

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
ファクスが受信できない	用紙補給のメッセージが表示されている	用紙切れの場合は、補給してください	●P190
	「紙づまり」のメッセージが表示されている	用紙づまりの場合は、つまった用紙を取り除いてください	●P207
	メモリオーバーしている	代行受信した文書などがメモリに蓄積されている場合があります また、用紙づまりなどのトラブルでプリントできない場合は、プリントできる状態にしてください	●P207、 応用P341
	モジュラジャックが本体側と回線側とも正しい位置に差し込まれていない	正しく差し込んでください	●応用P338
	<input type="checkbox"/> 電話(手動受信)に設定されている	手動受信を行うか、または受信設定を <input type="checkbox"/> ファクスか <input type="checkbox"/> ファクス/電話自動切り替えに設定し直してください	●P174、 178
	「蓄積文書あり」ランプが点滅している	用紙切れの場合は補給してください	●P24、189
	仕様設定画面になっている	仕様設定画面のときには受信できません 仕様設定画面を閉じてください	-
受信した原稿が縮小される	自動縮小受信が <input type="checkbox"/> するに設定されている	自動縮小受信の設定を確認してください	●応用P246
	受信紙宣言されている用紙サイズと、送信側の原稿サイズが異なる	受信紙宣言の設定を確認してください	●応用P248

## その他のトラブル

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
通信できない	間違ったファクス番号を指定して通信を開始している	[通信/ジョブ状態確認(通信中止)]ボタンを押し、実行中画面または実行待ち画面で該当するジョブを選択してから通信を中止してください	●P166

# 状態表示コード / エラーメッセージ一覧

本装置に異常が発生したり、操作に誤りがあるときなどには、タッチパネルディスプレイにその内容を示す状態表示コードやエラーメッセージが表示されます。以下の表で状態を確認し、処置を行ってください。処置を行っても正常に戻らないときは、局番なしの113番にお問い合わせください。

また、原稿づまり (●P205) や用紙づまり (●P207) のメッセージについては、それぞれの項を参照してください。

## 状態表示コード一覧

ここに記載されている以外の状態表示コードが表示されたときは、もう一度送り直していただき、それでも通信できない場合は、局番なしの113番にご連絡ください。

状態表示コード	状態	対処方法	参照ページ
A1-x	DADF (自動両面原稿送り装置) 入口付近の原稿づまりです	手順に従ってつまっている原稿を取り除いてください	●P205
A2-x	DADF (自動両面原稿送り装置) の原稿反転部の原稿づまりです	中のカバーを開き、原稿送り部のノブを回して原稿を取り除きます	●P206
A3-x	DADF (自動両面原稿送り装置) の原稿排出部の原稿づまりです	中のカバーを開き、原稿送り部のノブを回すか、原稿トレイを上げて、原稿を引き抜いて取り除きます	●P206
A5-x	DADF (自動両面原稿送り装置) の読取部のカバーが開いています	カバーを閉じてください DADF (自動両面原稿送り装置) の背面のコネクタの接続を確認してください	●P206
C1-x, C2-x, C3-x, C4-x, C8-x	紙づまりです	手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください	●P207
C6-x	自動両面ユニット (オプション) 内および本装置内部の紙づまりです	手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください	●P210
C9-x	多重手差しトレイ (オプション) 部での紙づまりです	手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください	●P210
E1-x, E3-x, E4-x	本装置内部および出口部での紙づまりです	手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください	●P207
E5-x	本体左側上部カバーが開いています	閉じてください	-
E6-x	本体左側下部カバーが開いています	閉じてください	-
E7-x	自動両面ユニットが開いています	閉じてください	●P21
E8-x	自動両面ユニット内の紙づまりです	手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください	●P210
H1-x	トレイの故障です	電源スイッチを切 / 入してください なお、他のトレイを使用すればコピーはできます	●応用 P339
H2-x	自動両面ユニットの故障です	電源スイッチを切 / 入してください なお、自動両面ユニットを使用しないコピーはできます	●応用 P339
H4-x	用紙トレイにセットできない用紙がセットされています	コピーガラスでのコピーはできます	●P54
H6-x	DADF (自動両面原稿送り装置) の故障です	電源スイッチを切 / 入してください なお、コピーガラスでのコピーはできます	●P54、 応用 P339
H8-x	本装置内部の故障です	電源スイッチを切 / 入してください	●応用 P339
J1-x	トナーがなくなりました	フロントカバー、左側上部カバーを開いて、手順に従ってドラム / トナーカートリッジを交換してください	●P194

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
な機能を使う  
コピーの便利

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける /

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときは

状態表示コード	状態	対処方法	参照ページ
J3-x	ドラム/トナーカートリッジが正しくセットされていません	フロントカバー、左側上部カバーを開いて、手順に従ってドラム/トナーカートリッジをセットし直してください	●P194
K0-00	ISDNから通信を拒否されました	ISDNの回線契約を確認し、契約に合った使い方でお使いください	-
K0-03	相手機と接続できませんでした	相手先の電話番号と相手機の状態を確認し、もう一度操作してください	-
K0-05, K5-08, K0-08	メモリがいっぱいです	蓄積文書を確認し、不要な蓄積文書を削除し、メモリ容量を確保してください	●応用P341
K6-02	回線接続を確認し、もう一度操作してください		●P23、 応用P338
K6-03	相手先から応答がないため、通信できませんでした	下記の確認後、もう一度操作してください <ul style="list-style-type: none"> <li>回線は正しく接続されているか</li> <li>相手先の電話番号は正しいか（相手先がファクスでない可能性もあります）</li> <li>外線にダイヤルする時、外線発信番号「0」などを忘れていないか（内線（PBX）に接続している場合のみ）</li> <li>相手先のファクスが通信できる状態になっているか</li> </ul>	●P23、 応用P338
K6-04, K6-05, K6-06	ダイヤルトーンが検知できないため、通信できませんでした	回線接続や回線設定を確認し、もう一度操作してください	●P38、 応用P338
K6-07	相手先がお話中などで通信できません	回線接続 / 回線設定を確認し、しばらくしてから、もう一度操作してください	●P38、 応用P338
K6-08	受話器があがっています（オフフック）	受話器を戻して、もう一度操作してください	-
K7-00	相手先のID番号と指定した暗証番号が一致しないため、通信できませんでした	暗証番号は相手先のファクスで設定されているID番号と一致するようにしてください 送信したくない相手からのポーリング要求に対して、このコードが表示された場合は正常な動作です	-
K7-01	指定した機能（ポーリング予約など）を相手機がもっていない可能性があります	相手先を確認し、もう一度操作してください	-
K7-03	相手先に受信能力がないため、通信できませんでした	相手先のファクスが受信できる状態か（メモリがいっぱいになっていないかなど）を確認して、もう一度操作してください また、中継同報や親展通信などの特別な機能を指定している場合は、相手機がその機能を持っているか確認してください 再度、エラーコードが表示される場合には、診断を行ってください	●P224

次ページに続きます。



# 状態表示コード / エラーメッセージ一覧

状態表示コード	状態	対処方法	参照ページ
K7-07	相手先が通信を中止しました	相手先のファクスの状態を確認し、もう一度操作してください 再度、エラーコードが表示される場合には、診断を行ってください	●P224
K7-06,K9-01, K5-07	相手先を確認し、もう一度操作してください	再度、エラーコードが表示される場合には、診断を行ってください	●P224
K8-00	ポーリング通信で相手機と暗証番号が一致しないため、通信できませんでした	相手機にポーリング要求をする場合、下記を確認してください <ul style="list-style-type: none"> <li>●相手先のファクスで設定された暗証番号と一致するようにしてください</li> <li>●短縮番号で宛先指示している場合は、短縮番号に登録された「ポーリング暗証番号」を確認してください</li> </ul> 相手機からポーリング要求を受ける場合で、下記の場合は正常な動作です <ul style="list-style-type: none"> <li>●本装置のポーリング予約暗証番号が「0001～9999」で、許可する相手機を限定している場合</li> <li>●本装置のポーリング予約暗証番号が「0000」で、相手機が他社機の場合</li> </ul>	●応用 P67
K8-01	サイファ通信で相手機とサイファキーが一致しないため、通信できませんでした	送信の場合、下記を確認後、もう一度操作してください <ul style="list-style-type: none"> <li>●サイファキーテーブルの登録内容が正しいか</li> <li>●サイファキーを選択するサイファキー番号の指定が正しいか</li> <li>●宛先に短縮番号を使用している場合は、短縮番号に登録されているサイファキー番号が正しいか</li> </ul> 受信またはポーリング送信の場合、下記を確認してください <ul style="list-style-type: none"> <li>●サイファキーテーブルの登録内容が正しいか</li> <li>●相手先のファクスで設定されているID番号で短縮番号が登録されている場合、その短縮番号に登録されたサイファキー番号が正しいか</li> <li>●相手先のファクスで設定されているID番号で短縮番号が登録されていない場合、共通サイファキー（サイファキー番号00）が使用されますので、相手先の電話番号および共通サイファキー番号以外のサイファキー番号を登録する必要がないか</li> </ul>	●応用 P82

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
な  
機  
能  
を  
使  
う  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

状態表示コード	状態	対処方法	参照ページ
K8-02	相手機にサイファ通信能力がないため、通信できませんでした	相手機がサイファ通信機能を持っているか確認してください	-
K8-03	ビジネスホンへの通知ができませんでした	当社のサービス取扱所に連絡してください	-
K8-04	相手機が通信を中止しました	指定した機能を相手機が持っていない可能性があります 相手機が中継同報、親展通信、送信先部数などの特別な機能を持っているか確認してください	-
K8-05	相手機が通信を中止しました	送信時の設定が正しくありません サイファ通信、親展通信、中継同報、送信先部数指定時の設定（暗証番号など）が相手機と一致するようにして、もう一度操作してください	-
K8-06	相手機が通信を拒否しました	相手機のファクスが受信できる状態か（メモリがいっぱいになっていないかなど）を確認して、もう一度操作してください また、親展通信時は相手機の親展ボックスが使用中の可能性があるので、しばらくしてから、もう一度操作してください	-
U0-x,U1-x,U2-x,U3-x,U4-x,U6-x,U7-x,U8-x,UE-x	電源スイッチを切/入してください		●応用 P339

# 状態表示コード / エラーメッセージ一覧

## エラーメッセージ一覧

- 用紙補給または原稿セットによるエラーメッセージ
- メモリオーバーによるエラーメッセージ
- 本装置内部のエラーによるエラーメッセージ

### 用紙補給または原稿セットによるエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処方法	参照ページ
トレイXXに用紙を補給してください。	用紙切れです	適切なサイズの用紙を補給してください コピー中に用紙がなくなった場合は、用紙補給後に以下のメッセージが表示されますので、これに従ってください 「続けてコピーできます。」	☛P190
原稿サイズが検知できません。[縮小/拡大]を選択して倍率を指定してください。	縮小/拡大で「自動%」が選択されていますが、原稿サイズが検知できないために適切な倍率選択ができません	倍率を指示してください	☛P64
原稿サイズが検知できません。[用紙トレイ]を選択してください。	用紙トレイで「自動」が選択されていますが、原稿サイズが検知できないために適切な用紙トレイが選択できません	用紙トレイで適切なトレイを選択してください	☛P59
XXサイズの用紙トレイをセットしてください。	用紙トレイで「自動」が選択されていますが、該当する用紙トレイがセットされていません	該当する用紙トレイをセットし、適切な用紙に出力させます 該当する用紙トレイがない場合は、用紙トレイや縮小/拡大の設定を変えてコピーするか、用紙トレイの用紙サイズを変更します	☛P59、64、192
原稿全体はコピーできません。[縮小/拡大]または、[用紙トレイ]を確認してください。[スタート]ボタンでコピーできます。	用紙トレイの「自動」が選択された状態で拡大を指示し、原稿全体が用紙に収まらない場合、右の処置のいずれかを行ってください	縮小/拡大または用紙トレイの設定を確認して、画像の欠けが問題にならない場合は、そのまま[スタート]ボタンを押してコピーします 用紙トレイや縮小/拡大の設定を直し、画像全体が用紙に収まるようにコピーします	☛P59、64
原稿と用紙の方向が違います。原稿または用紙の方向を変更してください。このままでよい場合は[スタート]ボタンでコピーできます。	-	自動画像回転がはたらかない場合、左のメッセージが表示されることがあります 原稿または用紙の縦/横を確認してください	-
代行受信文書またはレポート文書があります。いずれかのトレイに文書サイズの用紙をセットしてください。	代行蓄積文書がありますが、表示されている文書サイズの用紙がセットされていません	表示されている文書サイズの用紙をセットしてください [スタート]ボタンを押すと他の用紙に強制的にプリントすることができます	☛P189

1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
コピーの便利な機能を使う

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける /

8  
接続して使う  
留守番電話機を

9  
こんなときは

## メモリアーバーによるエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処方法	参照ページ
メモリアーバーフローです。 [スタート]ボタンで蓄積したページをコピーします。[ストップ]ボタンでコピーを中止します。	ソートコピー時のメモリアーバーです	[スタート]ボタンを押して、蓄積済みのページだけを出力させます または [ストップ] ボタンを押して、コピーを中止し、不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します	☛応用 P341
蓄積原稿枚数が多すぎます。[スタート]ボタンで蓄積したページをコピーします。[ストップ]ボタンでコピーを中止します。	ハードディスクドライブのメモリアーバーです	[スタート]ボタンを押して、蓄積済みのページだけを出力させます または [ストップ] ボタンを押して、コピーを中止し、不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します	☛応用 P341
メモリアーバーフローです。蓄積を中止しました。[ストップ]ボタンを押してください。	メモリアーバーです	ソートを使用しないでコピーするか、割り込みを解除して、割り込み前のジョブが終了してからコピーしてください	-
メモリアーバーフローです。 [スタート]ボタンで蓄積したページを送信します。 [ストップ]ボタンで送信を中止します。	メモリアーバーです	[スタート]ボタンを押して蓄積済みのページだけを送信します または [ストップ] ボタンを押して送信を中止します 不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します	☛応用 P341
作業用メモリアーバーフローです。 [スタート]ボタンで蓄積したページを送信します。 [ストップ]ボタンで送信を中止します。			
メモリアーバーフローです。 [スタート]ボタンで蓄積したページを予約します。 [ストップ]ボタンで予約を中止します。	ポーリング予約のときの、メモリアーバーです	[スタート]ボタンを押して蓄積済みのページだけを送信します または [ストップ] ボタンを押して送信を中止します 不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します	☛応用 P341
作業用メモリアーバーフローです。 [スタート]ボタンで蓄積したページを予約します。 [ストップ]ボタンで予約を中止します。			
メモリアーバーフローです。 蓄積を中止しました。 [ストップ]ボタンを押してください。	メモリアーバーです	[ストップ]ボタンを押して送信を中止します または不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します	☛応用 P341
作業用メモリアーバーフローです。 蓄積を中止しました。 [ストップ]ボタンを押してください。			
メモリアーバーフローです。 [スタート]ボタンで次の原稿を蓄積します。 [ストップ]ボタンで蓄積を中止します。	長尺原稿の読み取り時のメモリアーバーです	[スタート]ボタンを押して次の原稿を蓄積します または [ストップ] ボタンを押して蓄積を中止します	-



# 状態表示コード / エラーメッセージ一覧

## 本装置内部のエラーによるエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処方法	参照ページ
取扱説明書を参照してください。 U x - x x	本装置内部のエラーです	電源スイッチを切 / 入してください 正常に戻らない場合は、タッチパネルディスプレイ左下に表示されるUコードを局番なしの113番にご連絡ください	●応用 P339
システムエラーが発生。処理を中止しました。はじめから操作をしてください。エラーが続く時は取扱説明書を参照してください。	-	-	-
選択されたトレイは使用できません。他のトレイを選択するか、取扱説明書を参照してください。	選択された用紙トレイの故障です	この用紙トレイは使用できませんので、他の用紙トレイを選択するか、多重手差しトレイを使用してください 故障した用紙トレイの修理を局番なしの113番に依頼してください	●P59、61
自動両面ユニット（オプション）が故障しています。[両面コピー]は使用できません。	自動両面ユニットが故障した状態で、 <b>両面コピー</b> または <b>小冊子作成</b> が選択されました	自動両面ユニット故障時は、これらの機能は使用できません 局番なしの113番に修理を依頼してください	-
自動両面ユニットが故障しています。[サイドトレイ排出]は使用できません。	自動両面ユニットが故障した状態で、 <b>サイドトレイ排出</b> が選択されました	自動両面ユニット故障時は、サイドトレイ排出機能は使用できません 局番なしの113番に修理を依頼してください	-
作業用メモリーが故障しています。処理を中止しました。[ストップ]ボタンを押してください。	本装置内部の故障です	両面コピー、DADF（自動両面原稿送り装置）を使った複数部コピー、自動画像回転などの機能は使用できません 局番なしの113番に修理を依頼してください	-
作業用メモリーが故障しています。片面プリントしました。取扱説明書を参照してください。 H8	受信文書、レポート/リストのプリント終了後のページメモリーに故障があります	局番なしの113番へ連絡してください	-
エラー発生。処理を中止しました。いずれかのボタンを押すと復帰します。	本装置内部のエラーです	いずれかのボタンを押すと復帰します	-
エラー発生。処理を中止しました。[ストップ]ボタンを押してください。	上記のエラーに分類されないエラーが発生しました	局番なしの113番に修理を依頼してください	-
ハードディスク準備中です。少し待ってから、もう一度[スタート]ボタンを押してください。	ハードディスクの準備中です	しばらくしてからもう一度[スタート]ボタンを押してください	-

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
す  
る  
原  
稿  
を  
セ  
ッ  
ト

3  
コ  
ピ  
ー  
す  
る

4  
コ  
ピ  
ー  
の  
便  
利  
な  
機  
能  
を  
使  
う

5  
送  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

6  
受  
け  
る  
フ  
ァ  
ク  
ス  
を

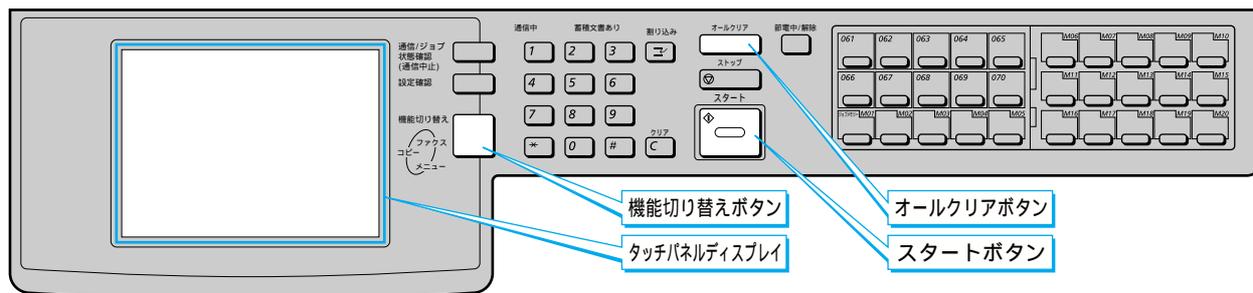
7  
受  
け  
る  
電  
話  
を  
か  
け  
る  
ノ

8  
接  
続  
し  
て  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
機  
を

9  
こ  
ん  
な  
と  
き  
に  
は

エラーメッセージ	原因	対処方法	参照ページ
ハードディスクが故障しています。蓄積を必要とする機能は使えません。電源を切/入するか、取扱説明書を参照してください。HD-xx	ハードディスクの故障です	ソート機能や小冊子作成コピーは行えません 局番なしの113番にご連絡ください	-
ハードディスクエラーです。電源を切/入するか、取扱説明書を参照してください。HD-xx	ハードディスクのエラーです	通信中などでないことを確認し、電源スイッチを切/入してください	●応用 P339
ハードディスクエラーです。蓄積を必要とする機能は使えません。通信中でない事を確認し、電源を切/入するか、取扱説明書を参照してください。HD-xx		正常に戻らない場合やエラーが度重なる場合は局番なしの113番にご連絡ください	

# 状態表示コード / エラーメッセージ一覧



## 自動診断を行う

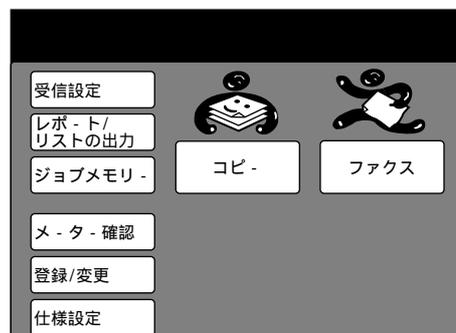
診断機能を利用すると、本装置の内部的な障害箇所を調べることができます。通信トラブルの際に、原因が本装置側にあるか相手側や回線側にあるかがわからない場合などには、自動診断を行ってください。

ただし、以下の機能の実行中は、診断を行うことはできません。また、診断中に以下の機能を動作させることはできません。

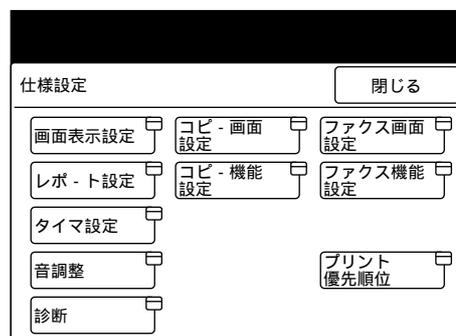
- ・コピー、プリント、原稿読み取り、レポート出力
- ・送信および受信、通話

1 タッチパネルディスプレイでメニュー画面から **仕様設定** を選択します。

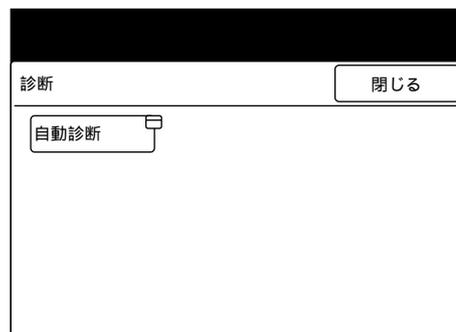
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2 **診断** を選択します。



3 **自動診断** を選択します。



1  
前に  
お使いになる

2  
する  
原稿をセット

3  
コピーする

4  
コピーの便利な機能を使う

5  
送る  
ファックスを

6  
受ける  
ファックスを

7  
受ける  
電話をかける /

8  
接続して使う  
留守番電話機を

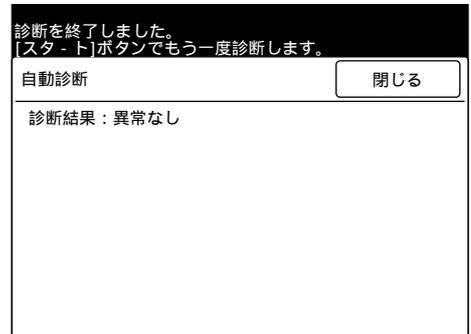
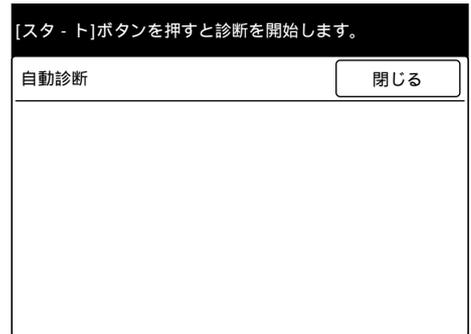
9  
こんなときは

**4** ディスプレイに右の画面が表示されたら、操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

しばらくして右の画面が表示されれば、正常です。それ以外の画面が表示された場合は、局番なしの113番にお問い合わせください。

**5** **閉じる** を選択します。

**6** **[オールクリア]** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



 ワンポイント .....

操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。診断中は [ストップ] ボタンで中断します。

## 索引

## 数字 / アルファベット

2イン1 / 4イン1 .....	基101
DADF (自動両面原稿送り装置) .....	基21
原稿をセットする .....	基54
FAX情報サービス .....	応97
Fネットアクセス .....	応125
Fネットサービス .....	
Fネットを利用して送信する .....	応127
サービスの主な内容 .....	応125
G3 ID .....	基34、38
.....	応328
G3 ID送出手続きを変更する .....	応220、306
G4 ID .....	基34、42
.....	応328
G4通信ユニット .....	基34、147
.....	応334、337、338
ISDN ID .....	基34、44、47
.....	応330
ISDN回線用差込口 .....	基23
NVM表 .....	基20
OHP合紙 .....	基124
PBX .....	応128、140
PB信号 .....	基182
ROSセーブ .....	応288
仕様設定を変更する .....	応282、288、316

## 五十音

## 【ア行】

アース線 .....	応338
相手先 .....	
宛先表で指定する .....	基151
グループ番号で指定する .....	基153
サブダイヤルを使って指定する .....	基153
ダイヤル入力で指定する .....	基148
短縮番号で指定する .....	基150
ワンタッチボタンで指定する .....	基150
相手名変更 .....	応116、332
宛先グループ .....	
グループから宛先を削除する .....	基159
.....	応36
登録する .....	基158
.....	応35、324

ワイルドカードを使って短縮ダイヤルを 指定する .....	基159
.....	応36
宛先表 .....	基151
宛先表表示開始番号 .....	
仕様設定を変更する .....	応260、265、296
暗証番号 .....	
サイファキー登録用 .....	応84
親展ボックス用 .....	応75
中継同報用 .....	応45
ポーリング通信用 .....	応67
異常終了音 .....	
仕様設定を変更する .....	応268、274、318
異常通知 .....	応140
異常通知を設定する .....	応141、314
異常通知の表示例 .....	応140
一般回線用差込口 .....	基23
うら面の画像回転プリント .....	
仕様設定を変更する .....	応254、312
英 / 数キーボード .....	基48
エラーメッセージ一覧 .....	基220
お好みコピー画面 .....	基29
画面を変更する .....	応204、294
お好みファクス画面 .....	基30
画面を変更する .....	応262、296
オートクリア .....	
仕様設定を変更する .....	応282、316
オプション .....	
G4通信ユニットを利用する .....	応337
オプション品一覧 .....	応334
済スタンプを利用する .....	応334
オフセット排出 .....	
オフセット排出とは .....	基129
仕様設定を変更する .....	応199、302
オフフックダイヤル .....	基179
着信記録を使ったオフフックダイヤル .....	応124
[ オールクリア ] ボタン .....	基25
オンフックダイヤル .....	基180
【カ行】 .....	
海外通信 .....	応98
回線 .....	
回線を短縮ダイヤルに登録する .....	応20
回線契約種別 .....	応110、332
回線種別 .....	基38
.....	応328

- 外線 / 内線切り替え ..... 基179  
 応91
- 外線 / 内線切替キット ..... 基179  
 応91、334
- 解像度 ..... 基144
- カタカナキーボード ..... 基49
- 紙づまり  
 原稿が詰まったら ..... 基205  
 用紙が詰まったら ..... 基207
- 簡易サイドトレイ ..... 基22
- 漢字一覧 ..... 基200
- 記号キーボード ..... 基48
- 機能アイコン ..... 基26
- [機能切り替え] ボタン ..... 基24、28
- 機能設定リスト ..... 応143、144、162
- 機能ボタン ..... 基26
- 基本コピー画面 ..... 基29
- 基本ファクス画面 ..... 基30
- 切り替え回線用差込口 ..... 基23
- [クリア] ボタン ..... 基24
- グループ番号 ..... 基153  
 応38
- 掲示板 / ポーリング予約 ..... 応67
- 受信する ..... 応72
- セットする ..... 応70
- 通知先を指定してセットする ..... 応135
- 発信元記録を付ける ..... 応212、304
- 結果通知先  
 共通通知先を登録する ..... 応137
- 結果通知先を指定して  
 送 / 受信する ..... 応133、135、138
- 結果通知先を短縮ダイヤルに  
 登録する ..... 応26、324
- 原稿 ..... 基52
- DADFにセットする ..... 基54
- DADFにセットする原稿 ..... 基53
- DADFにセットできない原稿 ..... 基52
- 原稿が詰まったら ..... 基205
- 原稿の種類 ..... 基71
- コピーガラスにセットする ..... 基54
- コピーガラスにセットする原稿 ..... 基52
- 次の原稿をセットする ..... 基56
- 原稿カバー ..... 基22
- 原稿検知ランプ ..... 基21
- 原稿づまり ..... 基205
- 原稿トレイ ..... 基21
- 原稿の種類 (コピー)  
 種類に合わせてコピーする ..... 基71
- 仕様設定を変える ..... 応174、181、300
- 原稿の種類 (ファクス)  
 仕様設定を変える ..... 応212、214、304
- 送信時に選択する ..... 基145
- 原稿読取部カバー ..... 基21
- 検索  
 宛先表で相手先を検索する ..... 基151
- 合成送信 ..... 応50
- 国際電話番号 ..... 応99
- 呼識別行 (G4ヘッダ)  
 仕様設定を変える ..... 応258、314
- 故障  
 コピーのトラブル ..... 基212
- 自動診断を行う ..... 基224
- 受信のトラブル ..... 基215
- 送信のトラブル ..... 基214
- その他のトラブル ..... 基215
- 固定倍率 ..... 基64
- 仕様設定を変える ..... 応202、206、294
- コピー画面 ..... 基28、29
- お好みコピー画面 ..... 応204、294
- コピー画面設定 ..... 応206、294
- コピー初期画面 ..... 応202、294
- コピーガラス ..... 基22
- 原稿をセットする ..... 基54
- コピー機能一覧画面 ..... 基29
- コピー機能設定 ..... 応174、300
- コピーする ..... 基57
- 1部ごとに排出させる ..... 基116
- 2枚 / 4枚の原稿を1枚の用紙に  
 コピーする ..... 基101
- OHPフィルムにコピーする ..... 基124
- / OHP合紙 ..... 基124、125
- / 会議コピー ..... 基124、127
- オフセット排出させる ..... 基129
- おもて面を上にして排出させる ..... 基130
- 原稿の影を消してコピーする ..... 基95
- 原稿の種類に合わせてコピーする ..... 基71
- 画像を中央に移動させてコピーする ..... 基97
- 異なるサイズの原稿を1度にコピーする ..... 基118
- 異なるサイズの原稿を同一サイズに  
 そろえてコピーする ..... 基119
- コピーが禁止されているもの ..... 基11、58
- コピーの状態を確認する ..... 基76
- コピーの設定を確認する ..... 基58
- コピーの便利な機能 ..... 基80
- サイドトレイ排出させる ..... 基130
- 受信原稿のプリント中にコピーする ..... 基79

## 索引

- 小冊子となるようにコピーする .....基120  
 ジョブメモリを使ってコピーする ...基132、139  
 ソート機能を使ってコピーする .....基116  
 縦長／横長に変形する .....基86  
 中止する .....基77  
 次のコピーを予約する .....基58  
 とじしろをつける .....基83  
 途中で読み取りの設定を変える .....基73  
 濃度を調整してコピーする .....基69  
 倍率を指定してコピーする .....基64  
 倍率を自動的に選択させてコピーする .....基66  
 はがきにコピーする .....基114  
 部数を指定してコピーする .....基57  
 見開き原稿を左右に分割してコピーする .....基99  
 用紙を指定してコピーする .....基59  
 両面コピーする .....基105  
 割り込んでコピーする .....基78  
 コピー濃度 .....基69  
 仕様設定を変える.....応174、179、300  
 コメント .....応53、326
- 【サ行】**
- 再送  
 自動ページ再送 .....応224  
 リダイヤル .....基143
- 最大蓄積サイズ  
 最大蓄積サイズ設定を短縮ダイヤルに  
 登録する.....応23、322
- サイドトレイ .....基22  
 サイドトレイキット .....基129  
 応334
- サイドトレイ排出 .....基130  
 仕様設定を変える .....応187、300
- サイファキー .....応82、83  
 削除する .....応88  
 登録する.....応86、326
- サイファキー登録用暗証番号 .....応84、86  
 サイファキー番号 .....応82  
 サイファキー番号を短縮ダイヤルに  
 登録する.....応25、324
- サイファキーリスト .....応143、146、171  
 サイファ通信 .....応82  
 サイファキーを登録する .....応86  
 サイファキー登録用の暗証番号を登録する ...応84  
 サイファ送信をする .....応89  
 準備をする .....応83
- 索引文字 .....基152  
 索引文字を短縮ダイヤルに登録する .....基154  
 応20、322
- サブアドレス .....基47、149  
 登録する .....基45
- サブダイヤル .....基153  
 削除する .....応15  
 登録する .....基160  
 応14、322
- 自同名 .....基34  
 応328
- 時刻指定初期値  
 仕様設定を変える.....応260、266、296
- 時刻指定通信 .....応40  
 時刻指定通信設定を短縮ダイヤルに  
 登録する.....応24、322
- 自動解除時の用紙トレイ  
 仕様設定を変える.....応174、195、302
- 自動回転送信  
 仕様設定を変える.....応212、218、306
- 自動画像回転 .....基58  
 仕様設定を変える.....応174、197、302
- 自動縮小受信  
 仕様設定を変える.....応213、246、310
- 自動出力レポート排出先  
 仕様設定を変える.....応213、256、312
- 自動診断 .....基224  
 応320
- 自動節電モード .....応288  
 仕様設定を変える.....応282、290、316
- 自動トレイ切り替え  
 仕様設定を変える.....応174、191、302
- 自動ページ再送  
 仕様設定を変える.....応212、224、308
- 自動用紙選択 .....基58
- 自動両面ユニット .....基21  
 応334
- 自動両面ユニット開レバー .....基22、207
- 縮小／拡大  
 仕様設定を変える.....応174、177、300
- 受信結果通知 .....応130  
 受信結果通知を設定する .....応136、314
- 受信紙宣言  
 仕様設定を変える.....応213、248、310
- 受信モード .....基174  
 受信モードを切り替える .....基175  
 受信モードを短縮ダイヤルに  
 登録する.....応27、325  
 仕様設定を変える.....応212、234、308

- 手動受信 ..... 基174、178
- 手動送受信初期設定  
仕様設定を変える ..... 応212、230、308
- 手動送信 ..... 基164  
相手からかかってきたとき ..... 基165
- 受話器 ..... 基20、22、164、178、179
- 受話器置き台 ..... 基20
- 受話器置き台コード ..... 応338、339
- 受話器置き台コード差込口 ..... 基23
- 順次同報送信 ..... 応37  
複数の相手先の指定方法 ..... 応38
- 準備完了音  
仕様設定を変える ..... 応268、271、318
- 仕様 ..... 応342
- 小冊子作成 ..... 基120  
とじ位置の選択 ..... 基123
- 仕様設定  
一覧 ..... 応294  
音の仕様設定を変える ..... 応268  
コピー画面の仕様設定を変える ..... 応201  
コピー機能の仕様設定を変える ..... 応174  
ファクス画面の仕様設定を変える ..... 応260  
ファクス機能の仕様設定を変える ..... 応212  
その他の仕様設定を変える ..... 応282
- 状態表示コード ..... 基216
- 消耗品 ..... 基197
- 初期画面  
コピーの初期画面を変更する ..... 応202、294  
ディスプレイの初期画面を  
変更する ..... 応201、294  
ファクスの初期画面を変更する ..... 応260、294
- ジョブ自動解除  
仕様設定を変える ..... 応282、284、316
- ジョブメモリ ..... 基132  
応92  
コメントを変更する ..... 基137  
応95  
削除する ..... 基138  
応96  
実行する ..... 応96  
登録を変更する ..... 基136  
登録する(コピー) ..... 基133  
応326  
登録する(ファクス) ..... 応93、326
- ジョブメモリーボタン ..... 基25、132、139  
応92
- 親展受信レポート ..... 応143、148、157、298
- 親展通信 ..... 応74  
準備をする ..... 応74  
親展受信文書をプリントする ..... 応80  
親展通信を短縮ダイヤルに登録する... 応28、324  
親展で送信する ..... 応78  
親展ボックスを開設する ..... 応75、332  
通知先を指定する ..... 応75、332
- 親展ボックス ..... 応74  
開設する ..... 応75、332  
削除する ..... 応77  
内容を変更する ..... 応77
- 親展ボックス暗証番号 ..... 応74、75  
親展ボックス番号 ..... 応74、75、78
- [スタート] ボタン ..... 基25  
スタート予約 ..... 応340  
ストップ ..... 基22
- [ストップ] ボタン ..... 基25
- 済スタンプ ..... 基143  
応334  
交換する ..... 応336  
仕様設定を変える ..... 応212、214、306  
送信時に設定する ..... 応334
- 正常終了音(コピー)  
仕様設定を変える ..... 応268、272、318
- 正常終了音(コピー以外)  
仕様設定を変える ..... 応268、273、318
- 清掃をする  
DADFの清掃をする ..... 基188  
原稿カバーの清掃をする ..... 基187  
コピーガラスの清掃をする ..... 基187  
本体の清掃をする ..... 基187
- 接続(設置)  
アース線を接続する ..... 応338  
外付け電話機を接続する ..... 応341  
電源を入れる/切る ..... 応339、341  
電源を接続する ..... 応338  
電話回線を接続する ..... 応338
- 設定  
異常通知を設定する ..... 応141、314  
音の仕様設定を変える ..... 応268、318  
コピー画面の仕様設定を変える ..... 応201、294  
コピー機能の仕様設定を変える ..... 応174、300  
受信結果通知を設定する ..... 応136、314  
仕様設定(一覧) ..... 応294  
送信結果通知を設定する ..... 応131、314  
送信先部数受信を設定する ..... 応65、312  
タイマ設定をする ..... 応282、316  
ダイヤルイン接続を設定する ..... 応102、330

1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
な機能を使う  
コピーの便利5  
送る  
ファクスを6  
受ける  
ファクスを7  
受ける  
電話をかける/8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときは

## 索引

- 中継同報を設定する ..... 応45、314
- ナンバー・ディスプレイ対応機能を  
設定する ..... 応110、332
- 日付 / 時刻を設定する ..... 基31  
..... 応316
- ファクス画面の仕様設定を変える ... 応260、296
- ファクス機能の仕様設定を変える ... 応212、304
- プリント優先順位を設定する ..... 応292、320
- モニターレポートの出力を設定する ... 応147、306
- 読み取りの設定を変える ..... 基162
- 留守番電話の設定をする ..... 基184、186  
..... 応310
- レポートの出力を設定する ..... 応148、298
- [ 設定確認 ] ボタン ..... 基24
- 節電機能 ..... 応340
- [ 節電中/解除 ] ボタン ..... 基25  
..... 応340
- セット枚数制限  
仕様設定を変える ..... 応174、189、302
- セレクト受信  
一時的に設定する ..... 基177
- 仕様設定を変える ..... 応212、242、310
- センター移動 ..... 基97
- 仕様設定を変える ..... 応174、183、300
- センタートレイ ..... 基21、129
- 操作パネル ..... 基22、24
- 操作パネル異常入力音  
仕様設定を変える ..... 応268、270、318
- 操作パネル正常入力音  
仕様設定を変える ..... 応268、318
- 送受信通知 ..... 応128
- 共通通知先を登録して受信する ..... 応137
- 受信結果を通知させる ..... 応130
- 受信結果通知を設定する ..... 応136、314
- 送信結果を通知させる ..... 応129
- 送信結果通知を設定する ..... 応131、314
- 通知先を指定して掲示板 /  
ポーリング予約をセットする ..... 応135
- 通知先を指定して親展受信する ..... 応75、332
- 通知先を指定して送信する ..... 応133
- 通知先を指定してポーリング受信する ..... 応138
- 送信画質  
仕様設定を変える ..... 応212、214、304
- 送信画質設定を短縮ダイヤルに  
登録する ..... 応22、322
- 送信時に選択する ..... 基144
- 送信結果通知 ..... 応129
- 送信結果通知を設定する ..... 応131、314
- 送信先部数  
送信先部数を指定して送信する ..... 応63
- 送信先部数受信を設定する ..... 応65、312
- 送信シート ..... 応52
- コメントを登録する ..... 応53
- 送信シートを設定して送信する ..... 応55
- 送信シートの設定を短縮ダイヤルに  
登録する ..... 応22、322
- 送信中画面表示  
仕様設定を変える ..... 応260、267、296
- 送信濃度  
仕様設定を変える ..... 応212、214、304
- 送信時に選択する ..... 基146
- 増設記録紙力セット ..... 基21  
..... 応334
- ソート ..... 基116
- 仕様設定を変える ..... 応174、185、300
- 外付け電話機 ..... 基179  
..... 応341
- 【タ行】**
- ダイヤルイン ..... 応100
- 契約についての注意 ..... 応101
- ダイヤルイン接続を設定する ..... 応102、330
- 停電になったときの電話の受け方 ..... 応100
- ナンバー・ディスプレイと同時契約  
するとき ..... 応104
- ダイヤル種別  
登録する ..... 基38  
..... 応328
- ダイヤル種別の見分け方 ..... 基41
- ダイヤルトーン ..... 基149
- ダイヤル入力 ..... 基148  
..... 応38
- ダイヤルボタン ..... 基24
- 多重手差しキット ..... 応334
- 多重手差しトレイ ..... 基22、61、114
- タッチパネルディスプレイ ..... 基24
- タッチパネルディスプレイの各部の  
名前とはたらき ..... 基26
- たてよこ独立変倍 ..... 基86
- 原稿とコピーの長さを設定する ..... 基89
- たて倍率とよこ倍率を設定する ..... 基87
- たて倍率 / よこ倍率を自動設定させる ..... 基92
- 短縮ダイヤル ..... 基154  
..... 応16
- 宛先名を登録する ..... 基156  
..... 応17、322





1  
前に  
お使いになる2  
する  
原稿をセット3  
コピーする4  
な機能を使う  
コピーの便利5  
送る  
ファックスを6  
受ける  
ファックスを7  
受ける  
電話をかける／8  
接続して使う  
留守番電話機を9  
こんなときは

- 留守番電話機からの操作で受ける ..... 基183
- ファックスを送る ..... 基142
- Fネットを利用して送る ..... 応127
- 相手先が通信中のとき ..... 基143
- 相手先の応答を確認してから送る ..... 基164
- 相手先の指定 ..... 基148
- 急ぎの通信を割り込ませて送る ..... 応39
- 同じ原稿を中継機を経由して送る ..... 応42、44
- 同じ原稿を複数の相手先に送る ..... 応37
- 海外に送る ..... 応98
- 外線と内線を切り替えて送る ..... 応91
- 原稿を暗号化して送る ..... 応82、89
- 現在の設定を確認する ..... 基143
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で送る ..... 応57
- 時刻を指定して送る ..... 応40
- 受信側の操作で原稿を送る ..... 応67、70
- ジョブメモリを使って送る ..... 応92、96
- 親展で送る ..... 応74、78
- 送信する範囲や倍率を指定して送る ..... 応47
- 通信を中止する ..... 基166
- 通信障害のため中断されたとき ..... 基143
- 通信状態を確認する ..... 基169
- 通信待ち文書を先に送る ..... 基172
- 通信モードを選択する ..... 基147
- 途中で読み取りの設定を変える ..... 基162
- 表紙をつけて送る ..... 応52、55
- 複数の原稿を1枚にして送る ..... 応50
- 部数を指定して送る ..... 応63
- 見開き原稿を左右に分割して送る ..... 応61
- リダイヤルして送る ..... 応222、306
- 両面原稿を一度の操作で送る ..... 応58
- ファックス画面 ..... 基28、30
- お好みファックス画面 ..... 応262、296
- ファックス画面設定 ..... 応265、296
- ファックス初期画面 ..... 応260、294
- ファックス機能一覧画面 ..... 基30
- ファックス機能設定 ..... 応212、304
- ファックス切り替え時間
- 仕様設定を変える ..... 応212、232、308
- フォルダインデックス ..... 基26
- プッシュホンサービス ..... 基182
- プッシュホン信号 ..... 応97
- プリンタ用操作パネル ..... 基22
- プリント起動
- 仕様設定を変える ..... 応282、286、316
- プリント優先順位
- 仕様設定を変える ..... 応282、292、320
- ブレーカースイッチ ..... 基21
- 応339
- フロントカバー ..... 基22、194
- 分岐コネクタ ..... 基20
- ページ合成受信
- 仕様設定を変える ..... 応250、310
- ページ分割しきい値
- 仕様設定を変える ..... 応244、310
- ページ連写(コピー) ..... 基99
- ページ連写(ファックス) ..... 応61
- ポーズ ..... 基149
- ポート ..... 基149
- ポーリング暗証番号 ..... 応67、68
- ポーリング暗証番号を短縮ダイヤルに登録する... 応26
- ポーリング通信 ..... 応67
- 掲示板/ポーリング予約をセットする ..... 応70
- 準備をする ..... 応67
- 通知先を指定して受信する ..... 応138
- ポーリング暗証番号に登録する ..... 応68
- ポーリング受信をする ..... 応72
- ポーリング予約を解除する ..... 応71
- 保守サービス ..... 基198
- ポップアップ画面 ..... 基27
- 【マ行】**
- 未送信レポート ..... 応143、148、155、298
- ミックスサイズ原稿(コピー)
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で
- コピーする ..... 基118
- ミックスサイズ原稿(ファックス)
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で送る ..... 応57
- 仕様設定を変える ..... 応212、214、304
- メッセージエリア ..... 基26
- メニュー画面 ..... 基28
- メモリー残量表示 ..... 基26、27
- メモリー送信 ..... 基142
- メモリーに蓄積できる原稿の枚数 ..... 基143
- メモリー代行受信通知音
- 仕様設定を変える ..... 応268、277、320
- 文字を入力する ..... 基48
- 特殊記号 ..... 基149
- 表示できる漢字 ..... 基200
- 英数字/記号 ..... 基48
- ひらがな/カタカナ/漢字 ..... 基49
- モジュラジャック ..... 応338
- モデムダイヤルイン ..... 応119、330

## 索引

- モニターレポート ..... 応143、154  
 仕様設定を変える ..... 応212、214、306  
 送信時に設定する ..... 応147
- 【ヤ行】**
- 優先送信 ..... 応39  
 用紙 ..... 基189  
 セットできる用紙サイズと枚数 ..... 基189  
 多重手差しトレイに補給する ..... 基191  
 用紙が詰まったら ..... 基207  
 用紙トレイに補給する ..... 基190
- 用紙サイズ  
 セットできる用紙サイズ ..... 基189  
 用紙トレイの用紙サイズを変更する ..... 基192
- 用紙ストッパ ..... 基21  
 用紙づまり  
 自動両面ユニットで詰まったら ..... 基210  
 センタートレイ（出口部）で詰まったら ..... 基207  
 多重手差しトレイで詰まったら ..... 基210  
 トレイ部で詰まったら ..... 基209  
 本体左側下部で詰まったら ..... 基209  
 本体左側上部で詰まったら ..... 基207
- 用紙トレイ ..... 基21、22、59  
 仕様設定を変える ..... 応174、175、300
- 呼出音 ..... 基181  
 呼出しベル音量  
 仕様設定を変える ..... 応268、280、320
- 読み取り指定 ..... 応47
- 両面原稿を片面コピーする ..... 基112  
 両面原稿を両面コピーする ..... 基109
- 両面プリント  
 仕様設定を変える ..... 応252、312
- 留守番電話機 ..... 基183  
 接続する ..... 応341
- 留守番電話接続  
 仕様設定を変える ..... 基184  
 応238、310
- 留守番電話無音検出 ..... 基183  
 仕様設定を変える ..... 応240、310
- 留守番電話モード ..... 基183  
 設定する ..... 基186
- レポート/リスト  
 機能設定リストの見かた ..... 応162  
 サイファキーリストの見かた ..... 応171  
 手動で出力する ..... 応144  
 親展受信レポートの見かた ..... 応157  
 蓄積文書リストの見かた ..... 応166  
 中継結果レポートの見かた ..... 応160  
 通信管理レポートの見かた ..... 応152  
 同報/集信レポートの見かた ..... 応158  
 登録ダイヤルリストの見かた ..... 応168  
 パワーオフレポートの見かた ..... 応172  
 未送信レポートの見かた ..... 応155  
 モニターレポートの出力を設定する ..... 応147  
 モニターレポートの見かた ..... 応154  
 レポートの自動出力を設定する ..... 応148  
 レポート/リストの種類 ..... 応143
- レポート/リスト排出先  
 仕様設定を変える ..... 応256、312
- 漏電保護回路 ..... 応340
- 【ワ行】**
- ワイルドカード  
 宛先グループの登録にワイルドカードを  
 使う ..... 基158  
 応36
- ワイルドカードを使って相手先を  
 指定する ..... 基150
- わく消し ..... 基95  
 仕様設定を変える ..... 応202、208、294、296
- [ 割り込み ] ボタン ..... 基24  
 「割り込み」ランプ ..... 基24
- ワンタッチパネル ..... 基25  
 ワンタッチボタン ..... 基25、150  
 応38

**注 意**

本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。  
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

**NOTICE**

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、  
エコマーク認定の  
再生紙を使用して  
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター：  0120 - 109217



©1999 NTEAST・NTTWEST

本1797-2(99.3)  
NTT FAX L-80キホントリセツ  
帳票No. DE-0419  
891E49960